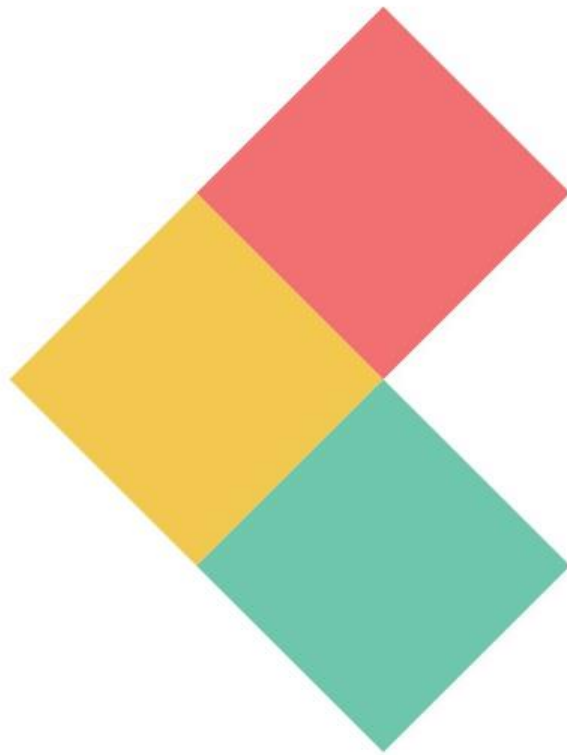


2022 年度 事業報告書



自 2022 年 4 月 1 日
至 2023 年 3 月 31 日

社会福祉法人くじら

目 次

社会福祉法人くじら概要	3
-------------	---

各施設別事業報告

01_くじら認定こども園	14
02_おむすびこども園	25
03_伊予くじら認定こども園	32
04_菩提寺くじらこども園	39
05_すいか保育園	46
06_バオバブ保育園	54
07_琵琶湖くじら保育園	59
08_伊丹くじら保育園	68
09_石山くじら保育園	75
10_堅田くじら保育園	84
11_千里山くじら保育園	91
12_廿日市くじら保育園	98
13_手倉田くじら保育園	106
14_栗東くじら保育園	112
15_三雲くじら保育園	120
16_とりのきくじら保育園	129
17_公私連携型保育所廿日市保育園	135
18_梅ノ木くじら保育園	143
19_上ノ丸くじら保育園	159
20_草津くじら保育園	165
21_かがやきくじら保育園	173
22_くじら小規模保育園	185
23_伊予ぺんぎん小規模保育園	190
24_伊丹くじら小規模保育園	196
25_唐橋くじら小規模保育園	202
26_すいか小規模保育園	208
27_栗東くじら小規模保育園	216
28_まんぼう小規模保育園	221
29_石山くじら小規模保育園	227

30_治田くじら小規模保育園	232
31_千里山くじら小規模保育園	238
32_西山台くじら小規模保育園	246
33_五条くじら小規模保育園	252
34_児童育成クラブくじら	258
35_伊予くじら児童クラブ	263
36_治田くじら学童保育所	266
37_治田東くじら学童保育所	271
38_葉山くじら学童保育所	276
39_葉山東くじら学童保育所	281
40_郡中放課後児童クラブA・B・C	286
41_南伊予児童クラブA・B	290
42_南山崎児童クラブ	295
43_北山崎児童クラブ	299
44_なかやま学童広場	303
45_されだに学童クラブ	307
46_上灘学童クラブ	311
47_下灘学童クラブ	315
48_放課後等デイサービスくじら	320
49_福岡市立児童心理治療施設	327
50_グループホーム伊予くじら	332
51_児童発達支援センター伊予くじら	336
52_伊予市地域包括支援センター	340

1. 法人概要

法人名	社会福祉法人くじら
法人設立年月日	2013年3月14日
代表者名	理事長 田崎 耕太郎
法人所在地	長崎県大村市富の原1丁目1113番地1
電話番号・FAX番号	電話：0957-55-0558 FAX：0957-55-0560
職員総数	887名（2023年3月31日現在）

2. 理念

(1) 保育理念

おもしろいこと なんでもくじら級！ これが社会福祉法人くじらの理念です。

(2) 保育方針

1. 基本的な生活習慣を家庭と一緒に築いていく
2. 個々のやりたいことを達成できる伴奏者となる
3. 地域の人・自然との関わりをもち、感謝の心を育てる

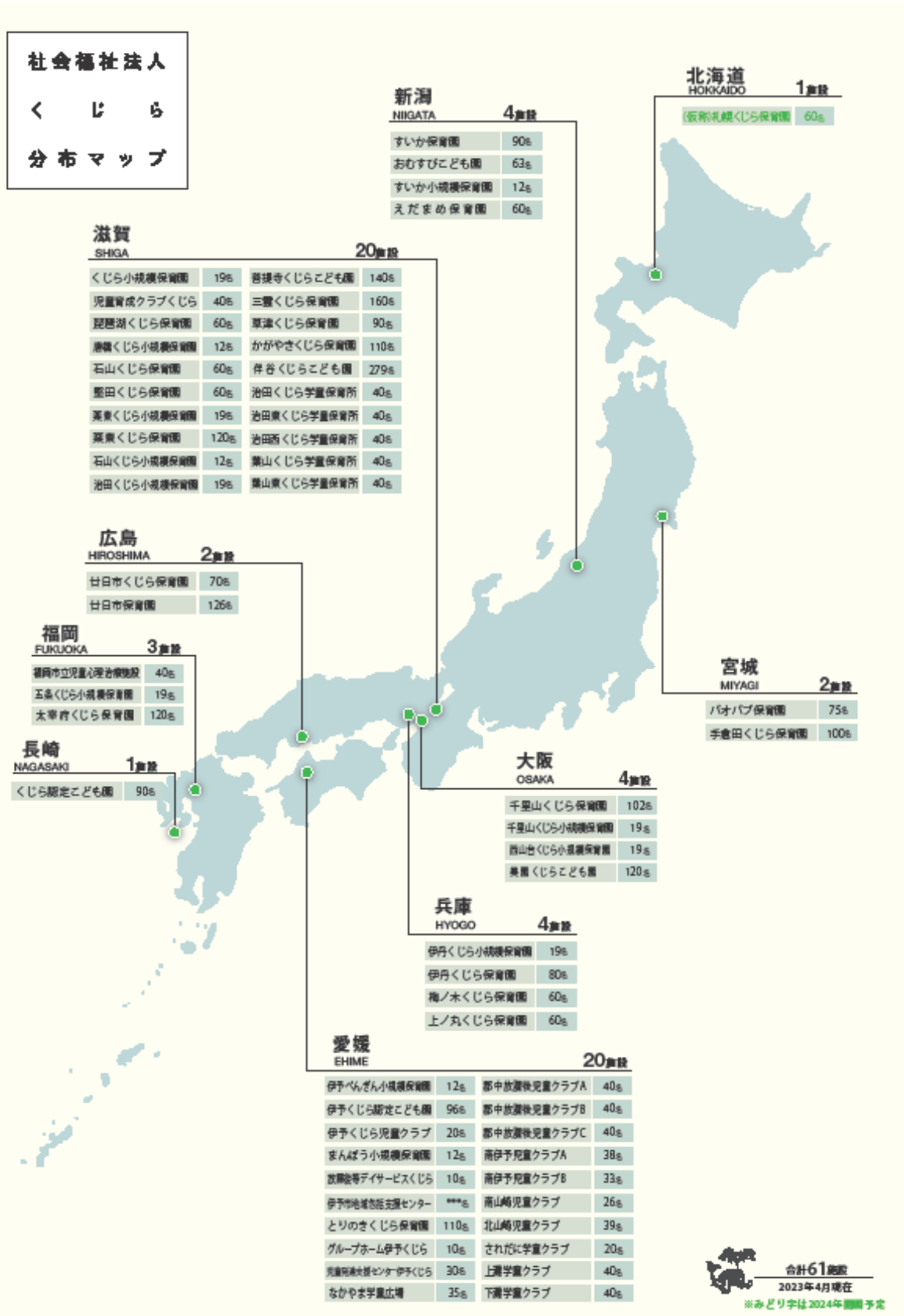
3. 沿革

2004年11月	長崎県大村市	くじら保育園 開園
2012年10月		地方裁量型認定こども園 認可 富の原くじら認定こども園
2013年3月		社会福祉法人くじら設立
2013年4月		保育所型認定こども園 富の原くじら認定こども園
2015年4月		施設移転に伴い園名をくじら認定こども園に変更
	滋賀県草津市	くじら小規模保育園 開園
	滋賀県草津市	児童育成クラブくじら 開所
	滋賀県草津市	児童育成クラブのびっこ南草津の委託運営開始（平成29年3月まで）
	新潟県新潟市	すいか保育園 開園（※）
2015年5月	愛媛県伊予市	伊予くじら小規模保育園 開園
2015年9月	愛媛県伊予市	伊予市児童クラブ（8事業所）の委託運営開始（平成30年3月まで）
2015年10月	愛媛県伊予市	伊予ぺんぎん小規模保育園 開園
2016年4月	滋賀県草津市	琵琶湖くじら保育園 開園
	滋賀県大津市	唐橋くじら小規模保育園 開園
	兵庫県伊丹市	伊丹くじら小規模保育園 開園
	愛媛県伊予市	放課後等デイサービスくじら 開所
	宮城県大崎市	バオバブ保育園 開園（※）
2017年3月	愛媛県伊予市	伊予くじら認定こども園開園に伴い、伊予くじら小規模保育園閉園
2017年4月	愛媛県伊予市	伊予くじら認定こども園 開園
	兵庫県伊丹市	伊丹くじら保育園 開園
	新潟県新潟市	おむすびこども園 開園（※）
	新潟県新潟市	すいか小規模保育園 開園（※）
2017年7月	愛媛県伊予市	伊予くじら児童クラブの委託運営開始
2018年4月	大阪府吹田市	千里山くじら保育園 開園
	広島県廿日市市	廿日市くじら保育園 開園
	滋賀県大津市	石山くじら保育園 開園
	滋賀県大津市	堅田くじら保育園 開園

	滋賀県栗東市	栗東くじら小規模保育園 開園
	新潟県新発田市	さくら通り保育園の委託運営開始 (令和2年3月まで)
2018年10月	愛媛県伊予市	伊予市地域包括支援センターの委託運営開始
2019年4月	愛媛県伊予市	まんぼう小規模保育園 開園
	滋賀県栗東市	栗東くじら保育園 開園
	滋賀県大津市	石山くじら小規模保育園 開園
	宮城県名取市	手倉田くじら保育園 開園
2019年10月	滋賀県栗東市	治田くじら小規模保育園 開園
2020年4月	広島県廿日市市	廿日市保育園 開園
	愛媛県伊予市	とりのきくじら保育園 開園
	滋賀県湖南市	菩提寺くじらこども園 開園
	滋賀県湖南市	三雲くじら保育園 開園
	兵庫県伊丹市	梅ノ木くじら保育園 開園
	福岡県福岡市	福岡市立児童心理治療施設の委託運営開始
	滋賀県栗東市	治田くじら学童保育所 開所
2020年11月	滋賀県栗東市	治田東くじら学童保育所 開所
	愛媛県伊予市	グループホーム伊予くじら 開所
	愛媛県伊予市	児童発達支援センター伊予くじら 開所
2021年1月	兵庫県明石市	上ノ丸くじら保育園 開園
2021年4月	滋賀県草津市	草津くじら保育園 開園
	滋賀県草津市	かがやきくじら保育園 開園
	大阪府吹田市	千里山くじら小規模保育園 開園
	愛媛県伊予市	伊予市児童クラブ(7事業所)の委託運営開始
	滋賀県栗東市	葉山くじら学童保育所 開所
	滋賀県栗東市	葉山東くじら学童保育所 開所
2021年8月	愛媛県伊予市	なかやま学童広場の委託運営開始
2022年4月	大阪府大阪狭山市	西山台くじら小規模保育園 開園
	福岡県太宰府市	五条くじら小規模保育園 開園
	愛媛県伊予市	されだに学童クラブの委託運営開始
		上灘学童クラブの委託運営開始
		下灘学童クラブの委託運営開始
2023年4月	福岡県太宰府市	太宰府くじら保育園 開園
	滋賀県甲賀市	伴谷くじらこども園 開園
	大阪府八尾市	美園くじらこども園 開園
	新潟県新潟市	えだまめ保育園 開園
2024年4月	滋賀県栗東市	治田西くじら学童保育所 開所
	北海道札幌市	(仮称)札幌くじら保育園 開園予定

(※) 2019年4月付で社会福祉法人クレッシェンドより事業譲受

4. 事業所一覧



5 . 事業内容

- (1) 第一種社会福祉事業
 - (あ) 児童心理治療施設の経営
- (2) 第二種社会福祉事業
 - (あ) 保育所の経営
 - (い) 小規模保育事業の経営
 - (う) 一時預かりの経営
 - (え) 放課後児童健全育成事業の経営
 - (お) 放課後等デイサービス事業の運営
 - (か) 幼保連携型認定こども園の経営
 - (き) 障害児通所支援事業の経営
 - (く) 障害児相談支援事業の経営
 - (け) 障害福祉サービス事業の経営

【全施設の在籍状況（令和5年3月1日時点）】

全 55 施設

・ こども園（4 施設）	416 名
・ 保育園（17 施設）	1,585 名
・ 小規模保育園（12 施設）	201 名
・ 放課後児童クラブ（14 施設）	410 名
・ 障害福祉系（4 施設）	91 名
総計	2,703 名

【財務の概要（かっこ内は前年度からの増減）】

1 資金収支

事業活動収入	:	3,971,067 千円	(403,643 千円増)
事業活動支出	:	3,702,631 千円	(447,682 千円増)
事業活動資金収支差額	:	312,475 千円	
当期資金収支差額合計	:	286,433 千円	

2 事業活動

サービス活動収益	:	3,927,507 千円	(394,436 千円増)
サービス活動費用	:	3,737,982 千円	(404,139 千円増)
経常増減差額	:	175,605 千円	
当期活動増減差額	:	171,255 千円	

3 貸借対照表

資産の部	:	8,752,564 千円	(3,083,632 千円増)
負債の部	:	3,864,742 千円	(1,641,429 千円増)
純資産の部	:	4,887,822 千円	(1,442,193 千円増)

【法人本部の活動状況】

■ 事業報告概要 ■

法人の業務管理体制を強化するため、人事・研修等を見直し、継続的に新人研修およびブロック長会議、施設長会議を実施した。

2022年度における新規事業については、小規模保育園2施設、自治体より委託の放課後児童クラブ3施設の運営がスタートした。

1. 実施状況

(1) 法人研修会の企画・運営

I. 研修部の目的

法人の離職者を減らし、同じ目標を有するものが地域の垣根を超え、仲間として一緒に質を高めていくため、オンラインで繋がり、講師の方の力を借り、コミュニケーションの取り方、子どもの命を預かる上で最も大切な知識を共有するものである。

(あ) 法人研修会の企画・運営

- ・2022年度は、新卒者11名のスタートであった。途中退職が1名。
毎月5人のグループに分かれて、対話を中心としたコミュニケーションの会を行った。
- ・コロナウイルス感染拡大防止中ということもあり、研修はオンライン中心。
- ・施設長については、10周年目を迎える年にあたり、【法人の目指すこども像・理念を振り返る1年】にすることになり、オンラインと対面の両方を行った。
- ・研修本部が仲介役になり、発達の専門と繋いだり、保健の対応について現場に合わせたやり方を行った。
- ・7月から、ブログ指導の講師との出会いもあり、新しい取り組みもできている。
- ・新卒研修経験で、2年目を迎える方を対象に、対面で宿泊研修も行った。
- ・研修の受講方法は、フォームを使用し、参加者名簿や、所感のとりまとめがスムーズになった。

(い) 施設長研修 8回

	日付	研修内容	参加者
1	2022年4月4日 ～8日	【めざすこども像】 3人@30分×10グループ	全施設長（オンライン）
2	2022年4月28日 ～29日	【めざすこども像】 in 滋賀	全施設長（対面）
3	2022年7月12日	【ブログ研修】 めざせブログ美人	全施設長（オンライン）

4	2022年7月22日—23日	【めざすこども像】 i n 宮城	長崎・愛媛・宮城・兵庫 新潟・広島・ブロック施設 長（対面）
5	2022年8月10日	【めざすこども像】 i n 宮城 の 報告会件グループワーク	BM・滋賀ブロック施設 長（オンライン）
6	2022年10月25日—26日	【めざすこども像】 i n 新潟	滋賀ブロック施設長 （対面）
7	2022年11月22日	【めざすこども像】 i n 新潟 の 報告会件グループワーク	長崎・愛媛・宮城・兵庫 新潟・広島・ブロッ ク施設長 （オンライン）
8	2023年1月21日—22日	【めざすこども像】 i n 兵庫	全施設長（対面）

（う）その他の研修 7回

〈保健〉

- ① 看護師が在中しない園も多く、法人としては〇〇していこうという、基本部分の知識が統一された。
- ② 対応に困ったときに、頼れる存在としても活用してほしい。

〈発達〉

- ① 障がい認定を受けている子のほかにも、愛着形成・家庭環境から引き起こす問題など、子どもの抱える問題は多岐にわたる現状の理解。
- ② 一方向からだけ見るのではなく、園が安心安全な場所になるよう、対応できるスキルを身に着けていく必要がある。
- ③ 表面的な発達の問題ではなく、保育士がこの子は〇〇と決めつけない保育を心掛けていくことの重要性を再認識できた。

〈言語〉

- ① 言語聴覚士という立場から、身体機能と言語は密接な関係や口の筋力はミルク時代から始まっているので、丁寧にに関わり変化に気を配っていく必要性を感じた。
- ② ことばを発するためには、運動機能と密接な関係がある。発達の順序を学ぶことで、一人一人に対するアプローチも変わってくることを学んだ。

〈ブログの研修〉

- ① コラムの校閲を手掛ける講師から、各園のブログを客観的に見てもらい、文章の構成、フィードバックを継続して行ってもらった。
- ② 更新頻度に差があるので、個別オンラインで、更新が難しいことの課題を講師と一緒に考える機会が持てた。
- ③ 定期的にメルマガを作成していただき、文章を書く時の基本を学べている。

	日付	研修内容	参加対象者
1	2022年6月21日	【保健】「重大事故予防について」 高橋 幸	自由
2	2022年8月2日	【言語】「幼児吃音ガイドライン」 大北 美佐	自由
3	2022年9月6日	【発達】「乳幼児期の心の発達」 中島 喜伸	自由
4	2022年11月8日	【保健】「基礎研修」 高橋 幸	自由
5	2022年12月6日	【発達】「対応に悩む子どもへの保育を考える」 中島 喜伸	自由
6	2023年1月24日	【ブログ】「採用に活かすブログの書き方」 奥 美希	自由
7	2023年2月7日	【言語】「言葉の発達と生活上の困り感」 大北 美佐	自由

* ブログに関しては、上記のほかに、不定期で更新頻度の少ない園に対し、オンライン指導を行った。

(え) 新卒研修 全 15 回

- ・ 2 グループに分かれ、職員・子ども・保護者それぞれのたち場になり考えて、円滑にするためには、どのようなコミュニケーションが必要なのかを、意見交換しながら学んだ。

- ・ 保健は全部で 3 回。

保育園で対処に合う基礎知識、見た目だけではわかりにくい、症状の見分け方、重大事故を防ぐには、日頃からどのようにしてたら良いかを学んだ。

看護師が在中しない園も多いため、保育看護知識は、必須である。

	日付	研修内容	参加者
1	2022年4月9日	【オリエンテーション】 山崎 誠	新卒者11名
2	2022年7月20日	【コミュニケーションについて】 山崎 誠	グループ①
3	2022年7月27日	【コミュニケーションについて】 山崎 誠	グループ②
4	2022年8月17日	【コミュニケーションについて】 山崎 誠	グループ①
5	2022年8月24日	【コミュニケーションについて】 山崎 誠	グループ②
6	2022年9月21日	【フォローアップ研修】 高橋 幸	全員
7	2022年10月19日	【コミュニケーションについて】 山崎 誠	グループ①
8	2022年10月26日	【コミュニケーションについて】 山崎 誠	グループ②

9	2022年11月16日	【症状の対処】	高橋 幸	全員
10	2022年12月21日	【コミュニケーションについて】	山崎 誠	グループ①
11	2022年12月28日	【コミュニケーションについて】	山崎 誠	グループ②
12	2023年1月18日	【重大事故予防】	高橋 幸	全員
13	2023年3月1日	【コミュニケーションについて】	山崎 誠	グループ①
14	2023年3月8日	【コミュニケーションについて】	山崎 誠	グループ②
15	2023年3月8日	全体のまとめ	山崎 誠 高橋 幸	全員

(お) 新卒同期会 (宿泊・対面研修)

	日 付	研修内容
1	2022年7月29日—30日	テーマ【つくる】 これから、どんな保育士になっていくか？ 現在の悩みは？どうしている？ ご当地自慢の、おにぎりづくりのプレゼン発表

*** 昨年からの研修部が発足し、オンラインでしかあったことがないメンバーを、対面で研修することで、同期の仲間意識を深める機会になった。**

(2) 理事会開催状況

年度	開催年月日 開催時間 時～時	出席者数 ／定数 (理事) (監事)	主たる議題
2022 (第1回)	5月7日 (13:00～13:30)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・園舎建替に伴う融資契約について ・運転資金融資契約について ・融資契約について ・運営規程の一部改定について ・認可保育所設置運営法人応募について ・保育所型認定こども園の整備交付金内示について ・設置運営事業者応募の選定結果について
2022 (第2回)	5月28日 (13:00～13:30)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計業者の選定について ・実施設計業者の選定について ・一般競争入札公告について ・実施設計業者の選定について ・実施設計業者の選定について
2022 (第3回)	6月11日 (13:00～13:40)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度決算、事業報告について ・会計監査人(監査法人)の設置について ・新園舎完成と引渡日について ・一般競争入札公告について ・認可保育所等整備事業者応募について ・役員等賠償責任保険契約について ・役員等報酬規程の一部改訂案について ・定款変更について ・2022年度第一回定時評議員会の開催について ・屋上園庭追加工事について ・公私連携契約について
2022 (第4回)	6月17日 (16:00～16:10)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・建設工事入札参加資格審査および決定について ・保育施設整備交付金の内示について
2022 (第5回)	6月23日 (13:00～13:10)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・建設工事入札参加資格審査および決定について ・保育施設整備交付金の内示について
2022 (第6回)	7月16日 (13:00～13:30)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・一時使用土地賃貸借契約について ・建設業者決定および工事契約について ・建設業者の入札について ・一般競争入札公告について ・定款変更について ・2022年度第一回臨時評議員会の開催について
2022 (第7回)	7月30日 (13:00～13:20)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・建設業者決定および工事契約について ・建設工事入札について ・処遇改善手当の一時支給について
2022 (第8回)	8月6日 (13:00～13:15)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・建設工事入札の延期について ・つなぎ融資契約について ・認可保育所等整備事業者応募の選考結果について
2022 (第9回)	8月24日 (13:00～13:15)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・建設工事入札延期と再公告について ・運営規程の一部改定について ・認可保育所設置運営法人応募の選考結果について
2022 (第10回)	9月3日 (13:00～13:25)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・建設工事入札参加申請業者について ・建設工事入札の最低価格について ・建設工事入札の予定価格について ・敷地造成工事について ・保育所等整備事業者応募について
2022 (第11回)	9月8日 (16:00～16:15)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・建設業者決定および工事契約について ・つなぎ融資契約について
2022 (第12回)	9月10日 (13:00～13:15)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・資金貸付について ・保育所繰越積立金取り崩しについて
2022 (第13回)	9月16日 (13:30～13:55)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・建設工事落札者決定について ・建設工事契約について ・建設工事に伴う融資契約について ・土地購入について

2022 (第14回)	9月17日 (13:00~13:45)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・育児・介護休業規程の改正について ・理事辞任申し出に伴う新理事の推薦について ・監事辞任申し出に伴う新監事の推薦について ・評議員選任・解任委員辞任に伴う新評議員選任・解任委員の選出について ・非常勤理事の報酬額案について ・2022年度第二回臨時評議員会の開催について
2022 (第15回)	10月22日 (13:00~13:15)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・つなぎ融資契約について ・民設学童保育所設置運営事業者応募について
2022 (第16回)	11月26日 (13:00~13:45)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年度第1次補正予算について ・前期末支払資金残高の取り崩しについて ・園舎建て替えについて ・定期借地権設定登記について ・諸規程の改正について ・民設学童保育所設置運営事業者選定および実施設計業者について
2022 (第17回)	12月3日 (13:00~13:15)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事業者の入札について ・認可保育所整備事業者応募について ・監査における文書指摘事項について
2022 (第18回)	12月17日 (13:00~13:10)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事に係わる入札予定価格について
2022 (第19回)	12月24日 (13:00~13:20)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事業者決定および工事契約について ・監査指摘事項に係わる回答書の提出について ・認可保育所整備事業者提案書の提出について ・保育所等整備事業者応募の選考結果について
2022 (第20回)	1月28日 (13:00~13:50)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度施設長選任について ・つなぎ融資契約について ・保育施設等設置運営事業者応募について
2022 (第21回)	3月4日 (13:00~14:15)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年度第2次補正予算について ・2023年度当初予算について ・保育所繰越積立資産の取り崩しについてと目的外利用について ・つなぎ融資契約について ・融資契約について ・定期借地権設定契約について ・給食業者の入札結果について ・新園舎完成と引渡日について ・諸規程の改正について ・新設園運営規程の作成について ・運営規程一部改定について ・安全計画の制定について ・幼保連携型認定こども園設置運営法人応募について ・建物夜間侵入事件について
2022 (第22回)	3月21日 (13:00~13:25)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・新築工事実施設計・工事監理業務の契約方法について
2022 (第23回)	3月25日 (13:00~14:15)	6/6 2/2	<ul style="list-style-type: none"> ・2023年度事業計画について ・前期末支払資金残高の取り崩しについて ・保育所繰越積立資産の積み立てについて ・銀行との特別当座貸越取引について ・つなぎ融資契約について ・土地購入について ・福祉医療機構からの借入について ・施設長選任について ・2023年度施設長の本俸額について ・監査指摘事項について ・放課後児童健全育成事業業務委託について ・資金貸付返還について

(3) 評議員会開催状況

年度	開催年月日 開催時間 時～時	出席者数 ／定数 (評議員) (理事) (監事)	主たる議題
2022 (第1回)	6月26日 (13:00～13:30)	7/7 3/6 2/2	<ul style="list-style-type: none">・2021年度事業報告及び決算報告について・会計監査人(監査法人)の選任について・園舎建替に伴う融資と抵当権の設定について・定款変更の承認について・役員等報酬規程の一部改訂について
2022 (臨時第1回)	7月24日 (13:00～13:10)	7/7 3/6 2/2	<ul style="list-style-type: none">・定款変更の承認について
2022 (臨時第2回)	9月25日 (13:00～13:20)	7/7 3/6 2/2	<ul style="list-style-type: none">・理事選任について・監事選任について・非常勤理事報酬について

2022 年度事業報告書

1. 施設の理念

おもしろいことなんでもくじら級

園児が、将来にわたって心身ともに健康で、思いやりがあり、何処にあっても生き抜ける力を育成するためには、保育者自身が健康で明るい家庭環境を醸成し、保育園にあっては保育者同士がお互いを思いやるとともに、個々の子どもの気持ちを感じて毎日を健やかに過ごすことにある。

子どもの夢も体も「くじら」のように大きくなる保育を行い、基本的な生活習慣を家庭と一緒に築き、個々の「やりたいこと」を達成できるように援助していく。

2. 事業実績

平成 25 年 4 月 社会福祉法人くじら創立と同時に、認定こども園として認定を受け 10 年が経過した。

この間、大きな事故等もなく、安全で温かいこども園となるよう努力を重ねてきた。

90 名定員に対して 99 名のスタートで、0 歳児受け入れについても 4 月より 5 名入所となった。

今年も新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、行事や活動は中止せず運動会は部外施設での開催とし、人数制限を行い発表会では未満児、以上児クラスに分け 2 回とし保護者の方にも協力を得て頂いての開催とした。

安全面では、6 月に大村警察署のスクールサポーター担当者より園に来園して頂き、園児対象に不審者に対する防犯対策・保育者に対してさす又の使用についての訓練を行った。より一層子どもの安全面について配慮した。

保護者支援では、保護者の意見を理解する為に保育評価に関するアンケートを実施し、ひとつ一つの意見を真摯に受け止め、早急に改善できるものは改善に取り組み、保護者との信頼関係を築くよう務めた。

これからも安心して頂ける温かいこども園を目指すと共に、職員一同日々、保育資質の向上に努めていきたい。

2022 年度職員動向

(1) 職員総数：32 名（2022 年 4 月 1 日現在）

- ①常勤職員 : 19 名
- ②フルパート職員 : 2 名
- ③パート職員 : 11 名
- ④嘱託医(内科、歯科) : 2 名

(2) 職員採用・退職（退職者がある場合、それを補充する形で随時採用

保育需要に応じた職員配置を検討し随時採用）

- ・ 4 月…常勤保育士 2 名採用 ・常勤保育士 1 名(産休)
- ・ 5 月…保育補助 1 名採用
- ・ 8 月…常勤保育士 1 名(産休) ・保育補助 1 名採用 ・保育補助 1 名退職
- ・ 9 月…常勤保育士 1 名復帰 ・保育補助 1 名採用
- ・ 10 月…パート保育士 1 名復帰
- ・ 11 月…保育補助 1 名採用
- ・ 12 月…常勤事務員 1 名採用

(3) 各種会議

- (イ) 保育・給食会議 : 12回
- (ロ) 管理者会議 : 不定期
- (ハ) クラス会議 : 12回
- (ニ) 苦情会議 : 不定期

(4) 定員及び園児数

- (イ) 定員 : 80名 (短時間部 :10名)
- (ロ) 園児数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	平均
園児数	95	95	96	97	98	98	100	100	100	100	100	100	1,179	98
短時間	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	38	3

(5) 保育

- (イ) 教育保育の理念 : おもしろいことなんでもくじら級
- (ロ) めざす子ども像 :
 - ・自分の力で生きぬく子ども
 - ・夢に向かって頑張る子ども
 - ・地域を愛する子ども

(ハ) 保育実践内容

- ア 保育理念や保育目標に基づき、情緒が安定した生活ができる様な環境に配慮し、一人ひとりが自己を十分発揮して積極的に活動できるようにした。
- イ 基本的な生活習慣や集団生活に必要なルール等を遊びの中で身につけさせた。
- ウ 様々な運動遊び(体育教室等)を通して、機敏な動作、正しい姿勢や責任感を身につけさせた。また、目標に向かって協力し合い個々の役割を果たす事で達成感を味わい、クラスとしてのつながりを深めていった。
- エ 食育の一貫として、年長児を中心に、シロップ・しそジュース作り、パプリカの肉巻き、クリスマスのデコレーション作りにも挑戦した。年少児も食育の一環として、おにぎり作り、おだんご作り、ピザ作り、ババロア作りなどのクッキングを行い食べる楽しさを味わった。
- オ くじら農園では芋さしや、野菜の収穫を楽しみ食育への関心を深めた。

(6) 保育計画

- (イ) 保育時間 : ア) 保育標準認定・・・ 7:00 ~ 18:00
イ) 保育短時間認定・・・ 8:30 ~ 16:30

(ロ) 延長保育 : 18:00~19:00

- ・月極利用者(2022年4月1日現在)

時間帯	人数
18:00 ~ 18:30	4
18:00 ~ 19:00	6

(ハ) 特別保育事業 : 延長保育、子育て支援

子育て支援【月別参加数】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
子ども	36	40	35	21	53	37	38	35	42	30	40	48	455	38
大人	31	36	28	20	40	32	33	33	37	31	40	41	402	34
人数	67	76	63	41	93	69	71	68	79	61	80	89	857	72

事業内容

- ①親子遊び : 未就園児の親子と一緒に楽しく遊び触れ合いながら、仲間作りや情報交換が出来る場を提供した。
 : 戸外遊び、体育教室、七夕製作、お散歩、室内遊び(パズル、滑り台)、フラダンス
 : 運動会ごっこ、大型遊具遊び、ハロウィン衣装作り、ひな祭り製作、誕生会参加
 : クッキング、ぜんざい会、敬老の日ハガキ作り、おり紙リース作り、フィンガーペイント
 : クリスマス製作、クリスマス会、小麦粉粘土、親子触れ合いダンス、サーキット遊び
 : 各月の身体測定、お祭りごっこ、足型ダルマ製作、手型、足型アート、風車製作
 : 節分会参加、ひな祭り参加、節分製作(豆まき会)、写真立て製作、ビニール風船遊び
 : クリスマスリース作り、クリスマス製作、手作りおもちゃ、いちご狩り、こいのぼり製作
- ②青空デー : 戸外活動では、水遊び、プール遊び、シャボン玉遊び、園庭遊び等で交流を深めていった。
- ③こども園体験 : 園行事の参加を募り、未就園児に対して就園前に集団生活を体験し活動に楽しく参加できる場を設けたかったが、コロナ感染対策の為こども園体験は中止とした。

実施日(曜日) 週3日 ・月曜日 ・水曜日 ・金曜日

実施時間 10:00~11:30

- (二) 行事 : *別紙1 行事報告書参照
- (ホ) 日課 : *別紙2 ディリープログラム参照

(7) 給食

- 完全給食 : ア 玄関前にその日の献立を掲示し、保護者にもわかりやすく伝え降園時には、親子で楽しそうに話している様子が見られた。
- イ 味付けは化学調味料を使用せず、素材の味・風味を生かし薄味にした。
- ウ 食前食後の挨拶をし、感謝をしていただくという気持ちをもたせ、皆で食べる楽しさや行儀面の意識を高めた。
- エ 毎月19日は食育の日とし、各地の郷土料理等テーマを持った献立の導入を図った。
- オ アレルギー体質の子どもには、医師の診断のもとアレルギー除去食で対応した。
- カ 安心安全の食材の調達と衛生管理、手作りメニュー・楽しい食事の提供。
- キ 未就園児おやつ、給食、おやつの実施・クッキング保育を実施し食育へと繋がった。

(8) 健康管理

(イ) 児童

①内科検診 : 年 2回 (嘱託医: ふじもとこどもクリニック)

②歯科検診 : 年 1回 (嘱託医: 井上歯科医院)

嘱託医による検診を実施。欠席の児童は後日、保護者が受診させ全児の健康管理に努めた。

③尿検査 : 年 2回 (3歳以上児実施・要検査なし)

④身体測定 : 毎月、身長、体重の測定をしてその結果を保護者に伝えた。

(ロ) 職員

①定期健康診断 : 年 1回 小松内科にて、職員が健康診断を11月に実施

②腸内細菌検査 : 年12回 (有研)サルモレラ菌・病原性大腸菌(O-157)の検査実施
給食職員・0歳児担当職員を対象に実施。全員異常なし

(9) 非常災害危険防止等、防災訓練の実践状況

(イ) 避難・消火訓練 : 年 12回

(ロ) 防犯訓練 : 年 2回

月1回避難訓練を行い火災・地震等の災害を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を指導した。4月には自主訓練(通報訓練)を実施。職員に対して消火器を使つての訓練も実施した。避難時や誘導時また、消火の際の留意点などを再確認する事が出来た。

(派) 安全管理: 年: 12回 安全管理士1名を命名し、子どもの安全について今年もリモートでの研修会に参加した。ヒヤリハットやアクシデントが生じる時は、報告書を提出し全職員で共有し危険には迅速に対応することとし、事故に繋がらないように努めた。

(二) 交通安全指導: 年: 4回(交通指導員来園)

交通安全課の指導のもと、交通ルールについての指導を受け、全児を対象に交通安全について興味を持たせ、ルールを守る事の大切さの指導を受けた。

コロナ感染予防の為、各クラス別での参加とした月も生じた。

(ホ) 小学校との連携: コロナ感染予防対策の為、園児と児童との交流を深める触れ合い体験では、各クラス別に年齢に応じたおもちゃ等をプレゼントしてもらい交流を深めた。

年長児は小学校体験を通し小学校入学の期待へと繋げた。

(ハ) 施設訪問: 近隣にある老人施設との交流会を5歳児対象に行っていたが、今年もコロナ感染防止の為、子ども達の製作等や、歌声の録音等を施設まで2歳児と5歳児が届けにいった。コロナ収束後は、交流会を通し家庭や保育園とは違った「人の優しさ」「人の温かさ」に触れ優しい心情を育てていきたい。

2022 年度研修報告

月	研修内容	発表者
4/9	心肺蘇生法	保育士
5/28	気になる子ってどんな子？	保育士
6/11	マスク時代だからこそ育もう感情を表現する「感情力」	保育士
7/9	自己表現「アサーション」について	保育士
8/27	音楽活動	保育士
9/29	わくわく鍵盤ハーモニカ	保育士
10/29	子どもの目線で絵を描こう	保育士
11/29	心肺蘇生法訓練	保育士
12/	わらべうたを楽しもう	保育士
1/14	否定語と肯定語について	保育士
2/27	子どもの皮膚について	保育士
3/16	保育所における自己点検・自己評価	園長

[園内研修] 各テーマに基づき、発表者が研究を行い発表し、その他の職員と意見交換を行う

*各テーマに基づき、発表者が研究を行い発表し、その他の職員と意見交換を行う

*保育士同士が意見を交し合い、新しいものを生み出していく場とする。

3. 2022 年度中に医師の診断を受けた事故報告

[事例報告]

発生日	年齢	事故内容	実施した対策	結果
5/19	4 歳児	本児が他児とキャッチボール遊びをしている際、右手中指を突き指した。	硬いサッカーボールでの、キャッチボールはしない様に話を する。	整形外科受診 レントゲン異常なし 即日治療完了
5/31	4 歳児	自由遊びをしている時、ひも通し用の玩具が絡み滑って転倒し、前歯から出血しぐらつきが見られた。	遊具場遊びでのお約束事をも う一度、再指導する。 床に遊具を散乱しない様、片付 けておく。	歯科医院受診 歯の固定をしている 為、2週間後に再受診
10/14	3 歳児	園庭でフープを持って遊んで いる際、転倒し歯茎を打ち出血 した。	着ていた衣服の裾が長く、転び やすくなっていたので、活動し やすい服装か確認する。	歯科医院受診 異常なし 即日治療完了
10/15	3 歳児	遊具の階段（公園）で、足を踏 み外し右ひざの内側をぶつけ る。	戸外活動での遊具遊び時には、 危険性を伝え、お約束事を再度 指導する。	整形外科受診 3日後念の為、受診
10/20	4 歳児	大型遊具（ビオトープ側）の滑 り台のロープにぶら下がり、 下段のロープで前歯をうちぐ らつきがみられた。	遊具場遊びでのお約束事をも う一度再指導すると共に、楽し い遊びの中にもどの様な危険 があるかを知らせる。	歯科医院受診 即日治療完了 ぐらつきは特に、異常 なし
10/26	4 歳児	大型遊具の螺旋遊具で、顎を擦 りその拍子で手を放してしま い砂場に落下。	遊具での遊び方について再度、 危険につながる事等を伝え、見 守りを徹底する。	小児科受診 即日治療完了
11/4	4 歳児	園庭で他児と衝突し、他児の頭 と本児の下唇とぶつかり歯か ら出血する。	周りをよく見て遊ぶように伝 え、見守りを徹底する。	歯科医院受診 即日治療完了
11/16	5 歳児	サッカー遊びをしている時、他 児とぶつかり後ろに転倒した。 その際に三輪車で通ったタイ ヤで後頭部を打ち打撲と、内出 血があった。	周りには危険がある事を伝え、 遊ぶ場所を決め、遊び方につい て再度確認する。	整形外科受診 即日治療完了 特に異常なし
11/29	5 歳児	室内でのゲーム遊び時、対戦す るチームの交代時に、勝って喜 んだ他児がジャンした際、本児 の左手指を踏む。	勝った気持ちを共有した後に、 落ち着いた雰囲気作りをし、他 の場所へと移動していくよう 指導する。	整形外科受診 即日治療完了

発生日	年齢	事故内容	実施した対策	結果
R5.1/18	4歳児	園庭で、両手後ろでフープを持ち遊んでいる際、転倒し顎を砂地で強打し、顎が切れ出血する。	手を付けない状態での遊び方をしている様なときは、声をかけ気を付けて見守っていく。	整形外科受診 4針縫合 要受診
3/1	2歳児	大型遊具の階段で遊んでいる時階段から落下した際、歯で右口角を切る。(下の段2段目)	遊具での遊び方を指導し、その都度声掛けを行い見守っていく。	整形外科受診 3月針縫合 要受診
3/4	5歳児	公園遊具の下で鬼ごっこ遊びをしている時、遊具部分でおでこをぶつけ出血する。	遊具場所では、鬼ごっこ遊びは危険がある事を伝える。危険な遊びをしていないか見守る。	整形外科受診 4針縫合 要通院2日間

2022年度 園外研修

月日	研修内容	オンライン研修	場所	参加者
5/12	安全研修① 子どもの事故・安全・予防の理解	○	自園	保育士
5/17	4歳児発達支援研修	—	大村市	保育士
5/23~24	幼稚園新規採用教員研修Ⅰ	—	〃	保育士
6/9	安全研修② 子どもの安全を守るためにー1	○	自園	保育士
6/9~10	園長等運営管理協議会研修	○	〃	園長
6/21	社福研修 重大事故予防	○	〃	保育士
7/7	安全研修③ 子どもの事故をしるー1	○	〃	保育士
7/12	社福研修 めざせ！ブログ美人	○	〃	園長・保育士
7/14~15	学校安全推進研修会	—	長崎市	主任保育士
7/20	社福研修 新卒研修	○	自園	保育士
7/29	幼少接続期における子どもの育ちと先生のかかわり」	—	大村市	保育士
8/2	社福研修 子どもの言葉の発達	○	自園	保育士
8/4	安全研修④ 緊急時の対応	○	〃	保育士
8/9~10	幼稚園新規採用教員研修Ⅱ	—	大村市	保育士
8/17	社福研修 コミュニケーションについて	○	自園	保育士
8/24	明日の保育にすぐ役立つワークショップ	—	大村市	保育士2名
8/30	子どもの見方をちょっと変えて子どもの味方になりましょう	—	〃	保育士
9/6	社福研修 乳幼児期の心の発達	○	自園	保育士
9/8	安全研修⑤ 子どもの事故を知るー2	○	〃	保育士
9/21	社福研修 新卒フォローアップ保健研修	○	〃	保育士
9/28	わくわく鍵盤ハーモニカ	—	大村市	保育士2名
10/4	支援が必要な子の保護者の立場から考える園との関係	—	大村市	保育士
10/6	安全研修⑥ 子どもの安全を守るためにー2	○	自園	保育士
10/25~26	社福研修 施設長研修会	—	新潟県	園長
11/8	社福研修 保健 基礎研修	○	自園	保育士
11/10	安全研修⑦ 事故が起きる前に考えるー1	○	〃	保育士
11/16	社福研修 体調不良時の対応について	○	〃	保育士
11/18	子育て支援員研修	—	諫早市	保育補助
12/6	社福研修 対応に悩む子どもへの保育を考える	○	自園	保育士
12/6	保育施設と保育者養成校が連携した教育・保育実習	—	大村市	主任保育士
12/8	安全研修⑧ 子どもの事故をしるー3	○	自園	保育士
12/14.16.19	キャリアアップ研修 幼児教育・障害児保育	○	〃	保育士2名
12/20、23	キャリアアップ研修 幼児教育	○	〃	保育士3名
12/28	社福研修 新人研修	○	〃	保育士
R5.1/12.	安全研修⑨ 事故が起きる前に考えるー2	○	〃	保育士
1/12.16.19	キャリアアップ研修 保健衛生・安全対策	○	〃	保育士2名
1/18	社福研修 新卒研修 重大事故について	○	〃	保育士

1/18	地区別連絡会	—	大村市	主任保育士
1/21~22	社福研修 施設長研修会	—	兵庫県	園長
1/24	社福研修 保育士採用に生きるブログ記事の作り方	○	自園	保育士
2/1、3、6	キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援	○	//	保育士2名
2/7、9	キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援	○	//	保育士2名
2/7	社福研修 言葉の発達と、生活上の困り感～事例から考える	○	//	保育士
2/9	安全研修⑩ 地域での子どもの事故予防活動について	○	//	保育士
2/15	社福研修 新人研修	○	//	保育士
3/1	社福研修 新人研修 チームワーク	○	//	保育士
3/15	社福研修 新人研修 まとめ	○	//	保育士

2022 年度行事一覧

別紙 1

月	行事
4月	・入対面式・進級式 ・歓迎遠足 ・身体測定 ・避難訓練（通報訓練） ・誕生会 ・体育教室 ・こどもの日お祝い会・交通安全教室
5月	・身体測定 ・避難訓練 ・誕生会 ・体育教室 ・運動会 ・サッカー教室(5歳児) ・そら豆の収穫体験(4.5歳児) ・そら豆の皮むき体験（全児対象） ・玉ねぎの収穫体験(3～5歳児)
6月	・芋さし(5歳児)・体育教室・サッカー教室(5歳児) ・クッキングシロップ作り(3～5歳児) ・体育教室(以上児)・おにぎりクッキング(1.2歳児)・カラーピーマンの苗植え(5歳児)・誕生会 ・しそジュース作り(5歳児)・避難訓練・園児健康診断・尿検査(以上児)・歯科検診・防犯研修 ・サッカー教室(5歳児)・誕生会
7月	・プール開き ・七夕会 ・交通安全教室 ・身体測定 ・避難訓練 ・誕生会 ・体育教室 ・音楽教室 ・とうもろこしの皮むき(未満児)
8月	・身体測定・避難訓練 ・誕生会 ・音楽教室・すいか割り・茄子の素焼き、塩もみ(3歳児)・誕生会 ・くじらっこお楽しみ会・平和のお話会(4,5歳児) ・さつま芋つるの皮むき(以上児)・体育教室
9月	・身体測定・避難訓練(非常食体験)・誕生会・お月見団子(4歳児)・じゃが芋お団子作り(1.2歳児)・ パプリカの肉巻き、お月見団子作り(5歳児)・保育参観・サッカー教室・体育教室
10月	・体育教室 ・音楽教室 ・サッカー教室 ・誕生会 ・親子遠足(ハロウィンパレード) ・アート教室(5歳児)・芋掘り(4.5歳児くじら農園)・芋掘り(1.3歳児ピオトープ畑)・交通安全教室 ・スイートポテト作り(1歳児)・思い出遠足(5歳児) ・未満児食育(きのこほぐし体験) ・そら豆の種まき、枝豆収穫(4歳児)・富小交流会(おもちゃでの交流) ・避難訓練(通報訓練)・パンケーキ作り(3歳児)・ステックブロッコリーの苗植え(5歳児)
11月	・体育教室 ・個人面談 ・音楽指導 ・サッカー教室 ・身体測定 ・避難訓練 ・誕生会 ・くじらゲルニカ(風車4,5歳児)・くじら創立記念日・園児健康診断 ・秋の遠足 ・焼き芋会 ・そら豆の苗植え・大豆収穫(4歳児)・たまねぎの苗植え(2.3歳児)
12月	・音楽教室 ・避難訓練 ・体育教室・誕生会 ・尿検査(以上児)・クリスマス会 ・サッカー教室(5歳児)・クッキング(Xmasトッピング)・きな粉トースト作り(4歳児) ・キッチンカー体験(さつま芋ステック)・オムズ施設へのXmasプレゼント届け(2,5歳児)
1月	・保育始め ・交通安全教室 ・体育教室 ・身体測定 ・避難訓練 ・誕生会 ・音楽教室 ・もちつき大会 ・生活発表会(未満児)・サッカー教室(5歳児)
2月	・節分豆まき・身体測定 ・避難訓練 ・誕生会 ・生活発表会(以上児) ・音楽教室 ・体育教室 ・サッカー教室(5歳児)・ハンバーガー。パバロアクッキング(未満児) ・マーブルクッキー作り(以上児)
3月	・お別れ遠足 ・ひな祭り会 ・サッカー教室(5歳児)・誕生会 ・音楽指導・いるか交流会(未満児) ・小学校見学(5歳児)・体育教室・ピザ作り(未満児)・卒園おめでとうランチ ・卒園児と在園児のお別れ会 ・卒園式

時刻	長時間部（月一土）						短時間部 （月一金）
	3号認定			2号認定			1号認定
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	3.4.5歳児
7:00	開園 順次登園 （視診・検温） 自由遊び	開園 順次登園 （視診・検温） 自由遊び	開園 順次登園 （視診） 自由遊び	開園 順次登園 （視診） 自由遊び	開園 順次登園 （視診） 自由遊び	開園 順次当園 （視診） 自由遊び	
8:30							開園（視診）
9:00	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼	朝礼
9:30	おやつ 朝の会 排泄	おやつ 朝の会 排泄	おやつ 朝の会 排泄	朝の会 排泄	朝の会 排泄	朝の会 排泄	朝の会 排泄
10:00	月齢に 応じた遊び	主活動	主活動	主活動	主活動	主活動	主活動
11:00	離乳食	排泄	排泄	排泄			
11:10		給食			排泄		
11:15		排泄	給食			排泄	排泄
11:30	午睡	午睡	排泄	給食	給食	給食	給食
13:00			午睡	排泄	排泄	排泄	
13:15				午睡	午睡	午睡	
13:30							降園 必要に 応じて 預かり 保育
14:45	排泄	排泄	排泄	排泄	排泄	排泄	必要に 応じて 預かり 保育
15:00	おやつ	おやつ	おやつ	おやつ	おやつ	おやつ	おやつ
15:30	帰りの会 月齢に 応じた 遊び	帰りの会 自由遊び	帰りの会 自由遊び	帰りの会 自由遊び	帰りの会 自由遊び	帰りの会 自由遊び	帰りの会 自由遊び
16:00	順次降園	順次降園	順次降園	順次降園	順次降園	順次降園	順次降園
18:00	必要に 応じて	必要に 応じて	必要に 応じて	必要に 応じて	必要に 応じて	必要に 応じて	閉園
18:30	延長 保育	延長 保育	延長 保育	延長 保育	延長 保育	延長 保育	
19:00	閉園	閉園	閉園	閉園	閉園	閉園	

2022年度 おむすびこども園 事業報告書

1. 施設の目的

保護者が就労や、傷病の為、家庭において十分に保育することが出来ない児童を、家庭の保護者によって保育をすることを目的とし、通園する児童の心身の健全な発達を図る役割を有するものである。

また、小学校就学前の子どもを受け入れ、教育・保育を一体的に行う。すべての子どもに質の高い乳幼児期の教育・保育並びに保護者に対する子育て支援を総合的に提供します。

2. 事業実績

4月に71名でスタートした。

コロナウイルスの流行を念頭に置き、社会情勢を鑑み、検温や消毒、喚起、体調管理を徹底し保育や行事を行った。昨年度よりも緩和された中での取り組みであったが、保護者の方には最善の対応を呼びかけ、マスクや消毒、お子様やご家族の体調管理、体調不良時は家庭での保育等にご協力をお願いし、感染拡大を防ぎながら保育を行った。

送迎時、園内に入ることが出来ない保護者の方への対応は、連絡帳で細かく子ども達の様子を記入したり、送迎時に口頭で伝達したりとコミュニケーションをとるように職員で周知した。

子ども達の活動を以前のように完全に戻すことは出来なかったが、クラスごとに園外保育に出かけ、現地でお弁当を食べたり、貸し切りバスを借りて出かけることも多数行った。日々の保育では、クラスごとの活動以外に縦割りでの活動も再開し異年齢の友達と関わる機会を多く行ったり、季節の行事なども集会を設け行ったりした。

今年もコロナウイルスの影響で、地域交流や小学校に足を運ぶことが出来なかったが、ZOOMを通して小学校の活動を見たり、小学校からの取り組みに参加したり、出来る形での交流を行う事が出来た。2023子どもたちの成長を促し、保護者の方に安心して頂ける園づくりを更に努めて参ります。

3. 2022年度 職員動向

- (1) 職員総数 : 25名 (2022年4月1日現在)
- (イ) 常勤職員 : 17名
- (ロ) 準職員 : 3名
- (ハ) パート職員 : 5名
- ※嘱託医2名は委託契約
- (二) 異動職員 : 0名

(2) 職員採用状況

退職職員がある場合に、それを補充する形での随時採用
保育需要に応じた職員配置を検討し随時採用

(3) 各種会議

- (イ) 職員会議 : 毎月1回
(ロ) 給食会議 : 毎月1回
(ハ) 苦情会議 : 不定期

(4) 定員及び通園園児数

- (イ) 通園定員 : 63名
(ロ) 園児数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
園児数	71	71	71	72	71	71	69	68	72	72	72	72	852	71

- (ハ) 保育日数 日/年

(5) 保育計画

- (イ) めざすこども像 : 「自分の力で生きぬく子ども」
「夢に向かって頑張る子ども」
「地域を愛する子ども」

- (ロ) 保育時間 : (標準) 午前7時00分～午後6時00分
(短時間) 午前8時00分～午後4時00分

- (ハ) 延長保育 : (標準) 午後6時01分～午後7時00分 (100円/30分)
(短時間) 午前7時00分～午前7時59分 (100円/30分)
(短時間) 午後4時01分～午後7時00分 (100円/30分)

- (ニ) 保育内容 : 各年齢の年間指導計画及び月指導計画に基づいた保育内容

- (ホ) 特別保育事業 : 延長保育・緊急一時預かり保育

- (ヘ) 日課 : 別紙1 デイリープログラム参照

- (ト) 行事 : 別紙2 行事報告参照

(6) 給食

- (イ) 全児童 : 完全給食
アレルギー児 : 除去食対応 (3名)
食育活動 : コロナウイルス感染対策を徹底して食育活動を再開した
毎月クラスごとに食育活動を取り入れ、子ども達の食への興味や関心を高めるよう心掛けた
頻繁に出る野菜以外に季節ものは3, 4, 5歳児全クラスで食育を行うようした
(蓮根、菊、とうもろこし、冬瓜、七草等)
年長はおにぎりがおやつ提供の際、子どもたち自身が握り食育へとつなげた
未満児も食材に触ったり、匂いを嗅いだりして食育を行った

(7) 健康管理

(イ) 児童

- ①内科健診 : 年 2回 (嘱託医 未来クリニック)
②歯科健診 : 年 1回 (嘱託医 あおば歯科)
③尿検査 : 年 1回 (業者)
④眼科健診 : 2年に1度
視力検査 : 年 1回

(ロ) 職員

- ①定期健康診断 : 年 1回
②検便 : 年 12回
③予防接種 : 年 1回

(8) 非常災害危険防止

- (イ) 避難訓練 : 年 12回
(ロ) 不審者訓練 : 年 12回
(ハ) 総合避難訓練・消化訓練 : 年 2回
(二) 引き渡し訓練 : 年 1回
(ロ) 交通安全指導(3, 4, 5歳児) : 年 1回
(5歳児のみ) : 年 1回

(9) 研修 : 別紙3研修報告参照

保育ディレクタープログラム

時 間	乳幼児			幼児	
	0歳児前半	0歳児後半	1・2歳児	3・4歳児	5歳児
7:00	《 随 時 登 園 》				
8:00	オムツ交換 検温 保育者と遊ぶ	オムツ交換 検温 保育者と遊ぶ	オムツ交換 排泄・検温	排泄 自由遊び	排泄 自由遊び
9:00	ミルク 睡眠・休憩		お集まり		
9:30			午前おやつ	片付け お集まり	片付け お集まり
10:00	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 月齢にあわせた活動 スキンシップ わらべうたあそび リズムなど </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 年齢に即した活動 制作、戸外遊び、園外散歩 ダンス教室、アルビサッカー 教室、スイミング教室など </div>		
11:00	オムツ交換	オムツ交換 手洗い 離乳食	オムツ交換 排泄・手洗い	排泄・手洗い	排泄・手洗い
11:15					
11:30	ミルク	ミルク	食事準備 給食	食事準備 給食	食事準備 給食
12:00				歯磨き 着替え	歯磨き 着替え
12:15	順次、午睡	順次、午睡		午睡	午睡（後期にな るとなくなります）
12:30			午睡		
14:30	順次、目覚め オムツ交換	目覚め オムツ交換		目覚め	目覚め
15:00	ミルク	手洗い おやつ	目覚め オムツ交換	排泄・手洗い おやつ	排泄・手洗い おやつ
15:15			排泄・手洗い おやつ		
16:00			帰りのあいさつ	帰りのあいさつ	帰りのあいさつ
18:00	ミルク	ミルク	おやつ	おやつ	おやつ
19:00	《 最 終 園 児 降 園 》				

2022 年度 年間行事報告

月	事業内容
4	対面式
5	未満児(1.2)クラス懇談会 以上児個人懇談
6	0歳児保育参加 サマーフェスティバル
7	内科健診 七夕集会 プール開き うみWEEK
8	0歳児お楽しみ会
9	ふれあいデーリハ ふれあいデー ふれあいデー 引き渡し訓練
10	園外保育 眼科健診 サッカー交流会(年長)
11	5歳児個人懇談 1歳児お楽しみ会 内科健診
12	以上児発表会 クリスマス会
1	未満児個人懇談
2	まめまき集会 作品展WEEK
3	ひな祭り集会 交通安全教室 卒園式 お別れ会 進級おめでとう会

2022 年度 研修報告

1. 園外研修

日付	研修内容	場所	参加者
6月	乳児保育講座	新潟市	阿部・畔上
6月～12月	東区私立保育施設合同0. 1歳児研修	新潟市	畔上
6月～12月	東区私立保育施設合同2歳児研修	新潟市	阿部
6月～12月	東区私立保育施設合同3歳児研修	新潟市	堀川・木口
6月～12月	東区私立保育施設合同4歳児研修	新潟市	大越
6月～12月	東区私立保育施設合同5歳児研修	新潟市	本間
7月	乳幼児期のアトピーとアレルギー 育児とメディア	新潟市	本間
7月～9月	発達コーディネーター	新潟市	古谷
7月	虐待対応 苦情解決	新潟市	野口・大越
7月	感染症の予防 マネジメント	新潟市	古谷
8月	保育の中で絵本が生きるとき 遊びの質・アプローチカリキュラム リーダーシップ	新潟市	堀川 本間
8月	保育の質と事故防止（リスクマネジメント）	新潟市	中野 上野 宮川
9月	特別な支援を要する幼児への関り 気になる子を含むクラスの運営	新潟市	大越・阿部
10月～1月	発達コーディネーター（フォローアップ）	新潟市	風間
10月	食物アレルギー事故防止 心を育む食育	新潟市	畔上・堀川
10月	2区合同保育研修会	新潟市	阿部
11月	発達が気になる子の理解と支援	児童発達 支援センター	曾我
12月	幼保こ小合同研修会（アプローチカリキュラム）	新潟市	本間・曾我
1月	救急法	新潟市	大越
6月～10月	救急法	新潟市	風間・古谷 堀川・宮川
2月2日	合同保育研修会 望ましい行動を増やす保育・保育環境について	新潟市	堀川 本間
2月	ことばの発達	新潟県	宮川
2月10日	新潟市幼小接続推進協議会	新潟市	樋山

2. 法人研修

実施日	受講者	内容
6月	畔上 曾我 木口	重大事故予防について
7月	風間	めざせ！ブログ美人
8月	大越・大平	ことばの発達
11月	樋山 宮村 中野	保健・基礎研修
12月	本間・伊藤	対応に悩む子どもへの保育
1月	古谷・堀川	保育士採用に生きるブログの記事
2月	上野 渡辺	ことばの発達と生活上の困り感
年5回	風間	施設長研修

3. 園内研修

実施日	担当者	内容
6月	堀川	アレルギー研修
7月	本間	嘔吐処理
8月	古谷	研修を受けての報告（重大事故）
9月	風間	目指すこども像
10月	大越	研修報告（言語）
11月	各クラス	不適切保育
12月	風間	不適切保育
1月	堀川・本間	年間計画
2月	曾我	園内危険箇所マップ
通年	風間・古谷	職員研修

2022年度事業報告書

1 保育理念

『おもしろいことなんでもくじら級』 園児が、将来にわたって心身ともに健康で、思いやりがあり、何処にあっても生き抜ける力を育成するためには、保育教諭自身が健康で明るい家庭環境を醸成し、こども園にあつては保育教諭同士がお互いを思いやるとともに、個々のこどもの気持ちを感じて毎日を健やかに過ごすことにある。

2 事業実績

教育・保育における全体的な計画に基づき、こどもの情緒が安定した生活できるような環境に配慮し、またひとりひとりが自己を十分発揮して積極的に活動できるよう支援した。

保護者支援では家庭状況、家庭環境を十分に理解し日頃からこども達の様子を口頭や連絡ノートを活用して伝えたり、家庭での様子を聞いたりして、保護者の思いを受けとめ信頼関係を築くように努めた。

(1) 職員総数：23名（2023年3月31日現在）

- ア 常勤職員・・・・・・・・・・15名
- イ パート職員・・・・・・・・・・8名
- ウ 嘱託医（内科、歯科、薬剤師）3名

(2) 定員及び園児数

- ア 定員：96名（保育時間部：75名、幼稚園部：21名）
- イ 園児数：102名（保育時間部：89名、幼稚園部：13名）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
園児数	91	93	94	94	96	96	100	101	102	102	102	102	1173	98
短時間	9	10	10	10	10	11	13	13	13	13	13	13	125	10

(3) 保育

ア 教育保育の理念

おもしろいことなんでもくじら級

イ めざすこども像

- ①自分の力で生きぬくこども
- ②夢に向かって頑張るこども
- ③地域を愛するこども

ウ 保育実践内容

- ①保育理念や保育目標に基づき、情緒が安定した生活ができる様な環境に配慮し、また、ひとりひとりが自己を十分発揮して積極的に活動できるよう支援した。
- ②基本的な生活習慣や集団生活に必要なルール等を遊びの中で身につくよう指導した。
- ③様々な運動遊び（体育教室等）を通して、機敏な動作、正しい姿勢や責任感を身につくよう指導した。また、目標に向かって協力し合い個々の役割を果たす事で達成感を味わい、クラスとしてのつながりを深めていった。
- ④食育の一貫として、年長児を中心に野菜類（ピーマン、トマト、オクラ等）を育て、収穫した野菜は給食やおやつとして調理したものを食べ食育の関心を深めた。
- ⑤くじらゲルニカを行い、年中長児はかざぐるまの製作をオンラインで繋がりながら行う。また、千羽鶴作成にも取り組み、平和への祈りを込めた。

(4) 保育概要

- ア 保育教育時間 : 午前7:00～午後6:00
(保育短時間:午前8:00～午後4:00)
(幼稚園部:午前8:30～午後2:00)
- イ 延長保育 : 午後6:00～午後7:00
- ウ 特別保育事業 : 障がい児保育、延長保育、子育て支援、一時預かり(幼稚園部)
- エ 行事 : *別紙1 行事報告書参照
- オ 日課 : *別紙2 デイリープログラム参照

(5) 給食(完全給食)

- ア 未満児おやつ、給食、おやつの実施・実際の食材を見て触る体験を実施し食育へとつなげた。
- イ 安心安全の食材の調達と衛生管理、手作りメニュー・楽しい食事の提供。
- ウ 食物アレルギー体質のこどもには、医師の診断のもとアレルギー除去食で対応。
- エ 3時のおやつには、工夫を凝らした手作りのものを多く取り入れた。
- オ 味付けは化学調味料を使用せず、素材の味・風味を生かした薄味にした。
- カ 食前食後の挨拶をし、感謝をして頂くという気持ちを持たせた。
- キ 行儀面の意識を高めた。

(6) 健康管理

- ア 児童

- ①内科健診 : 年 2回 (嘱託医: 米湊わたなベクリニック) 全園児異常なし
- ②歯科検診 : 年 2回 (嘱託医: みよし歯科クリニック) 全園児異常なし
- ③尿検査 : 年 1回 (愛媛臨検) 2歳以上児、全員異常なし

イ 職員

- ①定期健康診断 : 年 1回 8月に実施。
- ②腸内細菌検査 : 年 12回 (愛媛臨検)
サルモレラ菌・病原性大腸菌 (O-157) の検査を給食職員・調乳担当職員を対象に実施。全員異常なし
年 2回 4月、12月に実施。(愛媛臨検)
サルモネラ菌・病原性大腸菌 (O-157) の検査を全職員に実施。
全員異常なし
- ③ノロウイルス検査: 年 1回 12月に実施。(愛媛臨検)
ノロウイルス検査を全職員に実施。全員異常なし

(7) 非常災害危険防止等、防災訓練の実践状況

ア 避難・消火訓練: 年 12回

9月1日の防災の日にちなみ、南海トラフ地震発生時に備えた非常食体験を実施。アルファ米、レトルトカレー、フルーツ缶、水を食した。非常時には水が出ない、電気が消えるなど生活が困難になることを知り、非常時の食事を体験することで通常時の食事のありがたさを感じることが出来た。

イ 防犯訓練 : 年 1回

11月に伊予警察署の生活課、少年課の方に協力していただき、防犯訓練を実施。園庭フェンスより侵入した不審者の対応を実践的に行った。園児は恐怖心を感じさせてはいけないという警察署判断で、職員の対応訓練となった。園児を守る行動を学ぶことができた。

ウ 交通安全指導 : 年 6回

交通ルールに関する指導を保育教諭が行い、全園児を対象に交通安全について興味を持たせ、ルールを守る事の大切さの指導を行った。

2022 年度年間行事報告

月	行 事
4 月	・入園、進級式 ・身体計測 ・避難訓練 ・誕生会 ・体操教室 ・サッカー教室 ・花植え
5 月	・誕生会 ・身体計測 ・野菜の苗植え ・避難訓練 ・誕生会 ・サッカー教室
6 月	・体操教室 ・尿検査 ・身体計測 ・避難訓練 ・誕生会 ・茶道教室 ・サッカー教室 ・園児内科健診、歯科検診
7 月	・プール開き ・七夕誕生会 ・くじらアドベンチャー2022 ・茶道教室 ・身体計測 ・避難訓練 ・誕生会 ・体操教室
8 月	・身体計測 ・避難訓練 ・誕生会 ・体操教室 ・夏祭り ・職員健康診断
9 月	・身体計測 ・避難訓練 ・誕生会 ・体操教室 ・茶道教室
10 月	・運動会 ・身体計測 ・ハロウィンパーティ ・避難訓練 ・誕生会 ・体育教室 ・茶道教室 ・サッカー教室 ・中学生職場体験
11 月	・親子レクリエーション ・体操教室 ・園児内科健診、歯科検診 ・身体計測 ・避難訓練(不審者訓練追加) ・誕生会 ・茶道教室 ・サッカー教室
12 月	・体操教室 ・身体計測 ・避難訓練 ・クリスマス誕生会 ・年末年始休園【12月29日～1月3日】 ・茶道教室 ・サッカー教室
1 月	・保育始め ・体操教室 ・身体計測 ・避難訓練 ・誕生会 ・茶道教室
2 月	・豆まき誕生会 ・身体計測 ・避難訓練 ・生活発表会 ・サッカー教室
3 月	・ひな祭り誕生会 ・茶道教室 ・サッカー教室 ・身体計測 ・避難訓練(非常食体験) ・体操教室 ・卒園式

2022年度 ディリープログラム

時刻	長時間部 (月一土)						短時間部 (月一金)
	3号認定			2号認定			1号認定
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	3.4.5歳児
7:00	開園 順次登園 (視診・検温) 自由遊び	開園 順次登園 (視診・検温) 自由遊び	開園 順次登園 (視診・検温) 自由遊び	開園 順次登園 (視診・検温) 自由遊び	開園 順次登園 (視診・検温) 自由遊び	開園 順次当園 (視診・検温) 自由遊び	
8:30							開園 (視診・ 検温)
9:15	おやつ	おやつ	おやつ				
10:00	排泄 月齢に 応じた遊び	排泄 主活動	排泄 主活動	朝の会 排泄 主活動	朝の会 排泄 主活動	朝の会 排泄 主活動	朝の会 排泄 主活動
11:00	離乳食	排泄	排泄	排泄			
11:10		給食			排泄		
11:15		排泄	給食			排泄	排泄
11:30	月齢に応じた		排泄	給食	給食	給食	給食
12:00	睡眠時間	午睡	午睡	排泄 午睡	排泄 午睡	排泄 午睡	
13:00				午睡	午睡	午睡	検温
14:00	起床(検温) 排泄	起床(検温)	起床(検温)	起床(検温)	起床(検温)	起床(検温)	降園
14:45	おやつ	排泄	排泄	排泄	排泄	排泄	必要に応じて 預かり保育
15:00	帰りの会	おやつ	おやつ	おやつ	おやつ	おやつ	おやつ
15:30	月齢に応じた 遊び	帰りの会 自由遊び	帰りの会 自由遊び	帰りの会 自由遊び	帰りの会 自由遊び	帰りの会 自由遊び	帰りの会 自由遊び
16:00	順次降園	順次降園	順次降園	順次降園	順次降園	順次降園	順次降園
18:00	必要に応じて	必要に応じて	必要に応じて	必要に応じて	必要に応じて	必要に応じて	必要に応じて
18:30	延長保育	延長保育	延長保育	延長保育	延長保育	延長保育	延長保育
19:00	閉園	閉園	閉園	閉園	閉園	閉園	閉園

2022年度 園内研修

伊予くじら認定こども園

	研 修 内 容	担 当
4月27日(水)	ハラスメント！ダメ！ゼッタイ！	園長 宇都宮
5月30日(月)	個人情報の取り扱いについて	副園長 福岡
6月28日(火)	こどもを落ち着かせるポイントと方法	保育教諭 山田
7月27日(水)	楽しく散歩に行こう！！ ～保育教諭の役割～	保育教諭 石井
9月27日(火)	水頭症について	保育教諭 松本
10月24日(月)	コロナ禍における食生活	りぼん 日野
11月29日(火)	リトミックについて	保育教諭 岡井
12月26日(月)	タオルから広がる保育	保育教諭 上杉
1月27日(金)	こどもの感性を育てる関わりについて	保育教諭 山見
2月24日(金)	成長ホルモンについて	保育教諭 仲井
3月24日(金)	手指を使った遊び	保育教諭 木村

【園内研修】

- *各テーマに基づき、発表者が研究を行い発表し、その他の職員と意見交換を行う。
- *職員同士が意見を交わし合い新しいものを生み出していく場。
- *「教えられた」ではなく「自分で学んだ」と感じられる研修。

2022年度 園外研修（キャリアアップ研修）

伊予くじら認定こども園

	研 修 内 容	担 当
6月30日（木） 7月1日（金）	乳児保育	保育教諭 松本
8月4日（木） 8月9日（火）	幼児教育	保育教諭 大塚
9月2日（金） 9月7日（水）	障がい児保育	保育教諭 石井
9月21日（水） 9月27日（火）	食育・アレルギー対応	保育教諭 甲斐
10月14日（金） 10月18日（火）	保健衛生・安全対策	保育教諭 岡井
11月10日（木） 11月14日（月）	保護者支援・子育て支援	保育教諭 山本
1月16日（月） 1月19日（木）	マネジメント研修	保育教諭 稲垣
2月1日（水） 2月6日（月）	保育実践研修	保育教諭 上杉

2022年度事業報告書

1. 施設の理念

おもしろいことなんでもくじら級

こどもの心も体も夢もくじらのように、大きくなるような保育を行います。

基本的な生活習慣を家庭と一緒に築き、個々の「やりたいこと」を達成できるようにお手伝いします。また、地域の方との関わりを大切に、ありがとうの心を育てる保育を行います。

2. 事業実績

開園3年目の2022年度は、136名のスタートとなりました。

園運営における事項としては、大きな事故等もなく、安全で温かいこども園として、子ども達の笑顔が絶えない、また、保護者の皆様・地域の皆様に愛される園となるよう取り組んでまいりました。今年度も、コロナウイルス感染症対策に十分留意しながら、子どもたちの大切な体験が取りこぼされないよう、また、できる限り保護者様のご要望にお応えできるよう工夫をしながら、様々な体験の継続と、環境整備に努めて参りました。

教育・保育内容においては、カリキュラムの検討、園内研修、環境整備に力を入れ、全職員が同じ方向性を持って、心を一つに励まし合い、支え合いながら教育保育を進めています。子どもや保護者様に寄り添う、温かいこども園として地域の皆様に愛されるよう努力を重ねて参ります。

令和4年度職員動向

(1) 職員総数： 44名(2022年4月1日現在)

①正規職員： 14名

②準職員： 30名

③嘱託医(内科、歯科)：2名

(2) 職員採用・退職(退職者がある場合、それを補充する形で随時採用)

保育需要に応じた職員配置を検討し随時採用。)

- ・ 4月 : 保育教諭配置
- ・ 5月 : 変動なし
- ・ 6月 : 保育教諭3名採用
- ・ 7月 : 保育教諭1名異動・1名退職
- ・ 8月 : 保育教諭1名産休取得 保育教諭1名退職
- ・ 9月 : 変動なし
- ・ 10月 : 変動なし
- ・ 11月 : 保育教諭1名産休取得
- ・ 12月 : 保育教諭1名・看護師1名採用
- ・ 1月 : 保育教諭1名採用
- ・ 2月 : 保育教諭2名退職 保育補助2名採用
- ・ 3月 : 変動なし

(3) 各種会議

- ①職員会議・給食会議：12回
- ②管理者会議：不定期
- ③保健会議：不定期
- ④カリキュラム会議：12回
- ⑤クラス・学年会議：12回
- ⑥苦情会議：随時
- ⑦ケース会議：随時

(4) 定員及び園児数

- ①定員：140名
- ②園児数：142名（3月31日時点）

保育必要量 区分	利用子ども数（人）													平均利用 子ども数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
1号認定	18	19	19	19	19	19	19	20	20	20	20	20	232	19
標準時間認定	103	104	108	107	107	106	106	109	109	109	108	108	1284	98
短時間認定	15	16	13	13	13	15	15	15	15	15	14	14	173	14
園児数	136	139	140	139	139	140	140	144	144	144	142	142	1689	141

(5) 保育

1) 保育の理念 ・おもしろいことなんでもくじら級

2) 保育目標 ・自分の力で生きぬく子ども
 ・夢に向かって頑張る子ども
 ・地域を愛する子ども

3) 保育実践内容

- ・保育理念や保育目標に基づき、情緒が安定し安心・安全に生活が送れる環境を整え、一人ひとりが自己を十分発揮し積極的に活動できるよう配慮した。
- ・園外保育では、様々な体験、経験を通して集団生活に必要なルールなどが身についた。
- ・様々な運動遊びやリズム運動を通して、機敏な動作、正しい姿勢や柔軟性が身についた。また、運動会・生活発表会に向けて、協力し合いながら個々の役割を果たす事で、達成感や責任感が生まれクラスや学年のつながりが深まった。
- ・食育の一貫として、年中、年長児が夏野菜やサツマイモの栽培活動を行い、生長過程や収穫の喜びを知ることで、食への興味関心の深まりや食べることへの意欲に繋がった。
- ・感染症対策に留意しながら、子ども達が主体性を持って、のびのびと活動できるよう環境を整えた

あ) 保育時間： 1号認定 8：30～14：00
 標準認定 7：30～18：30
 短時間認定 8：00～16：00

い) 延長保育： 1号認定 7：00～8：30 14：00～19：00
 標準認定 7：00～7：30 18：30～19：00
 短時間認定 7：00～8：00 16：00～19：00

う) 特別保育事業：障害児保育、延長保育

え) 行事： *別紙1 行事報告書参照

お) 日課： *別紙2 デイリープログラム参照

4) 加配児保育

*加配児保育への対応

発達に心配のある園児に対しては、保護者・担当保育教諭・コーディネーターで懇談する場を設け、家庭とこども園、専門機関が一体となり、園児に寄り添いながら援助ができる体制を整えた。

5) 延長保育登録児 延長保育時間：7：00～7：30 18：30～19：00
 7：00～8：00 16：00～19：00（短時間）

時間帯	人数
7：00～ 7：30	4
18：30～19：00	3

時間帯	人数
7：00～ 8：00	0
16：00～17：00	0

(6) 給食

完全給食：ア 未満児おやつ、給食、午後おやつ提供や、調理担当による給食クイズを実施し食育へとつなげた。また、アレルギー除去食や体調に配慮した給食、月齢に合わせた離乳食の実施、郷土料理・多国籍料理の啓蒙に取り組んだ。

イ 掲示板にその日の献立の写真を掲示し、保護者にもわかりやすく伝えた

(7) 健康管理

ア 園児

1,内科検診：年2回

園嘱託医による健康診断を実施。健診当日、欠席の園児は後日受診、全園児の健康管理に努めた。

2,歯科検診：年1回 園嘱託医による健康診断を実施。

3,尿検査：年1回

イ 職員

1,定期健康診断：1回（内科）11月に実施。

2,腸内細菌検査：毎月1回 サルモレラ菌・病原性大腸菌（O-157）の検査を、全職員を対象に実施
 全員異常なし。

年 1 回、給食担当者はノロウイルス検査を実施。

3,インフルエンザ予防接種：希望者(ワクチン接種料補助)

(8) 非常災害危険防止等、防災訓練の実践状況

ア 避難・消火訓練：毎月1回（12回実施）

イ 防犯訓練：6回

月1回避難訓練を行い、火災・地震等の災害を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を指導した。また、9月には、防災食体験及び、保護者に向けての引き渡し訓練を実施した。

2022 年度 研修報告

【保育研究】他の職員の保育を参観し、10の姿と照らし合わせながら園内で協議をする。

【園内研修】

月	研修内容	対象	発表者
5月27日	人権研修「子どもの人権とは」	職員	人権担当者
6月30日	子どもにとってのより良い環境とは	職員	5歳児担任
7月 6日	運動会実技研修会	職員	メイトオンライン講習会
8月13日	遊びの環境構成(安田式基礎講座)	職員	エール株式会社
10月 5日	非常災害時の2次避難について	職員	主幹保育教諭
3月12日	自己評価研修	職員	主幹保育教諭

【園外研修】

月	研修内容	場 所	対 象
6月	湖南・甲賀市保育会 研修会	甲賀市水口交流センター	保育教諭(1名)
	主任保育者研修会	長寿社会福祉センター	主幹保育教諭(1名)
	人権同和・教育保育研究会	湖南市立岩根こども園	保育教諭(1名)
7月	保育者研修会(保育内容)	長寿社会福祉センター	園長
	教師力アップセミナー	三雲ふれあいセンター	保育教諭(1名)
	校区プラン学習会	菩提寺コミュニティセンター	主幹保育教諭(1名)
8月	ことばの教室学習会	菩提寺まちづくりセンター	主幹保育教諭(1名)
	教育課程・教育課題研究協議会	オンライン	主幹保育教諭(1名)
	療育研修会 基礎研修(ダウン症)	オンライン	保育教諭(1名)
	保育者研修会(虐待予防/保護者支援)	コラボしが21	保育教諭(1名)
	保育者研修会(発達支援)	コラボしが21	保育教諭(1名)
9月	調理担当者研修会	コラボしが21	調理師(1名)
	日本保育協会滋賀支部 情報交換交流会	キラリエ草津	主幹保育教諭(1名)
	湖南・甲賀保育会保育実践研究会	甲賀市あいみらい保育園	保育教諭(1名)

	園長等運営管理協議会	オンライン	園長
11月	湖南。甲賀保育会給食担当者研修会	水口交流センター	管理栄養士
	学びに向かう力推進事業 公開研修会	平松こども園	主幹・新任保育教諭
2月	要保護児童対策地域協議会 研修会	湖南市役所東庁舎	園長・看護師・保育教諭
	日本保育協会滋賀支部 情報交換交流会	キラリエ草津	5歳児担任(2名)
	人権・同和教育授業	菩提寺小学校	主幹保育教諭(1名)
	ことばの教室親の会 講演会	オンライン	園長
3月	施設運営管理者研修会	長寿社会福祉センター	園長
7~12月	キャリアアップ研修	オンライン	保育教諭(24人)

3. ヒヤリハットの件数と事例報告

件数： 6件

【事例報告】

発生日時	発生場所	状況	原因	対策
6/17 (9:30)	保育室	室内で友達と一緒に恐竜の玩具で遊んでいたところ、玩具が口に当たり歯茎から出血した。	気持ちが昂ると行動調性が難しくなる傾向にあり、遊び方が粗雑になってしまった。	クラス全体に向けての遊び方の再指導と、玩具の再点検を行った。
9/14 (11:15)	保育室	リズム遊び時、気持ちが崩れて床に寝そべて動かない当該児を起こそうとして肘が抜けた。	起こす時に力がかかってしまった。当該児の肘が抜けやすいことの認識ができていなかった。	起こすときは、腕を引くのではなく体から起こす。身体状態を、全職員で共有しておく。
9/27 (17:15)	保育室	友達と室内を走り回りこけた際、メガネの金具でこめかみを負傷する。	雨天のため室内遊びの時間が長くなったことが、動き回る行動につながった。	遊戯室へ移動するなど、動の動きができる工夫をしていく。
11/18 (10:45)	園庭	起震車見学をしていた際、落ちていた小石を耳に入れてしまった。	見学活動で手持ち無沙汰な状況ができてしまった。	危険予測を意識し、子どもの行動に目を配る。
3/16 (11:15)	公園	土手の斜面でつくしを摘んでいたところ、足を滑らせて転倒し溝のコンクリートに頭頂部が当たり傷を負う。	普段から行き慣れた場所であるため、注意が不足していた。	危険箇所には職員が立つなど細心の注意を払う。行き慣れた場所でも十分注意を呼びかける
3/29 (13:40)	保育室	机上でレゴブロックが入ったカゴを囲んで友達と遊んでいたところ、友達の腕がカゴに当たった際カゴの角が本児の脛に当たり傷がつく。	子どもの目線の高さにかゴがあることへの認識が足りなかった。	危険を予測し、安全な環境を整える。

2022 年度年間行事報告

別紙 1

月	行事
4月	・誕生会 ・身体計測 ・避難訓練 ・入園式 ・進級式 ・リズム体操 ・給食クイズ ・野菜苗植え（ピーマン、トマト・パプリカ） ・キッズサッカー
5月	・誕生会・身体計測・避難訓練 ・わくわくたいむ ・給食クイズ ・内科検診
6月	・誕生会 ・身体計測 ・避難訓練 ・リズム体操 ・はみがき指導 ・給食クイズ ・キッズサッカー ・歯科検診
7月	・誕生会 ・身体計測 ・避難訓練 ・七夕のつどい ・わくわくたいむ ・給食クイズ ・幼年消防花火指導
8月	・誕生会 ・身体計測 ・避難訓練 ・希望保育 ・給食クイズ
9月	・誕生会 ・身体計測 ・避難訓練（非常食体験） ・個別懇談 ・巡回相談 ・わくわくたいむ ・野菜の種まき（かぶ） ・リズム体操 ・給食クイズ
10月	・誕生会 ・身体計測 ・避難訓練 ・園児内科検診 ・芋ほり（サツマイモ） ・4, 5 歳児遠足 ・青美展 ・野菜の種まき（大根） ・キッズサッカー ・給食クイズ
11月	・誕生会 ・身体計測 ・避難訓練 ・園内作品展 ・くじらゲルニカワークショップ ・巡回相談 ・運動会 ・わくわくたいむ ・給食クイズ
12月	・誕生会・身体計測・避難訓練・おたのしみ会 ・音楽会（3, 4, 5 歳児）・おはなし会 ・キッズサッカー ・給食クイズ ・年末年始休園【12月29日～1月3日】
1月	・保育始め ・お正月あそび ・誕生会 ・身体計測 ・わくわくたいむ ・おはなし会 ・キッズサッカー ・リズム体操 ・巡回相談 ・給食クイズ
2月	・誕生会 ・身体計測 ・避難訓練 ・節分のつどい ・キッズサッカー ・入園説明会 ・個別懇談（2 歳児以上） ・わくわくたいむ ・生活発表会（3～5 歳児） ・保育参観（0～2 歳児） ・リズム体操 ・くじらつながり交流活動 ・給食クイズ
3月	・誕生会 ・身体計測 ・避難訓練 ・ひなまつりのつどい ・リズム体操 ・お別れ会 ・卒園式 ・修了式 ・おわかれ遠足 ・給食クイズ

デイリープログラム

時間	未満児（0. 1. 2歳児）	以上児（3. 4. 5歳児）
7:00	早朝保育開始	早朝保育開始
8:00	随時登園 検温 排泄（オムツ交換）・手洗い	随時登園 自由遊び 排泄
8:30		1号認定児登園
9:00	体操	体操
9:30	午前おやつ	朝の会
10:00	年齢・月齢に合わせたあそび 排泄（オムツ交換）・手洗い・検温 食事準備	年齢・月齢に合わせた活動 製作、戸外遊び、園外散歩、リズム運動 食育活動（クッキング）、栽培活動 など
11:00	給食（離乳食・0歳児） （1歳児）	排泄・手洗い・検温
11:15	給食（2歳児）	食事準備
11:30		給食（3. 4. 5歳児）
12:00	1・2歳児歯磨き 手遊び・絵本	歯磨き・そうじ 手遊び・絵本
12:30	午睡（0歳児）	
13:00	午睡（1、2歳児）	
13:30		午睡（3歳児）
14:00		1号認定児降園
14:30	目覚め 排泄（オムツ交換）・手洗い	目覚め 排泄・手洗い
15:00	おやつ	おやつ
15:30	帰りの会	帰りの会
16:00	順次降園	順次降園
18:30	延長保育	延長保育
19:00	最終園児降園	最終園児降園

2022年度 すいか保育園事業報告書

すいか保育園の運営

1. 施設の目的

保護者の就労や病気の状態にあるなどのため、家庭において十分保育することができない児童を、家庭の保護者にかわって保育をすることを目的とし、通園する児童の心身の健全な発達を図る役割も有するものである。

2. 事業実績

2022年度は、平均で定員（90名）の114.3%（平均102.9名）となる児童数を受け入れることとなった。4月時点では102名のスタート、途中退園もあったが、途中入園を受け入れ、3月には106名となった。

コロナウイルス感染拡大防止に努め、玄関対応・消毒・換気を徹底できた。保護者には、行事変更の理解を得て、学年入れ替え制の運動会、集客人数が多い会場を借りての距離を十分確保した会場での発表会。参観日に代わり、個別対応した子どもの様子を観る保育士体験の機会を設けた。昨年度から導入したコドモンにより園での様子を伝えやすくなり、保護者との連携も取れていた。

職員については、新しい職員も4名入り、20代後半から30代前半の働くママ世代が多い。家庭を大事に安心して休暇がとれるようにし、育児休暇も3名取得した。復帰しても育児短時間勤務制度を利用するなど、働きやすい職場環境になっている。

保育環境の面では、子ども一人ひとりが自分の好きな空間でやりたい事に集中して取り組めるコーナー作りに力を入れ、年齢に合わせて室内・戸外でものびのび遊べる環境ができた。また、3～5歳児はリズムダンスの先生を招き、音楽に合わせて体を動かす楽しさを伝えられたと思う。

3. 2022年度職員動向

(1) 職員総数 30名（2023年3月31日現在）

(イ) 常勤職員 : 16名（うち育休中1名）

(ロ) 準職員（月給）: 3名

(ハ) 準職員（時給）: 10名（うち育休中2名）

(ニ) 派遣職員 : 1名

* 委託

(ホ) 嘱託医 : 2名

(ヘ) 調理員 : 4名

* 異動職員 : 就職者5名、退職者4名、異動者4名

(2) 職員採用状況

園児数の増加に伴い、配置基準を満たす形で随時採用

通所の円滑化のため、保育需要に応じた職員配置を検討し随時採用

保育士の基準を満たした上での、保育補助の採用

(3) 各種会議

- (イ) 職員会議 : 毎月1回
- (ロ) 給食会議 : 毎月1回
- (ハ) リーダー会議 : 毎月1回
- (ニ) ケース会議 : 毎月1回
- (ホ) 苦情会議 : 不定期

(4) 定員及び通園園児数

- (イ) 通園定員 : 90名
- (ロ) 園児数 : 106名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
園児数	102	101	101	101	102	103	103	104	104	104	104	106	1,235	102.9

- (ハ) 保育日数 293日/年

(5) 保育計画

- (イ) 保育目標 :
 - 1. 自分の力でやりぬく子ども
 - 2. ゆめにむかってがんばる子ども
 - 3. 地域を愛する子ども
- (ロ) 保育時間 : (標準) 午前7時00分～午後6時00分
(短時間) 午前8時00分～午後4時00分
- (ハ) 延長保育 : (標準) 午後6時01分～午後7時00分 (100円/30分)
(短時間) 午前7時00分～午後8時00分 (100円/30分)
(短時間) 午後4時01分～午後7時00分 (100円/30分)
- (ニ) 保育内容 : 各年齢の年間指導計画及び月指導計画に基づいた保育内容
- (ホ) 特別保育事業 : 延長保育・一時預かり保育
- (ヘ) 日課 : 別紙1 デイリープログラム参照
- (ト) 行事 : 別紙2 行事報告参照

(6) 給食

- (イ) 全児童 : 完全給食

(7) 健康管理

- (イ) 児童
 - ①内科健診 : 年 2回 (嘱託医 長谷川こども医院)
 - ②歯科健診 : 年 1回 (嘱託医 横山歯科医院)
 - ③尿検査 : 年 1回 (業者)
 - ④発育測定 : 年 12回 (看護師・保育士)

(口) 職員

- ①定期健康診断 : 年 1回
- ②検便 : 年 1 2回 (全職員)
年 2 4回 (給食委託業者職員)

(8) 非常災害危険防止

- (イ) 避難・不審者訓練 : 年 1 2回
- (口) 交通安全指導 : 年 2回

(9) 研修 : 別紙3-1・3-2研修報告参照

保育デイリープログラム

時間	乳幼児（0．1．2歳児）	幼児（3．4．5歳児）
7：00	早朝保育開始	早朝保育開始
8：00	随時登園 検温 排泄（オムツ交換）・手洗い	随時登園 排泄 自由遊び
9：30	午前おやつ	
10：00	あそび 年齢・月齢に合わせた活動 排泄（オムツ交換）・手洗い 食事準備	（片付け・お集まり） あそび 月齢に合わせた活動 製作、戸外遊び、園外散歩 食育活動（クッキング） リトミック教室 サッカー教室 など・・・
11：00	給食	排泄・手洗い 食事準備
11：30		給食
12：00	順次、昼寝	歯磨き
12：30		昼寝
13：00		目覚め
14：30	目覚め 排泄（オムツ交換）・手洗い	排泄・手洗い
15：00	おやつ	おやつ
16：00	順次降園	順次降園
	水分補給 ※必要に応じて睡眠をとります。	水分補給
19：00	最終園児降園	最終園児降園

2022年度 年間行事報告

月	事業内容
4	対面式、誕生会、食育活動、親子遠足（5歳児）
5	誕生会、食育活動、親子遠足（4歳児）
6	誕生会、食育活動、親子遠足（3歳児）、すいか収穫（5歳児）
7	誕生会、七夕、プール遊び、海遊び（5歳児）、造形教室（5歳児）、食育活動 すいかまつり（全園児）
8	誕生会、プール遊び、食育活動
9	ぶどう狩り（3歳児）、誕生会、ふれあいデー、全園児2次避難訓練、食育活動
10	芋ほり遠足（4歳児）、誕生会、食育活動、交通安全教室、秋遠足（3歳以上児） 姉妹園とのサッカー交流試合（5歳児）、親子で遊ぼう（0～2歳児）
11	誕生会、食育活動、造形教室（5歳児）、個人懇談会、ゲルニカ
12	誕生会、クリスマス会、発表会（3歳以上児）、食育活動
1	新年の集い、誕生会、園外保育（5歳児）、食育活動
2	節分豆まき、誕生会、交通安全教室（5歳児）、食育活動、園外保育（3・4歳児）
3	卒園式、お別れ会、誕生会、食育活動

* その他外部指導（毎月）

- ・サッカー教室（4・5歳児）
- ・なっちゃん先生ダンス（2～5歳児）
- ・リトミック（3～5歳児）
- ・ピアノ指導（4・5歳児）
- ・vivace（0～2歳児）
- ・体操教室（3～5歳児）

2022年度 すいか保育園 研修報告

1. 園外研修

	日付	研修内容	場所	参加者
1	2022年4月28.29日	法人施設長会研修	滋賀県	水島・高橋
2	2022年5月11日	新潟市医師会 第132回在宅医療講座	新潟市	高橋
3	2022年5月28日	こどものとも社「これから求められる保育の質」	ZOOM	大縫
4	2022年6月9日	発達が気になる子の理解と支援」	ZOOM	伊藤（好）
5	2022年6月14日	保育プラザ研修「ゼロ歳児の発達と保育」	ZOOM	岡村
6	2022年6月17日	保育プラザ研修「1歳児の発達と保育」	ZOOM	大縫
7	2022年6月30日	保育プラザ研修「4.5歳児の発達と保育」	ZOOM	伊藤（好）
8	2022年7月1日	西区私市立教育・保育施設年齢別研修会「0歳児」	新潟市	岡村
9	2022年7月4日	新潟県保育士会パワーアップセミナー1	新潟市	野澤
10	2022年7月6日	西区私市立教育・保育施設年齢別研修会「2歳児」	新潟市	津野
11	2022年7月13日	救急法研修会	新潟市	堀
12	2022年7月14日	保育関係施設合同研修会（子育て支援） 「地域における子育て支援の未来」	ZOOM	野澤
13	2022年7月22.23日	法人施設長会研修	宮城県	水島・高橋
14	2022年7月28日	新潟県保育士会パワーアップセミナー2	新潟市	佐々木
15	2022年8月2日	法人研修「ことばの発達について」	ZOOM	伊藤（好）
16	2022年8月4.5日	保育士等キャリアアップ研修「マネジメント」	新潟市	水島
17	2022年8月9日	新潟県保育士会パワーアップセミナー4	新潟市	天野
18	2022年8月10日	保育関係施設合同研修会（障がい児保育） 「特別な支援を要する幼児へのかかわり」	ZOOM	渡部
19	2022年8月24日	地区別保幼少合同研修会	新潟市	天野
20	2022年8月29.30日	保育士等キャリアアップ研修「保健衛生・安全対策」	新潟市	佐々木
21	2022年8月31日	西区坂井輪地域保育園・幼稚園・こども園保健合同連絡会 「発達に課題のあるお子さんの保護者支援について」	新潟市	伊藤（好）
22	2022年9月5日	法人研修「乳幼児期の心の発達」	ZOOM	千葉
23	2022年9月20日	保育プラザ研修 「学童期を見通して幼児期に大切にしたい視点」	ZOOM	天野
24	2022年10月5日	第2回西区2歳児年齢別研修会	新潟市	津野

25	2022年10月6日	ほけんの集い「救急箱について」	ZOOM	高橋
26	2022年10月13日	バオバブ保育園見学	宮城県	水島・佐々木
27	2022年10月13日	第2回西区0歳児年齢別研修会	新潟市	岡村
28	2022年10月25日	保育プラザ研修「困難を抱えた子どもと育ちあう保育」	ZOOM	内藤
29	2022年10月27日	幼児交通安全教室指導者研修会	新潟市	佐々木
30	2022年10月28日	新潟県幼児教育センター「保育動画を視聴しての研修①」	ZOOM	伊藤（好）
31	2022年10月31日	保育関係施設合同研修会（保育環境） 「子どもの瞳が輝くとき～おもちゃの選び方と保育者の支援～」	ZOOM	千葉
32	2022年11月7日	保育プラザ研修 「1.2歳児の育ちに学ぶ自我の育ちと人とのかかわり」	ZOOM	津野
33	2022年11月9日	救急法研修会	新潟市	江花
34	2022年11月9日	保育プラザ研修 「なかまと共に深めていく幼児期のあそび」	ZOOM	村山
35	2022年11月11日	新潟青陵幼稚園研修会	新潟市	渡部
36	2022年11月15日	保育プラザ研修「個人を尊重し、つながりを育む保育とは」	ZOOM	渡部
37	2022年11月15.18日	保育士等キャリアアップ研修「保護者支援・子育て支援」	新潟市	村山
38	2022年11月24日	ティーチャーズトレーニング研修	ZOOM	諏訪
39	2022年11月25日	保育プラザ研修「ゼロ・1歳児が心地よく過ごせる保育」	ZOOM	千葉
40	2022年12月2日	新潟県幼児教育センター「保育動画を視聴しての研修②」	ZOOM	天野
41	2022年12月6日	西区0歳児年齢別研修会	新潟市	岡村
42	2022年12月7日	「自己評価をマネジメントに活かす方法とは？」	ZOOM	佐々木
43	2022年12月7日	小学校第2回接続期公開研修会・幼稚園第4回「保育のとびら」合同研修会～幼保小接続を考える～	ZOOM	天野
44	2022年12月8日	新潟市幼少接続推進協議会「幼保こ小合同研修会」	ZOOM	天野
45	2022年12月16日	中央区・西区合同（保育環境）振り返り研修	ZOOM	千葉
46	2023年1月20日	新潟県幼児教育センター「保育動画を視聴しての研修③」	ZOOM	渡部
47	2023年1月21.22日	法人施設長会・くじらものがたり参加	兵庫県	水島
48	2023年1月26日	保育関係施設合同研修会「子育て健康講座」	ZOOM	佐々木
49	2023年2月17.18日	研修本部打合せ・廿日市保育園発表会見学	広島県	水島
50	2023年2月22日	気になる子どもへの理解と支援 ～ことばを育む関わり方～	ZOOM	伊藤（好）

2. 園内研修

	日 付	研修内容
1	2022 年 4 月 2 日	職員研修 法人について（園長）、事務手続きについて（事務） 食物アレルギーについて（看護師）、主体性保育について（主任）
2	2022 年 5 月	グループワーク 法人研修「児童虐待や神経発達症」動画を視聴して
3	2022 年 7 月 9 日	職員研修 めざすこども像について（園長）、重大事故予防（看護師） 主体性保育について（汐見先生研修動画・グループワーク）
4	2022 年 7 月 27 日	重大事故予防（看護師 高橋）
5	2022 年 10 月	グループワーク 私のコミュニケーション方法 こどものほっこりエピソードについて
6	2022 年 11 月	グループワーク こどものほっこりエピソードについて ブログ作成について
7	2023 年 2 月	不適切保育について（動画視聴）

2022年度 社会福祉法人くじら事業報告書

2023年4月21日

バオバブ保育園の運営

1. 施設の目的

保護者が働いていたり、病気の状態にあるなどのため、家庭において十分保育することができない児童を、家庭の保護者にかわって保育をすることを目的とし、通園する児童の心身の健全な発達を図る役割も有するものである。

2. 事業実績

2022年度は、昨年度に続き定員の117%にあたる88名の受け入れ及び1名の障害手帳を所持した児童の受け入れを行ってきた。

保育活動では従来の“自然活動”に力を入れ登山・キャンプ・雪山活動を行った。地域交流の一環の“コメ作り”は田植え・稲刈りのほか米を使った食育を行うことが出来た。

職員については、年度末での保育士離職は2名であった。今後については、職員の働きやすい環境を作り離職者が継続して出ないようにする取り組みを図っていきたい。

3. 2022年度職員動向

(1) 職員総数 31名 (2023年3月31日現在)

(イ) 常勤職員 : 23名

(ロ) パート職員 : 8名

※嘱託医2名は委託契約

(ハ) 異動職員 : 0名

(2) 職員採用状況

退職職員補充の為、パート職員2名採用

(3) 各種会議

(イ) 職員会議 : 毎月1回

(ロ) 給食会議 : 毎月1回

(ハ) リーダー会議 : 毎月1回

(二) 苦情会議 : 不定期

現場での、保育に関する意見については随時対応実施。

意見箱への投書は、令和4年度は0件であった。

(4) 定員及び通園園児数

(イ) 通園定員 : 75名

(ロ) 園児数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
園児数	80	80	80	83	83	85	86	86	87	87	88	88	1,013	84.4

(ハ) 保育日数 297日/年

(5) 保育計画

- (イ) めざす子ども像 : 卒園するときに、
「自分で考える」ことができ、その考えを「自分なりの表現」で示すことができる子ども。
- (ロ) 保育時間 : (標準) 午前7時00分～午後6時00分
(短時間) 午前8時00分～午後4時00分
- (ハ) 延長保育 : (標準) 午後6時00分～午後7時00分 (2,000円/月)
(短時間) 午後4時00分～午後6時00分 (1,000円/月)
(短時間) 午後6時00分～午後7時00分 (2,000円/月)
- (ニ) 保育内容 : 各年齢の年間指導計画及び月指導計画に基づいた保育内容
- (ホ) 特別保育事業 : 延長保育
- (ヘ) 日課 : 別紙1 デイリープログラム参照
- (ト) 行事 : 別紙2 行事報告参照

(6) 給食

- (イ) 全児童 : 完全給食

(7) 健康管理

(イ) 児童

- ①内科健診 : 年 2回 (嘱託医 鎌田内科クリニック)
- ②歯科健診 : 年 2回 (嘱託医 ア歯科有馬診療所)

(ロ) 職員

- ①定期健康診断 : 年 1回
- ②検便 : 年 12回 (0歳児保育士・フリー保育士・クラス担任
看護師・栄養士・調理員)

(8) 非常災害危険防止

- (イ) 避難・消火訓練 : 年 12回
- (ロ) 交通安全指導 : 年 1回

(9) 研修 : 別紙3 研修報告参照

保育デイリープログラム

別紙 1

時間	0歳児前期	0歳児後期	1・2歳児	3・4・5歳児
7:00	《随時登園》 7:00～8:45までは、全体合同保育			
8:30	〈検温・視診〉 ～随時～ ・おむつ交換 ・ミルク(授乳) ・着替え	〈検温・視診〉 ～随時～ ・おむつ交換 ・ミルク(授乳) ・着替え	〈検温・視診〉 オムツ交換随時 排泄随時 着替え随時	〈検温・視診〉 順次：個別保育 ・園庭遊び ・コーナー遊び ～満たされる遊び～
9:00	《登園時間》欠席・遅刻の場合は9:00までにご連絡下さい。			
	朝の挨拶	朝の挨拶	朝の挨拶	順次：個別保育
9:15	おやつ(ミルク)	おやつ	おやつ	・園庭遊び ・コーナー遊び ～満たされる遊び～
9:45	〈保育活動〉 子どもに応じた ・睡眠、休憩 ・スキンシップ遊び ・唄、運動遊びなど	〈保育活動〉 ・園庭あそび ・運動、身体表現 ・音、唄遊び ・散歩活動 ・色遊び など	〈保育活動〉 ・園庭あそび ・運動、身体表現遊び ・音、唄遊び ・散歩、散策活動 ・色遊び など	朝のミーティング
10:00	～随時～ ・おむつ交換 ・ミルク(授乳) ・着替え	～随時～ ・おむつ交換 ・ミルク(授乳) ・着替え	～随時～ ・おむつ交換、排泄 ・ミルク(授乳) ・着替え	
10:45	食事準備 食事(離乳食)	食事準備	食事準備 手洗い・配膳	～随時～ 着替え、排泄
11:00	ミルク(随時)	食事(離乳食) ミルク	食事 午睡準備 午睡前読み聞かせ	
11:45	順次 睡眠	午睡		食事準備 手洗い・配膳
12:00				食事
12:30				はみがき 午睡準備 朗読
13:00				睡眠
14:30	随時めざめ	起床・手洗い	起床・手洗い	起床・手洗い
15:00	～随時～	おやつ	おやつ	おやつ
15:10	おむつ交換・着替え ミルク(授乳)	～随時～ おむつ交換・ミルク	夕の挨拶	振り返り ミーティング
			自由遊び	自由遊び
19:00	《最終降園》17:00以降は0、1、2歳児合同 18:00以降は全体合同保育			

2022年度 年間行事報告

月	事業内容	参加人員
4	入園式	51 人
5	世代間交流：4.5歳児 田植え（親子レクリエーション） 園外保育：5歳児登山活動1	53 19 人
6	園外保育：5歳児登山活動2	19 人
7	園外保育：5歳児田んぼ活動 5歳児お泊り体験 園外保育：4歳児自然観察・散策活動	18 19 18 人
8	園外保育：5歳児 キャンプ活動	20 人
9	世代間交流：5歳児 親子登山活動 園外保育：3歳児野山で遊ぼう	45 18 人
10	世代間交流：田んぼ活動（親子レクリエーション 稲刈り編） 園外保育：2歳児 森で遊ぼう 園外保育：5歳児 登山活動4 園外保育：4歳児 登山活動 園外保育：1歳児 自然で遊ぼう	51 19 18 19 8 人
11		人
12		人
1	世代間交流：作品展	267 人
2	世代間交流：フェスタ（成長披露会）	130 人
3	卒園式	62 人

2022年度 研修報告

1. 園外研修

日付	研修内容	場所	参加者
8月29日	令和4年度特定給食施設等集団指導	バオバブ保育園	栄養士
9月20日～ 1月31日	宮城県キャリアアップ研修(リモート) 「障害児保育」	バオバブ保育園	保育士
9月20日～ 1月31日	宮城県キャリアアップ研修(リモート) 「乳児保育」	バオバブ保育園	保育士
9月20日～ 1月31日	宮城県キャリアアップ研修(リモート) 「幼児保育園」	バオバブ保育園	保育士
9月20日～ 1月31日	宮城県キャリアアップ研修(リモート) 「障害児保育」	バオバブ保育園	保育士
9月20日～ 1月31日	宮城県キャリアアップ研修(リモート) 「マネジメント」	バオバブ保育園	保育士

2. 園内研修

日付	研修内容
4月	新入職職員研修
6月	消防避難 対応マニュアル確認
8月	難しい子どもへの対応
10月	洪水時 対応マニュアル確認
11月	保育園での事例対応
1月	嘔吐処理研修
3月	保育の見直し

3. 法人研修

- ・園長研修、主任研修、新人研修、保育士研修、看護師研修 に随時参加

2022年度事業報告書

1. 施設の理念

おもしろいことなんでもくじら級

こどもの心も体も夢もくじらのように、大きくなるような保育を行う。

基本的な生活習慣を家庭と一緒に築き、個々の「やりたいこと」を達成できるようにお手伝いし、地域の人との関わりを大事にし、ありがたいの心を育てる保育を行う。

2. 事業実績

2022年度（開園7年目）は園児数51名でのスタートとなったが途中入園があり、最終64名で終える。駐車場の畑での野菜の栽培に加え、田んぼをお借りしての田植え、稲刈り体験、いちじくの収穫体験、収穫したさつまいもを焼き芋屋さんで焼いていただくなど、地域の方のご協力を得て、食育活動を広げることが出来た。

コロナ禍により、行事の縮小化が余儀なくされたが、保護者様のご理解とご協力を得られたおかげで、参観者数を減らす、入れ替え制にするなどの感染対策を取りながら行事を行うことが出来た。また、コロナ禍により行事の在り方を見直す機会が持てたことは、「例年してきたから」という固定概念を持たずに、新しい取り組みを考える良い機会となった。参観を控え、YouTube配信で生活を見て頂いた取り組みは保護者から良い反応を頂けた。コロナ禍に培った感染対策の知識と意識、行事を考える視点を今後の保育に生かしていきたい。また園外保育を充実させ、五感をフル回転させて楽しむことが出来るような保育を目指して取り組んでいきたいと思う。

2022年度職員動向

(1) 職員総数：17名（2022年4月1日現在）

① 正規職員：10名（1名育休中）

② 準正規職員：1名

③ パート職員：5名

④ 嘱託医(内科、歯科)：2名

(2) 職員採用

- ・保育需要に応じた職員配置を検討し随時採用。
- ・6月：準正規職員1名（5月末 正規職員 パート職員1名ずつ退職 正規職員1名産休）
- ・7月：準職員1名菩提寺くじらより異動
- ・9月：正規職員1名 短時間パート職員1名（準職員1名退職 正規職員1名産休）
- ・10月：正規職員1名採用 1名草津くじらより異動（正規職員1名退職）

(3) 各種会議

- ①職員会議・給食会議：12回
- ②管理者会議：不定期
- ③保健会議：不定期
- ④カリキュラム会議：12回
- ⑤クラス会議：随時
- ⑥苦情会議：随時

(4) 定員及び園児数

- ①定員:60名
- ②園児数：64名（3月31日時点）

保育必要量 区分	利用子ども数（人）													平均利用 子ども数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
標準時間認定	35	38	41	42	43	44	48	50	52	51	50	50	544	45.33
短時間認定	16	16	15	15	16	16	12	13	13	13	14	14	163	13.58
園児数	51	53	56	57	59	60	60	63	65	64	64	64	707	58.91

(5) 保育

1) 保育の理念

- ・おもしろいことなんでもくじら級

2) 保育目標

- ・自分の力で生きぬく子ども
- ・夢に向かって頑張る子ども
- ・地域を愛する子ども

3) 保育実践内容

- ・保育理念や保育目標に基づき、成長・発達に応じた保育室の環境の見直しを行った。情緒が安定し、安心、安全に生活が送れる環境を整え、一人一人が自己を十分に発揮して積極的に活

動できるよう配慮した。

- 年齢に応じた仲間関係、集団生活の中においても、一人一人が十分に自己発揮できるように個を大事にする保育を心掛けた。
 - 園外保育では、様々な体験、経験を通し集団生活に必要なルール等を遊びの中で身につけていった。また、園バスに乗ってでかけ、園周辺ではできない経験をする機会を持った。
 - 様々な運動遊び（げんきキッズなど）を通して、基本的な体の使い方、正しい姿勢を身につけた。また、運動会・生活発表会への目標に向かって協力し合い個々の役割を果たす事で達成感を味わい、クラスとしてのつながりを深めていった。
 - 食育の一貫として、2歳から5歳児で、畑やプランターで夏野菜類（キュウリ、トマト、ピーマン、オクラ）を育て、収穫した野菜は給食やおやつとして食した。また、田んぼをお借りして稲作体験や、いちじくの収穫体験などを通して、食への興味を高められるようにした。
 - 異年齢交流の機会を多く持ち、年長児が自然に年少児をいたわる心が芽生えてきた。
- ①保育時間： 7：00～18：00（短期保育時間：8：00～16：00）
- ②延長保育： 18：00～19：00
- ③特別保育事業：障害児保育、延長保育
- ④行事： *別紙1 行事報告書参照
- ⑤日課： *別紙2 デイリープログラム参照

加配児保育

年齢	障害名	備考
5	発達の遅れ	保護者との面談 発達支援センターよりのアドバイス
4	発達の遅れ（2名）	保護者との面談 発達支援センターよりのアドバイス

*加配児保育への対応

発達に心配のある園児に対しては、保護者・担当保育士・クラス担任で懇談する場を何度か設け、家庭と保育園が一体となって園児の対応にあたっていけるよう配慮した。

延長保育登録児 [延長保育時間：18：00～18：30 18：00～19：00
16：00～17：00（短時間）]

時間帯	人数
18：00～18：30	6
18：00～19：00	2

時間帯	人数
16：00～17：00	36

(6) 給食

完全給食：ア 午前の未満児おやつ、給食、午後おやつ、アレルギー除去食、月齢に合わせた離乳食を実施するとともに、郷土料理の啓蒙にも取り組んだ。

イ 玄関にその日の給食写真を掲示し、また園児に人気の手作りおやつレシピを用意し、希望者は持ち帰れるようにする等、保護者が「子どもの食」と「健康な心と体づくり」について関心を持てるようにした。

(7) 健康管理

①園児

I.内科検診：6月・10月（嘱託医：さとうこどもクリニック） 年2回

6月7日 未満児 6月10日 以上児

10月6日 以上児 10月13日 未満児

園嘱託医による健康診断を実施。健診当日、欠席の園児は後日受診、全園児の健康管理に努めた。

II.歯科検診：6月（嘱託医：ファミリー歯科医院）

年1回・・・6月3日 園嘱託医による健康診断を実施。

III.蟯虫検査：なし

IV.尿検査：6月14・15日（全園児）全員異常なし。

予備日：16日

②職員

I 定期健康診断：1回（内科）1月に実施。

II 腸内細菌検査：毎月1回(有研) サルモレラ菌・病原性大腸菌（O-157）の検査、ノロウイルス検査を年一回、職員を対象に実施。全員異常なし。

III インフルエンザ予防接種：希望者

(8) 非常災害危険防止等、防災訓練の実践状況

①避難・消火訓練：毎月1回（12回実施）

②防犯訓練：2回

月1回避難訓練を行い、火災・地震等の災害を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を指導した。9月1日にはくさつシェイクアウトに参加。屋外スピーカーからの避難勧告を受けて避難する訓練を実施。10月19日には消防署立ち合いのもと、通報・消火・避難訓練を実施。職員に対して実際に水消火器を使つての訓練も実施。避難時や誘導時また、消火の際の留意点等を再確認することができた。起震車にも来園してもらい、園児や保育者が実際に東日本大震災級の揺れを体感した。地震の怖さを知るとともに、正しい非難の仕方について学んだ。

2022年度 研修記録

日付	内容	開催場所・時間	参加職員
5月26日	日本保育協議会 全国保育推進連盟滋賀支部総会 「自己肯定感の育みと育成」研修	滋賀県立長寿社会福祉センター 9:30-16:00	谷口
5月28日	職員研修 リズム遊び	草津くじら保育園	正規職員 パート職員

6月2日	救命講習会 普通救命講習	草津市コミュニティー防災センター	亀井
6月21日	くじらグループ研修 「保健研修・重大事故防止」	ZOOM研修 13:00-14:30	立岡・阿部・川崎
7月6日	スキルアップ研修	キラリエ6F 15:00-17:00	村田
7月12日	小児救急研修会 「痙攣時の対応と頭部外傷の際の見極め」	淡海医療センター 14:20-15:40	柳生
7月19日	保育者研修(保育内容)	滋賀県立長寿社会福祉センター 9:30-16:00	三隅(欠席)
7月26日	幼少接続期研修	教育研究所 13:00-16:00	亀井
7月8日	保育内容研修会	草津市役所8階 大会議室 15:00~17:10	村井 (欠席)
7月30日	園内研修【AED 心肺蘇生法】	園内 13:30-15:30	全職員
7月20日	特別支援教育研修会	キラリエ草津市民交流センター大会議室 15:00~17:00	亀井 (欠席)
8月1日	保育内容研修会 「トキメキ、ヒラメキ、気付き、発見が生まれる保育」	キラリエ草津 15:15-17:15	藤田未 (中止)
8月2日	くじら法人研修 「言語研修」	ZOOM 15:30~16:30	柳生・村田
8月8日	小児アレルギー疾患対策地域関係者研修	ZOOM 13:30-15:30	阿部
9月3日	情報交換交流会 主任保育士、主幹教諭の仕事について	ライズヴィル都賀山 14:00~16:30	川崎 (12月3日に延期)
8月13日	幼児体育教育講習会	大阪府立体育館 10:00-15:00	三隅
8月17日	保育者研修(c保育内容)	コラボしが21 9:30-16:00	栗山
8月26日	特別支援研修会	キラリエ草津 13:50-16:00	藤田奈
7月1日 ~ 8月31 日	キャリアアップ研修	Eラーニング	希望職員
9月2日	保育研修集会	コラボしが21 9:00-16:00	柳生

9月2日	教推全体研修	老上西小学校 18:00-19:30	正規職員
9月6日	くじら法人研修 「発達研修」	ZOOM研修	栗山・亀井・ 藤田未
9月22日	社会保険実務研修会	コラボしが21 14:00-16:00	温井
10月3日	保育内容研修会 「トキメキ、ヒラメキ、気づき、発見が生まれる保育」	市役所8階大会議室 15:15~17:15	藤田未
10月27日	就学前教育サポート事業研修会	草津市立市民交流プラザ 14:30-16:40	川崎
10月28日	老上教育総合推進会議新転任者研修	橋岡会館 17:30-19:00	谷口・阿部・村田・ 鍵原・大西
10月29日	普通救命講習会	草津市コミュニティ防災センター	阿部
11月17日	草津市児童虐待防止啓発研修会	市役所2階 14:00-16:00	鍵原
11月21日	木育講座	キラリエ草津 13:15-16:15	三隅
12月7日	対人援助職セミナー	草津市役所 8階 14:45-16:50	藤田未
12月14日	人権保育研修会	草津粗衣役所 14:45-17:00	大西
10月24日~12月23日	キャリアアップ研修	eラーニング	希望者
1月11日	人権保育研修会	アマカホール 15:00-16:00	川崎
1月28日	CAP研修(園内研修)指導者向け研修	園内保育室	正規職員
3月29日	KAPLA	がんばり豆の木	阿部

3. ヒヤリハットの件数と事例報告

件数 16 件

【事例報告】

発生日時	発生場所	状況	原因	対策
5/12 (13:00)	保育室	食後の片づけ時、椅子一脚を持ち上げた際、後ろにいた児に気付かずにおでこに椅子が当たった	周りをよく確認せず、誰もいないと思い込んでいたこと	・周囲を確認してから運ぶようにする。また、周りの児に声をかけ、知らせしてから運ぶようにする。
8/1 (10:00)	園外 【門前】	散歩から帰ってきた際、少し離れて一番後ろを歩いていた児に気付かず、全員帰園したと思い門を閉める。園庭にいた他の保育士が気付いて発見	・全員いるとの思い込みから、人数確認しなかった。 ・子どもの行動についての予測が十分ではなかった	・日常的に人数確認をすることを習慣づける ・子どもの行動を把握するとともに危険を予測しながら関わる習慣をつける
10/4 (18:00)	事務室	遅番の職員が持ち帰るための鍵が1本足りないことに気付く。翌日全員のかばん、保育士室を探したところ職員のかばんから見つかる。	鍵をだれが持っているのかが明確ではなかった。出勤したら元に戻すことが習慣となってなかった	鍵を持ち出すときには自身の名前の札をかけるようにすることで持っている人が明確となった。出勤したら戻すことを徹底する
10/18 (14:30)	保育室	小さなシリコン製のゴムで髪をくくったまま午睡。起床時、ゴムが外れていることに気付く探すが見当たらなかった。翌日、家で鼻をかんだらゴムが出てきたと保護者から報告を受ける。	ゴムが外れる、外すことに対する危機予測が出来ていなかった。	・小さいシリコン製のゴムは使用を禁止とする。 ・午睡前にはゴムを外し、保育者が保管することを徹底する。

行事報告

月	日	行事
4	1	入園式
	3	進級式
	28	こどもの日の集い
4月－5月	4月中旬から5月中旬	個別面談
5	9	さつまいの苗植え
5	30	田植え
6	3	歯科検診
	7・10	内科検診
	14・15・16	尿検査
7	5	プール開き
	7	七夕の日の集い
7	15	夕涼み会（5歳児）
8	19	夏のお楽しみ会
	31	プール納め
9	13	角笛観劇（4.5歳児）
	14	稲刈り（5歳児）
	15	いちじく狩り（3歳児）
	22	芋掘り

10	7	親子遠足（雨のため中止）
	15	運動会（3—5歳児）
11	1	どんぐり拾い/帰帆島（3歳児）
	12	ミニ運動会（0—2歳児）
	21-12/8	作品展 11/21-24（0-2歳児） 28-12/1（3-4歳児） 5-8（5歳児）
12	23	冬のお楽しみ会(クリスマス会)
1	28	生活発表会（3-5歳児） 0-2歳児生活動画配信
2	1	琵琶湖博物館へ園外保育（3歳児）
2	3	豆まき
	7	プラネタリウム 園外保育（5歳児）
3	2	お別れ遠足
	3	ひな祭り
	14	園外保育（2歳児）
	15	お別れ会
	18	園外保育（3歳児）
	24	修了式

デイリープログラム

時間	乳幼児（0. 1. 2歳児）	幼児（3. 4. 5歳児）
7:00	早朝保育開始	早朝保育開始
8:00	随時登園 検温 排泄（オムツ交換）・手洗い	随時登園 自由遊び 排泄
9:00	体操	体操
9:30	朝の会 午前おやつ	朝の会
10:00	活動 年齢・月齢に合わせた活動	月齢に合わせた活動 製作、戸外遊び、園外散歩 食育活動（クッキング） リズム など・・・
	排泄（オムツ交換）・手洗い 食事準備	排泄・手洗い 食事準備
11:00	給食（離乳食・0歳児） （1歳児）	
11:15	給食（2歳児）	
11:30		給食（3. 4. 5歳児）
12:00	2歳児歯磨き 手遊び・絵本	歯磨き・そうじ 手遊び・絵本
12:30	昼寝（0歳児）	
13:00	昼寝（1. 2歳児）	
13:30		昼寝（3歳児）
14:30	目覚め 排泄（オムツ交換）・手洗い	目覚め 排泄・手洗い
15:00	おやつ	おやつ
15:30	帰りの会	帰りの会
16:00	順次降園	順次降園
18:00	延長保育・おやつ	延長保育・おやつ
19:00	最終園児降園	最終園児降園

2022年度事業報告書

1 保育理念

『おもしろいことなんでもくじら級』 園児が、将来にわたって心身ともに健康で、思いやりがあり、何処にあっても生き抜ける力を育成するためには、保育者自身が健康で明るい家庭環境を醸成し、保育園にあっては保育者同士がお互いを思いやるとともに、個々の子どもの気持ちを感じて毎日を健やかに過ごすことにある。

2 事業実績

1年を通して、大きな事故やけがもなく、移動動物園の実施では、近隣住民にも参加していただき地域交流ができた。2017年4月1日に園児数49名で開園を迎え、今年度は各年齢で定員を充足した。保育士は正規職員13名、非常勤務職員2名・パート職員も4人でスタートし保育体制も確保することができた。今年度末での退職者はいないが、産休・育休中の職員がいる為、1名募集をかけている。新型コロナウイルス感染症拡大も落ち着き、コロナ前の運営に近づき、保護者のご理解、ご協力、あたたかい言葉のもと、円滑な保育運営ができた。

今年度からは、ICTを導入し職員の業務負担の軽減、保護者との連携もとることができた。

近隣の中学校から、トライやるウィーク(職業体験)を積極的に受け入れ、学校との連携に繋げることができた。来年度も、子どもたち1人ひとりに寄り添い、様々な保護者のニーズに応えられる努力を重ねていきます。

(1) 職員総数：(2023年3月31日現在)

- ア 常勤職員・・・・・・・・・・ 13名
- イ 非常勤職員・・・・・・・・・・ 2名
- ウ パート職員・・・・・・・・・・ 4名
- エ 嘱託医(内科、歯科)・・ 2名

(2) 定員及び園児数

- ア 定員 : 80名
- イ 園児数 : 96名(2023年3月31日現在)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
園児数	87	90	92	95	95	96	96	96	96	96	96	96	1091	94.25

(3) 保育

ア 教育保育の理念

おもしろいことなんでもくじら級

イ めざす子ども像

- ①自分の力で生きぬくこども
- ②夢に向かってがんばるこども
- ③地域を愛するこども

ウ 保育実践内容

- ①保育理念や保育目標に基づき、情緒が安定した生活ができる様な環境に配慮し、また、一人ひとりが自己を十分発揮して積極的に活動できるようにした。
- ②基本的な生活習慣や集団生活に必要なルール等を遊びの中で身につけさせていった。
- ③様々な運動遊び（体育教室等）を通して、機敏な動作、正しい姿勢や責任感を身につけさせた。また、目標に向かって協力し合い個々の役割を果たす事で達成感を味わい、クラスとしてのつながりを深めていった。
- ④食育の一貫として、近隣の畑をお借りし、さつまいもを幼児を中心に育て、収穫までを楽しんだ。園庭では乳児を中心に、夏野菜類（ピーマン、オクラ、なすび）を育て、収穫し食育の関心を深めていった。
- ⑤コロナ禍だからできないではなく、コロナ禍だからできることを、職員と一緒に見つけ、移動動物園や畑作業を楽しむことができた。

(4) 保育概要

- | | | |
|--------|---|-----------------------------------|
| ア 保育時間 | : | 7:00 ~ 18:00 (短期保育時間: 8:30~16:30) |
| イ 延長保育 | : | 18:00 ~ 19:00 |
| ウ 行事 | : | *別紙1 行事報告書参照 |
| エ 日課 | : | *別紙2 デイリープログラム参照 |

(5) 給食（完全給食）

- ア 給食、おやつの実施・クッキング保育を実施し食育へとつなげた。
- イ 安心安全の食材の調達と衛生管理、手作りメニュー・楽しい食事の提供。
- ウ アレルギー体質の子どもには、医師の診断のもとアレルギー除去食で対応した。
- エ 味付けは化学調味料を使用せず、素材の味・風味を生かした薄味にした。
- オ 食前食後の挨拶をし、感謝をして頂くという気持ちを持たせ皆で食べる楽しさや、行儀面の意識を高めた。

(6) 健康管理

ア 児童

- ①内科検診 : 年 2回 (嘱託医: 山崎こどもクリニック)
- ②歯科検診 : 年 2回 (嘱託医: 和歯科医院)
- ③尿検査 : 年 1回 (兵庫県予防医学協会)・・・2歳児から5歳児対象

イ 職員

- ①定期健康診断 : 年 1回 (内科)
- ②腸内細菌検査 : 年 16回 (株)有研

(7) 非常災害危険防止等、防災訓練の実践状況

ア 避難・消火・防犯訓練: 年 12回

月 1回避難訓練を行い、火災・地震等の災害を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を指導した。11月には消防署立ち合いのもと、通報・消火・避難訓練を実施。職員に対して実際に消火器を使っの訓練も実施。避難時や誘導時また、消火の際の留意点等を再確認することが出来た。又、不審者侵入を想定した訓練も行い園児の安全面について再確認することが出来た。

イ 交通安全教室 : 年 1回(伊丹市交通指導員来園)

伊丹市の交通指導員から、交通ルールについての指導を受け、全児を対象に交通安全について興味を持たせ、ルールを守る事の大切さの指導を受けた。

(8) 研修 : 別紙3 研修報告参照

2022年度年間行事報告

別紙1

月	行 事
4月	・身体測定 ・避難訓練 ・誕生会 ・体育指導 ・こどもの日の集い ・畑づくり(さつま芋の苗植え)
5月	・身体測定 ・避難訓練 ・体育指導 ・誕生会 ・野菜苗植え(オクラ、なすび、ピーマン)
6月	・尿検査 ・身体測定 ・避難訓練 ・誕生会 ・体育指導 ・水遊び開始
7月	・七夕の集い ・身体測定 ・避難訓練 ・誕生会 ・体育指導 ・プール開き
8月	・身体測定 ・避難訓練 ・誕生会 ・体育指導 ・野菜収穫&クッキング ・夏祭り
9月	・身体測定 ・避難訓練 ・誕生会 ・体育指導 ・交通安全教室
10月	・身体測定 ・ハロウィン ・避難訓練 ・誕生会 ・体育指導 ・3歳遠足 ・自園の畑の芋の収穫祭 ・運動参観 ・お店屋さんごっこ ・移動動物園
11月	・4.5歳遠足 ・身体測定 ・避難訓練 ・運動参観(3~5歳児) ・誕生会 ・体育指導 ・内科検診 ・歯科検診 ・非常食体験・トライやるウィーク
12月	・身体測定 ・避難訓練 ・クリスマス会 ・誕生会 ・体育指導 ・くじら繋がり(2・5歳児) ・年末年始休園【12月29日~1月3日】
1月	・保育始め ・身体測定 ・避難訓練 ・誕生会 ・初詣(猪名野神社) ・体育指導 ・非常食体験 ・体育指導 ・くじら繋がり(5歳児)
2月	・節分の集い ・乳児参観発表会 ・身体測定 ・避難訓練 ・誕生会 ・幼児生活発表会
3月	・お別れ遠足(5歳児) ・身体測定 ・避難訓練 ・誕生会 ・体育指導 ・入園説明会 ・お別れ会 ・卒園式

ディリープログラム

別紙 2

時刻	0～1歳児	2～5歳児
7：00	開園 順次登園 (視診・検温) 自由遊び	開園 順次登園 (視診) 自由遊び
8：30		
9：00		
9：30	水分補給 朝の会 排泄	水分補給 朝の会 排泄
10：00	月齢に応じた遊び 排泄	主活動
11：00	離乳食・給食	排泄
11：10		
11：15		給食
12：00	昼寝	排泄
13：00		昼寝
14：45	目覚め 排泄	目覚め 排泄
15：00	おやつ	おやつ
16：00	帰りの会 順次降園	帰りの会 順次降園
18：00	必要に応じて延長保育 おやつ	必要に応じて延長保育 おやつ
19：00	閉園	閉園

2022年度 研修報告

日時	人数	講座名
4/8	1	こども発達支援研修会
5/12	1	遊びこむための環境構成とは①
6/2	1	福祉従事者新任研修
6/2	1	なぜ保育現場で事故がおきるのか
6/17	1	遊びこむための環境構成とは②
6/21	3	保健研修 重大事故予防
6/23	1	子どもの心を揺さぶる保育環境のあり方
7/13	1	乳児の「こころ」はどのように育つのか
7/23	1	遊びこむための環境構成とは③
8/2	3	言語研修
8/4	2	2020年度版新 K 式発達検査について
8/5	1	乳児期の遊び・育ちを小学校での遊び・育ちへ
8/8.23.29	1	キャリアアップ「乳児」
8/12.24 9/6	1	キャリアアップ「幼児」
8/11.31	2	キャリアアップ「障害児」
8/25 9/8・13	1	キャリアアップ「マネジメント」
8/29	1	共に育つということ
9/1・2・5・6・7	1	保育防災カンファレンス
9/6	2	乳幼児期の心の発達
9/8	1	幼児教育の遊びと指導計画・評価
9/28	1	遊びこむための環境構成とは④
11/19 11/10.17	1	キャリアアップ「食育・アレルギー」
11/25	1	心を動かし育ちあう子どもを育む
12/4	1	子どもの主体の教育・保育を目指して
12/6	2	対応に悩む子どもへの保育を考える
12/22	2	生活の場で私たちに支援できること
1/12	1	食物アレルギーの治療の最新の知識
2/7	1	言語研修
2/10	1	小児アレルギー疾患の正しい病態理解

2022 年度 園内研修

実 施 日	研 修 内 容	担 当
5月18日(火)	自己肯定感	保育者 米田
5月20日(木)	保育環境について	保育者 井手
6月20日(月)	保育現場での事故要因・安全意識を高める	保育者 森本
7月12日(火)	新型コロナウイルスについて	阪神広域 こども急病センター
8月27日(土)	法人理念 3つの柱について	園長 川西
9月30日(水)	乳児のこころ	保育者 坂下
11月5日(土)	ホームページについて	主任 米田
2月25日(土)	避難と安全について	主任 米田
3月2日(土)	保育方針・保育目標・保育理念について	園長 川西

2022年度 事業報告書

1. 施設の理念

おもしろいことなんでもくじら級

こどもの心も体も夢もくじらのように、大きくなるような保育を行います。

基本的な生活習慣を家庭と一緒に築き、個々の「やりたいこと」を達成できるようにお手伝いし、地域の人の関わりを大事にし、ありがたいの心を育てる保育を行います。

2. 事業実績

開園5年目（2022年度）は、61名のスタートとなる。

2021年度の運動会は、新型コロナウイルス感染症の影響からビデオ撮影の配信のみになってしまったため、2022年度は唐橋・石山両小規模保育園との合同運動会を計画していたものの、間近になって園内での感染もあり、それぞれの園での開催となってしまった。しかし、園としては2年ぶりに小学校の体育館をお借りして、保護者の方にも参加してもらう事が出来、保護者、子どもたち共に嬉しそうな姿を見ることが出来たのは良かった。また生活発表会は、ここ数年、乳児・幼児クラスの日程を分け、更に各クラス完全入れ替え制での開催としているが、保護者からはかえってゆったりと見ることが出来ると好評である。

地域交流としては、カブトムシの幼虫やメダカをいただく機会があり、子どもたちも生き物との交流を楽しんでいる。また、来年度は地域の三田川の自然を守るため、子どもたちに草刈りのお手伝いを経験してもらったり、地域の保育園・幼稚園との交流も計画中である。

昨年度に続き、園内研修を継続的に行い、積極的な意見交換の場を設けるようにした。また、昨今の不適切保育について全職員で話し合ったり、自分の保育を振り返る機会を持つために、外部より講師の先生を招き、人権研修を行ったりした。今後も、職員の資質向上のため、様々なテーマで研修を行っていききたい。

3. 2022年度職員動向

(1) 職員総数：22名（2022年4月1日現在）

- ①常勤職員：15名
- ②パート職員：7名
- ③嘱託医（内科・歯科）：2名

(2) 職員採用・退職

退職者がある場合、それを補充する形で随時採用。

保育需要に応じた職員配置を検討し随時採用。

- 4月：園長1名、主任1名、常勤保育士10名、パート保育士7名
常勤調理師2名、事務1名設置
- 5月：常勤保育士1名体調不良のため休職
- 6月：引き続き、常勤保育士1名体調不良のため休職
- 7月：常勤保育士1名体調不良のための休職から産休へ
- 8月：変動なし
- 9月：変動なし
- 10月：常勤保育士1名産休

- ・ 11月：管理栄養士 1 名産休・育休より復帰
- ・ 12月：派遣保育士 1 名採用
- ・ 1月：変動なし
- ・ 2月：常勤調理師 1 名退職
- ・ 3月：常勤保育士 1 名（3月末退職）

(3) 各種会議

- ①職員会議 : 毎月 1 回
- ②給食会議 : 毎月 1 回
- ③リーダー会議 : 毎月 1 回
- ④クラス会議 : 毎月 1 回
- ⑤管理者会議 : 不定期
- ⑥カリキュラム会議 : 不定期
- ⑦苦情会議 : 不定期

(4) 定員及び園児数

- ①定員 : 60名
- ②園児数

保育必要量 区分	利用子ども数 (人)													平均利用 子ども数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
標準時間認定	47	47	47	47	47	46	46	45	51	51	51	51	576	48
短時間認定	14	14	14	14	14	19	17	17	14	14	14	14	179	14.9
園児数	61	61	61	61	61	65	63	63	65	65	65	65	755	62.9

(5) 保育

- 1) 保育の理念
 - ・ おもしろいことなんでもくじら級
- 2) 保育目標
 - ・ 自分の力で生きぬく子ども
 - ・ 夢に向かって頑張る子ども
 - ・ 地域を愛する子ども

3) 保育実践内容

- ・ 保育理念や保育目標に基づいた保育ができるように、一人ひとりの子どもの興味・関心を探り、保育内容に取り入れ、主体的に活動できるように教材なども含め環境を整えていくようにした。
- ・ 園児にとっての園生活が、安心・安全に過ごせるように、保育室や園舎周辺の環境に留意した。
- ・ 散歩やリズム・運動あそびを楽しみながら、年齢に応じた経験を積み重ねる事で体幹を鍛えるとともに、体力・運動機能が身に付くようにした。
- ・ 今年度より、外部講師による英語体験を始め、楽しく異文化に触れる機会を持つようにした。
- ・ 子どもの思いを汲み取ったり、共感したり、ありのままの子どもの姿を受け入れることで自己肯定感を育むとともに、保育者との信頼関係を築いていくようにした。

- ・子どもが自分で考えたり、工夫したり、友だちの思いを感じたりできるような保育者の関わりを心がけた。
- ・食育の一貫として、2・3・4・5歳児で、キュウリ・トマト・なす・ピーマン・オクラ・とうもろこし・大根・小松菜・ほうれん草・芽キャベツなどを育て、収穫した野菜を使ってのクッキングを楽しんだ。また、日常的に野菜の皮むきのお手伝いをすることで、更に食への関心を高めるようにした。
- ・送迎時や個別懇談会において、保護者とコミュニケーションを図り、成長の喜びを共有できる関係づくりに努めた。

- ① 保育時間 : (標準) 7:00~18:00
 : (短時間) 8:30~16:30
- ② 延長時間 : (標準) 18:00~19:00
 (短時間) 7:00~8:30 16:30~19:00
- ③ 特別保育事業 : 障害児保育・延長保育
- ④ 行事 : * 別紙1 行事報告書参照
- ⑤ 日課 : * 別紙2 デイリープログラム参照
- ⑥ 加配児保育 : 対象園児3名(3歳児 中軽度2名 / 5歳児 中軽度1名)

(6) 給食

完全給食：玄関前にその日の献立をタブレットにて掲示。
アレルギー児9名に対応したアレルギー除去食を提供。
行事食や郷土料理に触れる機会を持つ。

(7) 健康管理

①園児

- I 内科検診：6月・11月（嘱託医：よしかわ医院）
年2回・・・1回目 6月15日（全園児） 2回目 11月30日（全園児）
園嘱託医による健康診断を実施。健診当日、欠席の園児は後日受診。
- II 歯科検診：6月（嘱託医：はなよし歯科）
年1回・・・6月15日（全園児）
園嘱託医による歯科検診を実施。検診当日、欠席の園児は後日受診。
- III 尿検査 : 6月7・8・10日（全園児）
- IV 身体測定：身長・体重（年12回） 頭囲・胸囲（年2回）*0歳児は年12回
- V 視力・聴力検査：7月（5歳児） 12月（4歳児）

②職員

- I 定期健康診断 : 年1回（内科）1月に実施。
- II 腸内細菌検査 : 年12回（全職員）
- III ノロウイルス検査 : 年1回（管理栄養士・調理師）
- IV インフルエンザ予防接種：希望者

(8) 非常災害危険防止等、防災訓練の実践状況

①避難・消火訓練：年 12 回実施

②防犯訓練：年 2 回

月 1 回避難訓練を行い、火災・地震・台風等の災害を想定し、その状況に応じた誘導や避難をすることの重要性を指導した。10 月 13 日には消防署立ち合いのもと、通報・消火・避難訓練を実施。

(9) 2022 年度研修報告

【園内研修】

月日	研修内容	講師	対象
6/11	『保育環境』を見直そう	主任・副主任	園長 保育士（16名）
6/11	保育士のリーダー・サブ・補助の動きについて	主任・副主任	園長 保育士（16名）
7/21	『電話対応の仕方』～ロールプレイ～	主任・副主任	園長 保育士（8名）
7/22	『電話対応の仕方』～ロールプレイ～	主任・副主任	園長 保育士（6名）
7/26	『電話対応の仕方』～ロールプレイ～	主任・副主任	園長 保育士（6名）
9/3	めざすこども像について～グループ討議～	園長 主任・副主任	園長 保育士（20名）
11/5	事故防止発生対応マニュアルの確認	主任・副主任	園長 保育士（16名）
11/5	『保育環境』その後	主任・副主任	園長 保育士（16名）
12/17	めざすこども像について ～起承転結の4コマ漫画にしよう～	園長 主任・副主任	園長 保育士（13名）
12/17	より良い保育のためのセルフチェックリスト	主任・副主任	園長 保育士（13名）
12/17	『人権研修』 ～共に生きる一人ひとりの「存在」の尊さ～	草津市同和教育啓発講師団 西蓮寺 住職 上寺 和親 氏	園長 保育士（13名）
後日	『人権研修』 ～共に生きる一人ひとりの「存在」の尊さ～ ビデオ視聴	草津市同和教育啓発講師団 西蓮寺 住職 上寺 和親 氏	保育士（5名） 管理栄養士（1名） 調理士（2名） 事務員（1名）

【園外研修】

月日	研修内容	場 所	対 象
4/28	施設長研修（法人研修）	琵琶湖グランドホテル	園長
4/29	施設長研修（法人研修）	三雲くじら保育園	園長
5/12	新規採用保育者研修	オンライン研修	保育士（1名）
5/18	晴嵐学区研究保育	晴嵐幼稚園	保育士（1名）
5/26	自己肯定感の育み方と人材育成	滋賀県立長寿社会福祉センター	園長
6/2	幼児期心の発達	オンライン研修	保育士（1名）
6/21	保健研修・重大事故予防（法人研修）	オンライン研修	主任保育士
6/29	主任保育者研修会	滋賀県立長寿社会福祉センター	主任保育士
7/7	絵本の読み聞かせ	志賀総合教育センター	保育士（1名）
7/12	ブログの書き方について（法人研修）	オンライン研修	園長
7/13	乳児保育研修	オンライン研修	保育士（1名）
7/14	メンター研修	大津高島子ども 家庭相談センター	保育士（1名）
8/2	ことばの発達について（法人研修）	オンライン研修	副主任保育士
8/10	ブログの書き方について（法人研修）	オンライン研修	園長
8/24	発達支援研修	大津ふれあいプラザ	保育士（1名）
9/6	発達研修（法人研修）	オンライン研修	保育士（2名）
9/13	アレルギーフリー給食の実際～ おおわだ保育園なかよし給食の取り組み	おおわだ保育園	調理師（1名）
10/21	幼児自然体験	近江八幡幼稚園	保育士（1名）
10/25 ～26	施設長研修（法人研修）	新潟	園長
11/8	保健研修（法人研修）	オンライン研修	保育士（1名）
11/8	新規採用保育者研修	オンライン研修	保育士（1名）
12/6	発達研修（法人研修）	オンライン研修	保育士（1名）
12/6	医療的ケア児の保育について	オンライン研修	園長
12/21	幼児自然体験	上田上幼稚園	保育士（1名）

12/22	医療的ケア児の保育について	オンライン研修	副主任保育士
1/21 ~22	施設長研修（法人研修）	淡路島	園長
1/24	保育士採用に生きるブログ記事の作り方（法人研修）	オンライン研修	主任保育士 保育士（1名）
2/3	障害児保育実践交流会	大津市役所	保育士（1名）
2/7	言語研修（法人研修）	オンライン研修	保育士（1名）
2/18	多文化共生保育について	大津市民文化会館	保育士（1名）
3/1	コロナ禍での子ども・子育て ~子どもの脳や心の発達への影響~	滋賀県立長寿社会福祉センター	園長

【キャリアアップ研修】

月日	研修内容	場所	対象
7/9 7/16	保護者支援・子育て支援	びわこ学院大学	保育士（1名）
7/23 7/30	乳児保育	びわこ学院大学	保育士（1名）
7/1~ 8/31	乳児保育	eラーニング	保育士（3名）
10/24 ~ 12/23	食育アレルギー	eラーニング	保育士（2名） 管理栄養士（1名） 調理士（2名） 事務（1名）
10/24 ~ 12/23	マネジメント	eラーニング	保育士（2名）

4. ヒヤリハットと事故報告書の件数と事例報告

ヒヤリハット件数：2 件

【事例報告】

発生日時	発生場所	状況	原因	対策
11/11 (17:20)	にし保育室	延長保育の時間、使っていた玩具を保育者が倉庫に片付けようとしていたところ、保護者がお迎えに来られ、一瞬目を離したすきに、園児2名の姿が見えなくなる。残っていた保育士と共に捜索をすると、倉庫内で隠れているところを発見する。子どもたちは、かくれんぼをしていたつもりだったようである。その間3分ほど。	担任が、お迎えに来られた保護者に気を取られ、子どもたちの動きを把握できていなかった。また、いつもは倉庫の鍵はかけているのだが、お片付けをしようとしていたところだったので鍵が開いていた。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者対応をしながらも、子どもたちから目を離さず、動向を把握しておく。 倉庫は、短時間でも開けっ放しにしておかず、必ず鍵を閉める。
1/19 (9:35)	うみ保育室	朝のおやつを食べる際、M児のエプロンについていたネームタグのスナップボタンが壊れているのを発見。壊れている片方のボタンが見当たらなかったため、すぐに本児が口に入れていないか、下に落ちていないか確認をする。室内の物を全て動かして探したが見つからなかったため、保護者に確認の電話を入れる。自宅で探してもらったところ、スナップボタンの片方が家に落ちているのが見つかる。	子どもにエプロンを手渡す前に、破損していないかどうかの確認を怠ってしまったため、スナップボタンが園内に落ちているのか、自宅にあるのかの確認が持てなかった。	<ul style="list-style-type: none"> 使用する前に破損などがないか、必ず確認をする。 口に入れる可能性のある物は、最初から持って来ない様に保護者をお願いをする。

事故報告件数：2 件

【事例報告】

発生日時	発生場所	状況	原因	対策
12/7 (9:00)	だいち保育室	保育者がトイレの前で排泄に誘いかけた際に、小走りで向かってきて滑ってこけてしまう。その時に、額を窓ガラスの棧でぶつけてしまった。	3人体制だったのだが、ひとりにはままごとコーナー、もうひとりには死角になる位置にいたため、すぐに動く事が出来なかった。	<ul style="list-style-type: none"> 棧にコーナーガードを貼る。 保育者は、いつでも子どもたち全員が視界に入るように意識し、落ち着いた雰囲気です排泄に誘いかけるようにする。
2/18 (10:25)	国分1丁目公園	すべり台を勢いよくすべり降りた児が、そのままブランコの方へ走って行ってしまい、ブランコにぶつかり目の上に切り傷が出来てしまった。	この日は土曜保育で、担任以外の保育者だった事、連携園の職員との保育だった事なども重なり、事前の打ち合わせが十分に出来ていなかった。	<ul style="list-style-type: none"> 担任以外が保育をする場合も、色々な場面に対応できるように、しっかり打ち合わせをする。

月	行事
4月	・進級式・入園式・避難訓練・身体測定・体操教室・誕生会
5月	・個別懇談会・避難訓練・ミニ遠足・身体測定・誕生会
6月	・個別懇談会・検尿・避難訓練・歯科検診・内科検診（1回目）・体操教室・水遊び ・英語であそぼう・身体測定・誕生会・クッキング（3歳児 おにぎり）
7月	・保育参観・プール開き・視力聴力検査（5歳児）・身体測定・避難訓練・誕生会 ・体操教室（プール）
8月	・保育参観・夏まつり・体操教室・避難訓練・英語であそぼう・身体測定・誕生会 ・クッキング（2歳児 パリパリピザ）（3歳児 焼きそば・枝豆ごはん） （4歳児 ちくわオクラ）（5歳児 ピザトースト）
9月	・保育参観・避難訓練・体操教室・誕生会
10月	・運動会・避難訓練・芋ほり遠足（幼児クラス）・身体測定・誕生会・英語であそぼう ・シルエット劇場観覧（幼児クラス）・体操教室（3園2歳児交流）・ハロウィン ・クッキング（3歳児 さつま芋ごはん）
11月	・焼きいも・バス遠足（2歳児）・体操教室・身体測定・避難訓練 ・誕生会・内科検診（2回目）
12月	・卒園記念制作（5歳児）・生活発表会（乳児クラス）・視力聴力検査（4歳児）・誕生会 ・体操教室・身体測定・避難訓練・クリスマス会・年末年始休園（12/29～1/3）
1月	・初詣（獅子舞）・お正月あそび・身体測定・避難訓練・引き渡し訓練・体操教室 ・誕生会・生活発表会（幼児クラス）
2月	・個別懇談・節分豆まき・クッキング（5歳児 太巻きずし）・お別れ遠足（5歳児） ・身体測定・避難訓練・体操教室・誕生会・体操教室3園2歳児交流） ・クッキング
3月	・個別懇談会・身体測定・避難訓練・体操教室・誕生会・お別れ会・卒園式・入園説明会

デイリープログラム

別紙2

時間	乳幼児（0・1・2歳児）	幼児（3・4・5歳児）
7:00	早朝保育開始・随時登園 検温 排泄（オムツ交換）・手洗い	早朝保育開始・随時登園 自由遊び 排泄
9:00 9:30	朝の挨拶 午前おやつ	リズム 朝の挨拶
10:00	年齢・月齢に合わせた活動 リズム 運動・身体表現 散歩・散策活動 夏は水あそび・プールあそび など 排泄（オムツ交換）・手洗い 食事準備	年齢に合わせた活動 リズム 運動・身体表現 体操教室 散歩・散策活動 絵画・制作 夏は水あそび・プールあそび など
11:00	給食（離乳食・0歳児）	
11:15	給食（1歳児）	排泄・手洗い
11:30	給食（2歳児）	食事準備
12:00	※昼食後午睡（0・1・2歳児）	給食（3・4・5歳児）
12:30		歯磨き・そうじ
13:00		午睡（3歳児）
13:30		午睡（4歳児9月頃まで） 午睡（5歳児夏季のみ）
14:30	目覚め 排泄（オムツ交換）・手洗い・検温	目覚め 排泄・手洗い
15:00	おやつ	おやつ
15:30		帰りの会
16:00	順次降園	順次降園
18:00	延長保育	延長保育
19:00	最終園児降園	最終園児降園

2022年度事業報告書

1. 施設の理念

おもしろいことなんでもくじら級

こどもの心も体も夢もくじらのように、大きくなるような保育を行います。

基本的な生活習慣を家庭と一緒に築き、個々の「やりたいこと」を達成できるようにお手伝いし、地域の人との関わりを大事にし、ありがたいの心を育てる保育を行います。

2. 事業実績

開園5年目は、60名のスタートとなりました。

保育運営における子どもに関する事項としては、大きな事故等もなく、安全で温かい保育園として、地域の皆様との交流も始まり、地域を愛する、また愛される園となりました。

新型コロナウイルス感染症の流行にともない、7月から9月まで、園児・職員の罹患が確認され状況によおっては学級閉鎖を行い家庭保育に協力していただきました。また、行事においても運動会の保護者の参加人数を制限して開催しました。昨年度はオンライン形式で行った発表会・クラス参観は、保護者に来園して参加していただくことができました。

保護者からの意見等については、要望・意見をいただき、ありがたく受け止めて子どもたちの未来のために職員全体で向き合うことができました。

保育分野でのカリキュラムの検討、職員確保など課題はありますが、今後も継続的に、子ども・保護者・地域の皆様に愛される保育園として努力と研鑽を重ねていきます。

2022年度職員動向

(1) 職員総数：19名（2022年4月1日現在）

①常勤職員：12名

②パート職員：5名

③嘱託医(内科、歯科)：2名

(2) 職員採用・退職（退職者がある場合、それを補充する形で随時採用。）

保育需要に応じた職員配置を検討し随時採用。）

- ・4月：園長1名、主任1名、常勤保育士9名、パート保育士5名、保育補助1名、事務1名設置
- ・5月：保育補助1名退職
- ・6月：パート保育士1名採用
- ・7月：常勤保育士1名採用
- ・8月：変動なし
- ・9月：常勤保育士1名退職・パート保育士1名採用・派遣保育士1名契約
- ・10月：変動なし
- ・11月：変動なし
- ・12月：変動なし
- ・1月：変動なし

- ・ 2月 : 変動なし
- ・ 3月 : 園長 1 名異動、常勤保育士 2 名退職

(3) 各種会議

- ①職員会議・給食会議：12 回
- ②管理者会議：不定期
- ③保健会議：不定期
- ④カリキュラム会議：不定期
- ⑤クラス会議：不定期
- ⑥苦情会議：不定期

(4) 定員及び園児数

- ①定員: 60 名
- ②園児数

保育必要量 区分	利用子ども数 (人)													平均利用 子ども数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
標準時間認定	57	54	63	65	67	67	66	66	68	67	65	65	770	64.1
短時間認定	3	6	0	3	3	3	5	6	3	3	5	5	45	3.7
園児数	60	60	63	68	70	70	71	72	71	70	70	70	815	67.9

(5) 保育

1) 保育の理念 ・おもしろいことなんでもくじら級

2) 保育目標

- ・自分の力で生きぬく子ども
- ・夢に向かって頑張る子ども
- ・地域を愛する子ども

3) 保育実践内容

- ・保育理念や保育目標に基づき、保育士との信頼関係を築き情緒の安定を図るとともに、保育環境に配慮した。また、一人ひとりが自己を十分発揮して積極的に活動できるようにした。
- ・園外保育では、集団生活に必要なルールや社会でのルール・マナー等を身につけられるような様々な体験、経験を計画・実施した。
- ・様々な運動遊びを通して、体の使い方、話を聞くことやルールを守る大切さを学ぶ機会をもった。
- ・食育の一環として、3・4・5歳児で、夏野菜類（キュウリ、トマト、なす）やお米を育て、収穫した。野菜は給食やおやつとしてクッキングしたものを食べ、食育の関心を深めていった。
- ・個人懇談を実施、保護者の悩みや要望を傾聴し、より連携を深め安心して子どもを預けられるような取り組みを行った。

- ①保育時間： 7：00～18：00（短期保育時間：8：00～16：00）
- ②延長保育： 18：00～19：00
- ③特別保育事業：障害児保育、延長保育
- ④行事：行事報告書参照（別紙1）
- ⑤日課：ディリープログラム参照（別紙2）
- ⑥加配児保育：対象園児あり
- ⑦延長保育登録児 [延長保育時間：18：00～18：30／18：00～19：00／
16：00～19：00（短時間）]

時間帯	人数
18：00～18：30	5
18：30～19：00	1

時間帯	人数
16：00～17：00	0

(6) 給食

完全給食：未満児おやつ、給食、おやつの実施、クッキング保育を実施し食育へとつなげた。

アレルギー除去食や体調に配慮した給食の実施や、月齢に合わせた離乳食実施、郷土料理の普及に取り組んだ。

(7) 健康管理

①園児

I 内科健診：4月・12月（嘱託医：岡本医院）

年2回・・・1回目 4月27日（未満児・以上児）

2回目 10月11日（未満児・以上児）

園嘱託医による健康診断を実施。健診当日、欠席の園児は後日受診、全園児の健康管理に努めた。

II 歯科検診：5月（嘱託医：はしもと歯科医院）

年1回・・・6月2日 園嘱託医による歯科診断を実施。

III 蛭虫検査：なし

IV 尿検査：6月7・8日（全園児）全員異常なし。

②職員

I 定期健康診断：1回（内科）1月に実施。

II 腸内細菌検査：毎月1回（有研）サルモレラ菌・病原性大腸菌（0-157）の検査を、保育士・給食職員を対象に実施。全員異常なし。

III インフルエンザ予防接種：希望者

(8) 非常災害危険防止等、防災訓練の実践状況

①避難・消火訓練：毎月1回（12回実施）

②防犯訓練：1回

月1回避難訓練を実施。火災・地震・風水害等の災害や不審者侵入を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を指導した。通報・消火・避難訓練を実施。職員に対して実際に水消火器を使つての訓練も実施。避難時や誘導時また、消火の際の留意点等を再確認することが出来た。

2022年度 堅田くじら保育園研修報告

【自主研修】各テーマに基づき、発表者が研究を行い発表し、その他の職員と意見交換を行う。

【園内研修】

月	研修内容	場 所	対 象
10/1	法人理念について	保育室	全保育士
2/18	困った子どもへの対応について	保育室	全保育士
2/21	AEDの使い方	事務所	全保育士

【園外研修】

月	研修内容	場 所	対 象
5/19	交通安全研修	オンライン	園長
5/26	障害児基礎講座	オンライン	保育士 (1名)
6/2	幼児期のこころの発達	オンライン	主任
6/13	OT・PT 学習会	オンライン	保育士 (1名)
6/16	自然体験研修	希望ヶ丘	保育士 (1名)
6/21・22	新任研修	長寿センター	保育士 (1名)
6/29	主任研修	長寿センター	主任
7/8	新規採用職員研修	大津市民会館	保育士 (1名)
7/19	保育者研修	長寿センター	保育士 (1名)
8/2	保健衛生	オンライン	保育士 (1名)
8/8	食物アレルギー研修	オンライン	保育士 (1名)
8/9	地域担当研修	オンライン	保育士 (1名)
8/12	小児アレルギー疾患対策地域関係者研修会	オンライン	保育士 (1名)
8/17	保育者研修発達 発達支援	コラボ	保育士 (1名)
8/23	保育者研修虐待・保護者支援	コラボ	保育士 (1名)
9/1	保育研究集会	コラボ	保育士 (1名)
9/8	食に関する研修会	オンライン	保育士 (1名)
9/9	保健・安全研修会	オンライン	保育士 (1名)
9/16	保護者対応・保護者支援	オンライン	保育士 (1名)
9/28	発達講座①	オンライン	保育士 (1名)
2/7	自然体験研修	他園見学	保育士 (1名)

【キャリアアップ研修】

5/28・6/4	障害児保育	びわこ学院大学	保育士 (2名)
6/5・6/25	マネジメント	コミュニティーセンターひょうず	保育士 (1名)
6/26・7/2	保健衛生・安全対策	びわこ学院大学	保育士 (1名)

3. ヒヤリハットと事故報告書の件数と事例報告

ヒヤリハット件数：6件

【事例報告】

発生日時	発生場所	状況	原因	対策
4/27 (16:00)	2歳児保育室 (あめ)	部屋で自由遊びをしているとき救急車のサイレンが聞こえた。	網戸を開け外を覗いた拍子に前にいた子をおしてしまった。その際、足を打った。	網戸にしている際は約束事を伝えておく。保育者間の連携をとる。子どもたちの興味関心を把握しておく。
5/25 (15:10)	4歳児保育室 (そら)	おやつ準備をしているとき。保育者が机をアルコール液で消毒していた後ろから、子どもがアルコールを指につけてなめた。	アレルギー食を給食室から受け取りに行った職員が提供しなかった。ダブルチェックができていなかった為。	毎回、食事の確認を行い職員間で共通理解をしておく。
6/8 (10:30)	園外 近隣の公園	公園でベンチに座り水分補給をしようとした。その際、バランスを崩して転げ落ち頭部を打った。	ベンチの高さと子どもの体が合っていない。	ベンチの高さや子どもの行動を予想し水分補給する場所を選ぶ。
6/11 (15:00)	0歳児保育室 (うみ)	机につかまり立っていた児が、手を離した際にバランスを崩しおでこを机にぶつけて打った。	手を離すことを予測していなかった。	つかまり立ちの時期は不安定であるため、いつでも援助できる位置に保育者がいるようにする。また、空間の確保もしておく。
10/28 (12:00)	5歳児保育室 (くじら)	給食時、野菜炒めを食べていた園児が異物に気き、飲み込まずに出した。玉ねぎの皮が混入していた。	下処理・カット・洗浄・調理過程の中で混入した。	それぞれの調理過程の段階ですべての野菜において注意確認する。
3/3 (15:00)	1歳児保育室 (だいち)	午後のおやつ時アレルギー除去対応児の児に普通食を渡した。一口食べてしまった。	献立の確認をしたが、保育者同士の連携不足があった。	献立・除去食の確認と職員同士の共通理解を確実に行う。

事故報告件数：0件

【事例報告】

--	--	--	--	--

月	行事
4月	・進級式・入園式・身体測定・誕生会・避難訓練・内科健診・こどもの日の集い
5月	・身体測定・避難訓練・誕生会・スポーツ教室・バス遠足（幼児）
6月	・歯科検診・検尿検査・身体測定・避難訓練・誕生会・スポーツ教室
7月	・七夕の集い・身体測定・避難訓練・誕生会・スポーツ教室・プール開き・夕やけ保育
8月	・身体測定・避難訓練・誕生会・個人懇談・スポーツ教室・プール納め・すいかわり
9月	・非常食体験・身体測定・避難訓練・誕生会・スポーツ教室・敬老の日の取り組み
10月	・身体測定・避難訓練・誕生会・バス遠足（幼児）・スポーツ教室・手洗い教室 ・運動会（幼児）・芋ほり・交通安全カンガルー教室・内科健診・くじらまつり
11月	・身体測定・避難訓練・誕生会・スポーツ教室・ダンス体験教室・くじらゲルニカ（制作） ・焼き芋会・勤労感謝訪問
12月	・身体測定・避難訓練・誕生会・スポーツ教室・内科健診・クリスマス会・にこにこ広場 ・卒園製作染色体験（5歳児）・年末年始休園【12月29日～1月3日】
1月	・保育始め・身体測定・避難訓練・誕生会・視聴力検査（4歳児）・マラソン大会 ・かるた大会
2月	・豆まき・身体測定・避難訓練・誕生会・スポーツ教室・くじらゲルニカ（ワーク） ・発表会（幼児）
3月	・ひな祭り会・身体測定・避難訓練・誕生会・お別れ遠足・お別れ会・卒園式

デイリープログラム

時間	乳幼児（0・1・2歳児）	幼児（3・4・5歳児）
7:00	早朝保育開始・随時登園 検温 排泄（オムツ交換）・手洗い	早朝保育開始・随時登園 自由遊び 排泄
9:00	朝の挨拶	朝の挨拶
9:30	午前おやつ	
10:00	活動（水遊び夏季のみ） 年齢・月齢に合わせた活動 排泄（オムツ交換）・手洗い 食事準備	月齢に合わせた活動 製作、戸外遊び、園外散歩 （水遊び・プール遊び夏季のみ）
11:00	給食（離乳食・0歳児・1歳児）	
11:15	給食（2歳児）	排泄・手洗い
11:30	※昼食後午睡（0・1・2歳児）	食事準備・給食（3歳児）
11:45		給食（4・5歳児）
12:00		歯磨き・そうじ（5歳児）
12:30		午睡（3歳児）
13:00		午睡（4・5歳児：6～8月頃まで）
14:30	目覚め 排泄（オムツ交換）・手洗い・検温	目覚め 排泄・手洗い
15:00	おやつ	おやつ
15:30		帰りの会
16:00	順次降園	順次降園
18:00	延長保育	延長保育
19:00	最終園児降園	最終園児降園

2022年度事業報告書

1. 施設の理念

おもしろいことなんでもくじら級

こどもの心も体も夢もくじらのように、大きくなるような保育を行います。

基本的な生活習慣を家庭と一緒に築き、個々の「やりたいこと」を達成できるようにお手伝いし、地域の人との関わりを大事にし、ありがたいの心を育てる保育を行います。

2. 事業実績

2022年度は昨年度とほぼ同様の108名でスタートし、年間平均111人/月の園児を受け入れました。今年度は新型コロナウイルス流行第6波のピークアウトから始まりましたが、夏場に第7波があったように年間を通して新型コロナウイルス対策に追われた1年でした。

開園から5年目を迎えたこともあり開園後初めての第三者評価を受審しました。大きな指摘を受けることもなく、園運営に対してさまざまな助言もいただけるなど、有意義な受審となりました。

新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら、昨年に引き続き保護者の理解・協力のもとで入替制によるくじらフェス(運動会)と入場制限を設けた生活発表会はWebでのリアルタイム配信を行いました。1年間を通して子ども達の成長を共有することができました。

2022年度職員動向

(1) 職員総数：39名(2022年4月1日現在)

- ①常勤職員：15名
- ②パート職員：20名
- ③育児休暇取得職員：2名
- ④嘱託医(内科、歯科)：2名

(2) 職員採用・退職(退職者がある場合、それを補充する形で随時採用
保育需要に応じた職員配置を検討し随時採用。)

- ・4月：常勤保育士2名採用・常勤保育士2名退職
- ・5月：常勤保育士1名採用・パート保育士1名採用
- ・9月：パート保育士1名採用
- ・10月：パート保育士1名退職
- ・3月：常勤保育士3名退職・パート保育士4名退職・育児休暇取得職員1名退職

(3) 各種会議

- ①職員会議：12回
- ②給食会議：12回
- ③管理者会議：12回
- ④保健会議：不定期
- ⑤カリキュラム会議：不定期

⑥クラス会議：12回

⑦苦情会議：不定期

(4) 定員及び園児数

①定員：102名

②園児数：108名（2022年4月1日時点）

保育必要量 区分	利用子ども数（人）													平均利用 子ども数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3月	合計	
標準時間認定	94	99	98	98	98	96	97	97	97	96	95	95	1160	96.66
短時間認定	14	13	14	14	14	15	14	14	14	15	16	16	173	14.41
園児数	108	112	112	112	112	111	111	111	111	111	111	111	1333	111.08

(5) 保育

1) 保育の理念 ・おもしろいことなんでもくじら級

2) 保育目標 ・自分の力で生きぬく子ども
 ・夢に向かって頑張る子ども
 ・地域を愛する子ども

3) 保育実践内容

- ・保育理念や保育目標に基づき、情緒が安定した生活ができる様な環境に配慮し、また、昨年に引き続き、一人ひとりが自己を十分発揮して積極的に活動できるようにした。
- ・園外保育では、様々な体験、経験を通し集団生活に必要なルール等を遊びの中で身につけていった。
- ・くじらフェス（運動会）へ向けて、日々の練習を行うことで達成感を感じ、リレーではチームとしての一体感を感じ、勝つことの喜び、負けることの悔しさを感じながら、同時にお互いに思いやる気持ちをはぐくむことができた。
- ・生活発表会へ向けて、演じたい役をなかまと話し合うことで決めることで協調性を身につけ、お互いに協力し助け合いながら個々の役割を果たす事で達成感を味わい、クラスとしてのつながりを深めていった。
- ・ダンス教室では、リズムやテンポに合わせて身体を動かすことで、表現する喜びを得る機会ができ、自信につながる場面も増えてきた。
- ・食育の一貫として、さつまいもと夏野菜類（キュウリ、ミニトマト、ピーマン）を園庭で育て、全園児で収穫を楽しんだ。

①保育時間： 7:00～18:00（短時間保育：8:00～16:00）

- ②延長保育： 18:00～19:00（短時間延長保育：16:00～17:00）
- ③特別保育事業：障害児保育、延長保育
- ④行事： *別紙1 行事報告書参照
- ⑤日課： *別紙2 ディリープログラム参照

*加配児保育への対応

発達に心配のある園児に対しては、保護者・担当保育士・クラス担任で懇談する場を何度か設け、家庭と保育園が一体となって園児の対応にあたっていけるよう配慮した。

延長保育登録児 [延長保育時間：18:00～18:30 18:00～19:00]
7:00～8:00 16:00～17:00（短時間）
2022年4月1日現在

時間帯	人数	時間帯	人数
18:00～18:30	14	7:00～8:00	0
18:00～19:00	5	16:00～17:00	0

(6) 給食

完全給食：未満児おやつ、給食、おやつの実施、クッキング保育を実施し食育へとつなげた。

アレルギー除去食や体調に配慮した給食の実施や、月齢に合わせた離乳食実施、郷土料理の普及に取り組んだ。

(7) 健康管理

①園児

I 内科検診：5月・9月（嘱託医：はたクリニック）

年2回・・・1回目 5月25日

2回目 9月28日

園嘱託医による健康診断を実施。健診当日、欠席の園児は後日受診、全園児の健康管理に努めた。

II 歯科検診：6月（嘱託医：そが歯科医院）

年1回・・・6月2日 園嘱託医による健康診断を実施。

III 蟻虫検査：なし

IV 尿検査：3・4・5歳児 年1回（春）

②職員

I 定期健康診断：1回（内科）各自個別に実施。

II 腸内細菌検査：毎月1回（有研）サルモレラ菌・病原性大腸菌（O-157）の検査を、給食職員を対象に実施。全員異常なし。

III インフルエンザ予防接種：希望者のみ 14名

(8) 非常災害危険防止等、防災訓練の実践状況

①避難訓練：毎月1回（12回実施）

②総合・消火訓練：2回

月1回避難訓練を行い、火災・地震等の災害を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を指導した。

(9) 次年度の課題

- 年度当初は引き続き新型コロナウイルス感染防止対策をとりつつ、新型コロナウイルスの感染上の分類が5類に引き下げられた場合、これまで自粛していた行事等を見直して、園児がさまざまな経験を出来るようにしていきたい。
- リモート研修が多く開かれるようになってきたので、積極的にリモート研修へ参加し、研修成果を全職員で共有する。
- 補助金を活用しICT化を図る

2022年度 研修報告

【外部研修】

月	研修内容	参加者
6月	事故防止研修（大阪府）	保育補助
6月～1月	保育施設職員研修（吹田市） 他	保育士
11月	キャリアアップ研修（乳児保育）	保育士
12月	キャリアアップ研修（食育・アレルギー）	保育士
12月	キャリアアップ研修（保健衛生・安全対策）	保育士
12月	マネジメント研修	保育士
1月	キャリアアップ研修（幼児教育）	保育士
1月	キャリアアップ研修（障がい児保育）	保育士
2月	キャリアアップ研修（保護者支援・子育て支援）	保育士
3月	BCP 研修会	園長

【法人内研修】

月	研修内容	参加者
6月～	ブログ研修	主任
8月	ことばの発達について	保育士
9月	乳幼児期の心の発達	保育士
11月	保健研修	保育士
12月	対応に悩む子どもへの保育を考える	保育士
2月	ことばの発達と、生活上の「困り感」～事例から考える	園長

【園内研修】

月	研修内容	参加者
5月・6月	保険衛生研修①～③	保育士 ・保育補助

年間行事

月	行 事
4月	・入園式・身体測定・避難訓練・誕生会・野菜苗植え・芋苗植え・ダンス
5月	・身体測定・避難訓練・誕生会・ダンス
6月	・身体測定・避難訓練・誕生会・ダンス・歯科検診・内科健診
7月	・身体測定・避難訓練・誕生会・ダンス・水遊び・氷遊び
8月	・身体測定・避難訓練・誕生会・ダンス・水遊び
9月	・身体測定・避難訓練・誕生会・ダンス
10月	・身体測定・避難訓練・誕生会・ダンス ・芋掘り会・くじらフェス・内科健診
11月	・身体測定・避難訓練・誕生会・ダンス・秋の遠足(3・4・5歳児) ・くじらゲルニカ制作(4・5歳児)
12月	・身体測定・避難訓練・誕生会・ダンス ・クリスマス会・年末年始休暇(12/29~1/3)
1月	・身体測定・避難訓練・誕生会・ダンス
2月	・身体測定・避難訓練・誕生会・ダンス・個人面談 ・生活発表会・節分豆まき会
3月	・身体測定・避難訓練・誕生会・ダンス ・お別れ遠足(5歳児)・卒園式

デイリープログラム

時間	乳幼児（0・1・2歳児）	幼児（3・4・5歳児）
7:00	開園	開園
8:00	順次登園 視診 自由遊び	順次登園 視診 自由遊び 排泄 手洗い
9:15	排泄 手洗い	
9:30	おやつ	朝の会
10:00	検温（0歳児） 午前睡（0歳児） 年齢に応じた活動や遊び	設定保育 製作 戸外遊び 園外散歩 食育活動（クッキング） リズム など
11:00	排泄 手洗い 給食準備 給食（1・2歳児）	
11:15		排泄 手洗い 給食準備
11:30	給食（0歳児）	給食（3・4・5歳児）
12:15	午睡（1・2歳児）	
12:30		歯みがき そうじ 排泄 手洗い 手遊び 絵本
13:30	午後睡（0歳児）	午睡
15:00	起床 検温（0・1歳児） 排泄 手洗い	起床 排泄 手洗い
15:20	おやつ	おやつ
15:45		降園準備 お帰りの会
16:00	順次降園 自由遊び	順次降園 自由遊び
18:00	延長保育	延長保育
18:30	おやつ	おやつ
19:00	閉園	閉園

2022年度事業報告書

1. 施設の理念

おもしろいことなんでもくじら級

こどもの心も体も夢もくじらのように、大きくなるような保育を行います。

2. 事業実績

2022年4月時点での園児数は62名、2023年3月末には66名の受け入れて、2022年度の保育を締めくくる。

幼児クラスは定員を大きく下回っている。今後はますます地域の保護者から選ばれる保育園になるよう、保育の質の向上、他園との差別化を図る特色を打ち出していく必要性を感じている。

保育活動について、今年度はコロナ対策をしっかりと対策を講じた上で、外部会場を借りて、運動会、生活発表会を開催することができた。保護者からは、久しぶりにライブ感がある行事が喜ばれた。園児も保育士も達成感を十分に感じる事ができた。

活動が制限される中ではあるが、今年度も屋外での活動の充実を図り、地域の社会資源を生かした園外保育を実施した。(妹背の滝、おおの自然観察の森2回、宮島、植物公園、動物園など)園外散歩や遠足で、近隣の公園を中心に、少しずつ範囲を広げ、出かける回数が増えてきている。また今年度は、年長児、年中児は劇団四季のミュージカルを見る事ができた。本物の体験に子どもたちは引き付けられ、感動したことをそのまま園内の活動(段ボール迷路でのリトルマーメイドの再現、発表会で劇中歌を取り入れるなど)に活かすことができ、より深い保育内容につながった。

園での様子を身近に感じていただけるよう、ホームページの更新、SNSを活用した日常の様子の配信を積極的に行ってきたことで保護者からは満足のお声をいただくとともに、行政、地域の方、保育学生、求人採用などの様々な場で動画が良かったと言われるようになった。

食育活動は、畑で育てた野菜を初収穫し、幼児チームはクッキングを実施することができた。また給食室の協力の下、行事の雰囲気味わえる特別メニューや園児からのリクエストメニューも実施した。コロナ禍ではあるが食事を楽しむ経験ができた。

今年度は、本格的にICT化を取り入れる。導入直後は、取り扱いに職員も保護者も戸惑うことがあったが、すぐに慣れ、大きなトラブルや苦情はなかった。むしろ、「アプリでの配信で、楽になった」と前向きなご意見をいただいた。また、ICT化で、保育士の事務業務の軽減とペーパーレス化が進んだのが、最大のメリットだった。

次年度は、新園長。新主任のもと、よりあたたかい雰囲気の中で、子どもと保護者、保育士との3者の信頼関係を築き、個々の生活リズムや個性を尊重しながら、生きていくために必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう援助し、幼児クラスでは本物体験ができるよう計画していく。

ゆとりをもって保育にあたるよう新たな保育士の人員確保に努めるとともに未来の保育士育成にも目を向け、実習生を積極的に受け入れていきたい。

また、新たに改定された園の理念・くじらの願い・思いに基づいて、こどもたちにとって一生の思い出に残るおもしろい保育園であるように、保護者の方からは廿日市くじら保育園でよかったといただけるように、地域を愛し愛される保育園づくりに努めていきたい。

(1) 2022年度職員

職員総数：22名（2022年4月1日現在）

- ① 常勤職員：13名
- ② 非常勤職員：7名
- ③ 嘱託医(内科、歯科)：2名

(2) 職員採用・退職

退職者がある場合補充する形で随時採用し、保育需要に応じた職員配置を検討し随時採用する。

(3) 各種会議

- ① 職員会議・給食会議：12回
- ② 管理者会議：不定期
- ③ リーダー会議：不定期
- ④ 保健会議：不定期
- ⑤ 月案検討会：12回
- ⑥ クラス会議：不定期
- ⑦ 苦情会議：不定期

(4) 定員及び園児数

- ① 定員：70名（最大定員86名）
- ② 園児数

保育必要量 区分	利用こども人数													平均利用 こども数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
標準時間認定	44	42	41	42	45	45	46	47	49	48	51	49	549	45.75
短時間認定	18	20	21	19	17	18	18	18	18	19	17	17	220	18.33
園児数	62	62	62	61	62	63	64	65	67	67	68	66	769	64.08

(5) 保育

- 1) 保育の理念
 - ・ おもしろいことなんでもくじら級
- 2) 保育目標
 - ・ 自分の力で生きぬくこども
 - ・ 夢に向かって頑張るこども
 - ・ 地域を愛するこども
- 3) 保育方針
 - ・ 基本的な生活習慣を家庭と一緒に築いていく。
 - ・ 個々の「やりたいこと」を達成できる伴奏者となる。
 - ・ 地域の人との関わりを大事にし、感謝の心を育てる保育を行う。

4) 保育実践内容

- ・ 保育理念や保育目標に基づき、情緒が安定した生活ができる様な環境に配慮し、また、一人ひとりが自己を十分発揮して積極的に活動できるようにした。
- ・ 園行事はこどもたちに経験させたいねらいを明確にし、常に見直していく姿勢を大切におもしろいことを模索しながら取り組んできた。

- ・園外保育では、地域の自然や社会資源を積極的に活用して様々な体験、経験を通し集団生活に必要なルール等を遊びの中で身につけていった。
- ・様々な運動遊びや体育教室を通して様々な体の使い方を知り、個々の目標をもって取り組んだり、運動会・生活発表会の発表など協力して取り組んだりして楽しさを味わった。
- ・廿日市市の伝統であるけん玉を保育の中に取り入れ、年長になったらけん玉ができる楽しみにしており、年下児の良い刺激にもなっている。継続して集中力や根気力が養われ、様々な機会に発表したり、この技ができるようになりたいという目標をもって遊んだりした。市内で活動しているけん玉名人によるけん玉教室を年間4回実施した。
- ・食育活動は3、4、5歳児が野菜（キュウリ、トマト、ピーマン、スイカ、スナックエンドウ、枝豆、サツマイモ、そら豆）を栽培した。収穫した野菜は自分たちで調理して食べ、食への関心を深めていった。また、園のそばに畑を作り、年中児が中心となって玉ねぎ、ジャガイモを植え付けて年長になったときに収穫できるよう生長を楽しみにしている。
- ・地域の方から声をかけていただき、広い畑で苗植え体験や収穫体験をさせていただいた。畑で栽培している野菜や花について教えてもらったり、いただいた野菜を給食に入れたりして、交流を楽しんだ。
- ・毎月19日の食育の日は様々な郷土料理のメニューにちなんだクイズや3大栄養素について知らせていった。また、毎日の給食を写真で掲示することで関心を持って見ていただいている。
- ・今期は、HP、YouTubeでの発信に加え、Instagramにも挑戦した。コロナ渦でも、保護者や求職者、地域の方に園での取り組みをより発信しやすくなるとともに、閲覧者が使いやすいツールで情報をキャッチしやすくなった。遠方に住む、祖父母が毎回、孫が映ってないかと配信を楽しみにしていると報告も受けた。しかしながら、個人情報をどのようなマニュアルに沿って、取り扱い、配信するかは、明文化されたルールがないため、リスク回避をするためにも、ルール作りが課題である。

4) 保育概要

- ①保育時間：7：00～18：00（短期保育時間：8：30～17：00）
- ②延長保育：18：00～19：00
- ③特別保育事業：延長保育、障害児保育
 - *延長保育登録児（6名）
 - *加配児保育（5名）
 - 加配児保育への対応

発達に心配のある園児に対しては、保護者・担当保育士・主任・園長と個別懇談する場を何度か設け、個別の支援計画を立案し、家庭と保育園が一体となっていくとともに廿日市市の子育て応援室等の関連機関と連携して園児の対応にあたっていけるよう配慮した。
- ④行事：*別紙1 行事報告書参照
- ⑤日課：*別紙2 ディリープログラム参照

(6) 給食

- 完全給食：未満児午前おやつ、給食、午後おやつの実施、以上児クッキング
 月齢に合わせた離乳食、アレルギー除去食
 食育活動：郷土料理メニューの提供、誕生日メニューの提供

(7) 健康管理

①園児

I 内科検診：嘱託医 大野キッズ・ファミリークリニック

年2回・・・1回目 6月30日

2回目 1月26日

II 歯科検診：嘱託医 安芸歯科クリニック

年2回・・・1回目 6月 8日

2回目 11月18日

②職員

I 定期健康診断：毎年1回（内科）

II 腸内細菌検査：0歳児調乳担当 毎月1回

全職員 2か月に1回

[リンショー] サルモレラ菌・病原性大腸菌（O-157）の検査

III インフルエンザ予防接種：希望者

(8) 非常災害危険防止等、防災訓練の実践状況

①避難訓練・不審者訓練：毎月1回（12回実施）

月1回避難訓練を行い、火災・地震・津波の災害、園内への不審者侵入を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を指導した。

③ 広島県『みんなで減災』一斉地震防災訓練（5月）

④ 防火訪問（10月11日）

消防署員による定期立ち入り検査、通報・消火・避難訓練を実施。消防車両との記念撮影

⑤ 非常食体験（3月11日）

東日本大震災に合わせて非常食を作る、食べる体験を実施。津波の際には高いところに避難することを伝え、津波の絵本を読み聞かせした。3歳以上のクラスでは持ち出し袋の中に入っている物を見せ、乾パンを食べたり、電気が使えない想定から暗くした部屋でブルーシートを敷いた床の上で非常食のカレーやみかんを食べたりした。

(9) 研修報告

園内研修報告

【自主研修】各テーマに基づき、発表者が研究を行い発表し、その他の職員と意見交換を行う。

月	研修内容	発表者
4月	くじらの保育理念、目標の捉え方、年間計画の立て方について	園長
5月	目指す保育について（グループワーク）	主任
6月	保育カンファレンス（気になる園児について）	(司会)主任
7月	プールについて 夏の事故について	保育士
8月	くじら公開保育（段ボール迷路）	保育士
10月	保育カンファレンス（巡回支援の資料の書き方、9月の巡回支援の報告、保護者対応の仕方について）	(司会)主任

11月	心理におけるストロークの活用	保育士
12月	アレルギー、エピペンについて (9月の予定を12月に延期して実施)	保育士
12月	そら公開保育(スライム作り)	保育士
1月	あめ公開保育(小麦粉粘土あそび)	保育士
2月	にじ公開保育(劇遊びのすすめ方)	保育士
3月	だいち公開保育(えのぐあそび)	保育士

園外研修報告

4月	園長研修(廿日市市)	園長
4月	発達の研修「改訂した発達記録表を踏まえたこどもの発達」(廿日市市)	主任
5月	乳幼児研修(廿日市市)	保育士
6月	絵画の発達について(廿日市市)	保育士
6月	障がい児研修(廿日市市)	保育士
7月	体育研修(廿日市市)	保育士
7月	発達障害支援基礎研修(幼児期)(広島県)	保育士
9月	発達の研修「改訂した発達記録表を踏まえたこどもの発達」(廿日市市)	園長・保育士
10月	視察研修「くれよん視察」	保育士
11月	中堅主任保育士研修(厚生労働省)	主任
11月	初任保育所長等研修(厚生労働省)	園長
11月	広島県乳幼児期の教育・保育研修(広島県)	主任
11月	「おしゃべり広場」等 子育て支援者実務者研修会 手づくりおもちゃで伝える親子のコミュニケーション(広島県)	園長 保育士
11月	「おしゃべり広場」等 子育て支援者実務者研修会 発信!子育て支援のSNSの活用 子育て世代のSNS事情と効果的な活用について(広島県)	主任 保育士
11月	「おしゃべり広場」等 子育て支援者実務者研修会 特別講座子どものための心理的応急処置	園長 保育士
11月	危機管理研修(廿日市市)	園長・主任
11月	令和4年度公私交流会(廿日市市)	主任
1月	人権研修「保育園の中での人権」(廿日市市)	保育士
	保育士等キャリアアップ研修 『乳児保育』	保育士
	保育士等キャリアアップ研修 『幼児保育』	保育士
	保育士等キャリアアップ研修 『保護者支援・子育て支援保育』	事務
	保育士等キャリアアップ研修 『障害児保育』	保育士
	保育士等キャリアアップ研修 『食育・アレルギー対応』	保育士

3. 2022年度中に医師の診断を受けた事故報告

件数： 7件

発生日時	発生場所	状況	原因	対策
4/21 (9:50)	保育室	1歳児：山状の遊具で遊んでいた際、斜面を下っていたところ、足元がふらつき転倒し、顔面を打ち、唇から出血した。歯科を受診、医師により口唇裂傷と診断、処置を受け、経過観察となった。即日治療完了。	遊具の周りにマットを敷いてなかった。運動機能が未発達な子が活動している祭、保育士がそばにいなかったため。	運動機能が未発達な子が活動しているときは、保育士がそばを離れないようにし、必要な援助ができるようにする。マットやタオルを敷くなどして、転倒時の衝撃を少なくする。
6/8 (9:00)	保育室	5歳児：棚に入っていたブロックの箱をとろうと手を伸ばした際にふらつき転倒、棚に鼻をぶつけた。耳鼻咽喉科を受診、顔面打撲と診断、経過観察となった。	周囲を把握できていない状況で、ブロックを取りに行ったため。	保育士が、全体を把握できるようにする。
/23 (15:25)	保育室	4歳児：本児がおやつのおかわりを取りに行き戻った際、他児が椅子を引き転倒、後頭部を打ち出血した。脳神経外科を受診、頭部打撲と診断、経過間里となった。	ふざけて椅子を引いてしまった。善悪の判断ができていない。	面白半分が悪戯は事故につながることを伝えていく。 遊びながら食べないように指導していく。
9/26 (15:30)	保育室	5歳児：体育教室で跳び箱の練習をしていた際、踏み込みで失敗し足を捻った。整形外科を受診、左足関節捻挫、左足関節痛と診断され処置を受けた。	足を捻ったことに気がつかず、練習を継続させた。	子どもの表情や違和感にもっと気を配るようにする。
11/7 (12:15)	保育室	3歳児：ままごとキッチンで遊んでいた際、他児が本児にもたれかかり、ふらついてままごとキッチンの角に下唇をぶつけ、下の歯で下唇を噛み貫通、出血した。歯科を受診、歯の打撲と診断、処置を受け、経過観察。即日治療完了となった。	もたれかかって危険な状況でありながら、気がつかなかった。	危険な様子がないか、全体を把握する。
11/22 (11:30)	保育室	5歳児：屋上園庭での遊びを終え、トイレへ行こうとしていたところ、廊下で友だちと取っ組み合いの喧嘩になり、顔をつねられた際に目付近に傷ができた。眼科を受診、右眼急性結膜炎、右眼眼球打撲傷と診断。処置後、点眼薬が処方された。	声が聞こえた段階で、仲裁に入っていなかった。	手を出す前に止めるようにする。
1/14 (11:00)	保育室	0歳児：食事前に椅子に座るのを嫌がり、机付きのベビーチェアの机部分に口をぶつけた。 歯科を受診、上唇小帯裂傷と診断。処置を受け、即日治療完了となった。	嫌がる本児から目を離した。	目を離さないようにする。 ベビーチェアの隙間にクッション等を入れ座りやすいように工夫する。

2022年度 年間行事報告

月	行事
4月	・入園のつどい ・身体測定 ・避難訓練 ・誕生会
5月	・野菜苗植え（とうもろこし、ミニトマト、きゅうり、ピーマン）
6月	・歯科検診 ・内科健診 ・けん玉教室
7月	・プール開き ・七夕誕生会 ・野菜収穫
8月	・プール納め ・すいか割り ・アートイベント（3・4歳児）
9月	・運動会リハーサル ・けん玉教室
10月	・屋上運動会
11月	・園外保育 3歳児チチャス大野ふれあい公園 4歳児蜂が峯総合公園 5歳児おおの自然観察の森） ・避難訓練（消防車見学） ・いもほり ・おみせやさんごっこ ・Kujira Guernica ・クッキング ・歯科検診 ・玉ねぎの苗植え
12月	・クリスマス会 ・良いお年を迎えよう会（保育納めの集会） ・けん玉教室 ・年末年始休園（12月29日～1月3日）
1月	・保育始め（1月4日） ・内科健診
2月	・節分豆まき ・生活発表会・ジャガイモの種芋植え ・けん玉教室
3月	・お別れ会 ・ひな祭り誕生会 ・卒園記念製作 ・非常食体験 ・卒園式
毎月 行事	・避難訓練 ・習字教室（5歳児） ・体育教室（3～5歳児） ・身体測定

デイリープログラム

時間	乳幼児（0. 1. 2歳児）	幼児（3. 4. 5歳児）
7:00	早朝保育開始	早朝保育開始
8:00	随時登園 検温 排泄（オムツ交換）・手洗い	随時登園 自由遊び 排泄
9:00		
9:30	午前おやつ	朝の集まり
10:00	活動 年齢・月齢に合わせた活動	月齢に合わせた活動 製作、戸外遊び、園外散歩 食育活動（クッキング）
	排泄（オムツ交換）・手洗い 食事準備	排泄・手洗い
11:00	給食（離乳食・0歳児） （1歳児）	食事準備
11:15	給食（2歳児）	給食（3, 4, 5歳児）
11:30		歯磨き・そうじ
12:00	1・2歳児歯磨き 手遊び・絵本	手遊び・絵本
12:30	昼寝（0歳児）	昼寝
13:00	昼寝（1, 2歳児）	
13:30		
14:30	目覚め 排泄（オムツ交換）・手洗い	目覚め 排泄・手洗い
15:00	おやつ	おやつ・食育活動（クッキング）
15:30	帰りの集まり	帰りの集まり
16:00	順次降園	順次降園
18:00	延長保育・おやつ	延長保育・おやつ
19:00	最終園児降園	最終園児降園

2022年度 事業報告書

手倉田くじら保育園の運営

1. 施設の目的

保護者が働いていたり、病気の状態にあったり等、家庭において十分保育することができない児童を、家庭の保護者にかわって保育をすることを目的とし、通園する児童の心身の健全な発達を図る役割も有するものである。

2. 事業実績

名取市から1975年設立の公立保育所の建物を2019年に引き継ぎ、修繕等を重ねながら運営を行うなかで建物・設備の老朽化は免れず、保育施設として安全確保が喫緊の課題であった。子どもの安全確保を目的に名取市と建て替えに関する協議を重ね、一定の合意を得、現在、宮城県に各種の申請中である。

新園舎は現在の園庭への整備を計画し、既存の施設にて保育を継続した中で建設を進めていく予定であるため、安全面に配慮しながら継続して子どもたちが安心してのびのびと自分の思いを表現できるよう配慮していく。

今年度も保護者参加行事は感染症対策のため年齢別入替制で実施を計画した。どのクラスも和やかな雰囲気で見の育ちを保護者と共有できる場となり、保護者からもゆったりと観覧できたと好評であった。

5歳児親子レクリエーション「手倉田アートイベント」はコロナ第7波影響で5歳児のクラス閉鎖となり、やむなく延期とした。その後も園内の感染状況が収束しない状況が続いたため、行事の持ち方を職員と再検討し、家庭毎の実施を保護者に呼びかけたところ5歳児全家庭に協力いただき実施することができた。仕掛け公開日は平日ではあったが保護者参加を呼びかけたり、お迎え時に遊戯室を開放し、保護者と共有する場を設けていった。

また、アート活動の制作過程や保育活動の様子をHP紹介していったことで保護者以外に入園希望者や保育関係者などからも園の活動に反響があった。

保育活動では子どもたち一人一人が安心して自分の思いを表現できることを大切にできるよう、職員と話し合いを重ね、クラス毎に保育活動を工夫するよう努めていった。

特に5歳児が「やりたいこと」を実現する活動に意欲的に取り組む様子から他クラスも年齢に応じた活動を意欲的に取り組む様子が見られていた。

園外活動では子どもたちの興味関心の高まりに応じて設定、実施していったがコロナ感染急拡大により、やむなく延期等になることもあったが、園内で出来る活動を工夫していった。

また、年間通して保護者との個別面談、名取市及び保健センター等関係機関との連絡を密にし、保護者支援に努めていった。

職員については年度末での離職が3名あった。園児数、支援を要する児らの対応を踏まえ、適正数の配置を行いながら「考える保育」の実践を職員と考えていくと共に働きやすい職場作りに努めていきたい。

3. 2022年度職員動向

(1) 職員総数 33名 (2023年3月31日現在)

(イ) 常勤職員 : 22名

(ロ) パート職員 : 9名

※嘱託医2名は委託契約

(ハ) 異動職員 : なし

(2) 職員採用状況

退職職員がある場合に、それを補充する形での随時採用

通所の円滑化のため、保育需要に応じた職員配置を検討し随時採用

(3) 各種会議

(イ) 職員会議 : 毎月1回

(ロ) 給食会議 : 毎週1回

(ハ) 苦情会議 : 不定期

(4) 定員及び通園園児数

(イ) 通園定員 : 100名

(ロ) 園児数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
園児数	103	103	103	102	102	102	102	102	102	102	102	100	1,255	102

(ハ) 保育日数 288日/年

(5) 保育計画

(イ) めざすこども像 : ・自分の力で生きぬく子ども

・夢に向かって頑張る子ども

・地域を愛する子ども

(ロ) 保育時間 : (標準) 午前8時00分～午後6時00分

(短時間) 午前9時00分～午後4時00分

(ハ) 延長保育 : 午前7時00分～午前8時00分 (費用なし)

(月～金利用) 午後6時00分～午後7時00分 (2,400円/月)

(月～土利用) 午後6時00分～午後7時00分 (2,880円/月)

(ニ) 保育内容 : 各年齢の年間指導計画及び月指導計画に基づいた保育内容

(ホ) 特別保育事業 : 延長保育

(ヘ) 日課 : 別紙1 デイリープログラム参照

(ト) 行事 : 別紙2 行事報告参照

(6) 給食

(イ) 全児童 : 完全給食

(7) 健康管理

(イ) 児童

①内科健診 : 年 2回 (嘱託医 金沢内科胃腸科)

②歯科健診 : 年 2回 (嘱託医 おおみや歯科)

③尿検査 : 年 1回 (業者 日本環境衛生研究所)

(ロ) 職員

①定期健康診断 : 年 1回

②検便 : 年 12回 (保育士・栄養士・調理員)

(8) 非常災害危険防止

(イ) 避難・消火訓練 : 年 12回

(ロ) 交通安全指導 : 年 1回

(9) 研修 : 別紙3 研修報告参照

保育デイリープログラム

別紙 1

時間	0歳児前期	0歳児後期	1・2歳児	3・4・5歳児
7:00	《随時登園》 7:00~8:45までは、全体合同保育			
8:30	〈検温・視診〉 ~随時~ ・おむつ交換 ・ミルク(授乳) ・着替え	〈検温・視診〉 ~随時~ ・おむつ交換 ・ミルク(授乳) ・着替え	〈検温・視診〉 オムツ交換随時 排泄随時 着替え随時	〈検温・視診〉 順次：個別保育 ・園庭遊び ・コーナー遊び ~満たされる遊び~
9:00	《登園時間》 欠席・遅刻の場合は9:00までにご連絡下さい。			
	朝の挨拶	朝の挨拶	朝の挨拶	順次：個別保育
9:15	おやつ(ミルク)	おやつ	おやつ	・園庭遊び ・コーナー遊び ~満たされる遊び~
9:45	〈保育活動〉 子どもに応じた ・睡眠、休憩 ・スキンシップ遊び ・唄、運動遊びなど	〈保育活動〉 ・園庭あそび ・運動、身体表現 ・音、唄遊び ・散歩活動 ・色遊び など	〈保育活動〉 ・園庭あそび ・運動、身体表現遊び ・音、唄遊び ・散歩、散策活動 ・色遊び など	~満たされる遊び~
10:00	~随時~ ・おむつ交換 ・ミルク(授乳) ・着替え	~随時~ ・おむつ交換 ・ミルク(授乳) ・着替え	~随時~ ・おむつ交換、排泄 ・ミルク(授乳) ・着替え	朝のミーティング 〈集団保育活動〉 ・色、制作遊び ・運動、身体表現 ・音、唄遊び ・散歩、散策遊び ・主体性遊び ~意図的な保育活動~
10:45	食事準備 食事(離乳食)	食事準備	食事準備 手洗い・配膳	~ ~
11:00	ミルク(随時)	食事(離乳食) ミルク	食事 午睡準備 午睡前読み聞かせ	~随時~ 着替え、排泄
11:45	順次 睡眠	午睡		食事準備 手洗い・配膳
12:00			午睡	食事
12:30				はみがき 午睡準備 朗読
13:00				睡眠
14:30	随時めざめ	起床・手洗い	起床・手洗い	起床・手洗い
15:00	~随時~	おやつ	おやつ	おやつ
15:10	おむつ交換・着替え ミルク(授乳)	~随時~ おむつ交換・ミルク	夕の挨拶 自由遊び	振り返り ミーティング 自由遊び
19:00	《最終降園》 17:00以降は0、1、2歳児合同 18:00以降は全体合同保育			

2022年度 年間行事報告

月	事業内容	参加人員
4	入園式：感染症対策のため2部制で実施 5歳児園外活動（グリーンピア岩沼）	23人（22家庭） 19人
5	5歳児園外活動（田植え） 4歳児園外活動（いちご狩り）	19人 19人
6	5歳児園外活動（グリーンピア岩沼） 5歳児園外活動（仙台市天文台・仙台市西公園）	19人 19人
7	5歳児親子レクリエーション「手倉田アートイベント」 ⇒感染症発生のため延期	19人（18家庭）
8	手倉田アート活動（5歳児） 親子レクリエーション ⇒感染症対策のため家庭毎に実施	19人 19人（18家庭）
9		
10	3歳以上児運動会（感染症対策のためクラス別に実施） 5歳児園外活動（稲刈り） 5歳児園外活動（グリーンピア岩沼） 4歳児園外活動（加瀬沼公園）	58人（54家庭） 19人 19人 18人
11	増田西公民館作品展（4・5歳児） 風のゲルニカ（5歳児）	37人 37人
12	3歳以上児発表会 感染症対策のためクラス別に実施	55人（50家庭） 18人
1	5歳児園外活動（白石蔵王スキー場）	19人
2	3歳未満児発表会（感染症対策のためクラス別に実施） 5歳児園外活動（白石蔵王スキー場） 4歳児園外活動（白石蔵王スキー場）	43人（42家庭） 19人 18人
3	卒園式 5歳児園外活動（グリーンピア岩沼）	19人（18家庭） 17人

2022年度 研修報告

1. 園外研修

日付	研修内容	場所	参加者
2022年5月17日	宮保協・所長部会研修	オンライン	園長1名
6月11日	名取市保育所職員カウンセリング研修	名取	保育士1名
6月22日	名取市保育従事者研修（施設長・主任）	名取	園長1名 主任1名
9月15日	名取市保育所職員全体研修	名取	保育3名
9月20日～ 2023年1月31日	キャリアアップ研修〈乳児保育〉	オンライン	保育士2名
	キャリアアップ研修〈幼児保育〉	オンライン	保育士2名
	キャリアアップ研修〈障害児保育〉	オンライン	保育士2名
	キャリアアップ研修 〈食育・アレルギー〉	オンライン	保育士3名
	キャリアアップ研修 〈保健衛生・安全対策〉	オンライン	保育士3名
	キャリアアップ研修〈保護者支援〉	オンライン	保育士6名
	キャリアアップ研修〈マネジメント〉	オンライン	保育士1名
2022年10月7日	宮保協中央ブロック・以上児研修	名取	保育士1名
10月12日	名取市保育従事者研修（施設長）	名取	園長1名
10月18日	宮保協中堅保育士研修	オンライン	保育士1名
12月21日	名取市保育所職員・自主上映会①	名取	保育士4名
12月23日	名取市保育所職員・自主上映会②	名取	保育士5名
2023年1月17日	社会福祉協議会・園長研修	オンライン	園長1名

2. 園内研修

日付	研修内容
6月	保護者対応について
7月	目指すこども像について
9月	災害対応マニュアル確認・心肺蘇生法確認
10月	未満児保育について
12月	虐待防止について
1月	保護者支援について
2月	以上児保育について
3月	保育理念について

2023年4月21日

栗東くじら保育園

2022年度事業報告書

1. 施設の理念

おもしろいことなんでもくじら級

こどもの心も体も夢もくじらのように、大きくなるような保育を行います。

基本的な生活習慣を家庭と一緒に築き、個々の「やりたいこと」を達成できるようにお手伝いし、地域の人の関わりを大事にし、ありがたいの心を育てる保育を行います。

2. 事業実績

2022年度4月は122名のスタートとなりました。保育運営では年間を通じて大きな事故やケガもない1年だった。地域との連携を図りろうわ学校幼児部との交流を行った。開園4年目を迎え基盤となる保育カリキュラム園内研修など学習会等の機会を通じて保育の質の向上に更なる努力をした。ようやく職員が1つになり保育の基礎が出来てきた。園児の健康、安全第一に保護者との連携を密に信頼関係を築き安心して子どもを預けていただけるように努めていった。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、行事等の中止もあった。

2022年度職員動向

(1) 職員総数：26名（2022年度4月1日現在）

①常勤職員：14名

②パート職員：10名

③嘱託医(内科、歯科)：2名

(2) 職員採用・退職（退職者がある場合、それを補充する形で随時採用。

保育需要に応じた職員配置を検討し随時採用。）

- ・4月：園長1名、主任1名、常勤保育士9名、時短保育士2名、パート保育士9名、常勤管理栄養士1名、常勤栄養士1名、常勤調理師3名、事務1名設置
- ・5月：変動なし
- ・6月：正規職員1名退職　パート職員1名入職
- ・7月：変動なし
- ・8月：変動なし
- ・9月：変動なし
- ・10月：変動なし
- ・11月：変動なし
- ・12月：変動なし
- ・1月：変動なし
- ・2月：変動なし
- ・3月：変動なし

(3) 各種会議

- ①職員会議・給食会議：12回
- ②管理者会議：不定期
- ③保健会議：不定期
- ④カリキュラム会議：不定期
- ⑤クラス会議：不定期
- ⑥苦情会議：不定期

(4) 定員及び園児数

- ①定員:120名
- ②園児数

保育必要 量区分	利用子ども数 (人)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
標準時間認定	113	113	112	110	109	109	104	104	110	110	109	109	1312
短時間認定	9	11	12	15	15	15	20	20	14	14	15	15	175
園児数	122	124	124	125	124	124	124	124	124	124	124	124	1487

(5) 保育

- 1) 保育の理念
 - ・おもしろいことなんでもくじら級
- 2) 保育目標
 - ・自分の力で生きぬく子ども
 - ・夢に向かって頑張る子ども
 - ・地域を愛する子ども

3) 保育実践内容

- ・保育理念や保育目標に基づき、情緒が安定した生活ができる様な環境に配慮し、また、一人一人が自己を十分発揮して積極的に活動できるようにした。
- ・園外保育では、様々な体験、経験を通し集団生活や交通ルール等身につくことができた。
- ・食育の一貫として、以上児を中心にトマトを育て収穫した。秋には地域の方の畑でサツマイモ掘りを体験、調理をしてクッキングしたものを食べたり食育について関心もてた。
- ・個人懇談を通年2回おこない、保護者の悩みや要望を傾聴し、より連携を深め安心して子どもを預けられるような取り組みをおこなった。

- ①保育時間： 7：00～18：00（短期保育時間：8：00～16：00）
- ②延長保育： 18：00～19：00
- ③特別保育事業：障害児保育、延長保育
- ④行事： *別紙1 行事報告書参照
- ⑤日課： *別紙2 ディリープログラム参照

加配児保育：対象園児なし

延長保育登録児 [延長保育時間：18：00～18：30 18：00～19：00]
16：00～17：00（短時間）

時間帯	人数	時間帯	人数
18：00～18：30	24	16：00～17：00	0
18：00～19：00	13		

（6）給食

給食：未満児おやつ、給食、おやつの実施、クッキング保育を実施し食育へとつなげた。

アレルギー除去食や体調に配慮した給食の実施や、月齢に合わせた離乳食実施、郷土料理の普及に取り組んだ。

（7）健康管理

①園児

I 内科検診：6月・10月（嘱託医：うつのみや医院）

年2回・・・1回目 6月16日（未満児・以上児）

2回目 10月12日（未満児・以上児）

園嘱託医による健康診断を実施。健診当日、欠席の園児は後日受診、全園児の健康管理に努めた。

II 歯科検診：6月（嘱託医：おざき歯科）

年1回・・・6月9日 園嘱託医による歯科診断を実施。

III 蟻虫検査：なし

IV 尿検査：6月2・3日（全園児）全員異常なし。

②職員

I 定期健康診断：1回（内科）8月から12月に実施。

II 腸内細菌検査：毎月1回（有研）サルモレラ菌・病原性大腸菌（O-157）の検査を、給食職員を対象に実施。全員異常なし。

III インフルエンザ予防接種：希望者

（8）非常災害危険防止等、防災訓練の実践状況

①避難・消火訓練：毎月1回（12回実施）

②防犯訓練：2回

月1回避難訓練を行い、火災・地震等の災害を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を指導した。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため消防立ち合い訓練は中止となった。

2022年度 研修報告

【自主研修】各テーマに基づき、発表者が研究を行い発表し、その他の職員と意見交換を行う。

【園内研修】園外研修に参加した職員が報告書にまとめて回覧をする。

【園外研修】

月	研修内容	場 所	対 象
5/23	就学前保育教育内容研修	栗東市役所	保育士1名
6/21, 22	新任研修	長寿福祉センター	保育士1名
6/21	栗東子育てネクストプロジェクト研修	市役所	主任
7/25	サクラクレパス研修	カナリア保育園	保育士（1名）
7/5、29	人権、同和教育にかかわる校種別研修	金勝第一保育園 大宝西小学校	保育士（1名）
8/22	人権、同和教育にかかわる校種別研修	栗東中学校	保育士（1名）
7月	保育士研修会	長寿福祉センター	保育士（2名）
11/23	特別支援教育研修	発達支援センター	保育士（2名）
1/25	園における危機管理について	市役所	保育士（1名）
1/17	人権同和研修会	市役所	保育士（1名）
	キャリアアップ研修	指定場所	保育士（数名）

3. 事故報告書の件数と事例報告

3件

【事例報告】

発生日時	発生場所	状況	原因	対策
5/31 (12:55)	廊下 二階	給食を食べた後廊下にイスを並べていた。歯みがきを終えイスを取りに行こうと部屋を走って出た。廊下を歩いていた5歳児の子ども足につまずき、廊下に並べてあった椅子に上唇をぶつけてしまった。	狭い廊下にイスを並べてしまった。歯みがきを終えた後、イスの取りに行く時の約束を再確認するべきだった。	クラス内で走ってしまう子の姿が多数見られるため常に子どもの近くに立ち声をかけるようにしていく。
7/14 (15:50)	廊下 2階	保育士が木製ドアを開け踊り場へ出ようとした時階段を上がってくる園児がおり保育士が園児が通れるように木製ドアを開け通るよう促すが通る時に滑ってしまいカギのフックの部分で左側頭部を打つ。	保育士が開けた木製ドアの幅がせまくゆとりを持って通ることができなかった。	子どもが安全に園内を行き来できるようにその都度確認する。保育士等の位置に気を配る。

<p>12/21 (17:20)</p>	<p>2歳児保育室</p>	<p>保育室移動の為、片付けやそうじをしていた際に該当園児がマットの上で上体を反して裏に手をついて座っている状態で身体をひねり左腕に負荷がかかり腕がねじれた。(肘内障)</p>	<p>それぞれが次への準備をしている時間に発生したため絵本を見て待つなど落ちついて過ごすことができるよう注意する必要がある。</p>	<p>該当児、他児に対して室内で走ったり跳んだりすることが多いので十分注意しケガのないよう配慮をする。また前転をしようとしたり組体操のような事をする時にはしっかり保育士等の見守る中で広い空間で行うようにする。</p>

月	行事
4月	・入園式・身体測定・避難訓練・誕生会・運動遊び
5月	・身体測定・避難訓練・誕生会・運動遊び・身体測定
6月	・運動遊び・検尿検査・内科健診・歯科検診・身体測定・避難訓練・誕生会・
7月	・プール開き・身体測定・避難訓練・誕生会・運動遊び・夕やけ保育
8月	・身体測定・避難訓練・誕生会・運動遊び
9月	・身体測定・避難訓練・誕生会・運動遊び・保育参加・ゲルニカ制作・園外保育・ファミリーデー
10月	・身体測定・避難訓練・誕生会・人権教室・運動遊び・内科健診・運動会
11月	・身体測定 ・避難訓練・誕生会 ・運動遊び・運動遊び参観
12月	お楽しみ会・身体測定・避難訓練・誕生会・運動遊び・おもちゃつき・年末年始休園【12月29日～1月3日】
1月	・保育始め・初詣・身体測定・避難訓練・運動遊び・誕生会
2月	・節分豆まき・身体測定・避難訓練・誕生会・生活発表会・運動遊び
3月	・身体測定・避難訓練・誕生会・運動遊び・卒園式

2022年度年間行事報告

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した行事がある。

デイリープログラム

時間	乳幼児（0・1・2歳児）	幼児（3・4・5歳児）
7:00	早朝保育開始・随時登園 検温 排泄（オムツ交換）・手洗い	早朝保育開始・随時登園 自由遊び 排泄
9:00	朝の挨拶	朝の挨拶
9:30	午前おやつ	
10:00	活動（水遊び夏季のみ） 年齢・月齢に合わせた活動 排泄（オムツ交換）・手洗い 食事準備	月齢に合わせた活動 製作、戸外遊び、園外散歩 （水遊び・プール遊び夏季のみ）
11:00	給食（離乳食・0歳児）	
11:15	給食（1歳児）	排泄・手洗い
11:30	給食（2歳児）	食事準備
12:00	※昼食後午睡（0・1・2歳児）	給食（3・4・5歳児）
12:30		歯磨き・そうじ
13:00		午睡（3歳児）
13:30		午睡（4歳児9月頃まで） 午睡（5歳児夏季のみ）
14:30	目覚め 排泄（オムツ交換）・手洗い・検温	目覚め 排泄・手洗い
15:00	おやつ	おやつ
15:30		帰りの会
16:00	順次降園	順次降園
18:00	延長保育	延長保育
19:00	最終園児降園	最終園児降園

2022年度事業報告書

1. 施設の理念

おもしろいことなんでもくじら級

こどもの心も体も夢もくじらのように、大きくなるような保育を行います。

基本的な生活習慣を家庭と一緒に築き、個々の「やりたいこと」を達成できるようにお手伝いします。また、地域の方との関わりを大切に、ありがとうございますの心を育てる保育を行います。

2. 事業実績

2022年度は、133名のスタートとなりました。

4月から新園舎での生活が始まり、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、子ども達の健康と安全に配慮し、季節を感じる活動や伸び伸び過ごせる環境づくり、三雲くじらならではのユニークな保育活動に職員一同取り組んできました。

保育運営における子どもに関する事項としては、子どもの自主性を大切に安全で温かい保育園として、また地域の人権学習への取り組みに理解を深め、地域を愛する、また愛される園となるよう取り組んでいます。

今年度は保育士の魅力を伝える活動の依頼があり、小学校と高校へ出張授業をおこない、大変喜んでいただきました。公立園から移管して3年目を向かえ、ようやく地域の中の保育園として認知度も高まり、地域そして保護者の皆様との信頼関係の構築が出来てまいりました。

保育分野でのカリキュラムや書類様式等の検討・改善、園内研修などにも力を入れ、保育者が心を一つに、励まし合い支え合う保育を進めています。幼児期に大切な心の根っこを育てる為のかかわりができる保育者の育成や、三雲くじら保育園の特色を打ち出した保育ができるように、良心的で温かい保育園として地域の皆様に愛されるよう努力を重ねてまいります。

2022年度職員動向

(1) 職員総数：37名

(2022年4月1日現在)

- ①常勤職員：20名(事務1名含む)
- ②パート職員：17名(調理員3名含む)
- ③嘱託医(内科、歯科)：2名

(2) 職員採用・退職(退職者がある場合、それを補充する形で随時採用)

保育需要に応じた職員配置を検討し随時採用)

- ・ 4月：栄養士1名(正職) 調理員2名(1名フルタイム、1名パート)、パート保育士1名、採用
- ・ 5月：保育士1名フルタイム採用
- ・ 6月：派遣保育士1名採用
- ・ 7月：保育士6Hパート1名産休
- ・ 8月：
- ・ 9月：調理場パート1名採用

- ・10月：産休保育士6Hパート復帰、調理士正職1名（準職員から異動）
- ・11月：栄養士パート1名採用、保育士7Hパート1名産休
- ・12月：保育士6Hパート1名退職、
- ・1月：産休保育士7Hパート退職
- ・2月：調理士パート1名採用（4月から伴谷で正職）
- ・3月：3月末正職3名、パート保育士7名退職

（3）各種会議

- ①職員会議・給食会議：12回
- ②管理者会議：不定期
- ③保健会議：不定期
- ④カリキュラム会議：12回
- ⑤クラス会議：12回
- ⑥苦情会議：随時

（4）定員及び園児数

- ①定員：140名
- ②園児数：140名（2023年3月31日時点）

保育必要量 区分	利用子ども数（人）													平均利用 子ども数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
標準時間認定	101	102	104	105	107	107	108	106	106	108	108	108	1270	106
短時間認定	32	32	29	33	34	34	35	34	34	32	32	32	393	33
園児数	133	134	133	138	141	141	143	140	140	140	140	140	1663	138

（5）保育

1) 保育の理念 ・おもしろいことなんでもくじら級

2) 保育目標 ・自分の力で生きぬく子ども
 ・夢に向かって頑張る子ども
 ・地域を愛する子ども

3) 保育実践内容

- ・保育理念や保育目標に基づき、情緒が安定し安心・安全に生活が送れる環境を整え、一人ひとりが自己を十分発揮して積極的に活動できるよう配慮した。
- ・園外保育では、様々な体験、経験を通して集団生活に必要なルールなどを身につけていった。
- ・様々な運動遊びを通して、機敏な動作、正しい姿勢や柔軟性が身についた。また、運動会・生活発表会に向けて、協力し合いながら個々の役割を果たす事で、達成感や責任感が生まれクラスとしてのつながりが深まった。
- ・食育の一貫として、1歳から5歳児で、夏野菜類（キュウリ、トマト、オクラ）を育てる中で、

- 生長過程や収穫の喜びを知ることができた。そして、収穫した野菜をクッキングし、給食やおやつで食すことにより、食への興味関心が深まり食べることへの意欲に繋がった。手作りのレングのかまどではピザを作り、保育者や子どもたちと焼きあがりの過程も楽しむことが出来た。
- ・感染対策をしたうえで異年齢交流する場を設けたことがきっかけとなり、年長児が自然に年少児をいたわり思いやる心が育まれた。

- ①保育時間： 7：00～19：00（短期保育時間：8：00～600、
標準保育時間：7：30～18：30）
- ②延長保育： 7：00～7：30、18：30～19：00
- ③特別保育事業：障害児保育、延長保育
- ④行事： *別紙1 行事報告書参照
- ⑤日課： *別紙2 デイリープログラム参照

加配児保育

年齢	障害名	備考
3	自閉症スペクトラムの傾向	保護者との面談 発達支援センターによるアドバイス
4	自閉症スペクトラムの傾向	保護者との面談 発達支援センターによるアドバイス
5	自閉症スペクトラムの傾向	保護者との面談 発達支援センターによるアドバイス

*加配児保育への対応

発達に心配のある園児に対しては、保護者・担当保育士・クラス担任で懇談する場を何度か設け、家庭と保育園が一体となり、園児に寄り添いながら援助ができる体制を整えた。

延長保育登録児 [延長保育時間： 7：00～7：30 18：30～19：00]
16：00～19：00（短時間）

時間帯	人数	時間帯	人数
7：00～ 7：30	0	7：30～ 8：00	0
18：30～19：00	3	7：00～ 8：00	0

(6) 給食

自園給食

ア 未満児手作りおやつ、クッキング保育を実施し食育へとつなげた。

アレルギー除去食や体調に配慮した給食の実施や、月齢に合わせた離乳食実施、郷土料理の啓蒙に取り組んだ。

イ 園庭側の職員室の窓にその日の献立の写真を掲示し、保護者にもわかりやすく伝えた。

(7) 健康管理

①園児

I 内科検診：4月・10月（嘱託医：甲西駅前診療所 佐々木先生）

年2回・・・1回目 4月 14日（全園児）

2回目 10月 13日（全園児）

園嘱託医による健康診断を実施。健診当日、欠席の園児は後日受診、全園児の健康管理に努めた。

II 歯科検診：6月（嘱託医：芦田歯科医院 芦田先生）

年1回・・・6月 2日 園嘱託医による健診を実施。

III 蟯虫検査：なし

IV 尿検査：6月 7日（全園児）実施。全員異常なし。

予備日：なし

②職員

I 定期健康診断：1回（内科）11月に実施。

II 腸内細菌検査：毎月1回（有研）サルモネラ菌・病原性大腸菌（O-157）の検査を、給食職員を対象に実施。全員異常なし。

III インフルエンザ予防接種：希望者

(8) 非常災害危険防止等、防災訓練の実践状況

①避難・消火訓練：毎月1回（12回実施）（避難食体験年1回実施）

②防犯訓練：2回

月1回避難訓練を行い、火災・地震・水害等の災害を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を指導した。避難時や誘導時また、消火の際の留意点等を再確認することが出来た。今年度もコロナ感染防止のため消防署立ち合いは中止となった。

2022 年度 研修報告

【自主研修】各テーマに基づき、発表者が研究を行い発表し、その他の職員と意見交換を行う。

【園内研修】

月	研修内容	対象	発表者
6月 21日	・保健研修 重大事故予防	職員	法人研修部
7月 6日	・巡回相談後の研修5歳児発達について	職員	発達支援センター
7月 12日	・ブログの書き方について	施設長	法人研修本部
7月 29日 ～30日	・令和3年度新卒者フォローアップ研修	令和3年度新卒者	法人研修本部
8月 2日	・言語研修	職員	法人研修本部
8月 4日	・巡回相談後の研修4歳児発達について	職員	発達支援センター
9月 6日	・発達研修	職員	法人研修部
10月25日 ～26日	・施設長研修目指す子ども像について	施設長	法人研修本部
11月 8日	・保健研修 基礎研修	職員	法人研修部
12月 6日	・発達研修	職員	法人研修本部
12月 6日	・巡回相談後の研修3歳児	職員	発達支援センター
1月 21日 ～22日	・施設長研修 目指す子ども像について まとめ	施設長	法人研修本部
2月 7日	・言語研修	職員	法人研修本部

【園外研修】

月	研修内容	場 所	対 象
5月 19日	新転任者人権研修	みくも地域人権福祉市民交流センター	保育士（1名）
6月 21日	湖南省内保育士研修 ・食物アレルギー基礎知識・エピペン	サンライフ甲西	保育士（1名）
6月 21日	湖南省教職員合同研修 ・部落問題基礎講座「差別の歴史」を俯瞰する	みくも地域人権福祉市民交流センター	保育士（1名）
8月 25日	湖南省言葉の教室 ・皆で考えよう～あなたならどうする？～不登校事例を通して	オンライン形式（三雲くじら保育園）	保育士（1名）
9月 31日	調理担当者研修 ・アレルギーフリー給食について	コラボしが21	栄養士（1名）
10月11日	湖南省内保育士研修 ・感染症について	サンライフ甲西	保育士（2名）

11月 9日	湖南・甲賀市保育士会 ・園における食育について離乳食・幼児食	甲賀市水口交流センター	栄養士（1名）
11月21日	湖南市内保育士研修 ・子どもに関する人権について	みくも地域人権福祉市民交流センター	保育士（1名）
10月～12月	キャリアアップ研修（乳児保育、幼児教育、障害児保育、保健衛生・安全対策、食物・アレルギー対応、保護者支援・子育て支援、マネジメント）	e-ラーニング	事務（1名） 保育士（9名）

3. ヒヤリハットの件数と事例報告

件数：7件

【事例報告】

発生日時	発生場所	状況	原因	対策
5/9 (10:30)	5歳児 園外	園舎横の隣家の畑で、鬼ごっこをして遊んでいた時に、走って逃げようとしてこけてしまい地面で肩を打つ。	凹凸のある畑でこけた時に、とっさに手が出ず、前のめりにこけてしまった。	足場が整地されていない場所での遊び方を考える。
5/30 (10:30)	5歳児 園外	畑の水やりをした後、並んで待っている間に見つけた虫を触り、指先を刺された。	好奇心から、見慣れない虫に触れてしまった。	この時期繁殖の為に攻撃的になっている虫もいるため、触れる前に保育者に知らせ、網や軍手などを付けて虫を掴まえるようにする。
6/6 (9:30)	1歳児 保育室	午前おやつの前、ゲートのロック部分に本児が手をかけていたところ、他児が上下に動くロックを下げてしまい指が挟まった。	ゲートのロック部分が壊れていて、ロックがかからず上下に簡単に動く状態になっていた。まま使用していた。	ゲートの破損部分を放置せず、すぐに修繕する。 ゲートの傍に保育者がいなかったため、ドアも含め指を挟む恐れのある場所には必ず保育者がつく。ゲートの位置を検討しなおす。
6/22 (10:40)	2歳児 保育室	ままごとで使っている、空になったかごを押して歩いたため、バランスを崩し頬に跳ね返ってきたかごが当たった。	空のかごをすぐに片づけなかったため。	空のかごはすぐに片づけるように職員間で周知する。新聞遊びと絵具あそびを並行して別のコーナーでしていたので、活動内容を見直す。
9/12 (10:30)	5歳児 園庭	園庭で鬼ごっこをして遊んでいるときに、友だちと顔面衝突してしまった。	遊びの中で、周囲の状況の確認不足。	遊んでいた場所は、狭くなかったか等、環境の見直しをする。 遊びに夢中になると、前方不注意になるので、安全に遊べるように必要な援助をする。

<p>9/21 (10:15)</p>	<p>5歳児 保育室</p>	<p>保育室で、本児の前方を歩いていた他児が急に振り向き、本児の口と他児の頭がぶつかった。</p>	<p>周囲の状況確認不足。</p>	<p>室内での遊び方を、検討しなおす。</p>
<p>9/26 (11:50)</p>	<p>2歳児 保育室</p>	<p>給食のグリーンピースを右の鼻に入れてしまい、取れなくなった。</p>	<p>保育者の予測不足。食事も終盤だったため、食器の片付けなどでその場を一瞬離れてしまった。</p>	<p>食器は、全員が食事を終わってから片づけるようにし、その場を離れないようにする。最後まで安全に食べられるように見守る。</p>

月	行事
4月	・入園式 ・進級式 ・園児内科検診
5月	・さつまいもの苗植え・野菜の苗植え
6月	・歯科検診 ・園児検尿検査 ・参観とクラス懇談会（以上児） ・にこにこくじら（未就園児） ・リトミック（以上児）
7月	・水遊び・七夕のつどい ・野菜収穫クッキング ・リトミック（以上児） ・にこにこくじら
8月	・夏のお楽しみ会 ・収穫野菜を使ったピザパーティー ・にこにこくじら ・リトミック（以上児）
9月	・避難訓練（引き渡し訓練） ・にこにこくじら ・リトミック（以上児）
10月	・芋ほり（サツマイモ） ・リトミック（以上児） ・運動会（以上児） ・園児内科検診 ・壁面アート（5歳児親子）・にこにこくじら
11月	・遠足（以上児） ・リトミック（以上児）・未満児（親子ふれあいあそび） ・にこにこくじら ・みくも人権まつり（5歳児ステージ発表・以上児絵の展示） ・風のゲルニカ2022（4・5歳児） ・三雲レインボーロード
12月	・発表会（3・4・5歳児） ・冬のお楽しみ会 ・リトミック（以上児） ・年末年始休園【12月29日～1月3日】
1月	・保育始め ・お正月遊び ・お茶会はじめ（5歳児） ・リトミック（以上児） ・非常食体験 ・サッカー教室
2月	・節分豆まき ・入園説明会 ・不審者対応訓練・5歳児参観（親子でピザづくり） ・サッカー教室 ・リトミック（以上児）
3月	・5歳児お別れ会 ・リトミック（以上児） ・ひな祭り会 ・卒園式 ・修了式

〈定例行事〉

- ・誕生会
- ・避難訓練
- ・身体測定
- ・クッキング

時間	乳幼児（0. 1. 2歳児）	幼児（3. 4. 5歳児）
7:00	早朝保育開始	早朝保育開始
8:00	随時登園 検温 排泄（オムツ交換）・手洗い	随時登園 自由遊び 排泄
9:00	視診、朝の会	視診、当番活動
9:30	午前おやつ	朝の会
10:00	活動 年齢・月齢に合わせた活動	月齢に合わせた活動 製作、戸外遊び、園外散歩 食育活動（クッキング） リズム など・・・
	排泄（オムツ交換）・手洗い 食事準備	排泄・手洗い
11:00	給食（離乳食・0歳児） （1歳児）	食事準備
11:15	給食（2歳児）	
11:30		給食（3. 4. 5歳児）
12:00	1・2歳児歯磨き 手遊び・絵本	歯磨き・そうじ 手遊び・絵本
12:30	昼寝（0歳児）	
13:00	昼寝（1、2歳児）	
13:30		昼寝（3歳児）
14:30	目覚め 排泄（オムツ交換）・手洗い	目覚め 排泄・手洗い
15:00	おやつ	おやつ
15:30	帰りの会	帰りの会
16:00	順次降園	順次降園
18:30	延長保育	延長保育
19:00	最終園児降園	最終園児降園

2022年度事業報告書

1. 施設の理念

おもしろいことなんでもくじら級

園児の未来像は、健康で相手への思いやりをもち、生き抜く力を持つ事だと考えます。その未来に向かって夢も体も「くじら」のように大きくなる保育を目指します。基本的な生活習慣を家庭と一緒に築き、個々の気持ちを感じ、「やりたいこと」を達成できる様援助します。地域の人とのかかわりを大切に、「ありがとう」の心を育てる保育を行います。

2. 事業実績

2020年度、定員110名で開園する。

一昨年度に引き続き今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、入園式は新入児のみ参加の入園式を行う。この様な状況だからこそ、保育の面では子ども一人一人に寄り添った保育に努め、安心して生活できる環境に職員一同で取り組んだ。伊予農業高等学校との食育交流や地域の方々による、サッカー教室、茶道教室等、ご協力いただき色々なかたちの交流のある保育内容が充実できた。

2022の「くじらゲルニカ」のテーマは、『風のゲルニカ』。風を感じ、風の流れる空気をうける事で平和（仲直り）への願いが届くように願いを込め、4.5歳児が風車を制作する。制作の時間もZOOMで仲間とつながり、それぞれの制作を見たり、見てもらったりすることで、どこが難しかったかを話す事でお互いの思いを理解でき、制作を楽しむことが出来た。

園内研修では全職員で周知し職員のスキルアップ向上へと取り組んだ。また、保護者からの意見や要望には、細やかに対応していくことで信頼関係の構築に繋げることができた。これからも信頼して頂ける温かい保育園を目指すと共に、地域の皆様に愛される努力を今後も重ねて行きたい。

2022年度職員動向

(1) 職員総数：25名（2022年4月1日現在）

- ①常勤職員：15名
- ②パート職員：10名
- ③給食調理員：0名
- ④嘱託医(内科、歯科)：2名

(2) 定員及び園児数

- (イ) 定員：110名
- (ロ) 園児数：110名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
園児数	110	110	113	113	113	116	118	119	118	118	120	120	1,388	115.7
短時間	18	19	16	16	16	16	24	26	23	21	24	25	244	20.3

(5) 保育

(イ) 教育保育の理念 ・ おもしろいことなんでもくじら級

(ロ) めざす子ども像 ・ 自分の力で生きぬく子ども
・ 夢に向かって頑張る子ども
・ 地域を愛する子ども

(ハ) 保育実践内容

- ア 保育理念や保育目標に基づき、情緒が安定した生活ができる様な環境に配慮し、また、一人一人が自己を十分発揮して積極的に活動できるよう援助する。
- イ 基本的な生活習慣や集団生活に必要なルール等を遊びの中で身につくよう知らせる。
- ウ 様々な運動遊び（体育教室等）を通して、機敏な動作、正しい姿勢や責任感を身につくよう援助する。また、目標に向かって協力し合い個々の役割を果たす事で達成感を味わい、クラスとしてのつながりを深めていった。
- エ 食育の一貫として、高等学校のお姉さんと一緒に夏野菜・冬野菜を植え育て収穫する事で、野菜の嫌いな子たちまで野菜に興味を持ち、食べず嫌いをなくしていった。また、実際の交流の無い小さな年齢の園児も畑の野菜に関心を持ち、収穫を楽しむことが出来た。このことから、命を頂く事に感謝する姿が見られるようになった。

(6) 保育計 (イ) 保育時間 : 7:00~18:00 (短期保育時間: 8:00~16:00)

(ロ) 延長保育 : 18:00~19:00

時間帯	人数
18:00~18:30	5人
18:00~19:00	2人

(7) 給食

- 完全給食: ア 玄関フロアーにその日の献立をして掲示し、保護者にもわかりやすく伝え降園時には親子で楽しそうに話している様子が見られた
- イ 味付けは化学調味料を使用せず、素材の味・風味を生かし薄味にした。
- ウ 食前食後の挨拶をし、感謝をしていただくという気持ちをもたせ、皆で食べる楽しさや食事のマナー面の意識を高めた
- エ 毎月19日は食育の日とし、各地の郷土料理等テーマを持った献立の導入を図った。

(8) 健康管理

(イ) 児童

①内科検診 : 年 2回 (嘱託医: 宇山裕子医師)

②歯科検診 : 年 2回 (嘱託医: 佐々木歯科医院)

嘱託医による検診を実施。欠席の児童は後日受診し全園児の健康管理に努めた。

③尿検査 : 年 1回 (3歳以上児実施・要検査なし)

④身体測定 : 毎月、身長、体重の測定をしてその結果を保護者へ園児配信 (コドモン園児台帳) した。

(ロ) 職員

①定期健康診断 : 年 1 回

②腸内細菌検査 : 年 1 2 回 (愛媛臨検) サルモシラ菌・病原性大腸菌 (O-157) の検査を給食調理職員・0 歳児担当・延長保育担当職員を対象に実施。全員異常なし

(9) 非常災害危険防止等、防災訓練の実践状況

(イ) 避難・消火訓練 : 年 1 2 回

月 1 回の避難訓練を行い火災・地震等の災害を想定し、その状況に応じた誘導や避難する事の重要性を指導した。2 月には、総合訓練として消防署の立会いの下行う予定(通報・消火・避難訓練・防火教育)だったが、新型コロナ感染症の為に中止になった。

(ロ) 防犯訓練・交通安全教室 : 年 1 回・年 12 回

防犯訓練では、伊予警察署の協力のもと実施計画したが、コロナ感染症の為に中止となった。

(ハ) 安全管理 : 年 12 回

ヒヤリハットやアクシデントが生じる時は、報告書を提出し全職員で共有し危険にはすぐ対応することとし、事故に繋がらないように努めた。

(ニ) 交通安全指導 : 月 1 回(交通安全指導) 年 1 回 (伊予交通安全教室)

交通ルールに関する指導しながらの散歩や、全園児を対象に交通安全について興味を持たせ、ルールを守る事の大切さの指導を受ける計画を作成したが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

(ホ) 小学校との連携 : 今年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、実施予定していた行事が中止。ただ、町探検で保育園に探検にやってきた 2 年生と交流ができた。年度末に行われる、年長児の学校体験授業は中止になり、連絡会も昨年度同様に担当職員のみでの参加で行われた。

2022 年度 園内研修

月	研修内容	発表者
5/25	4 歳児の遊び	保育士
6/7	言葉の発達について	保育士
6/21	夏の病気の対応について	保育士
7/14	保護者の対応について	保育士
8/29	水に対する気になる行動	保育士
8/29	言葉遣いと電話対応について～保育園では～	保育士
9/22	3 歳児の遊びと環境	保育士
12/14	お散歩マップ	保育士
12/14	未満児の遊びと環境	保育士
1/11	幼児期の育ち	保育士
1/11	0 歳児の発達と遊び	保育士
2/15	ハラスメントについて	園長

【園外研修会 ZOOM】

日程	研修内容	参加者
8/2	ことばの遅れの要因	保育士 2 名
9/6	乳幼児期の心の発達	保育士 2 名
11/8	保健・基礎研修	保育士 2 名
12/6	対応に悩む子どもへの保育を考える	保育士 1 名
1/24	保育士採用に生きるブログ記事の作り方	主任 1 名
2/7	言葉の発達と、生活上の「困り感」～事例から考える～	保育士 2 名
6/23～7/3	キャリアアップ研修 乳児保育	保育士 1 名
8/31～9/10	キャリアアップ研修 障がい児保育	保育士 7 名
9/21～10/1	キャリアアップ研修 食育・アレルギー対応	保育士 7 名
10/12～10/22	キャリアアップ研修 保健衛生・安全対策	保育士 6 名
11/9～11/19	キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援	保育士 4 名
1/11～1/21	キャリアアップ研修 マネジメント研修	保育士 1 名

3. 2022 年度中に医師の診断を受けた事故報告 [事例報告]

年齢	発生日	事故内容	実施した対策	結果
4 歳児	4/23	保育室にて給食の配膳のため、列になって並ぼうとして移動中に他児の座っている椅子の足に引っ掛けて転倒	テーブルとの間の通路が狭かった為の怪我と考えられる。通路を広くとるよう改善する。	優歯科オフィス (即日治療完了)
4 歳児	6/17	園庭にてハチを見つけ踏みつけて遊んでいて、刺された疑い。	園庭の環境整備を行う。遊び方について話し合う。	武宮皮膚科 (即日治療完了)
2 歳児	6/18	保育室にて走って他児とぶつかり口を強打する	室内では走らないようその都度知らせていく。	西岡歯科 (翌日治療完了)
4 歳児	6/30	園庭の草花で遊んでいてハチに刺される。	園庭整備を行う。	むかいだ小児科 (即日治療完了)
2 歳児	9/27	手洗い場で、蛇口に顔面(鼻)を強打する。	手洗い場では、保育士が見守って安全確認する。	谷口耳鼻咽喉科 (即日治療完了)
4 歳児	9/30	給食中、メニューの魚がのどに刺さる。 (のどには異常なし)	給食の魚料理の食べ方には集中して食べるよう知らせる。	谷口耳鼻咽喉科 (異常なし)
2 歳児	9/21	保育室にて走って転倒し、頭部(側頭部)を打つ	室内では走らないようその都度知らせていく。	むかいだ小児科 (即日治療完了)
2 歳児	10/11	保育室で集会を行っていた時、隣に座っていた他児の頭と本児の口元がぶつかり口から出血	保育中も一人一人を見守っていくよう配慮していく	これさわ歯科 (即日治療完了)
1 歳児	11/30	園庭で転倒する。その時顔面を打つ。	戸外での遊び中は、十分配慮していきたい。	永井クリニック (即日治療完了)
1 歳児	1/14	固定遊具のジャングルジムの中で遊んでいて、出てくるときに顔面を強打	傍に保育士がいなかったため、十分留意していくようにする。	徳丸小児科 (即日治療完了)
3 歳児	3/4	固定遊具のジャングルジムで足をかけようとして滑って鼻の下を強打する。	保育中も一人一人を見守っていくよう配慮していく	かまくら歯科 (即日治療完了)

月	行事内容
4月	・入園式・食育交流（農業高等学校）・内科健診・茶道教室 ・身体計測・避難訓練・誕生会・サッカー教室・けんスポ・ひまわり種まき
5月	・ミニ運動会・食育交流・歯科検診 ・身体計測・避難訓練・誕生会
6月	・けんスポ・尿検査（3歳以上児）・サッカー教室・茶道教室 ・身体計測・避難訓練・誕生会・食育交流・保育参観
7月	・七夕集会・サッカー教室・茶道教室・ひまわり畑にて地域交流 ・身体計測・避難訓練・誕生会・プール開き・けんスポ・食育交流
8月	・けんスポ・実習生受け入れ・茶道教室 ・身体計測・避難訓練・誕生会・食育交流（農業高等学校生）
9月	・食育交流（農業高等学校）・避難訓練・けんスポ・茶道教室 ・身体計測・誕生会・茶道教室・サッカー教室・運動会総練習
10月	・運動会・秋の遠足・サツマイモ堀体験・茶道教室・けんスポ・内科健診 ・身体計測・避難訓練・誕生会・ハロウィン・サッカー教室・食育交流
11月	・茶道教室・けんスポ・サッカー教室・歯科検診 ・身体計測・避難訓練・誕生会・食育交流
12月	・生活発表会・クリスマス会 ・身体計測・避難訓練・誕生会・サッカー教室・食育交流・けんすぼ
1月	・茶道教室・サッカー教室・誕生会・けんスポ ・身体計測・避難訓練・食育交流・くじらゲルニカ
2月	・お店屋さんごっこ・誕生会 ・身体計測・避難訓練・食育交流・サッカー教室・茶道教室
3月	・ひなまつり・サッカー教室・お別れ遠足・けんスポ・誕生会 ・身体計測・誕生会・避難訓練・けんスポ・卒園式

デイリープログラム

時間	乳幼児 (0.1.2 歳児)	幼児 (3.4.5 歳児)
7:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早朝保育開始 ・ 順次登園 視診 (検温) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早朝保育開始 ・ 順次登園 視診
8:00	<ul style="list-style-type: none"> 自由遊び 排泄 (オムツ交換) 手洗い 	<ul style="list-style-type: none"> 自由遊び 排泄 手洗い
9:10	<ul style="list-style-type: none"> ・ おやつ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 朝の支度・朝の集会・出席確認 ・ 年齢にあった活動 ・ 自由遊び
10:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月齢に合わせた活動 ・ 午前睡眠 ・ 排泄 (オムツ交換) ・ 手洗い 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制作・戸外遊び・園外散歩 ・ 食育活動
11:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 片付け・給食準備 ・ 給食 	
11:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 排泄 (オムツ交換) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 片付け ・ 給食準備 (排泄・手洗い)
12:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ お昼寝 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 給食 ・ 食後の歯磨き ・ フッ素洗口 (週 1 回) ・ 絵本
13:00		<ul style="list-style-type: none"> ・ お昼寝
14:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起床・排泄 (オムツ交換) ・ 検温・手洗い ・ おやつ (月齢に合わせて授乳) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起床 ・ 排泄・手洗い
15:00	<ul style="list-style-type: none"> 自由遊び 	<ul style="list-style-type: none"> ・ おやつ ・ 自由遊び
15:40	<ul style="list-style-type: none"> ・ お帰りの会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ お帰りの会
16:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 順次降園 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 順次降園
18:00	<ul style="list-style-type: none"> 自由遊び ・ 延長保育・おやつ 自由遊び 	<ul style="list-style-type: none"> 自由遊び ・ 延長保育・おやつ 自由遊び
19:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育終了閉園 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育終了閉園

2022年度事業報告書

1. 施設の理念

おもしろいことなんでもくじら級

こどもの「心」も「体」も「夢」もくじらのように、大きくなるような保育を行います。

基本的な生活習慣を家庭と一緒に築き、個々の「やりたいこと」を達成できるようにお手伝いし、地域の人の関わりを大事にし、ありがたいの心を育てる保育を行います。

2. 事業実績

開園3年目（2022年度）は、4月時点での107名でスタートし、3月末には115名の受け入れで保育を締めくくる。4月時より8名の増員ではあるが、定員数には満たないので、地域に選ばれる園になるよう、保育の質の向上、他園との差別化を図る特色を打ち出していく必要がある。

保育運営における子どもの安全に関する事項としては、9/10（土）園児の姿がみえなくなり、園内を探すが、見つからず、警察に通報する事案が発生した。結局、職員の更衣室において、見つかったが、「今日は、ここは開けていない」という思いこみから扉を開けて確認することを怠ったのが、騒ぎの原因だった。保護者にはお許しをいただいたが、今まで以上に点呼をするよう気を付けるように努めた。今後、職員の危機管理意識をさらに、高めていけるよう研鑽を積む必要がある。

新型コロナウイルス感染症の流行にともない、学級閉鎖等で、春に計画していた参観日がなかなか実施できなかった。運動会は例年通り、園庭で開催でき、保護者には喜ばれた。また、発表会は、幼児組のみ近くの市民センターのホールを使用して行った。発表会の観覧の人数制限は、保護者二名迄の参加としたが、保護者のご協力・ご理解をいただき、滞りなく開催できた。

乳児組は、発表会に参加できなかったため、代わりとなる保育参観を行う。毎日過ごす安心できる保育室で少し保護者に見ていただけるような歌や手遊びを披露した。来年度は、全園児で取り組めるような環境を整えたいと思う。

今年度初めて、大野の廿日市くじら保育園と交流ドッジボール大会を開催した。寒い時期ではあったが、とても楽しい時間を共有でき、今後も2園でつながりながら、おもしろい保育を提供できるようにしたい。

保護者からの意見等については、1/18に利用者アンケートを実施した。職員に対する感謝の言葉もあれば耳をふさぎたくなるようなものもあった。改善できることは改善できるよう、今後研修を積み、保育士の資質向上に努めたい。また、ハード面での陳情もあった。雨の日に廊下が濡れ、不衛生というものだった。園庭の水はけの悪さは、以前から課題であった。2023年度にできる対策を検討したい。（アンケート結果添付あり）

・2022年度職員動向

(1) 職員総数：29名（2022年4月1日現在）

①常勤職員：15名

②パート職員：14名

③嘱託医(内科、歯科)：2名

(2) 職員採用・退職（退職者がある場合、それを補充する形で随時採用。

保育需要に応じた職員配置を検討し随時採用。）

(3) 各種会議

①職員会議・給食会議：12回

②管理者会議：不定期

③保健会議：不定期

④月案検討会：12回

⑤クラス会議：不定期

⑥苦情会議：不定期

(4) 定員及び園児数

①定員：126名

②園児数：

保育必要量 区分	利用子ども数 (人)													平均利用 子ども数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
標準時間認定	83	84	86	84	82	81	82	80	80	80	84	85	991	82.5
短時間認定	24	25	24	27	29	30	30	33	33	32	31	30	348	29.0
園児数	107	109	110	111	111	111	112	113	113	112	115	115	1339	111.5

(5) 保育

1) 保育の理念 ・おもしろいことなんでもくじら級

2) 保育目標 ・自分の力で生きぬく子ども

・夢に向かって頑張る子ども

・地域を愛する子ども

3) 保育実践内容

・保育理念や保育目標に基づき、情緒が安定した生活ができる様な環境に配慮し、また、一人ひとりが自己を十分発揮して積極的に活動できるようにした。

・園外保育では、盛んに近隣の公園へ散歩に出かけた。集団生活に必要なルール等を遊びの中で身につけていった。また、年長児は、廿日市市の美術ギャラリーを鑑賞、平和公園へ折り鶴を奉納、原爆資料館の見学、宮島遠足などいろいろな経験や体験をすることができた。身近な地域資源にふれ、「地域を愛する子ども」の育成につながることを期待している。

・月に1回の体育教室では、外部講師の指導のもと、様々な運動遊びに取り組んだ。鉄棒やマット運動、鬼ごっこ、ドッジボールなど、遊びをとおして体を動かす楽しさを味わうことができた。

・食育の一貫として、3・4・5歳児で、サツマイモの苗や夏野菜類（キュウリ、トマト、おくらなど）を育て、収穫した野菜は給食に入れたり、おやつとしてクッキングしたものを食べたりして、食育への関心を深めていった。

- ・春と秋には、年長児が「幼保小のかけはしプログラム」として、地域の小学生と生活科の「虫見つけ」「秋見つけ」の授業と一緒に参加させていただいた。小学校生活に期待がもてるよう、交流の時間が設けた。中には、卒園児の姿も見られ、なつかしい顔ぶれと成長した姿を見て、感激した。
- ・保育参観後の懇談会で保護者の悩みや要望を傾聴し、より連携を深め安心して子どもを預けられるような取り組みをおこない、個人懇談は保護者から要望を受けてその都度おこなった。

①保育時間： 7：30～18：30（短期保育時間：8：30～17：00）

②延長保育： 18：30～19：00

③特別保育事業：障害児保育、延長保育、一時保育

④行事： *別紙1 行事報告書参照

⑤日課： *別紙2 デイリープログラム参照

加配児保育への対応

延長保育登録児への対応

（6）給食

完全給食：未満児おやつ、給食、おやつの実施、クッキング保育を実施し食育へとつなげた。

アレルギー除去食や体調に配慮した給食の実施や、月齢に合わせた離乳食実施、郷土料理の普及に取り組んだ。

（7）健康管理

①園児

I 内科検診：6月・10月（嘱託医：中尾医院）

年2回・・・1回目 6月 2日（未満児・以上児）

2回目 10月20日（未満児・以上児）

園嘱託医による健康診断を実施。健診当日、欠席の園児は後日受診、全園児の健康管理に努めた。

II 歯科検診：6月・10月（嘱託医：三島歯科）

年2回・・・1回目 6月14日（未満児・以上児）

2回目 10月18日（未満児・以上児）

園嘱託医による歯科診断を実施。健診当日、欠席の園児は後日受診、全園児の健康管理に努めた。

②職員

I 定期健康診断：毎年1回（内科）

II 腸内細菌検査：毎月1回 サルモレラ菌・病原性大腸菌（O-157）の検査を、対象職員に実施。全員異常なし。

III インフルエンザ予防接種：希望者

（8）非常災害危険防止等、防災訓練の実践状況

①避難・消火訓練：毎月1回（12回実施）

②防犯訓練：2回

月1回避難訓練を行い、火災・地震等の災害を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を指導した。5月16日には地震に伴う津波発生を想定して近隣の市民センター目で避難した。今年度は消防署立ち合いの避難訓練はコロナ感染予防の為に中止となり園独自での訓練のみ行った。

【自主研修】看護師による研修、手話講師による研修を行う。

【園内研修】

月	研修内容	場 所	対 象
6月	感染症について（RS ウィルス、手足口病）	保育室	保育士
7月	心肺蘇生法について	保育室	保育士
8月	保育計画について	保育室	保育士

【園外研修】

月	研修内容	対 象
4月	発達の研修「改訂した発達記録表を踏まえたこどもの発達」（廿日市市）	保育士
5月	職員研修・マナー研修「言葉遣いや接客の態度について」（廿日市市）	保育士
5月	乳幼児研修(事例を通して具体的なこどもの見方、関わり方を学ぶ他（廿日市市）	保育士
5月	わらべうた研修「わらべうた、乳児と幼児季節の歌を知り、実践も行う（廿日市市）	保育士
6月	障がい児研修「障がい児保育の基礎・演習について」（廿日市市）	保育士
6月	実技研修・絵画研修「絵画の発達について」（廿日市市）	保育士
7月	実技研修・体育研修「動けるからだづくりと体育用具の扱い方を学び実践に役立てる（廿日市市）	保育士
9月	発達の研修「改訂した発達記録表を踏まえたこどもの発達」（廿日市市）	保育士
9月	食物アレルギー研修「学校・保育所等における食物アレルギー対応の基本」（廿日市市）	保育士
10月	保育研修「園行事を子ども主体に変える」（廿日市市）	保育士
11月	危機管理研修「保育園における危機管理について」（廿日市市）	保育士

3. 事故報告書の件数と事例報告

・事故報告件数：2件

【事例報告】

日時	場所	状況	原因	対策
6/23 10:30	プール	プール清掃中、プールの縁を雑巾で拭いていたところ、足を滑らせて転倒。プールの縁で顎を打った。	プールの内側が濡れていた中で、本児が小走りしたため。	足元が滑りやすいことを繰り返し伝えて、危険回避できるようにしていく。
9/10 15:15	園内	午後おやつ後、園庭で遊んでいた園児に水分補給の声掛けをした際に、園児が1名いないことに気づく。職員更衣室に隠れていた。	園内を探すか、「職員更衣室は、開けていない」という思いこみから、そこだけ探していなかったため。	職員配置は全体を見渡せるようにし、視覚を作らないようにする。こまめに点呼する。
11/1 16:30	園庭	追いかけてっこをして遊んでいたところ、職員とぶつかり転倒。頬と顎を擦傷した。	本児が周囲の状況を分からずに、追いかけてっこをしている輪の中に突っ込んだため。	周りにいる職員も、予測して声掛けや配慮をしていく。

2022年度 年間行事報告

月	行事
4月	・入園の集い・身体測定・避難訓練・誕生会
5月	・遠足・身体測定・避難訓練・誕生会・体操教室・移動図書館（たんぼぼ号）
6月	・カレー会・内科検診・歯科検診・体操教室・身体測定・避難訓練・誕生会・プール開き
7月	・七夕会・笹送り・身体測定・クッキング・避難訓練・誕生会・体操教室 ・移動図書館（たんぼぼ号）
8月	・平和の集い・クッキング・身体測定・避難訓練・誕生会・プールおさめ
9月	・身体測定・クッキング・避難訓練・誕生会&お月見会・体操教室 ・移動図書館（たんぼぼ号）
10月	・交通安全教室（年長）・避難訓練・運動会（以上児）動画配信・内科健診・歯科検診 ・身体測定・避難訓練・誕生会・遠足
11月	・保育参観&懇談会・身体測定・避難訓練・誕生会・クッキング ・千羽鶴奉納（年長）・体操教室・移動図書館（たんぼぼ号）
12月	・発表会（幼児）・クリスマス会・身体測定・避難訓練・誕生会・体操教室 ・元気の出る広場（年長） ・年末年始休園【12月29日～1月3日】
1月	・保育始め・年はじめの会（ししまい）・身体測定・避難訓練・体操教室・誕生会 ・クッキング・移動図書館（たんぼぼ号）
2月	・節分・お店屋さんごっこ・身体測定・避難訓練・誕生会・体操教室
3月	・ひな祭り会・お別れ会・身体測定・避難訓練（非常食体験）・誕生会・卒園式 ・移動図書館（たんぼぼ号）返却のみ

デイリープログラム

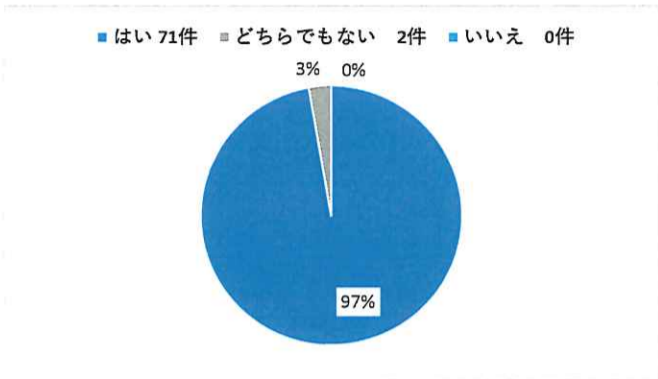
時間	乳幼児（0・1・2歳児）	幼児（3・4・5歳児）
7:00	早朝保育開始・随時登園 検温 排泄（オムツ交換）・手洗い	早朝保育開始・随時登園 自由遊び 排泄
9:00	朝の挨拶	朝の挨拶
9:30	午前おやつ	
10:00	活動（水遊び夏季のみ） 年齢・月齢に合わせた活動 排泄（オムツ交換）・手洗い 食事準備	月齢に合わせた活動 製作、戸外遊び、園外散歩 （水遊び・プール遊び夏季のみ）
11:00	給食（離乳食・0歳児）	
11:15	給食（1歳児）	排泄・手洗い
11:30	給食（2歳児）	食事準備
12:00	※昼食後午睡（0・1・2歳児）	給食（3・4・5歳児）
12:30		歯磨き・そうじ
13:00		午睡（3歳児）
13:30		午睡（4歳児9月頃まで） 午睡（5歳児夏季のみ）
14:30	目覚め 排泄（オムツ交換）・手洗い・検温	目覚め 排泄・手洗い
15:00	おやつ	おやつ
15:30		帰りの会
16:00	順次降園	順次降園
18:00	延長保育	延長保育
19:00	最終園児降園	最終園児降園

1月におこなったアンケートについて、多くのご回答をいただきありがとうございました。下記の通り結果を公表します。皆さまのご意見を受け止め、これからの園運営に役立てます。今後ともご理解とご協力をお願いします。

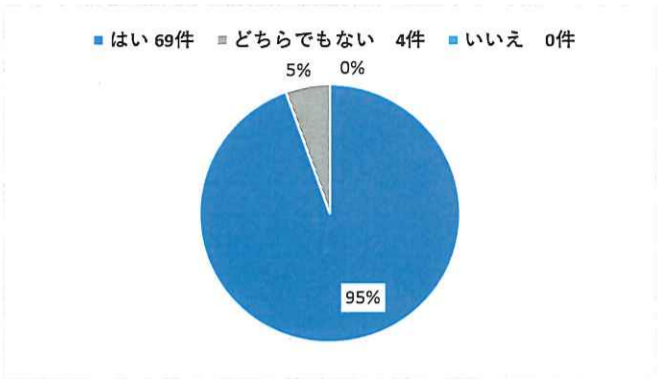
■ 調査対象：在園児の保護者（対象は家庭数）
■ 調査方法：無記名アンケート方式。コドモンのアンケートフォームを利用して、当法人にて回収・集計を行った。
■ 利用者総数：・利用者総数：112 / ・利用者家族総数（世帯）：95 / ・評価項目による調査対象世帯数：95 ・評価項目による調査の有効回答者数：73 / ・調査対象世帯数に対する回答者割合（%）：76.8

1. 保育・行事

・おさんは保育園生活を楽しんでますか？



・行事への取組みについて、満足されてますか？

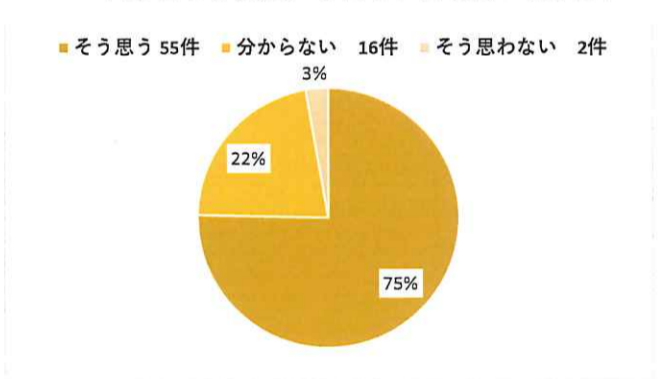


1. についてのご意見（一部抜粋）

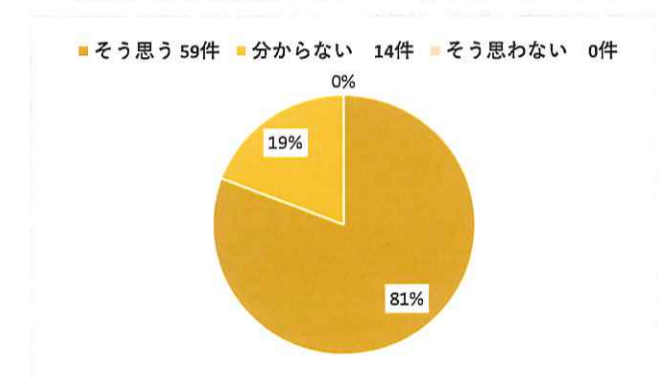
・もう少し早めに行事のことを教えていただけたら助かります。未満児は連絡帳で日々の様子がわかりますが、幼児はその日にどのような事をしたのかわからない所があり、子どもから聞いても良くわからない所があるので、散歩や公園に行ったなど配信があると良いと思います。・コロナ禍で対応が大変だと思いますが、状況をしっかり判断しながら的確に行事に取り組んでいただけていて感謝しています。・コロナ禍ということもあり、対応が難しいなか運動会や発表会ができて良かったです。来年度は今年度よりもっと多くの行事などが行われるといいと思います。・朝、先生の顔を見ると嬉しそうに走っていく姿を見て、本当に楽しく保育園で過ごしているのだと感じます。・季節の行事を子供が理解する様になりました。普段の生活を見れる参観日がほしいです。特別になにかをするわけではない日常風景が見たいです。

2. 保育理念・方針

・一人ひとりが大切にされていると思いますか？



・発達に応じた保育がされていると思いますか？

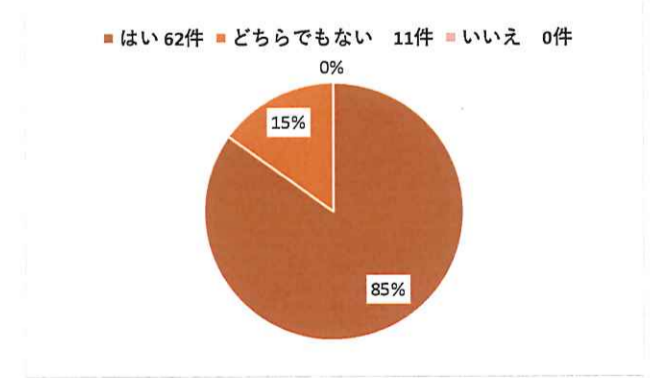


2. についてのご意見（一部抜粋）

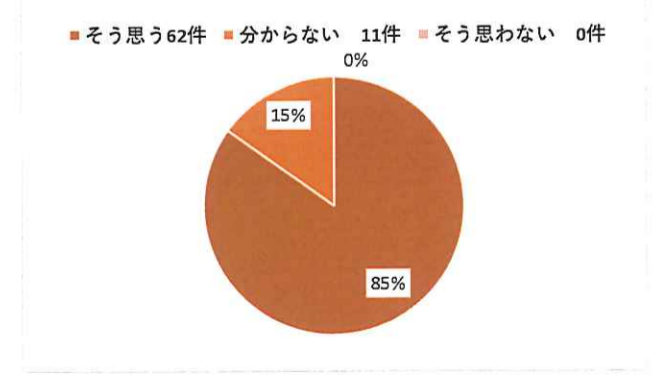
・園の様子を聞いてないのでなにもわかりません。子ども主体の保育と言われていますが、まだまだ大人が主体になっているように思います。・発達状況を見つづの対応、いつも感謝してます。・運動会の時に特にそう感じました。・発達に応じた保育には少し配慮にムラがあるように感じます。先生によって対応は様々あるかとは思いますが、発達の特性への対応は園児の人数に対して1人に時間をかけられないという言い分もわかります。ですが、園児たちの様子を見ると発達の特性を発揮している子に対してこの子だけ、という反応は見えないように感じます。子供達にもそれぞれ個性があることを理解させるとよりそれぞれすこしやすくなるのではないのでしょうか。・大切にしてもらっているとと思います。言葉が遅かったり想いを伝えずらいのを理解して頂けて対応してくれているのはとても助かります。発達状況を見つづの対応に感謝しています。

3. 給食・おやつ

・おさんは給食やおやつを楽しみにしていますか？



・食への興味関心につながる取組みがされていると思いますか？

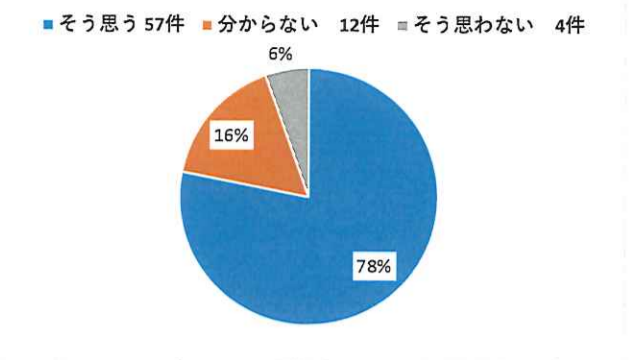


3. についてのご意見（一部抜粋）

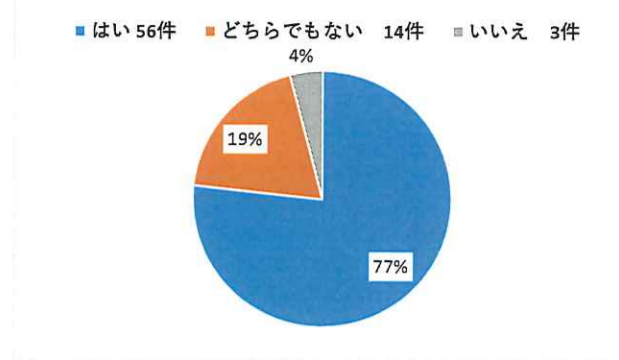
・家ではお肉が本当に食べられないのですが、保育園では完食できている事が多くあり、驚かされています。いつも美味しく健康的な給食をありがとうございます。・何を食べたか聞いてもあまりおぼえてない。子供たちがどんな物を食べているのかどんな味付けなのか知りたいので試食会とかあると良いなと思う。・引き続き、美味しい給食の提供をお願いします。・土曜保育は毎回同じものが出てきて食べれないと子どもが言っていました。クッキングで子どもが苦手だったものが食べれるようになったのはすごく嬉しかったです。・食育イベントでは、子どもが喜ぶ給食になってると思います。偏食が激しかったけど、なんやかんや食べてるみたいなので助かります。七草粥のことを家でも説明してくれました。食育に力を入れていると思います。いろいろな地域の料理を食べられて知ることが出来るのはとても良いと思います。

4. 家庭との連携

・保育園は取組みを分かりやすく伝えていらっしゃいますか？



・困っていることや気になっていることが気軽に相談しやすいですか？

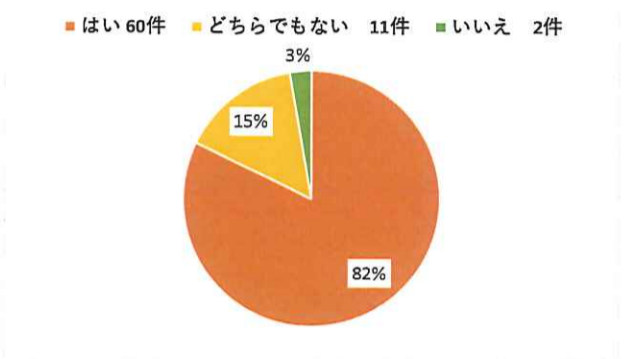


4. についてのご意見（一部抜粋）

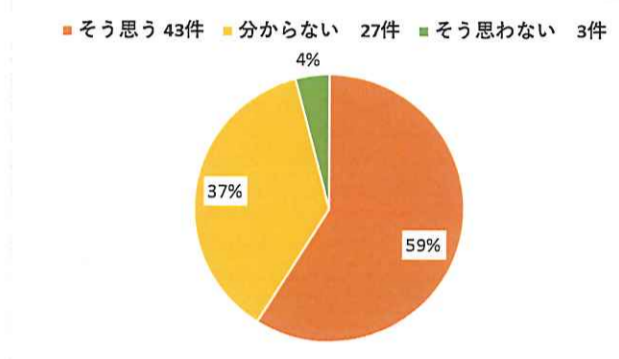
・特に園での様子も言われないので話すときがない。・相談しやすい雰囲気はあるが、仕事をしているこちら側に時間の余裕がない。簡単なことであればコドモンを活用。・先生方から保護者への声かけが少ないように思います。先生方からの挨拶も時々気になります。・担任の先生に相談よりも園長先生が気さくなので相談できている。・コドモンで連絡しやすい環境になっている。・園長先生は、園児みんなを気にかけて、また保護者にも気軽に対応してくださって、相談しやすいですが、やはり担任の先生との関係は、話すとなんだか悪口みたいになってしまいそうに思えて相談しづらかったです。・繊細な話を立ち話のような形でされ、対応に困りました。・いつも色々相談させて頂いております。・コドモンでも連絡しやすいです。この頃、先生となかなか直接お話できないのが淋しいです。・連絡帳がアプリになってから、困っている事、気になっている事を相談しやすいです。しかし、相談しても、親身になってくれる先生もいれば、一般的な答えだけで、先生によって違いますね。

5. 保育園対応について

・お子さんやご家庭に対して、適切な態度で関わっていますか？



・保育園の雰囲気がよく、職員間の連携が取れていると思いますか？

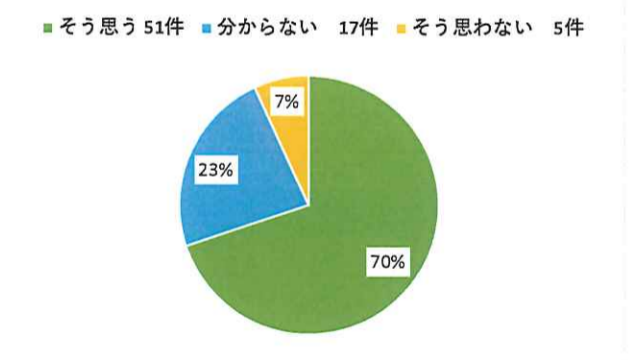


5. についてのご意見（一部抜粋）

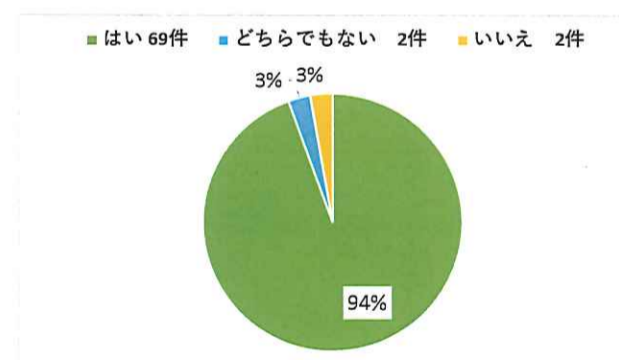
・うちの子の担任の先生方は本当に尊敬しなく、いつも感謝しています。ただ、他クラスの先生でももう少し子供たちに愛情を持って接していただきたいな…と思う方もいらっしゃる、先生による差は感じています。・保育の時間帯によって部屋や対応される先生が異なるため、担任以外は分からない。写真と名前の掲載ができてありがたい。・些細なことなのですが、職員同士の連携が図れていないと感じることが多いです。・子供が、担任の先生から他の友達と違ったルールを設けられ、それを守らないとみんなと同じ活動に参加させてもらえなかった、そのルールもその活動とは無関係なルールとするほどのことではないと思われるものであった、ということがあり、また、その頃の連絡帳について、困ったことだけを連日のように書いておられて、感情的になってクレームをぶつけられているとしか思えないときがありました。自分が保育士という立場から客観的に考えてもこのときの態度が適切だったとは思えないので、意見させてもらいました。・要望に対しての返答がない。

6. 利用環境について

・防災防犯の安全対策がとられていると思いますか？



・保育利用時間は、ご家庭やお子さんにとって適切な状況になっていますか？



6. についてのご意見（一部抜粋）

利用環境について。1階廊下の雨の日の対策については是非改善をお願いいたします。雨の日に土足で廊下上がり、雨以外の日にその廊下を靴下やスリッパで歩くことになるのは、外履き・内履きが混同しているのでは不衛生・教室に砂が上がるのでは？いつも感じています。例えばいっそもう土足で歩くことに決め、スノコを引きそこで脱ぎ履きする等今の過ごし方より変えて頂けるようお願いいたします。・カードキーで知らない人が入って来れないことや園がしっかり囲われているので安心して通わせることが出来ます。・朝早くから利用させてもらえて助かります。・新年度や土曜保育など普段と少し違う環境には園としての危機管理をお願いしたい気持ちはあります。

7. 保育園に要望することはありますか？

・全てネット化になって非常にやりにくい。行事やクラスの通信、給食はプリントにしてもらう方が家に貼れるし毎日見れるし家族みんなの目にも入る。・先生方の子どもたちに対する言葉かけが、乱暴なことがありとても切なくなることがあります。子ども主体と言われているようですが、自分の子どもが大切にされているなあと思うことが少ないです。全体的にもう少し子どもたち一人ひとりの事を考えて下さると嬉しいです。・父の日や母の日にも何か取り組みがあるとうれしいです。敬老の日にはハガキ制作&投函があるので。・保育士は子供を「見守る」立場であると思っています。うまくいかなかったことや、お友達との揉め事などについて保育士がすぐ介入するのではなく、見守ることで子供自身あるいは子供同士で解決する力を育てる環境であって欲しいです。また、ささいなケガでも謝られることがあります。ケガも成長には必要なことだと思っていますし、神経質になられるとこちらも気を遣いますので、あまり気になさらないでもらえたらと思います。・保育士の業務負担の行き過ぎが、世の中でも問題になっていて、私もそれに注目しています。廿日市保育園がどうか分かりませんが、個人的には、伝統を引き継ぐばかりではなく、取捨選択して変化して、先生方の働き方がより良くなる方向に進んで、先生も子どもも幸せになればいいと思います。それからコドモンの導入で、連絡帳記入しやすくなり助かってます。夫婦共に連絡がくるので話が通りやすくなったのもよかったです。夫と子どもが保育園の話をする事も増えました。・1日の多くの時間、子どもたちと過ごしていただき感謝しています。・コロナ禍の中で難しかったとは思いますが、歯磨きを食後にする習慣を保育の中で取り入れて欲しかったです。・コロナ禍で難しいとは思いますが、参観懇談の回数が増えると嬉しいです。・今回のアンケートの集計とそのアンケートに対する保育園側の対応・改善点等の返答を確認したいと思います。前年度もアンケート集計を張り出されているのは見かけたのですが、そのアンケートに対する保育園側の意見が確認できませんでした。

2022年度 事業報告書

1 保育理念

『おもしろいことなんでもくじら級』

子どもの心も体も夢もくじらのように、大きくなる保育を行います。基本的な生活習慣を家庭と一緒に築き、個々の「やりたいこと」を達成できる伴奏者となり、地域人との関わりを大事にし、ありがとうの心を育てる保育を行います。

2 事業実績

2022年度は71名でのスタートとなった。

新型コロナウイルス拡大防止の為、日々の保育では、幼児クラスマスク着用、消毒、手洗いを徹底し感染予防に努めた。徐々にマスクの着用が各家庭の判断になったが、比較的着用している子どもが多かったので、園外や運動遊び等では、外すように声をかけ対応した。

日々の保育においては、一人ひとりの個性を大切にしながら、子ども達のやりたいことが達成できるように、関心や興味に合わせた遊びが出来るよう環境に配慮した。また食育にも力を入れ、四季を感じられるクッキングを取り入れ、自分の分を作って食べるという方法で、楽しむ事が出来た。買い物体験では、給食で出てくる食材や行事で使用するものを買に行き、地域との交流を深めた。

今年度は、兵庫4園で「繋がり」をテーマに、5歳児と小規模の2歳児が交流をもった。平和や命について、一緒に学び交流を重ねるたびに、名前を覚えたり、気持ちを伝え合うことができ、楽しい思い出となった。

園内研修では、全員が講師になる機会をもち、得意なことで貢献できるように努めた。全員が参加できるように、時間を決め、年間を通しワーク形式を多く取り入れ、一人一人が発言することでスキルアップ向上へと取り組んだ。

ホームページやブログは、各クラス週1回の更新をおこない、保育の様子が見える化することで、見学者や保護者にも園の様子がわかりやすいと多くの声があった。

保護者との関わりでは、コロナ禍の為玄関での引き渡しを継続したが、担任が様子を伝えるようにし、また個人面談も行い信頼関係を築けるようにした。

職員総数：(2022年4月1日現在)

ア 常勤職員	14名
イ パート職員	9名
ウ 嘱託医(内科、歯科)	2名

(2) 定員及び園児数

ア 定員	60名
イ 園児数	72名(2023年3月31日現在)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
園児数	71	72	72	72	72	72	72	72	72	72	72	72	863	71.9

(3) 保育

ア 教育保育の理念

おもしろいことなんでもくじら級

イ めざす子ども像

- ①自分の力で生きぬくこども
- ②夢に向かってがんばるこども
- ③地域を愛するこども

ウ 保育実践内容

- ①保育理念や保育目標に基づき、まずは情緒が安定した生活ができる様な環境に配慮し、また、一人ひとりが自己を十分発揮して、たくさんの「すき」が増えるように積極的に活動できるようにした。
- ②基本的な生活習慣や集団生活に必要なルール等を遊びの中で身につけられるよう、個々に合わせて対応した。
- ③様々な運動遊びを通して、機敏な動作、正しい姿勢や責任感を身につけた。また、目標に向かって協力し合い個々の役割を果たす事で達成感を味わい、クラスとしてのつながりを深めていった。
- ④食育の一貫として、年齢に応じた野菜類（いちご、きゅうり、オクラ、なすび、いんげん）を育て、収穫した野菜は給食やおやつとして調理したものを食べ、またクッキングをおこない、自分の分を作って食べることで、食育の関心を深めていった。
- ⑤個人懇談をおこない、保護者の悩みや要望を傾聴し、より連携を深め安心して子どもを預けられるような取り組みをおこなった。

(4) 保育概要

- ア 保育時間 : 7:00 ~ 18:00 (短期保育時間: 8:30~16:30)
- イ 延長保育 : 18:00 ~ 19:00
- ウ 行事 : *別紙1 行事報告書参照
- エ 日課 : *別紙2 ディリープログラム参照

(5) 給食(完全給食)

- ア 給食、おやつの実施・収穫した野菜を給食室へ持参、また子ども達の前で皮をむいて、果物をそのまま提供し、食育へとつなげた。
- イ 安心安全の食材の調達と衛生管理、手作りメニュー・楽しい食事の提供。
- ウ アレルギー体質の子どもには、医師の診断のもとアレルギー除去食で対応した。
- エ 味付けは化学調味料を使用せず、素材の味・風味を生かした薄味にした。
- オ 食前食後の挨拶をし、感謝をして頂くという気持ちを持たせ皆で食べる楽しさや、行儀面の意識を高めた。

(6) 健康管理

ア 児童

- ①内科検診 : 年 2回 (嘱託医: 山崎こどもクリニック)
- ②歯科検診 : 年 2回 (嘱託医: 和歯科医院)

イ 職員

- ①定期健康診断 : 年 1回 (内科)
- ②腸内細菌検査 : 年 12回 (株)有研

(7) 非常災害危険防止等、防災訓練の実践状況

ア 避難・消火・防犯訓練: 年 12回

月 1回避難訓練を行い、火災・地震等の災害を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を指導した。11月には、非常食体験をおこない、4、5歳児は伊丹くじらと交流をもち、4歳児は梅ノ木くじらで、5歳児は伊丹くじらで災害時の食事について学ぶ機会をもち、損紙を使用し実際に非常用のお皿を作り、使用した。いつもと違う食べにくさも分かり、避難時や誘導時また、消火の際の留意点等を再確認することが出来た。又、職員の不審者侵入を想定した訓練も行い園児の安全面について再確認することが出来た。

イ 交通安全教室 : 年1回

伊丹市の交通指導員から、交通ルールに関して実際園に来て指導してもらい、5歳児を対象に交通安全について興味をもてるように、ルールを守る事の大切さを学んだ。

(8) 研修 別紙3研修報告 参照

(9) 今年度の実績と次年度の課題

今年度も1年中、新型コロナウイルスと付き合いながらの保育だったが、マスクの緩和や行事等もおこなえることが増え、今年度は2歳児と4歳児、3歳児と5歳児と2部制での運動会を初めて行うことができた。中学校の広い体育館で演技することができ、見てもらえる喜びや達成感や満足感を得ることができた。また保護者にも広い場所での行事に喜びの声が多く聞けた。

クラスごとの人数制限を設けた参観日は、日常の生活している姿を見てもらうことができた。環境構成に力を入れ、一人ひとりの個性を大切にしながら、四季を感じる遊びを年齢に合わせて用意した。

食育では、季節の行事に合わせて買い物にいき、自分達でクッキングに繋げ主体的に取り組めた。

また乳児クラスでは、季節の果物を買に行き、実際に子ども達の前で皮をむいてもらい食べることで、食事を楽しむ事が出来た。

職員の資質向上のため、外部研修には職員全員が必要な研修に積極的に参加し、園内研修を毎月1回以上取り入れた。2部制でおこない、全員が参加できるようにした。ワーク形式を多く取り入れることで職員1人1人が発言する機会が増え、思いを伝える大切さを実感できた。

また各年齢ごとに5領域をさらに細かく分類し、1年間の取り組む過程を示すことで初めて担当するクラスも、スムーズに持つことができた。クラス会議を多く持つことで、園全体で各クラスの様子を共有し、一人一人の状況把握に繋がった。

次年度の取り組みとして、参観日や行事ごとを多く取り入れ、iPad を用いて保護者に普段の過ごしている様子が見える化し、安心して預けてもらえるようにする。

また、伊丹くじら保育園と5歳児交流をおこない、色々な友だちとコミュニケーションを取り、思いやる気持ちや気持ちを伝え合う大切を育んでいきたい。

子ども達の成長と四季に合わせて、環境構成に力を入れた保育をおこなっていく。

職員の資質向上として、引き続き園外研修に積極的に参加し、園内研修を行っていく。兵庫の4園で合同の職員研修をおこなっていく。

2022年度年間行事報告

月	行 事
4月	進級式・身体測定・避難訓練・子どもの日の集い・誕生会・野菜苗植え・ダンスレッスン・英語レッスン
5月	・身体測定・避難訓練・誕生会・ダンスレッスン・英語レッスン
6月	・身体測定・避難訓練・誕生会・英語レッスン・ダンスレッスン・運動参観
7月	・水遊び開始・七夕の集い・身体測定・避難訓練・誕生会・英語レッスン・ダンスレッスン ・内科検診・歯科検診
8月	・身体測定・避難訓練・誕生会・英語レッスン・野菜収穫 ・夏祭り・英語レッスン・ダンスレッスン
9月	・身体測定・・避難訓練・誕生会・英語レッスン・ダンスレッスン
10月	・身体測定・ハロウィン・避難訓練 ・誕生会 ・いも堀親子遠足(4・5歳)・クッキング ・英語レッスン・ダンスレッスン・参観日(1.2.3.4.5歳児)・くじらつながり
11月	・運動会 ・秋の遠足(3.4.5歳児)・身体測定 ・避難訓練 ・誕生会・英語レッスン ・ダンスレッスン ・非常食体験(4.5歳児伊丹くじらと交流)・ゲルニカ
12月	・身体測定 ・避難訓練 ・クリスマス会 ・誕生会 ・英語レッスン・ダンスレッスン ・年末年始休園【12月29日～1月3日】・生活発表会・歯科検診・内科検診・くじらつながり
1月	・保育始め・身体測定・避難訓練・誕生会・英語レッスン・ダンスレッスン・くじらつながり
2月	・節分の集い・身体測定・避難訓練・誕生会・くじら物語・英語レッスン・ダンスレッスン
3月	・お別れ遠足(5歳児)・身体測定・避難訓練・誕生会・お別れ会・入園説明会・卒園式・英語レッスン・ダンスレッスン・ひなまつり

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、参観日は事前にアンケートを取り子ども1名につき保護者1名、生活発表会も子ども1名につき保護者2名で対応、卒園式は保護者2名で対応

ディリープログラム

時刻	0～1歳児	2～5歳児
7:00	開園 順次登園 (視診・検温) 自由遊び	開園 順次登園 (視診) 自由遊び
8:30		
9:00		
9:30	水分補給 朝の会 排泄	水分補給 朝の会 排泄
10:00	月齢に応じた遊び 排泄	主活動
10:40	離乳食・給食	排泄
11:10		給食順次提供
12:00		排泄
12:30	昼寝	昼寝
14:30	目覚め	目覚め
15:00	排泄 おやつ	排泄 おやつ
16:00	帰りの会 順次降園	帰りの会 順次降園
18:00	延長保育開始 おやつ	延長保育開始 おやつ
19:00	閉園	閉園

2022年度 研修管理シート				
月日	研修名	研修内容	参加者名	人数
4月14日	兵庫県保育所運動連絡会	0歳児の発達と保育	保育士	1
4月21日	兵庫県保育所運動連絡会	1歳児の発達と保育	保育士	1
4月25日	幼児教育研究研修会	「オールいたみ」で幼児教育の質の向上を考える	園長	1
5月12日	幼児教育研究研修会	遊びこむとは①	保育士	1
5月12日	兵庫県保育所運動連絡会	4歳児の発達と保育	保育士	1
5月16日	園内研修			
5月26日	兵庫県保育所運動連絡会	5歳児の発達と保育	保育士	1
6月2日	兵庫県社会福祉協議会福祉人材研修	福祉従事者新任職員研修	保育士	1
6月17日	幼児教育研究研修会	遊びこむ環境とは②実践交流	保育士	1
6月21日	法人研修	重大事故防止	園長、保育士	2
6月28日	保育プラザ	摂食機能の発達と食事介助のポイント	保育士	1
7月1日	HANA セミナー	音楽指導	保育士	1
7月3日	園内研修	幼児期の教育と小学校教育の接続	園長 保育士	14
7月12日	幼児教育研究研修会	乳児の心	保育士	1
7月28日	キャリアアップ研修	保健衛生安全対策	保育士	2
7月28日	幼児教育研究研修会	遊びこむ環境構成とは③実践交流	保育士	1
7月29日	伊丹市発達支援センター早期療育	早期療育に関する職員研修	園長	1
8月1日	兵庫県認定こども園主幹保育教諭研修	組織マネジメント	保育士	1
8月2日	法人研修	言語について	保育士	1
8月4日	伊丹市発達支援センター早期療育	早期療育に関する職員研修	保育士	1

8月5日	幼児教育研究研修会	乳幼児期の学び、育ちを小学校での学び、育ちへつなぐ	保育士	1
8月24日	京都音楽センター	あんちゃんの「歌遊び・ゲーム遊び」	保育士	2
8月29日	幼児教育研究研修会	共に育つという事	保育士	1
9月6日	法人研修	発達とは①	保育士	1
9月8日	幼児教育研究研修会	幼児教育の遊びと指導計画・評価	保育士	1
9月21日	ハローワーク	アップルミント研修	園長	1
9月28日	幼児教育研究研修会	遊びこむための環境構成とは④実践交流	保育士	1
10月28日	和歌山造形研修	感性を大切に作る造形保育		
10月28日	幼児教育研究研修会	支援を要する子どもの理解と保護者理解	保育士	1
11月8日	法人研修	保健衛生、基礎	保育士	1
11月15日	保育プラザ	主体性を尊重する保育	保育士	1
11月17日	伊丹市キャリアアップ研修	食物アレルギー	保育士	3
11月25日	幼児教育研究研修会	生きる力と育む言葉の育成	保育士	1
11月25日	伊丹市公開保育	心を動かし育ち合う子どもを育む	保育士	1
11月30日	幼児教育研究研修会	精神疾患・発達障害がある家族への関わり方	保育士	1
12月5日	保育プラザ	主体性を尊重する保育	保育士	1
12月6日	法人研修	発達とは②	保育士	1
12月10日	伊丹市キャリアアップ研修	食物アレルギー	保育士	3
12月17日	伊丹市キャリアアップ研修	食物アレルギー	保育士	3
12月20日	キャリアアップ研修	持続可能な人材採用	園長	1
12月22日	幼児教育研究研修会	早期療育	保育士	1
2月7日	法人研修	言語について	保育士	1

4月4日	園内研修	伝承遊び	園長 保育士	14
4月7日	園内研修	わらべ歌	園長 保育士	14
5月16日	園内研修	くじらの目指す子ども像	園長 保育士	14
5月23日	園内研修	下痢・嘔吐処理の仕方	園長 保育士	14
7月11日	園内研修	AEDの実践	園長 保育士	14
7月12日	園内研修	音楽指導について（講義・実践）	園長 保育士	14
7月29日	園内研修	ブログ研修	園長 保育士	14
8月10日	園内研修	遊びこむ環境について①	園長 保育士	14
8月22日	園内研修	幼児期に育む身体の自尊感情について	園長 保育士	14
8月26日	園内研修	梅ノ木の目指す子ども像①	園長 保育士	7
8月31日	園内研修	梅ノ木の目指す子ども像②-1	園長 保育士	7
9月2日	園内研修	子育て支援について	園長 保育士	14
9月7日	園内研修	梅ノ木の目指す子ども像②-2	園長 保育士	14
9月22日	園内研修	乳児の心	園長 保育士	14
9月27日	園内研修	あんちゃんの「歌遊び・ゲーム遊び」（実践）	園長 保育士	14
10月3日	園内研修	不審者侵入について	園長 保育士	14
10月24日	園内研修	発達研修	園長 保育士	14
11月1日	園内研修	人権について（性的マイノリティ）	園長 保育士	14
12月19日	園内研修	小児救急	園長 保育士	14

12月 28日	園内研修	支援を要する子どもの理解と保護者理解	園長 保育士	14
1月16 日	園内研修	AEDの研修	園長 保育士	14
1月17 日	園内研修	個人の尊敬し、つながりを育む保育とは	園長 保育士	14
1月31 日	園内研修	遊び込み環境構成について②	園長 保育士	14
2月8日	園内研修	幼児教育の遊びと指導計画・評価	園長 保育士	14
2月20 日	園内研修	5歳児の発達について	園長 保育士	14
3月8日	園内研修	今年度の見直し	園長 保育士	14
3月24 日	園内研修	生きる力を育む「ことば」の育成	園長 保育士	14
研修参加延べ日数				426

2022年度事業報告書

1. 施設の理念

おもしろいことなんでもくじら級

こどもの心も体も夢もくじらのように、大きくなるような保育を行います。

- 基本的な生活習慣を家庭と一緒に築いていく。
- 個々の「やりたいこと」を達成できる伴奏者となる。
- 地域の人との関わりを大事にし、感謝の心を育てる保育を行う。

2. 事業実績

2021年1月より事業開始し2年3か月がたち、0～4歳児はクラス定員まで受け入れがすることができ、年度末では在籍62名となった。入園希望者の園見学は通年で50家庭ほど対応し、2023年度は4月1日時点で0・1歳児は、最大利用定員までの受け入れが内定しており継続的な保育需要が見込まれる。

新型コロナウイルス感染症対策に配慮し保護者の理解を得ながら、積極的な園外保育や新たなイベントの企画をしてきた。特に幼児クラスの体育教室・英語教室はニーズにもあった内容であると共に、経験したことが日々の遊びや成長に顕著に表れていると感じる。

情報の発信については、保育ICT、動画配信サービスを利用しながら在園児保護者対象に積極的に行うことができた。一方で、保護者以外を対象と考えた時にホームページの更新滞ったため今後は外部へ向けての情報発信を目指したブログ更新をしていきたい。

危機管理について、設備面では防犯カメラの設置などを進めてきた。職員の対応の面では、各種マニュアル・ルールの整備、職員間の共通認識を深めること、レポートラインに沿った組織的対応の重要性の共通理解、一方で命の危機の際は一人一人が当事者として判断する必要があるという意識と連携を大切にすることを念頭に取り組んできた。今後も新入社員を迎えながら生きたマニュアル作成、職員間の共通認識ができるよう見直していくことで、アクシデントに強いチーム作りを目指していく。

園の理念・方針に基づいて、こどもたちにとっては、一生の思い出に残るおもしろい保育園であるように、保護者の方からは、上ノ丸くじら保育園でよかったとだけいただけるように、特色のある保育内容を検討し、地域を愛し愛される保育園づくりに努めていきたい。

(1) 2022年度職員

職員総数：17名（2022年4月1日現在）

- ①常勤職員：10名
- ②非常勤職員：7名
- ③嘱託医(内科)：1名

(2) 職員採用・退職

退職者がある場合と、保育需要に応じて、職員配置を検討し随時採用する。

(3) 各種会議

- ①職員会議・給食会議：12回
- ②管理者会議：不定期
- ③リーダー会議：不定期
- ④保健会議：不定期
- ⑤カリキュラム会議：不定期
- ⑥クラス会議：不定期
- ⑦苦情会議：不定期

(4) 定員及び園児数

- ①定員:60名(最大定員70名)
- ②園児数

保育必要量 区分	利用こども人数													平均利用 こども数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
標準時間認定	46	52	55	59	59	60	59	60	60	58	57	57	682	41
短時間認定	12	7	6	4	4	3	2	2	3	4	5	5	57	9.5
園児数	58	59	61	63	63	63	61	62	63	62	62	62	739	50.6

(5) 保育

- 1) 保育の理念
 - ・おもしろいことなんでもくじら級
- 2) 保育目標
 - ・自分の力で生きぬくこども
 - ・夢に向かって頑張るこども
 - ・地域を愛するこども

3) 保育実践内容

- ・保育理念や保育目標に基づき、情緒が安定した生活ができる様な環境に配慮し、また、一人ひとりが自己を十分発揮して積極的に活動できるようにした。
- ・園行事はこどもたちに経験させたいねらいを明確にし、常に見直していく姿勢を大切に新たな企画も取り入れながら、おもしろいことを模索しながら取り組んできた。
- ・園外保育では、日常的な明石公園の散歩や自然を生かしたネイチャーゲームを実施した。3歳以上児は様々な体験活動にも出かけることでその後の活動において遊びの幅が広がった。
- ・3歳以上児は外部講師による体育教室、英語教室、3歳未満児は音楽遊びを取り入れた。
- ・屋上園庭での運動会・生活発表会に協力して取り組んだりして楽しさを味わった。

4) 保育概要

- ①保育時間：7:00~18:00(短期保育時間:8:30~16:30)
- ②延長保育：延長保育A 18:00~19:00
延長保育B 7:00~8:30/16:30~19:00
- ③特別保育事業：延長保育、障害児保育

- ④行事： *別紙1 行事報告書参照
⑤日課： *別紙2 ディリープログラム参照

(6) 給食

完全給食：未満児午前おやつ、給食、午後おやつの提供
月齢に合わせた離乳食、アレルギー除去食

食育活動：郷土料理メニューの提供、誕生日メニューの提供、3歳以上児クッキング
栽培物の収穫と調理

(7) 健康管理

①園児

I 内科検診：6月・1月（囑託医：ひかりクリニック）

年2回・・・①6月28日 ②1月13日

II 歯科検診：7月（明石市より派遣）

年1回・・・7月12日

III 眼科検診：6月（明石市より派遣） 4歳以上児

年1回・・・6月8日

②職員

I 定期健康診断：毎年1回（内科）

II 腸内細菌検査：0歳児調乳担当 毎月1回

全職員 3か月に1回

[有研] サルモレラ菌・病原性大腸菌（O-157）の検査

III インフルエンザ予防接種：希望者

(8) 非常災害危険防止等、防災訓練の実践状況

①避難訓練：毎月1回（12回実施）

- ・様々なシチュエーションで火災・地震・津波の訓練を大なった。
- ・不審者訓練：毎月の訓練に加えて年2回実施。園内への不審者侵入を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を指導した。

②非常食体験：1月17日

阪神淡路大震災に合わせて地震の避難訓練を実施し、日頃の備えの大切さを伝えるため、非常食を作る、食べる体験をした。常温で食べられるカレーやフルーツ缶など、電気やガスが使えない不便さやありがたさを、体験を通して知ることができた。

(9) 研修報告

外部研修		
6月	市民救命士講習	保育士2名
6月	おひさま研修会 オンライン	保育士
8月	おひさま研修会 ふれあいプラザ	保育士
9月	おひさま研修会 オンライン	保育士
保育士等キャリアアップ研修		
6・7月	保健衛生	保育士
9月	食育・アレルギー対応	主任・専門リーダー ・保育士
10月	保護者支援	保育士
2・3月	マネジメント	主任・専門リーダー
園内研修		
4月	市民救命士講習	園長
5月	おもしろいことにはリスクがつきもの(危機管理)	園長
6月	嘔吐・排せつ物の処理(保健衛生)	保育士
7月	園児の人権を守る保育士であるために(人権)	園長
8月	スライムを知って思う存分楽しもう(遊び)	主任
9月	怪我の対処法	保育士
10月	気になるこどもの保護者対応について	保育士
11月	子育て支援について(児童虐待防止)	保育士
12月	事例から考えよう(保育士の援助)	保育士
1月	幼児の実態に即した評価等(園児を分析し深めるミーティング方法)	主任
3月	重大事故防止について	保育士
3月	おもしろいことにはリスクがつきもの(給食編)	園長

3. 2022年度中に医師の診断を受けた事故報告

件数： 3件

発生日時	発生場所	状況	原因	対策
9/15 (15:40)	保育室	3歳児：絵本を片付けて帰りの会をすることを伝えたが、駄々をこねて後ろに倒れこもるとし、倒れないよう咄嗟に保育士が腕を掴んだことで発生。	保育士が咄嗟に腕を掴んだため。	思い通りにならないとかんしゃくを起すため、気持ちを受け止めながら落ち着いて過ごすことができるようにする。
10/20 (10:10)	保育室	1歳児：ボール遊び中に急に泣き出して様子を見たところ、右中指の爪が半分ほどはがれかけていた。	ボールをさわったり、当たったりしたため。	もともと2枚爪などはがれやすい。こまめな爪切りを呼びかける。
3/13 (9:30)	保育室	3歳児：体育教室に参加するため、1階から3階へ向かって靴をもって階段を上っている途中でつまずき、右ひざをぶつけた。	本児のみ外靴を持つのを忘れており、後から取りに行っていたことで、焦りを感じながら急いだため。	慌てなくても良いことを伝えて安心して取りに行くことができる配慮が必要だった。

2022年度 年間行事報告

月	行事
4月	・入園式 ・進級式 ・こどもの日の集い
5月	・いちごがり（2・3・4・5歳児）
6月	・内科健診 ・眼科検診 ・天文科学館プラネタリウム ・ヤクルトお腹元気教室
7月	・屋上水遊び ・七夕会 ・プール開き・虫歯予防の話 ・歯科検診 ・トウモロコシ狩り（3・4・5歳児）
8月	・夏祭り
9月	・ネイチャーゲーム1回目
10月	・屋上園庭運動会 ・秋の遠足 ・ハロウィン ・いもほり（3・4・5歳児）
11月	・0・1歳児親子ふれあい参観 ・ネイチャーゲーム2回目
12月	・クリスマス会 ・天文科学館プラネタリウム ・くじらイルミネーションナイト ・年末年始休園（12月29日～1月3日）
1月	・保育始め（1月4日） ・1.17地震訓練・非常食体験
2月	・節分 ・生活発表会（中止につき動画配信のみ） ・バレンタインクッキング
3月	・ひな祭り ・卒園式 ・お別れ遠足（4・5歳児） ・お別れ会
毎月 行事	・誕生会 ・避難訓練 ・身体測定 ・音楽あそび（0・1・2歳児） ・英語教室、体育教室（3・4・5歳児） ・食育の日

デイリープログラム

時間	乳幼児（0. 1. 2歳児）	幼児（3. 4. 5歳児）
7:00	開園	開園
8:00	随時登園	随時登園
	排泄（オムツ交換）・手洗い	自由遊び 排泄
9:00		
9:30	午前おやつ	朝の集まり
10:00	月齢に合わせた活動 年齢・月齢に合わせた活動 午前睡（0歳児 必要に応じて） 音楽遊び	クラス活動 製作、戸外遊び、園外散歩 食育活動（クッキング） 英語教室、体育教室
	排泄（オムツ交換）・手洗い 食事準備	排泄・手洗い
11:00	給食（離乳食・0歳児） （1歳児）	食事準備
11:15	給食（2歳児）	給食（3. 4. 5歳児順次）
11:30		歯磨き
12:00		
	手遊び・絵本	
12:00	午睡（0歳児）	
13:00	午睡（1、2歳児）	午睡
13:30		
14:30	目覚め、検温 排泄（オムツ交換）・手洗い	目覚め 排泄・手洗い
15:00	おやつ	おやつ
15:30	帰りの会	帰りの会
16:00	順次降園	順次降園
18:00	延長保育・おやつ	延長保育・おやつ
19:00	閉園	閉園

2022年度事業報告書

1 施設の理念

「おもしろいことなんでのくじら級」

こどもの心も体も夢もくじらのように、大きくなるような保育を行います。

基本的な生活習慣を家庭と一緒に築き、個々の「やりたいこと」を達成できるようにお手伝いし、地域の人との関わりを大事にし、ありがたいの心を育てる保育を行います。

2. 事業実績

2022年度4月75名のスタートとなりました。保育運営では年間を通じて大きな事故やケガもない1年を過ごした。2021年度末から年間通して何度か「新型コロナウイルス」の感染のため休園措置も行なった。年間行事で計画していた行事の開催に伴い、「新型コロナウイルス」の感染拡大に伴い、都度検討しながら運営を行った。保護者参加の行事で「運動会」も天候にも恵まれ、各クラス完全入れ替え制で保護者の人数制限も行ないながら実施することが出来た。保護者の皆さまからはアンケートにより、我が子の成長が見られて良かった。とのご意見をいただいた。子どもたち、保護者の皆さまには思い出に残る良い行事となった。

未満児では、保育参加を行い普段の様子を見てもらう良い期間も取れた。

2022年度は保育園の2大イベント（わんぱくひろば）（きらきらくじらっこ）も感染拡大防止を講じながら保護者参加で開催ができた。

保護者支援では家庭状況、環境を十分に理解し、日頃から子どもたちの様子を伝え保護者の思いを十分に受け止め信頼関係を築くよう心がけた。

今後も園児の健康、安全第一に保護者との連携を密に信頼関係を築き安心して子どもを預けていただけるように努めていきたい。また地域の皆様にも愛される努力を今後も重ねていきたい。

3. 2022年度職員動向

(1) 職員総数 : 27名 (2022年4月1日)

(イ) 常勤職員 : 12名

非常勤職員 : 1名

(ロ) パート職員 : 14名

※嘱託医は2名委託契約

(ハ) 異動職員 : 姉妹園異動者 1名

退職者7名 (パート職員も含む)

(2) 職員採用・退職 (退職者がある場合は、それを補充する形で随時採用。)

保育需要に応じた職員配置を検討し随時採用。)

- ・4月 : 園長1名、主任1名、常勤保育士9名、非常勤1名、パート保育士12名、非常勤看護師1名 (異動) 保育補助1名 見守り員 (シルバー) 1名、事務1名

調理関係は、りぼん委託

(常勤栄養士・調理師 1名、常勤調理師 1名、調理師 1名)

パート保育士 1名退職(妊娠)

- ・5月 : 変動なし
- ・6月 : 派遣保育士 1名入職
- ・7月 : 変動なし
- ・8月 : 変動なし
- ・9月 : 常勤保育士 2名入職、派遣保育士 1名期間満了
- ・10月 : フルパート保育士 1名入職、常勤保育士 1名姉妹園に異動
- ・11月 : 変動なし
- ・12月 : 事務 1名入職
- ・1月 : 事務 1名退職
- ・2月 : 変動なし
- ・3月 : 常勤保育士 1名異動(姉妹園) 常勤保育士 4名退職、パート保育士 3名退職

(3) 各種会議

- (イ) 職員会議・給食会議 : 毎月 1 回
- (ロ) 管理者会議 : 不定期
- (ハ) クラス会議 : 不定期
- (ニ) 苦情会議 : 不定期

(4) 定員及び通園園児数

- (イ) 通園定員 : 90名
- (ロ) 園児数 :

保育必要量	利用子ども数(人)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
標準	58	61	61	60	60	61	65	62	61	62	62	62	735
短時	17	13	14	16	16	18	17	18	21	21	21	21	213
園児数	75	74	75	76	76	79	82	80	82	83	83	83	948

(5) 保育計画

- 1) 保育理念
 - ・おもしろいことなんでもくじら級
- 2) 保育目標
 - ・自分の力で生きぬく子ども
 - ・夢に向かって頑張る子ども
 - ・地域を愛する子ども

3) 保育実践内容

- ・保育理念や保育目標に基づき、情緒が安定した生活ができる様な環境に配慮し、また、一人ひとりが自己を十分発揮して説教的に活動できるようにした。
- ・基本的な生活習慣や集団生活に必要なルール等を遊びの中で身につけるようにした。
- ・運動遊び(体操教室)を通して、正しい姿勢や責任感を身につけた。
目標に向かって協力し合い個々の役割を果たす事で達成感を味わった。

- 食育の一環として、以上児を中心に野菜を育てた。園庭に畑を作り、園全体でサツマイモ掘りを体験した。(未満児)
- 以上児はサツマイモ掘りを湖南農業高校の畑にて保護者参観を兼ねて開催。園より散歩を一緒にサツマイモ掘りを体験した。親子の交流、湖南農業高校の生徒たちとの交流も図れた。
- 掘り起こした「サツマイモ」を業者に来てもらい保育園にて「焼いも」体験をした。お店屋さんごっこから発展し、子どもたちは、手作りのお金持って「焼いも」を買いに行き園庭にて食べる経験もした。
- 冬には、畑で栽培した野菜で「芋煮会」を開催し給食にいただいた。
- 秋には個人面談を全員行い、保護者の悩みや要望を傾聴し、より連携を深め安心して子どもを預けられるような取り組みを行った。

- ① 保育時間 : 7:00~18:00
- ② 短時間 : 8:00~16:00
- ③ 延長保育 : 18:00~19:00
- ④ 行事 *別紙1 行事報告書参照
- ⑤ 日課 *別紙2 ディリープログラム

障害児保育 : 対象児1名(3:1)

延長保育登録児 【延長保育時間:18:00~18:30 18:00~19:00】
16:00~19:00(短時間)

(6) 給食

- 完全給食:ア 玄関先にその日の献立を写真で掲示し、保護者にもわかりやすく伝え降園時親子で楽しそうに話している様子が見られた。
- イ アレルギー除去食や体調に配慮した給食の実施や、月齢に合わせた離乳食実施、郷土料理の普及に取り組んだ。
- ウ 毎月19日は食育の日として、郷土料理をいただいた。

(7) 健康管理

①園児

I 内科検診 : 7月、2月(嘱託医:といやまこどもクリニック)

年2回・・・1回目 7月6日(未満児・以上児)

2回目 1月19日(未満児・以上児)

園嘱託医による健康診断を実施。健康診断当日、欠席の園児は全園児の健康管理に努めた。

II 歯科健診 : 6月8日(嘱託医:湖南歯科)

III 蟻虫検査 : なし

IV 尿検査 : 6月2、3日(全園児)全員異常なし。

②職員

I 定期健康診断 : 1回(1, 2月実施)

新規採用は入職前健康診断。

II 腸内細菌検査 : 毎月1回(有研)

IV インフルエンザ予防接種: 希望者

(8) 非常災害危険防止等、防災訓練の実践状況

- ①避難・消火訓練 : 毎月1回 (12回)
- ②防犯訓練 (不審者) : : 年2回
- ③通報訓練 : 年1回

月1回避難訓練を行い、火災・地震等の災害を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を指導した。

消防署立ち合い訓練、消火訓練を実施することができた。

職員に対しては、水消火器を借用し訓練も実施。1月には、阪神淡路大震災を追悼し、地震体験・非常食体験も行ない貴重な体験をした。

④交通安全指導 : 6月28日 (交通指導員来園)

草津市政策課 わかばチーム (草津市交通指導員) による交通安全教室を実施した。以上児を対象に指導員の指導のもと交通安全について興味を持たせ、ルールを守ることの大切さの指導を受けた。

- ⑤ 安全管理 : ヒヤリハットやアクシデントが生じる場合は、報告書を提出し全職員で共有し危険には迅速に対応することとし、事故に繋がらないように努めた。

【2022年度 研修報告】

【自主研修】各テーマに基づき、発表者が研究を行い発表し、その他の職員と意見交換を行う。

【園外研修】園外研修に参加した職員が報告書にまとめて回覧する。

月	研修内容	場所	対象
6/2	救急訓練研修会	湖南広域消防局 西消防署	保育士 (1名)
7/12	小児救急研修会	市役所	保育士 (1名)
6/21, 22	新任保育者研修会	滋賀県立長寿社会福祉センター	保育士 (1名)
6/20	食育研修会	市役所	保育士 (1名)
6/29	主任保育者研修会	滋賀県立長寿社会福祉センター	保育士 (1名)
8/23	保育者研修会 (D: 虐待予防・保護者支援)	コラボしが21	保育士 (1名)
8/17	保育者研修会 (C: 発達支援)	コラボしが21	保育士 (1名)

【キャリアアップ研修】

	研修内容	場所	対象
7/1～8/31	乳児保育	eラーニング	保育士（4名）
7/1～8/31	障害児保育	eラーニング	保育士（3名）
7/1～8/31	幼児保育	eラーニング	保育士（1名）
10/24～12/23	食育・アレルギー	eラーニング	保育士（1名）
10/24～12/23	保健衛生・安全対策	eラーニング	保育士（2名）
10/24～12/23	保護者支援・子育て支援	eラーニング	保育士（1名）
10/24～12/23	マネジメント	eラーニング	保育士（2名）

【園内研修】

月	研修内容	場所	対象
5/28	リズム研修（3園合同）	草津くじら保育園	職員5名

（9）事故・ヒヤリハット報告書

件数：16

【事例報告】

発生日時	発生場所	状況	原因	対策
4/7 (14:00)	保育室	4テーブル中1テーブルにパンが足りなくなりワゴンに乳使用のパンが残っていた。本児は半分まで食べていたがすぐに下げてお茶を飲ませた。異常がないか目視で確認したが異常は見られなかった。	職員間の確認不足、意識不足	職員一人ひとりが毎日出勤時に献立表を確認する。トレーにアレルギー食をまとめて盛り付け、配膳、下膳を一人の職員が行う。職員全員に声をかける。誤飲・誤食防止のため手洗い着席は本児を最後に行う。
5/10 (16:55)	保育室	3～5歳児が夕方合同保育。パズル色塗り新幹線等の玩具で遊びお迎えの保護者もあった。本児が部屋を出た。	お迎えの時間でもあり部屋のドアが開けたまま。	登降園表を使用し、人数確認をこまめに行う。合同時はドアを閉めて施錠する。
5/22 (10:35)	玄関	トイレトレーニング後、靴を履いて玄関外に出た際に玄関前に敷いてあるマットでつまずき転倒。	本児一人が履くのが困難であり不安定であった。保育士がそばに近くにおらずすぐに対応ができなかった。	トイレトレーニングの際は時間に間に余裕を持ってあせらず行う。安全に移動できるよう配慮する。保育士同士声を掛け合う。
6/22 (11:20)	保育室	4歳児の部屋で制作、5歳児部屋で自由遊びの時、本児が5歳児の部屋で友だちと手をつないで遊んでいたときうでを回して遊んでいたときひじに痛みを感じた。	友だちと手をつないでうでを回しといた。	ひじは抜けることがあること、友だちのうでをひっぱるようなあぐり曾比肩をしなないことを子どもたちと確認した。
6/23 (10:05)	保育室	保育室から園庭への移動の際、子どもが部屋の外の廊下に遊んでいた。	移動の際に人数確認が出来てなかった。他の職員と連携が取れてなかった。	場所移動の際は必ず人数確認をする。職員同士連携を取り安全確認をする。
9/12 (12:35)	給食室	1歳児の職員給食提供後汁物に虫のような異物が浮かんでいると報告。	配膳後ラップをおおうまでに混入したと思われる。	配膳後ラップをおおうまで確認してからラップをする。提供前個別配膳時に再確認をする。
10/6 (11:30)	給食室	1歳児の給食提供後汁物に髪の毛が浮かんでいると報告。	配膳後ラップをおおうまでに混入したと思われる。わかめと似ていたため気付かなかった。	配膳後ラップをおおうまで確認してからラップをする。提供前個別配膳時に再確認をする。
10/28 (17:05)	保育室	4歳児の部屋でレゴ、ブロック、ままごと。絵本それぞれ好きな遊びをしていた。本児はレゴコーナー、職員はブロックコーナーにいた。本児が自分の耳にレゴの細いパーツを入れたと職員に報告。病院受診。	本児が耳に入れて見たくなった。	玩具や物を目や耳に入れないことを子どもたちと確認した。細かいもので遊ぶ際には鼻や目に入れる事や誤飲などの危険もあるという事を意識する。
10/28 (15:15)	保育室	保育室で歩いていてつまずき転倒する。その歳、手が出ず口に床に打つ、上唇が腫れていたため、保冷剤で冷やす。出血があるため病院受診。	歩いてつまづいてこけた。	転倒する際は手をつくよう言葉がけやお馬歩きなど遊びに取り入れていく。室内では歩くよう徹底する。

発生日時	発生場所	状況	原因	対策
11/11 (10:30)	保育室	保育室でリズムをしていた際、四つん這いになりバランスを崩して転倒する。	リズムのお馬	常に状態を把握して危険のないようにリズムを行う。職員間で情報共有していく。

12/1 (15:15)	給食室	3歳児のおやつ提供のスコーンに異物がついていた。(ラップのような物)	スコーンの生地を寝かせるのにラップを使用。そのラップを調理の際に混入したのではと考えられる。	調理の過程でラップ等を使用の際は細心の注意を払う。職員にも周知徹底する。
1/18 (12:15)	保育室	給食を食べ終わりトイレ・パジャマに着替える子どもがいる中保育室を出て5歳児の部屋まで行く。職員は気付いてなかった。	汚れ物を廊下にある袋に入れに行つてそのまま5歳児の部屋に行った。	食事中は施設する。片付は保育室内で行うよう改善する。
1/31 (15:15)	保育室	おやつ前の配膳の際にテーブル付きの椅子に立ち上がりテーブル部分に乗って立ち上がり椅子が倒れ舌を噛み出血した。	何度か立とうとしていたので気をつけて見ていたが他児の立ち歩くのを静止している一瞬の間で本児が見られてなかった。	配膳されるまで待ちきれない姿が見られるのでアレルギー除去もあるのでは他児の配膳が終わり本児の食事の準備が済んでから本児が席に着くようにする。
3/6 (10:15)	園庭	本児が築山から走り下り、その勢いで転倒。フェンスのブロッグで下唇を打つ。病院受診	本児がバランスを崩した。	築山に園児が登った際に注意深く見守る。
3/16 (9:30)	職員駐車場	避難訓練の避難中移動していて車止めに乗り転倒。出血のため歯科医受診。	避難訓練中職員の話の間はず車止めに乗っていて転倒した。	広い場所を選んで避難する。
3/16 (16:15)	保育室	本児が口に玩具を入れて舐めているとき後ろに転倒しそうになっていた。職員と補助職員	夕方の保育士の人数が不足していて補助の先生がカウントにならないが職員配置の時にしっかり配置出来てなかった。	人数配置の確認を再度確認を行っていく。

草津くじら保育園

2022年度 行事報告

月	日(曜)	行 事	特記事項	
	22日(金)	誕生会	0.1→だいち 2.3→そら 4.5→くじら	
4月	27日(水)	避難訓練(お話)	2~5(そらくじらにて)	
	28日(木)	こどもの日の集い		
5月	18日(水)	避難訓練(火災)		
	23日(月)	個人面談	6/10(金)まで	
	27日(金)	誕生会	0.1→だいち 2.3→そら 4.5→くじら	
6月	8日(水)	歯科検診	10:00~	
	15日(水)	避難訓練(水害)		
	24日(金)	誕生会	0.1→だいち 2.3→そら 4.5→くじら	
	28日(金)	交通安全教室	3~5歳児	
7月	1日(金)	水遊び開き		
	6日(水)	内科健診	13:00~	
	7日(木)	七夕の集い		
	12日(火)	避難訓練(地震)		
	21日(木)	お誕生会	0.1→だいち 2.3→そら 4.5→くじら	
	27日(水)	避難訓練(不審者)		
8月	19日(金)	避難訓練(火災)		
	25日(木)	誕生会	0.1→だいち 2.3→そら 4.5→くじら	
	31日(水)	水遊び納め		

9月	13日(火)	避難訓練(火災)	通報訓練・消火訓練	
	22日(木)	誕生会		
10月	11日(火)	避難訓練(火災)	消火訓練	
	13日(木)	わんぱくひろば	全員	
	14日(金)	誕生会	0.1→だいち 2.3→そら 4.5→くじら	
11月		草津ゲルニカ(4.5歳)		
	8日(火)	親子いもほり遠足	湖南農業高校	3～5歳親子
	14日(月)	個人面談	12/9(金)まで	
	16日(水)	避難訓練(火災)	消防車見学	
	24日(木)	お誕生会	0.1→だいち 2.3→そら 4.5→くじら	
	25日(金)	秋の遠足(4.5歳児)	バス遠足	
12月	14日(水)	避難訓練(地震→火災)	午睡時	
	21日(水)	誕生会	0.1→だいち 2.3→そら 4.5→くじら	
	23日(金)	クリスマス会		
1月	17日(火)	防災訓練(地震・水害)	阪神淡路(非常食体験)	
	19日(木)	誕生会・内科健診	午前誕生会、13:00～	
2月	1日(水)	節分会		
	2日(木)	生活の発表会予行練習		
	15日(水)	避難訓練(火災)	通報訓練・消火訓練	
	18日(土)	第2回生活の発表会		
	18日(金)	誕生会	0.1→だいち 2.3→そら 4.5→くじら	
3月	1日(水)	思い出作り遠足	忍術村	4.5歳児
	3日(金)	ひな祭り		
	8日(水)	誕生会	0.1→だいち 2.3→そら 4.5→くじら	
	10日(金)	お別れ遠足(5歳児)	京都水族館、京都タワー	
	15日(水)	避難訓練(地震・火災)	無警告	
	18日(土)	第2回卒園式		

保育デイリープログラム

時間	未満(0.1.2歳児)	以上(3.4.5歳児)
----	-------------	-------------

7:00	早朝保育開始	早朝保育開始
8:00	随時登園	随時登園 自由遊び
9:15	体操：園庭（雨天の場合 各クラス・エントランス）	体操：園庭（雨天の場合 各クラス・エントランス）
9:30	午前おやつ・朝の会	朝の会
10:00	活動 年齢・月齢に合わせた活動 〔制作、戸外遊び 園外散歩など・・・〕	年齢に合わせた活動 〔制作、戸外遊び、園外散歩 食育活動（クッキング） 体操教室・運動あそび など〕
	給食準備	
10:45	給食（0歳児）	給食準備
11:00	給食（1歳児）	給食（3歳児）
11:15	給食（2歳児）	給食（4・5歳児）
11:30		午睡（3・4歳児） （5歳児 - 4月～8月頃まで）
12:00	午睡（0・1・2歳児）	
12:30		
14:30	起床	起床
15:00	おやつ 帰りの会	おやつ 帰りの会
16:00	順次降園	順次降園
18:00	延長保育・おやつ	延長保育・おやつ
19:00	最終園児降園終了	最終園児降園終了

2022年度事業報告書

1. 施設の理念

おもしろいことなんでもくじら級

こどもの心も体も夢もくじらのように、大きくなるような保育を行います。

基本的な生活習慣を家庭と一緒に築き、個々の「やりたいこと」を達成できるようにお手伝いし、地域の人との関わりを大事にし、ありがたいの心を育てる保育を行います。

2. 事業実績

開園2年目(2022年度)は、74名のスタートとなる。転居に伴う入園希望や近隣の園からの転園希望で園見学の増加。家庭や地域のニーズに応えながら安心、安全を第一に個々の希望を共に実現していただけるように保育園運営を行った。

昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染対策を行いながら、参加者数の制限、入れ替え制など工夫して行事を実施。

園内掲示の写真、ブログや電光掲示板を利用したスライドショー、動画等を利用して園での活動の様子を伝えるのに加え、今年度は工夫した保育参観・保育参加を実施した。

また、今年度の目標であった地域交流では、町内会長の協力の元で進めていった。隣接する老人福祉施設「湖楓」にも協力体制を依頼し、水害を想定した避難訓練時には、敷地内を通して高台避難する経路に協力の承諾を得た。年度末には施設訪問して、合奏や歌の発表する機会を持ち、大歓迎を受けた。次年度は更に交流の場を持つよう依頼を受け、互いにとって貴重な時間となることに期待を持つ。

もう一つの課題であった園内研修実施や園外研修への参加は職員の資質向上のために不可欠だが、職員不足の改善ができないことも影響し計画が進めずいた。次年度への大きな課題。

今年度、園見学の来園者から、地域交流の窓口となる場所を求める要望があり、地域の憩いの場となるよう、地域子育て支援「かがやき広場」を計画実行した。地域の親子や在園児の未入園の兄弟姉妹の憩いの場を提供でき好評であった。

2022年度職員動向

(1) 職員総数：24名(2022年4月1日現在)

- ①常勤職員：16名
- ②パート職員：8名
- ③嘱託医(内科、歯科)：2名

(2) 職員採用・退職(退職者がでた場合、それを補充する形で随時採用。)

また保育需要(園児数)に応じた職員配置のため随時採用。)

- ・4月：常勤職員1名、パート職員1名、入職
常勤職員1名唐橋くじら小規模保育園より異動
常勤職員1名退職
- ・5月：保育補助1名栗東くじら小規模保育園より異動 保育補助1名入職
- ・6月：常勤職員1名退職
- ・7月：派遣常勤職員1名入職

- ・ 8月 : パート職員 2 名入職 派遣常勤職員 1 名退職
- ・ 9月 : 変動なし
- ・ 10月: パート職員 2 名入職 常勤職員 1 名退職
- ・ 11月: 変更なし
- ・ 12月: 変動なし
- ・ 1月 : 変更なし
- ・ 2月 : 変更なし
- ・ 3月 : パート職員 1 名入職
常勤職員 1 名退職 派遣常勤職員 1 名退職 パート職員 3 名退職

(3) 各種会議

- ①職員会議・給食会議：毎月一回
- ②管理者会議：不定期
- ③未満児会議：毎月一回
- ④以上児部会議：毎月一回
- ⑤クラス会議：月に数回(随時)
- ⑥リーダー会議：毎月一回
- ⑦：行事会議：不定期
- ⑧支援部会：不定期
- ⑨苦情会議：不定期

(4) 定員及び園児数

- ①定員:110 名
- ②園児数 103 名(3 月 31 日現在)

保育必要量 区分	利用子ども数 (人)													平均利用 子ども数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
標準時間認定	74	74	74	74	79	81	83	80	81	81	80	80	576	941
短時間認定	17	19	20	22	18	18	20	24	23	23	23	23	250	20.8
園児数	91	93	94	96	97	99	103	104	104	104	103	103	798	99.3

(5) 保育

- 1) 保育の理念
 - ・ おもしろいことなんでもくじら
- 2) 保育目標
 - ・ 自分の力で生きぬく子ども
 - ・ 夢に向かって頑張る子ども
 - ・ 地域を愛する子ども

3) 保育実践内容

年間テーマ 「ワクワクの探求心」

サブテーマ 「大人も子どももみんなにこにこ笑顔がいっぱい」

【親子参加行事】・・・入れ替え制、複数日設定等、工夫をしながら無理なく保護者参加の行事を開催した。

●親子ふれあいDay(未満児)・・・登園してから給食までの園生活を保護者参観・参加で行った。普段の園での様子を見て感じ一緒に楽しんで過ごすことを目的とした。アンケート調査では、家庭と異なる姿を見ることができたという声や、逆に園生活の積み重ねが家庭での姿になっていると感じたという声があった。行事を通して子どもの友だちとかかわる様子がわかるとともに、保護者同士が親しくなるきっかけができて、大変有意義であったようだ。

●親子サッカー(以上児)・・・保護者相談の内容の中で子どもの友だち関係を過剰に心配したり、過度な不安を抱いたりという事例が生じ深刻なケースもあったことから、子どもの世界、子ども同士が協力し合って遊ぶ姿を実際に見てもらうことで親の不安や先入観、憶測を軽減できればという思いで親子サッカーDayの開催をした。チームごとに完全入れ替え制で普段のサッカー教室の様子を見た後、親子でボール遊びをする延長でサッカーの試合を行った。夢中になって楽しむ子どもの姿を見て感激され、保護者自身も楽しんでボールを追って参加されていた。

子ども達が互いを思いやり、応援し合う姿を見て、我が子の成長を喜び、我が子も含めたクラスの仲間の育ちを喜び、集団の中で共に育つという保育園の醍醐味を共に喜びあえる機会となることを願った。

【地域交流】・・・町内会長や隣接する老人福祉施設「湖楓」と交流

地域子育て支援「かがやき広場」の実施

●町内会長の畑を借りて、子ども達と紅はるかの苗を植えて育てた。生長した芋を収穫し、園庭でバーベキューコンロを使用して焼き芋大会を開催した。普段さつま芋が苦手な子どもが数名いたが、甘い香りと友だちがおいしそうに食べる姿に影響され、自分から食べる姿が見られた。できた焼き芋を5歳児が代表して町内会長に届けて、お礼と感謝の意を伝えた。

●隣接する老人福祉施設「湖楓」には水害を想定した避難訓練時、又は必要な事象が生じた際の災害時に「湖楓」敷地内を通して高台避難する経路の協力を依頼し承諾を得た。実際に1月17日の水害を想定した避難訓練ではこの経路で全員が避難の練習を行った。(また、この日は引き渡し訓練を行い保護者と共に連絡を確認してから迅速に迎えに行き、確実に引き渡す訓練を一斉に行えた。)

年度末には施設訪問して交流し、合奏や歌の発表をして、一緒に楽しい時間を過ごせた。お返しに歌のプレゼントをいただき、記念撮影をしてパネルにさせていただくなど歓迎を受けた。次年度は交流の場をもっと持っていきたいと依頼を受け、今年度以上に交流を持っていくことを確認できた。

●園見学の方々から、地域の交流の場を求める声があった。地域の憩いの場となる必要性を感じ、実施予定をしていた地域子育て支援「かがやき広場」を開催すると、地域の親子や在園児の未入園の兄弟姉妹が参加され好評となった。

【専門機関との連携】

●個別にかかわりを要する気になる子どもの理解に努め、必要に応じて個別面談を重ね、保護者の希望に沿って専門機関と繋がりながら育ちを応援した。

【遊び】

●年齢に応じた仲間関係、集団生活の中においても、自己発揮できるように個を大事にする保育を心がけた。

- 散歩や運動あそび(サッカー教室、リズム運動等を楽しみながら、体力をつけ体づくりにつなげていった。
- 五感を使った感触遊びや造形遊びを経験できる機会を大事にし、自分のペースで考え、気づき、試行錯誤ができるように環境を整えた。
- 園外保育で「がんばり豆の杜」や「あいさい広場」、「地球市民の森」、「ロクハ公園」、「県立図書館の探索コース」、「琵琶湖博物館」などに行って地域の自然豊かな中で遊び、自然だけでなく大型遊具等で遊びながら体をしっかり使える機会を重ねた。大型遊具に挑戦する中で体の使い方を知り、繰り返し遊ぶうち、身のこなしが上手くなっていった。また、「博物館」や「陶芸の森」、「県立図書館」など近隣の特色のあるスポットへ出かけてわくわく体験を重ねた。

【地域の文化に触れる】

- 地域特色となる信楽焼を陶芸の森で赤土に触れながら体験した。(5歳児卒園制作)
滋賀県特産の信楽焼の土を使ってイメージした形、動物を創作して絵付けをした。

【食育】

- 食への関心を育めるように草花や野菜を栽培し、生長の過程を学んだ。4、5歳児は夏野菜(さつまいも、きゅうり、ゴーヤ、ブロッコリー、オクラ、ピーマン、ミニトマト、ラディッシュ)の栽培、5歳児は球根(ちゅうりっぷ、ヒヤシンス)の水・土栽培をして観察をした。
アオバナは苗から育て、観察するだけでなく、花びらで色水遊びをして楽しんだ。
また、えんどう豆のサヤむき、トウモロコシの皮むきなど栄養士、調理師から声掛けをもらい体験ができた。
クッキングでは、梅ジュースづくりをし、できたジュースで梅ゼリー作り 5歳
近くのスーパーでの買い物体験をしてからのホットケーキ作り 4歳
フルーツパフェ作り 3歳
作ったものを食する喜びを経験できるようにした。

【英語で遊ぼう】

- 英語であいさつ、歌やダンス、ゲーム、絵本などに触れて楽しんだ。また、職員の友人で教育施設にて英語外人講師をしていた方に協力を得て「英語で遊ぼう Day」の開催に協力を得た。
異文化を感じるイベントを実施できた。

【研修】

- 園内研修実施や園外研修への参加は職員の資質向上のために必要だったが、職員不足の改善ができず、実施や参加が難しい状況であった。

【交通安全指導】

- 草津警察のわかばチームに交通安全指導を依頼し、3歳児以上で年齢に応じた内容の交通ルールを学んだ。

【防犯訓練】

- 草津警察署生活安全課に依頼して、実地訓練していただいた。有効な対峙の仕方や手分けしての対峙の仕方を学べた。

- ①保育時間： 7：00～18：00（短時間保育：8：00～16：00）
 ②延長保育： 18：00～19：00
 ③特別保育事業：障害児保育、延長保育、一時預かり保育(利用者 1名)
 ④行事：*別紙1 デイリープログラム参照
- ⑤日課：*別紙2 デイリープログラム参照
 ⑥加配児保育：対象園児5名
 ⑦延長保育登録児 [延長保育時間：18：00～18：30 18：00～19：00]
 7：00～8：00 16：00～17：00（短時間）
 17：00～18：00（短時間）

時間帯	人数
18：00～18：30	11
18：30～19：00	3

時間帯	人数
7：00～8：00	2
16：00～16：30	2
16：30～17：00	2
17：00～18：00	2

(6) 給食

給食：未満児おやつ、給食、おやつの実施、行事食を通じて食育に取り組んだ。

アレルギー除去食や体調に配慮し、安全な給食の実施や、月齢に合わせた離乳食、郷土の食材をメニューに取り入れるなど地元に対する愛情や知識が得られるように取り組んだ。

(7) 健康管理

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で内科健診の時期が変更せざるを得なかった。

①園児

I 内科検診：7月・2月（嘱託医：といやまこどもクリニック）

年2回・・・1回目 7月7日（未満児・以上児）

2回目 2月10日（未満児・以上児）

園嘱託医による健康診断を実施。健診当日、欠席の園児は後日受診、全園児の健康管理に努めた。

II 歯科検診：5月（嘱託医：かがやき歯科）

年1回・・・5月20日 園嘱託医による歯科診断を実施。

III 蟻虫検査：なし

IV 尿検査：6月3・4・24日（全園児）提出者全員異常なし。

②職員

I 定期健康診断：1回（内科）個別に実施。

II 腸内細菌検査：毎月1回（日吉・有研）サルモレラ菌・病原性大腸菌（O-157）の検査を、給食職員を対象に実施。全員異常なし。

III インフルエンザ予防接種：希望者

(8) 非常災害危険防止等、防災訓練の実践状況

①避難・消火訓練：毎月1回（11回実施）

②防犯訓練：3回

月1回避難訓練を行い、火災・地震等の災害を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を指導した。9月24日、2月25日には消防署立ち合いのもと、通報・消火・避難訓練を実施。職員に対して実際に水消火器を使っての訓練も実施。避難時や誘導時また、消火の際の留意点等を再確認することが出来た。

③非常食のおやつを1/17/に食べ、災害について考え、学びの場を持った。

(9) 2022年度 研修報告

【園内研修】第1回 4月 2日 「保育手帳」 をもとに学び合う

進行係 研修担当 / 参加者 正職員 全員参加

第2回 10月 15日 「子どもの人権擁護を考え、言葉かけや心に寄り添う話し方を学ぶ」
「コミュニケーションの持ち方」

進行係 園長、主任 / 参加者 9名 武友、吉田、玉村、初田、高橋、長澤、林、玉川、山田

【園内研修】

【園外研修】新型コロナウイルス感染症の影響で中止になる研修が多く、研修の機会は減少した。

月/日	研修内容	場 所	対 象
4/22	第1回研修園長等運営管理協議会 研修	リモート	園長
5/9	幼稚園・認定こども園等新規採用職 員研修	リモート	保育士(1名)
5/19・20	防火管理者講習	コラボ滋賀	園長
5/26	園長研修会	滋賀県立長寿社会福祉センター	園長
6/2	普通救命講習会	湖南広域消防局南消防署	保育士(1名)
6/15	園長退陣セミナー	リモート	園長
6/21・22	新任保育者研修会	滋賀県立長寿社会福祉センター	保育士(1名)
6/29	主任研修会	滋賀県立長寿社会福祉センター	保育士(1名)
7/6	幼稚園・認定こども園等新規採用職 員研修	滋賀県総合教育センター	保育士(1名)
7/6・22・26	滋賀の社会福祉人研修中堅期	滋賀県立長寿社会福祉センター	保育士(1名)
7/26	みんながげんきになる体操とうた あそび	アクティ近江八幡	保育士(1名)
9/21	日本保育協会滋賀支部女性部合同 研修会	ホテルニューオウミ	園長
10/27	就学前教育サポート事業研修会	草津私立市民交流プラザ5階大会 議室	保育士(1名)
11/14	障害児保育検討会議 分科会	草津アマカホール	保育士(1名)
11/14	障害児保育検討会議 全体研修会	草津アマカホール	保育士(1名)
12/14	人権保育研修会	草津市役所8階 大会議室	保育士(1名)
1/11	草津市保育協議会人権研修	草津アマカホール	保育士(1名)

3. ヒヤリハットと事故報告書の件数と事例報告

ヒヤリハット件数：25 件

【事例報告】

発生日時	発生場所	状 況	原 因	対 策
4/7 (11:30)	だいちチーム 保育室	昼食時、ロールパンを持ちながら食べていた。ずっと手に握っていた為、パンが固くなり最後の一口を食べた際喉を詰まらせた。背中をたたいて、詰まっていたパンを吐き出させた。	・パンを食べた後、他の食材を食べ、たくさん口の中に食材が入ってしまった。	・子どもの一口の量を考えて詰め込みすぎているか、噛めているか等確認しながら、食事を進めていけるようにする
4月	不明	降園後、頬と左腕に爪の引っ掻き傷が出来ていたと翌日、保護者から報告を受ける。保護者に翌日謝罪し、友達が引っ掻いたと本人が伝えている旨を知った。	・保育者が気づいておらず、仲裁に入ることが出来ていなかった。	・視診・触診をしっかり行っていく。 ・職員間で連携を行い、立ち位置等の声かけを行う。
5/17 (14:45)	あめチーム 保育室	保育室にて、子どもが走り、足がもつれてこけた際机の側面にて青く腫れてたんこぶができた。	・保育室の中を走ってしまっていた。	・保育室内では走らないように声掛けを行っていく。 ・職員間での連携を行い、声を掛け合いながら連携を行っていく。
5/19 (15:00)	そらチーム 保育室	午後おやつ時、卵入りのおやつを卵アレルギーの席に配膳を行ってしまう。その後、提供されたおやつを数回咀嚼し飲み込む前に保育者が気づき口の中の食材をかきだした。	・給食室にワゴンを取りに行った職員と配膳を行った職員間での連携不足。	・提供する際必ず二重でチェックを行っていく。 ・ワゴンを取りに行った職員が、必ずアレルギーの担任に手渡しでお盆を渡していく。
5/20 (11:00)	土曜保育 だいチーム 保育室	昼食時、お弁当の準備をしている際、子どものお弁当を忘れていることに保育者が気づく。	・受け入れ時に弁当の確認が行えてなかった。	・登園時、弁当を持参で来ているのかの確認を行う。 ・食中毒防止の観点から、涼しいところで保管する等に努めていく。

5/24 (16:30)	そらチーム 保育室	4. 5歳児での合同の時間帯にはさみを使って制作を行っていた。A児は紙を切り刻むことに夢中になっていた為、B児の対応でその場を離れた。その間に、A児は自分のズボンを数か所切ってしまった。	・はさみを利用している子どものそばを離れてしまった。	・はさみを利用している際には、子どもの行動に目を配る。 ・保育者同士で連携を行い、安全に使用できるようにする。
6/3 (10:00)	園庭	園庭で走っているときに、前を向かず走っていてフェンスの壁でぶつかり、眼鏡の角で左目を打ち、出血する。傷が深かった為、病院へ受診。	・子どもの動きを見守り必要に応じてもそばにいる保育士が瞬時に対応できていなかった。	・走る時は前を向いて走るように伝える。 ・周囲の状況を観察できる位置に保育者が見守るようにする。
9/15	うみチーム 保育室	室内で歩いていた際、歩行が安定せず転んでおでこを強打する。	・子どもの動きを見守り必要に応じてもそばにいる保育士が瞬時に対応できていなかった。	・室内にマットをひく等安全に生活できるように配慮する。
10/4 (10:40)	園庭 スロープ付近	園庭で遊んでいる際、転倒しコンクリートの部分でおでこを強打する。	・子どもの動きを見守り必要に応じてもそばにいる保育士が瞬時に対応できていなかった。	・転倒の可能性を考慮して、園庭の安全の場所で遊べるようにする。 ・周囲の状況を観察できる位置に保育者が見守るようにする。
10/9 (11:30)	うみチーム 保育室	食事中、スープを保育者が飲ましていた際に口の中に入れてすぎて子どもがむせてしまった。	・子どもへの理解が甘く、丁寧な関りがされてなかった。	・個々の子どもの食事ペースを理解し、無理なく少量ずつ口に運んでいくようにする。
10/19 (16:00)	だいちチーム 保育室	・布を使って保育室で遊んでいた際、頭に布をかぶって遊んでいた。その際に、保育室にあったキッチンの角で頭をうってしまった。	・保育者が子どもの動きを予測出来ていなかった。	・子どもの興味がもてるような部屋の環境構成を考えていく。 ・ケガにつながる行為には直ぐに対応する。
10/25	だいちチーム 保育室	・保育室でぐるぐると回転して遊んでいた際、転倒しておままごとのキッチンの角で頭を打つ。	・その都度危険なことを伝えていたが子どもの興味のもてる遊びに誘えなかった。 ・安全に遊べていなかった。	・子どもの興味が持てる環境構成にしていく。 ・保育環境が安全であることが必然になるよう全職員で意識を持つ。

10/25 (11:00)	園庭	フラフープで遊んでいた際、両足をとられ、手をつくことが出来ず、顔面を打つ。持病を持っていた子どもだった為、診察した医師より念のために紹介状が出たのにも関わらず保護者に渡すのを忘れてしまった。	<ul style="list-style-type: none"> 職員間での連携不足だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 報連相をしっかり持つ。また、全員での周知が必要な事案である為、会議等で情報共有し、意識をもって、ぬげのないように保育を進めていく。
10/26 (11:00)	あめチーム 園庭	保育室のトイレの扉にA児の指があったのに気が付かず、B児が開け閉めした際、第一関節を挟んでしまう。	<ul style="list-style-type: none"> 保育者が子どもの動きを予測出来ていなかった。 危険な注意ポイントが予測できていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 扉の開け閉めをする際には保育者が必ず付き、安全に過ごせるように配慮する。
11/1 (10:00)	にじチーム 保育室	パーティションを持ち上げて危険だった為、片づけたことが気に入らなかった児が自分の道具箱を取り出し、クラスの園児の方に投げつけた。その道具箱の破損が飛び散ってしまう。	<ul style="list-style-type: none"> 対象児の気持ちに寄り添うかかわりができていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの気持ちに寄り添い、その他の子どもに危険を伴う場合はその場から離れるなど保育室の安全を確保する。
11/11 (13:30)	くじらチーム 保育室	ゴザに座り手をついた際に、左小指に小さな棘が刺さってしまう。	<ul style="list-style-type: none"> 物の管理が不十分だった。 	<ul style="list-style-type: none"> その都度、環境の見直しを行う。
11/14 (11:00)	園庭	鬼ごっこをして遊んでいたA児がこけてしまい手をついた際に、B児が上に乗ってA児がおでこを打ってしまった。	<ul style="list-style-type: none"> その都度危険なことを伝えていたが子どもの興味のある遊びに誘いかけることが出来ず、安全に遊べていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 内反足である為転倒の可能性を考慮して園庭の安全な場所で遊べるように配慮する。 広い空間で前を向いて走ることが出来るように声掛けを行う。
11/15 (10:30)	うみチーム 保育室	階段から降りる際にバランスを崩して顔からこけてしまった。	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの動きを見守り必要に応じてそばにいる保育士が瞬時に対応できていなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全に階段の上り下りが出来るように保育者が手をつないだり、危険な状態にならないように配慮を行う。

11/17 (12:00)	園庭	園庭でビールケースを2段積んで遊んでいた。片づけの時間になりA児が片付けの際、片付けようとビールケースを持ち上げたところB児が転倒する。	・突発的な行動を制止できなかった。	・周囲に物がなにか。安全な場所なのかを子どもたちと考えていく。 ・突発的な動きもある為、全体の把握に努める。
11/18 (17:00)	にじチーム 保育室	自分の道具箱を片付けようとした際、滑って唇を机にぶつけてしまい、その後床にもぶつけてしまった。	・上靴を履かずに走ってしまった。	・靴下で足ると滑ることや、危険なので室内では走らないように声掛けを行う。 ・突発な動きもある為、全体把握に努めていく。
11/21 (14:00)	そらチーム 保育室	4.5歳児の合同の時間帯にロッカーの前で上靴を履こうとした際、プラスチックケースで唇を強打する。	・ロッカーの前に物を置いてしまっていた。	・物を出しっぱなしではなく、子どもたちが安心して生活できるように環境を整えていく。
12/1 (11:00)	にじチーム 保育室	A児がB児に向かって走って来た際に靴下だったため滑ってしまった。また、B児はA児の足につまずいてバランスを崩し、机の角で耳をぶつけてしまった。	・突発的な行動を制止できなかった。	・突発的な行動をしてしまう恐れがある際には、傍につき制止が出来るように関わっていく。
12/12 (9:00)	にじチーム 保育室	ブロックで遊んでいる際、滑ってしまい右の眉毛あたりをブロックにぶつけてしまう。	・子どもの動きを見守り必要に応じてそばにいる保育士が瞬時に対応できていなかった。	・落ち着いて遊べるような環境づくりをする。
12/26 (11:00)	合同保育室	そらチームでA児が小さなビー玉を取り出しフライパンに入れてあそんでいた。その際に、にじチームの配慮が必要な児が来て、口の中に入れてしまった。	・子どものそばにつき、遊びの様子を見守れていなかった。 ・職員間での連携不足だった。	・子どもの行動に目を配る。 ・保育者同士で連携を行い、安全に使用できるようにする。
12/26 (12:00)	合同保育室	ゴザの上で遊んでいた際、ゴザの破片が刺さってしまった。	・痛んできているゴザの修善や買い替えができていなかった。	・その都度、環境の見直しを行う。

2022年度 年間行事報告

月	行 事
4月	・入園式・身体測定・避難訓練・誕生会・子どもの日の集い・アオバナの苗植え(草津市より)
5月	・身体測定・英語で遊ぼう・サッカー教室・避難訓練・誕生会・歯科健診・紅はるか苗植え ・夏野菜種まき、苗植え・梅ジュース作り
6月	・交通安全教室(わかばチーム)・検尿検査・避難訓練・サッカー教室・身体測定・誕生会 ・英語で遊ぼう Day(アルバイト先生来園)
7月	・水遊び・プール・内科検診・身体測定・七夕の日の集い・避難訓練・誕生会・サッカー教室 ・夏まつり・英語で遊ぼう・園外保育(5歳あいさい広場)
8月	・水遊び・プール・避難訓練・防犯訓練・身体測定・誕生会・英語で遊ぼう (華頂短期 大学保育実習2名)
9月	・4・5歳児園外保育県立図書館散策コース・園外保育(3～5歳がんばりまめの杜) ・避難訓練(総合訓練)・誕生会・個別懇談
10月	・運動会(0～2歳児)・避難訓練・サッカー教室・誕生会・絵本の読み聞かせプロジェクト(外部 団体来園)・身体測定・園外保育5歳児(文化ゾーン)・ハロウィン
11月	・運動会(3～5歳)・さつま芋収穫・焼き芋大会・身体測定・避難訓練・誕生会・サッカー 教室・5歳園外保育(陶芸の森)4歳園外保育(地球市民の森)・作品展(11/28～12/8)
12月	・親子サッカーDay(3～5歳)・球根水栽培・身体測定・避難訓練・誕生会・クリスマス会・ 年末年始休園【12月29日～1月3日】・防犯訓練
1月	・お正月あそび・親子ふれあいDay(2歳2回目)・地域子育て支援「かがやき広場」・身体 測定・避難訓練(水害想定高台避難、非常食体験、引き渡し訓練)・内科検診・誕生会
2月	・節分豆まき・内科検診(1月検診日の欠席者対象)・地域子育て支援「かがやき広場」・身体 測定・避難訓練・誕生会・生活発表会・サッカー教室(5歳サッカー卒園式)
3月	・防犯訓練・お別れ遠足(琵琶湖博物館、守山地球市民の森)・身体測定・避難訓練教室・誕 生会・お別れ会・老人福祉施設「湖楓」交流会(5歳)・入園説明会(個別)・卒園式

別紙 1

デイリープログラム

時間	乳幼児（0・1・2歳児）	幼児（3・4・5歳児）
7:00	早朝保育開始・随時登園 検温 排泄（オムツ交換）・手洗い	早朝保育開始・随時登園 自由遊び 排泄
9:00	朝の挨拶	朝の挨拶
9:30	午前おやつ	
10:00	活動（水遊び夏季のみ） 年齢・月齢に合わせた活動 排泄（オムツ交換）・手洗い 食事準備	月齢に合わせた活動 制作、戸外遊び、園外散歩 （水遊び・プール遊び夏季のみ）
11:00	給食（離乳食・0歳児）	
11:15	給食（1歳児）	排泄・手洗い
11:30	給食（2歳児）	食事準備
12:00	※昼食後午睡（0・1・2歳児）	給食（3・4・5歳児）
12:30		歯磨き・そうじ
13:00		午睡（3歳児）
13:30		午睡（4歳児9月頃まで） 午睡（5歳児夏季のみ）
14:30	目覚め 排泄（オムツ交換）・手洗い・検温	目覚め 排泄・手洗い
15:00	おやつ	おやつ
15:30		帰りの会
16:00	順次降園	順次降園
18:00	延長保育	延長保育
19:00	最終園児降園	最終園児降園

別紙2

2022年度 くじら小規模保育園事業報告書

2023年4月21日

くじら小規模保育園の運営

1. 施設の目的

2015年4月に本格スタートした「子ども子育て支援新制度」に伴い、0～2歳までの児童を対象に、保護者の就労や、病気の状態にあるなどのため、家庭において十分保育することができない児童を、家庭の保護者にかわって保育をすること、また地域の子育て支援機能を維持・確保することを目的とし、通園する児童の心身の健全な発達を図る役割も有するものである。

2. 事業実績

開園8年目を迎え、小規模保育事業制度について、利用者に広く周知され、0歳児3名・1歳児6名・2歳児8名の計17名でのスタートとなった。また、2018年度からの小規模保育事業について、弾力運用が認められ、定員数の120%まで入所が可能となる。

入所園児数の推移について、5月に1歳児1名、10月に0歳児1名、12月に0歳児1名、1月に0歳児1名の途中入所があり、12月で定員19名満員となる。しかし、家庭の事情で7月末に1名退所があった。その後、弾力運用にて、1月に20名になる。20名で今年度を終了することができた。今年度（2023年度）については、昨年度同様出生率の低下、新型コロナウイルスの影響、それに伴い保護者の在宅ワークの増加している。また、草津市内の全保育施設の空きが昨年度より増加している為、昨年度同様で0歳児や1歳児や2歳児の入所に影響がでることが予想される。その為、ホームページのブログ更新の頻度を上げ、園での普段の様子等を多くの方に知ってもらい、入所に繋げていきたい。

3. 2022年度 職員動向

(1) 職員総数 14名（2023年4月1日現在）

(イ) 正規職員： 6名

準職員： 8名

※嘱託医2名は委託契約

(ロ) 異動職員：退職者1名（2022年10月）、異動者0名

(2) 職員採用状況

2023年度 プルパート職員1名募集

(3) 各種会議

(イ) 職員会議： 毎月1回

(ロ) 給食会議： 毎月1回

(ハ) 苦情会議： 不定期

(4) 定員及び通園園児数

(イ) 通園定員： 19名

(ロ) 園児数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園児数	17	18	18	18	17	17	18	18	19	20	20	20

(ハ) 保育日数 290日/年

(5) 保育計画

(イ) 保育目標 :
 1) 自分を信じる
 2) 夢に向かって遊ぶ
 3) 地域を愛する

(ロ) 保育時間 : (標準) 午前7時00分～午後6時00分
 (短時間) 午前8時00分～午後4時00分

(ハ) 延長保育 : (標準) 午後6時00分～午後7時00分
 (300円/30分、1,500円/月)、(600円/60分、3,000円/月)
 (短時間) 午前7時00分～午前8時00分
 午後4時00分～午後7時00分
 (300円/30分、1,500円/月)、(600円/60分、3,000円/月)

(ニ) 保育内容 : 各年齢の年間指導計画及び月指導計画に基づいた保育内容

(ホ) 特別保育事業 : 延長保育

(ヘ) 日課 : 別紙1 デイリープログラム参照

(ト) 行事 : 別紙2 行事報告参照

(6) 給食

(イ) 全児童 : 完全給食

(7) 健康管理

(イ) 児童

①内科健診 : 年 2回 (嘱託医 藤沢小児クリニック)

②歯科健診 : 年 1回 (嘱託医 奥田歯科)

③発育測定 : 年 12回・身長、体重 (保育士)

年 2回・頭囲、胸囲測定 (保育士)

(ロ) 職員

①定期健康診断 : 年 1回

②検便 : 年 12回 (全保育士・調理師)

(8) 非常災害危険防止

(イ) 避難・不審者訓練 : 年 12回

(9) 研修 : 別紙3 研修報告参照

保育デイリープログラム

時間	乳幼児（0. 1. 2歳児）
7:00	早朝保育開始
8:00	随時登園 検温、手消毒 排泄（オムツ交換）・手洗い
9:30	午前おやつ
10:00	あそび 年齢・月齢に合わせた活動 ※必要に応じて睡眠をとります。
	排泄（オムツ交換）・手洗い 食事準備
11:00	給食
11:30	
12:00	順次、昼寝
12:30	
13:00	
14:30	目覚め 排泄（オムツ交換）・手洗い
15:00	おやつ
16:00	順次降園 自由あそび 水分補給
18:00	延長保育開始・おやつ
19:00	最終園児降園

※0歳児クラスのみ、月齢によって異なる。

2022年度 年間行事報告

月	事業内容
4	誕生会・身体測定
5	ミニ遠足（de愛ひろば：弁当持参）体操教室（T&S健康スポーツ）・誕生会・身体測定
6	内科検診・園児検尿・誕生会・体操教室（T&S健康スポーツ）・親子交流会（全園児：ロクハ公園で交流あそび）・歯科検診・身体測定
7	プール遊び・誕生会・七夕のつどい・体操教室（T&S健康スポーツ）・身体測定
8	プール遊び・誕生会・体操教室（T&S健康スポーツなし）・身体測定
9	誕生会・体操教室（T&S健康スポーツ）・身体測定
10	ハロウィン・2歳児芋ほり遠足（雨天中止）・内科検診・体操教室（T&S健康スポーツ）・誕生会 身体測定
11	体操教室（T&S健康スポーツ）・誕生会・お店屋さんごっこ・身体測定
12	誕生会・クリスマス会・体操教室（T&S健康スポーツ）・身体測定
1	誕生会・体操教室（T&S健康スポーツ）・身体測定
2	節分豆まき・誕生会・生活発表会1. 2歳児（T&S健康スポーツ発表）体操教室（T&S健康スポーツ）
3	ひな祭り・卒園式・誕生会・体操教室（T&S健康スポーツ）2歳児遠足（弾正公園）

※毎月、避難訓練・身体測定・誕生日会

※体操教室（T&S健康スポーツ研究所）1歳児－10:00～10:30 2歳児－10:20～11:00

2022年度 くじら小規模保育園 研修報告

月(予定)	研修内容(外部)	講師・発表者	
6/15	対人援助セミナー 「児童虐待対応について考える」	京都橘大学 健康科学部 教授 宮井 研治先生	施設長・保育士
6/20	食育研修会「子どもたちの脳と心を健やかに育む食育」～「健幸都市くさつ」の推進を目指して～	神戸女子短期大学 食物栄養学科 教授 平野 直美先生	保育士
6/11・6/18	キャリアアップ研修 食育・アレルギー対応	赤田 みゆき	保育士
6/26・7/2	キャリアアップ研修 保健衛生・安全対策	岩崎 信子 内藤紀代子	保育士
7/6	保育スキルアップ研修 「保育の質の向上をめざして」 子ども理解と環境構成をつなぐ	滋賀大学 山本 一成	保育士
7/9・7/16	キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援	田岡 紀美子	保育士
7/12	小児救急研修会 「けいれん時の対応と頭部外傷の際の受診の見極め」	淡海医療センター 小児科部長 森元 まゆみ様	施設長・保育士
7/23・7/30	キャリアアップ研修 乳児保育	大橋 英子 藤本明美	保育士
7/30	保育研修 好奇心いっぱい広がる世界 2歳児の保育	こども教育宝仙大学 須永 美紀教授	保育士
10/30・11/13	キャリアアップ研修 食育・アレルギー対応	原 知子 前川 絹子 飯盛 順子	保育士
12/4・12/11	キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援	松木 宏史	保育士
月(予定)	園内研修内容	発表者	
6/23	食育について	保育士	全職員
8/22	食事中の誤飲・窒息	保育士	全職員
10/24	乳児の発達の特徴と保育の中で大切にしたいこと	保育士	全職員
12/23	保護者支援について	保育士	全職員

2022年度事業報告書

1. 施設の理念

◎おもしろいことなんでもくじら級（法人理念）

○こどもの心も体も夢もくじらのように、大きくなるような保育を行います。

- ・ 基本的な生活習慣を家庭と一緒に築いていく。
- ・ 個々の「やりたいこと」を達成できる伴走者となる。
- ・ 地域の人との関わりを大事にし、感謝の心を育てる保育を行う。

◎保護者との手つなぎ子育て（施設理念）

○小規模保育園の良さを生かして、アットホームな雰囲気の中で家庭との細やかな連携を図り、下記に掲げる目標に向かって保育、運営を行う。

- ・ ぐっすり眠ることも
- ・ 楽しく食べることも
- ・ みんなで遊ぶことも

2. 事業実績

2015年10月に開園して6年目を迎えた。今年度は園児12名（内0歳児が3名）でスタートし、月の平均は12.9名の受け入れでした。

保護者との関係は、誠実に向き合うことで信頼関係を築いていくよう心掛けている。また、保育士同士の連携と信頼関係が、保護者の安心に繋がると考え、日々意見交換を行い、保育士同士が尊重し合うチーム作りに励んでいる。

情報の発信や共有は園のホームページの更新、園だよりの発行、ブログを利用して日々の様子をはじめ、流行している病気のお知らせなどを周知するよう努めている。

人格形成をする上で最も大切な0～2歳の時期を本園で過ごすこともたちにとって、一生の思い出に残る楽しい保育園となるように、また保護者の方には伊予ペンギん小規模保育園でよかったと言ってもらえるように、地域の中で永く愛される保育園づくりに努めていきたい。

2022年度職員動向

(1) 職員総数 : 10名(2022年4月1日現在)

- ①常勤職員 : 5名(1名2022年2月より)産休
- ②非常勤職員 : 5名
- ③嘱託医(内科、歯科) : 2名

(2) 職員採用・退職(退職者がある場合、それを補充する形で随時採用
保育需要に応じた職員配置を検討し随時採用。)

- ・ 4月: 園長、常勤保育士5名、非常勤保育士5名
- ・ 5月: 変動なし
- ・ 6月: 変動なし
- ・ 7月: 変動なし
- ・ 8月: 変動なし

- ・ 9月：変動なし
- ・ 10月：常勤1名産休
- ・ 11月：変動なし
- ・ 12月：変動なし
- ・ 1月：変動なし
- ・ 2月：変動なし
- ・ 3月：変動なし

(3) 各種会議

- ①職員会議・給食会議：12回
- ②管理者会議：不定期
- ③保健会議：不定期
- ④カリキュラム会議：不定期
- ⑤クラス会議：不定期
- ⑥苦情会議：不定期

(4) 定員及び園児数

- ①定員:12名
- ②園児数

保育必要量 区分	利用子ども数 (人)													平均利用 子ども数
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
標準時間認定	8	8	8	7	8	10	10	10	10	10	10	10	109	9.0
短時間認定	3	3	4	5	5	3	3	3	3	3	3	3	41	3.4
園児数	11	11	12	12	13	13	13	13	13	13	13	13	150	12.5

(5) 保育

1) 保育の理念 ◎保護者との手つなぎ子育て

- 2) 保育目標
- ・ぐっすり眠ることも
 - ・楽しく食べることも
 - ・みんなで遊ぶことも

3) 保育実践内容

- ・今年度も、コロナウイルス感染の影響があり、例年通りの行事はできないこともあったが、職員が創意工夫して、保育実践に取り組んだ。
- ・保育理念や保育目標に基づき、情緒が安定した生活ができる様な環境に配慮し、またひとりひとりが探索活動をのびのびとできるよう園外散歩を積極的に取り入れた。
- ・園外保育では、動物園をはじめ、様々な社会資源を積極的に活用して、自分から体験したり、環境にかかわったりすることを重視していった。

- ・運動会日頃からの家庭との手つなぎ保育が充分に感じられる、こどもと保護者と保育士が一緒に楽しみながら作り上げたアットホームな運動会の実現となった。
- ・食育の一貫として、きゅうりを栽培。収穫した野菜は給食で食べることで植物の生長と食への関心を深めていった
- ・避難訓練では、消防車が園前にきて、子どもたちも真剣な表情で訓練に参加できた。

(4)

- ①保育時間： 7：00～18：00（短時間保育：8：00～16：00）
- ②延長保育： 16：00～18：00（短時間保育の園児対象）
- ③特別保育事業：短時間児延長保育
- ④行事： *別紙1 行事報告書参照
- ⑤日課： *別紙2 デイリープログラム参照

加配児保育（0名）

(5)

短時間延長保育登録児 [延長保育時間：16：00～18：00]

時間帯（短時間）	人数
16：00～18：00	0

(6) 給食

完全給食：未満児おやつ、給食、おやつの実施、クッキング保育を実施し食育へとつなげた。

アレルギー除去食や体調に配慮した給食の実施や、月齢に合わせた離乳食実施、郷土料理の普及に取り組んだ。

(7) 健康管理

①園児

I 内科検診：6月・11月（嘱託医：米湊わたなベクリニック）

年2回・・・1回目 6月16日

2回目 11月17日

II 歯科検診：6月・11月（嘱託医：三好歯科クリニック）

年2回・・・1回目 6月16日

2回目 11月17日

②職員

I 定期健康診断：毎年1回（内科）

II 腸内細菌検査：毎月1回（愛媛臨研）サルモレラ菌・病原性大腸菌（O-157）の検査

III インフルエンザ予防接種：希望者

(8) 非常災害危険防止等、防災訓練の実践状況

①避難訓練・不審者訓練：毎月1回（12回実施）

月1回避難訓練を行い、火災・地震・津波の災害、園内への不審者侵入を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を指導した。

②非常食体験（9月1日）

東日本大震災に合わせて非常食を作る、食べる体験を実施。津波の際には高いところに避難することを伝え、指定避難場所（港南中学校）までの避難訓練を行った。

2022年度 研修報告

【自主研修】各テーマに基づき、発表者が研究を行い発表し、その他の職員と意見交換を行う。

【園内研修】

月	研修内容	対象	発表者
9月	子どもと自然	職員	保育士
10月	幼児の自然体験について	職員	保育士
12月	アレルギーの対応と対策	職員	保育士
1月	保育園における危機管理について	職員	保育士
2月	困った子の対応	職員	保育士

*毎月の実施はなかった為、実績のあるもののみ記載。

【園外研修】

月	研修内容	場 所	対 象
6月	くじら 保険研修・重大事故防止	オンライン	保育士
7月	キャリアアップ研修①乳児保育	オンライン	保育士
8月	キャリアアップ研修②幼児教育	オンライン	保育士
8月	くじら 言語研修	オンライン	保育士
9月	キャリアアップ研修③障がい者保育	オンライン	保育士
10月	キャリアアップ研修④食育・アレルギー	オンライン	保育士
11月	キャリアアップ研修⑤保健衛生・安全対策	オンライン	保育士
12月	くじら 発達研修	オンライン	保育士
1月	キャリアアップ研修⑦マネジメント	オンライン	保育士

3. 2022年度中に医師の診断を受けた事故報告

件数： 0件

【事例報告】 なし

2022年度年間行事報告

月	行事
4月	・入園進級式 ・体操教室（1.2歳児） ・身体測定 ・避難訓練
5月	・野菜苗植え ・体操教室（1.2歳児） ・身体測定・避難訓練 ・誕生会
6月	・内科検診・歯科検診 ・身体測定 ・避難訓練 ・体操教室（1.2歳児）
7月	・プール開き ・七夕会 ・野菜収穫 ・身体測定 ・内科検診 ・避難訓練 ・体操教室（1.2歳児）
8月	・身体測定 ・避難訓練 ・体操教室（1.2歳児） ・夏祭り
9月	・身体測定 ・避難訓練 ・体操教室（1.2歳児）・歯科検診 ・非常食体験
10月	・身体測定 ・ハロウィンごっこ ・避難訓練 ・体操教室（1.2歳児）
11月	・運動会 ・身体測定 ・体操教室（1.2歳児） ・避難訓練 ・内科検診・歯科検診 ・交通安全教室
12月	・クリスマス会 ・身体測定 ・避難訓練 ・体操教室（1.2歳児） ・年末年始休園（12月29日～1月3日）
1月	・保育始め（1月4日） ・身体測定 ・避難訓練 ・お散歩初詣
2月	・節分豆まき ・身体測定 ・避難訓練
3月	・ひな祭り会 ・身体測定 ・避難訓練 ・園外保育（とべ動物園） ・卒園式、進級式

デイリープログラム

時間	乳幼児（0. 1. 2歳児）
7:00	[開園]
8:00	◎順次登園 ・短時間児早朝延長保育（～8:00）
	◎排せつ
9:00	◎朝の集まり
9:30	◎午前おやつ
	◎年齢に応じた活動
11:00	◎離乳食（0歳児） ◎排せつ
11:30	◎給食 ・終わった園児から午睡準備、絵本
12:30	◎午睡
14:00	◎離乳食（0歳児）
14:30	・2歳児から順次起床
15:00	◎午後おやつ
15:30	・短時間、16時迎えおむつ替え
16:00	◎短時間、16時迎え 降園 短時間児延長保育
17:00	◎水分補給 ◎排せつ
18:00	[閉園]

※0歳児については、年齢や状態にあった生活リズムが整うようご家庭とご相談しながら進めて参ります。

2023年4月21日
伊丹くじら小規模保育園

2022年度 事業報告書

1. 施設の理念

◎おもしろいことなんでもくじら級

- ・こどもの心も体も夢もくじらのように、大きくなるような保育を行う。
- ・いろいろな遊びや活動を通してやってみたい、やってみよう、できた！楽しい！
そんな気持ちを大切に、こどもたちの主体性を育てる。
- ・こどもも、家庭も、地域の方も、今日より明日、明日より未来を楽しみに思うことが出来る園づくりを目指す。

2. 事業実績

今年度4月は、園児15名でスタートし、昨年度同様9月に19名満員となる。
くじらものがたりを行うにあたり、兵庫3園の5歳児と小規模の2歳児とのつながりを活発に行った年であった。

伊丹スカイパークでの交流、1月の阪神淡路大震災にむけての千羽鶴作成、くじらフェスティバルなど、その他にも伊丹両園との交流は前年度に比べ、園庭で遊ぶ、運動会など関りを多くもつことが出来た。

行事に関しても、中止となっていた親子いもほり遠足、園外保育なども開催することが出来、次年度はさらにたくさんの経験をし、それぞれにいろんなことを感じてほしいと願う。

ブログ研修を受け、職員で園内研修をし意識を高めた。

ブログの掲載回数を増やし、掲載内容の質の向上を目指した。毎回楽しみにしてくださっている保護者も少しずつ増え地域とのつながりや、園児の確保、保育士人材の確保などに繋がればと思う。

昨今、保育園の事件や事故が多発しており、保育士に向けられる目も厳しくなる中、普段の保育はもちろんのこと、ルールの徹底、見直しを細かに行っていくようにしたい。

それから、いかに保護者に安心して園に預けていただけるかを何か形にして発信していこうと園内で現在検討中である。

2.受入園児および職員の動向

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
2歳児	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
1歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
0歳児	2	3	3	3	3	6	6	6	6	6	6	6
職員	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
パート	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
事務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※施設長は職員に含む

新規採用者

なし

3. 保育目標

社会福祉法人くじらの理念に基づき、ぐっすり眠る子ども、楽しく食べる子ども、みんなで遊ぶ子どもを保育目標とし、クラスごとに集団保育を通して育ちと学びを支えることに努めた。

0歳児 うみ組

*安心できる環境の中、様々なものに興味、関心を抱き、豊かな心や言葉を養う。

1才児 だいち組

*信頼できる保育者の中で、自分の思いを言葉や行動で表現する。

2歳児 あめ組

*基本的な生活習慣を身に付け、自分の思いを言葉で表現できるようにする。

*楽しんで食事をする。

4. 保育行事

4月 入園式・進級式	11月 運動会
5月 子どもの日のつどい	(2歳児のみ梅ノ木くじら保育園と合同)
7月 七夕のつどい、水遊び	12月 クリスマス会
8月 夏祭り	1月 正月遊び
9月 お月見会	2月 節分のつどい
10月 ハロウィン	3月 ひなまつり会

- 誕生日会（通年）
- 避難訓練および火災訓練（月1回）
- 身体測定（月1回）
- 英語レッスン（年10回）
- 委託医による健康診断および歯科健診（年2回）

5. 給食に対する取り組み

- ・連携園伊丹くじら保育園にて調理（外部委託）したものを配送
- ・委託先栄養士によるバランスの取れた献立
- ・食育の日（毎月19日）を設け、各地域の郷土料理を学び提供
- ・アレルギー、その他の事情により給食の配慮が必要な子どもに関しては、委託先職員とともに全職員が情報共有し、献立、食器、配膳方法に対する配慮を徹底（アレルギー児に関しては、医師の診断書要提出）
- ・検便（月1回）

6. 安全管理

日常の予防安全が最大の安全対策と位置づけ、以下の対策を徹底。

- ・研修、訓練を通じた職員間の情報共有
- ・園から地域への安全対策の伝達
- ・各機関からの情報の確認（不審者・災害等）
- ・防犯意識の向上（訓練や研修を随時行い備えておく）
- ・緊急時の連絡方法
- ・市、県などの方針に沿った「安全（災害）対策マニュアル」の整備
- ・各種関係との協力連携体制

7. 保育デイリープログラム

時間	乳幼児（0. 1. 2歳児）
7：00	早朝保育開始
8：00	随時登園 検温 排泄（オムツ交換）・手洗い
9：30	水分補給
10：00	あそび 年齢・月齢に合わせた活動 ※必要に応じて睡眠をとります。 排泄（オムツ交換）・手洗い
10：45	給食準備 給食
11：30	
12：00	順次、昼寝
12：30	
13：00	
14：30	目覚め 排泄（オムツ交換）・手洗い
15：00	おやつ
16：00	順次降園
18：00	延長保育開始 おやつ
19：00	最終園児降園

8. 研修報告

〈外部研修〉

月日	研修名	講師	受講者
4月26日	「オール伊丹」で 幼児教育の質の向上を考える（主 体的な職員が育つ職場風土）	神戸大阪大学大学院 教授 北野幸子	施設長
5月12日	遊びこむ環境とは①	大阪総合保育大学 教授 瀧川 光治	保育士
6月2日	なぜ保育教育現場で事故が起きる のか？保育者の安全意識を高め事 故を防ぐ	伊丹市役所法務管理課 課長 大矢 真義	保育士
6月3日	保育プラザ研修 ・保育における食育と食事	上越教育大学大学院 野口 孝則	保育士
6月17日	遊びこむ環境とは② 実践交流	大阪総合保育大学 教授 瀧川 光治	保育士
6月17日	保育プラザ研修 ・1歳児の発達と保育	湘北短期大学 照井 裕子	保育士
7月13日	乳児の心	大阪総合保育大学 教授 阿部 和子	保育士
7月28日	遊びこむ環境とは③ 実践交流	大阪総合保育大学 教授 瀧川 光治	保育士
8月5日	乳幼児期の学び・育ちを 小学校での学び・育ちへつなぐ	福井県幼児教育支援 センター長 青木 美恵	保育士
8月29日	就学前教育における性的マイノリ ティ	林 やよい	保育士
9月2日	子どもの急病対処法 ・予防接種 ・子どもの咳	阪神北広域こども急病セ ンター 看護師	全員
9月8日	幼児教育の遊びと指導計画・評価	関西学院大学 教授 橋本 祐子	保育士
9月28日	遊びこむ環境構成とは④ 実践交流	大阪総合保育大学 教授 瀧川 光治	保育士
10月28日	支援を要する子どもの理解と 保護者理解	兵庫境教育大学 准教授 鈴木 正敏	保育士
11月25日	生きる力を育む「ことば」の育成	神戸常盤大学 教授 山下 敦子	保育士
1月24日	遊びから学びへやる気を育むこと を通してつなぐ教育・保育	國學院大學 准教授 吉永 安里	保育士

〈園内研修〉

日時	研修内容	参加者
6月7日	保育目標について	全員
6月15日	水遊びについて	全員
6月21日	保健研修 重大事故予防	全員
8月2日	ブログ研修	全員
9月6日	乳幼児期の心の発達	保育士1名
11月8日	保健 基礎研修	保育士1名
12月6日	対応に悩む子どもへの保育を考える	保育士1名
1月24日	保育士採用に生きるブログ記事の作り方	施設長1名

2022年度 唐橋くじら小規模保育園事業報告書

2023年4月21日

唐橋くじら小規模保育園の運営

1. 施設の目的

平成27年度4月に本格スタートした「子ども子育て支援新制度」に伴い、0～2歳までの児童を対象に、保護者の就労や、病気の状態にあるなどのため、家庭において十分保育することができない児童を、家庭の保護者にかわって保育をすること、また地域の子育て支援機能を維持・確保することを目的とし、通園する児童の心身の健全な発達を図る役割も有するものである。

2. 事業実績

開所7年目となった本年度のスタートは、0歳児1名・1歳児5名・2歳児5名 計11名のスタートとなり、定員12名に対し、入所率92%でのスタートとなった。短期入所者が2名おられた為、年度途中の入所不安もあったが、順調に入れ替わりの入所もあり9月には定員を超えての利用となり、安定した運営をする事ができた。

職員体制においても、1名の産休・育休取得職員があったのみで離職者はなく、大きな事故やケガもなく一年を安全に過ごす事ができた。

保育活動に関しては、昨年につづき新型コロナウイルス感染症対策を講じ、安心して子ども達が生活できるよう日々の衛生や健康管理に努めた。人数の制限等はあるものの運動会等の行事も開催をする事ができた。また、同じ地域の同法人の施設とも土曜日の合同保育や合同行事・交流会にて子どもや保育者の連携を行なった。

子ども達にとって保育園がもう一つのお家となるように安心・安全である環境を提供し、暖かい雰囲気の中で個々の生活リズムを尊重しながら基本的な生活習慣を身に付けられるよう援助し、保護者とも日々の送迎の際に会話をするなど親しみをもっていただき信頼関係を築けるよう心掛けた。今後も、保護者様や地域にも愛し愛される保育園づくりに努めていきたい。

3. 2022年度職員動向

(1) 職員総数 9名 (2022年4月1日現在)

(イ) 常勤職員 : 4名

(ロ) パート職員 : 5名

※事務員(兼務) : 1名

※調理員(委託・パート) : 2名

※嘱託医 委託契約 内科 1名・歯科 1名

(ハ) 異動職員 : 退職者0名、退職者(パート)0名、年度途中退職者0名、異動者0名
産休・育休取得者 1名

(2) 職員採用状況

園児数の増加に伴い、配置基準を満たす形で随時採用

通所の円滑化のため、保育需要に応じた職員配置を検討し随時採用

(3) 各種会議

- (イ) 職員会議 : 毎月1回
- (ロ) 給食会議 : 毎月1回
- (ハ) 苦情会議 : 不定期

(4) 定員及び通園園児数

- (イ) 通園定員 : 12名
- (ロ) 園児数 : 14名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園児数	12	11	13	12	11	13	14	14	14	14	14	14

- (ハ) 保育日数 293日 /年

(5) 保育計画

- (イ) 保育目標 :
 - 1) ぐっすり眠るこども
 - 2) 楽しく食べるこども
 - 3) みんなで遊ぶこども

- (ロ) 保育時間 : (標準) 午前7時00分～午後6時00分
(短時間) 午前8時00分～午後4時00分

- (ハ) 延長保育 : (標準) 午後6時00分～午後7時00分
(400円/30分、2000円/月)、(800円/60分、4000円/月)
(短時間) 午前7時00分～午前8時30分
午後4時00分～午後7時00分
(400円/30分、2000円/月)、(800円/60分、4000円/月)

- (ニ) 保育内容 : 各年齢の年間指導計画及び月指導計画に基づいた保育内容
保育理念や保育目標に基づき情緒が安定した生活ができる
よう環境に配慮し、また一人ひとりが探索活動をのびのび
とできるよう園外散歩を積極的にとりいれている。

- (ホ) 特別保育事業 : 延長保育、一時預り事業
- (ヘ) 日課 : 別紙1 デイリープログラム参照
- (ト) 行事 : 別紙2 行事報告参照

(6) 給食

- (イ) 全児童 : 完全給食
月齢に合わせた離乳食
アレルギー除去食

(7) 一時預かり(完全予約制)

(イ) 実施日 : 月曜日から金曜日(不定期)
(ロ) 保育時間 : (全日) 午前8時30分～午後5時00分
(半日) 午前8時30分～午後12時30分
午後1時00分～午後5時00分

(ハ) 利用料金 : (全日) 3,500円
:(半日) 2,500円

(ニ) 延長料金 : 400円/30分
(ホ) 給食費(別途) : 500円(おやつ代を含む)

(8) 健康管理

(イ) 児童

①内科健診 : 年2回(嘱託医 宮川医院)
②歯科健診 : 年1回(嘱託医 はなよし歯科)
③尿検査 : 年1回(近畿予防研究所)
④発育測定 : 年12回(保育士)

(ロ) 職員

①定期健康診断 : 年1回
②検便 : 年12回(全保育士・調理員)

(9) 非常災害危険防止

(イ) 避難・不審者訓練 : 年12回

(10) 研修 : 別紙3 研修報告参照

保育デイリープログラム

時間	乳幼児 (0. 1. 2 歳児)
7 : 00	早朝保育開始 随時登園
8 : 00	検温 排泄 (オムツ交換) ・手洗い
9 : 00	
9 : 30	朝の会 ・ 午前おやつ
10 : 00	あそび 年齢 ・ 月齢に合わせた活動 ※必要に応じて睡眠をとります。
	排泄 (オムツ交換) ・手洗い 食事準備
11 : 00	給食
11 : 30	
12 : 00	順次、昼寝
12 : 30	
13 : 00	
14 : 00	
14 : 30	目覚め 排泄 (オムツ交換) ・手洗い
15 : 00	お帰りの会 ・ 午後おやつ 降園準備
15 : 30	順次降園
16 : 00	排泄 (オムツ交換) ・手洗い 水分補給 ※必要に応じて睡眠をとります。
19 : 00	最終園児降園

2022年度 年間行事報告

月	事業内容
4	入園・進級式
5	春のミニ遠足
6	内科健診・歯科検診・検尿
7	プール遊び・個人懇談
8	プール遊び・個人懇談
9	運動会
10	パロウィン
11	秋の遠足
12	クリスマス会・内科健診
1	初詣
2	節分豆まき
3	ひな祭り・卒園式・お別れ会

※お誕生日会は園児のお誕生日の日または近い日に実施

※運動教室は年 10 回実施

2022年度 唐橋くじら小規模保育園 研修報告

職員の研修の状況

①研修(内部)の実施状況

実施月	研修会名	参加職種	参加人数	研修日数	研修内容
5月	内部研修	保育士	6名	1日	正しい検温方法と体温について
6月	内部研修	保育士	6名	1日	水遊び・プール遊びについて
6月	法人研修	保育士	1名	1日	重大事故予防
7月	内部研修	保育士・調理員	6名	1日	夏に気を付けたい病気や事故
7月	法人研修	保育士	1名	1日	めざせ！ブログ美人
8月	内部研修	保育士	6名	1日	法人の目指す子どもの像について考える
8月	法人研修	保育士	1名	1日	ことばの発達について
9月	内部研修	保育士・調理員	6名	1日	食物アレルギーについて知る
9月	法人研修	保育士	1名	1日	乳幼児期の心の発達
10月	内部研修	保育士・調理員	6名	1日	子どもの権利と虐待
11月	内部研修	保育士・調理員	6名	1日	子どもの病気について
11月	法人研修	施設長	1名	1日	保健・基礎研修
12月	法人研修	保育士	1名	1日	対応に悩む子どもへの保育を考える
12月	内部研修	保育士	4名	1日	子どもの転倒事故について考える
2月	法人研修	施設長	1名	1日	ことばの発達と生活上の「困り感」

②研修(外部)の実施状況

実施月	研修会名	参加職種	参加人数	研修日数	研修内容
5月	従事者 ¹ 研修	施設長	1名	1日	安全なお散歩指導
6月	従事者研修	施設長	1名	1日	接触機能の発達と援助
7月	地域型保育研修	施設長	1名	1日	今、求められる子育て支援とは
8月	従事者研修	保育士	1名	1日	防災研修
11月	人権研修	保育士	1名	1日	馴染みの地域で自分らしく 生きていくために
12月	発達講座	保育士	1名	1日	食べる機能の発達と援助
12月	人権研修	施設長	1名	1日	劇 「この雲の彼方に ありがとうの 言葉を添えて」
1月	人権研修	保育士	1名	1日	映画 「TOKYOアイヌ」
2月	人権研修	保育士	1名	1日	当たり前前に権利が保障される社会に向 けて～ヤングケアラーの視点から～

2022年度 社会福祉法人くじら 事業報告書

2023年4月21日

すいか小規模保育園の運営

1. 施設の目的

共働き世帯が増え、育休明けの保護者またシングルマザーなど家庭において十分保育することが出来ない児童を、家庭の保護者に代わって保育することを目的とし児童の心身共に健全な発達を図る役割を有するものである。

2. 事業実績

2022年4月は入園児童9名(定員12名)だったが、前年からの引き継ぎ児童だけ(0歳児2名、2歳児7名)で1歳児は0人。その後は8月まで入園者はなく9月から徐々に増え12月に定員を超え14名までの入園となった。収束傾向の見えないコロナ禍の中、昨年は0歳児が少なかったが、今年度は1歳児が少なく当園に限っては1歳児0名で0歳児7名、2歳児7名と偏りが出た。

1歳児の補助金も年間380万ほどがもらえず、経理的にも苦しい状態となった。

職員のお子さんや家族にコロナ感染者が出て、なかなか欠勤が長引いたりしたがシフト変更や欠勤の交代など職員の協力体制の元、保育を続けることが出来た。

(1) 職員総数8名

(イ)常勤職員5名 (ロ)準職員3名

(2) 職員採用状況

退職職員がある場合にそれを補充する形での随時採用

定員に達した場合の保育士数は5名(現在パート3名で1名換算)

(3) 各種会議

(イ)月会議 毎月1回

(ロ)すいか園長とおむすび園長と月会議、毎月1回(今年はほぼZOOM実施)

(ハ)主任会議 不定期

(ニ)保育会議 保育士月1回

(ホ)ケース会議 不定期

※その他本部研修やその後の職員全員に共有するための園内研修を実施した。

(4)定員及び園児数

定員 12名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
園児数	9	9	9	9	9	10	12	13	14	14	14	14	136	11.33

(5)保育計画

(イ)保育目標

- ・みんなで遊ぶこども
- ・楽しく食べるこども
- ・ぐっすり眠るこども

(ロ)保育時間

- ・標準保育 7時から18時(18時以降30分100円)
- ・短時間保育 8時から16時(7時～8時・16時以降30分100円)
- ・延長保育 19時まで

(ハ)保育内容 各年齢の年間指導計画及び月指導計画に基づいた保育内容

(ニ)特別保育事業 延長保育

(ホ)行事 別紙1

(ヘ)日課 別紙2

(6)給食

(イ)全児童 完全給食

(7)健康管理

(イ)児童

①内科検診 年2回 (嘱託医 長谷川こども医院)

②歯科検診 年1回 (嘱託医 横山歯科医院)

(ロ)職員

①定期健診 年1回

②検便 年12回

(8)非常災害危険防止

(イ)避難訓練・不審者訓練 各年12回)

(9)研修報告 別紙3参照

2022 年度 年間行事報告

別紙 1

月	事 業 内 容
4	園外保育(2歳児)
5	ファンカンパニーさん撮影会
6	内科検診・歯科検診
7	七夕まつり
8	プールウィーク・お祭りごっこ(ファンカンパニーさん撮影会)
9	親子で遊ぼう!(ファンカンパニーさん撮影会)
10	園庭の芋ほり・内科検診・園外保育(2歳児)・ハロウィンごっこ
11	保育参観(0歳児・2歳児)
12	クリスマス会
1	新年のつどい
2	節分豆まき・園外保育(2歳児水族館)
3	ひな祭り・大きくなったね(お別れ会)

お別れ会は保護者参加を各家庭1名とし0歳児1部、2歳児2部に分けた。

後日子どもたちの様子や園での1年間の様子をDVDにまとめて保護者へ渡し楽しんでいただけた。

ファンカンパニーさんの撮影会も行事以外で通常保育の様子などを撮っていただき保護者にも喜んでいただいた。

クリスマス会は保護者不参加形式だったため、YouTube 配信で楽しんでいただいた。

今年度はわらべうたを園児と楽しむ様子を YouTube 配信したり昨年同様に hugmo アプリを活用し保護者との連絡やお知らせ、保育の様子など周期的にアップし印刷物の手間や紙の節約も実践できた。今年度からは2歳児の連絡帳もアプリ上で実行し内容も職員が一斉に共有化できた。

保 育 日 課 表

(デイリープログラム)

別紙 2

0・1・2歳児

すいか小規模保育園

子どもの活動	時 間	保 育 者 の 配 慮	職員の協力体制
開園 早朝保育	7:00	○明るい態度で迎える。 ○検温、視診、保護者との連絡。 個々の子どもの状態を十分に観察する。	※保護者からの伝達、子どもの体調などは伝達板に記入し、全体ですぐ確認できるようにする。
順次登園 挨拶をする 検温をうける あそび	8:00	○挨拶は、目と目を合わせ、はっきりと交わす。 ○連絡ノートや保護者とのやりとりなどで家庭での健康状態および生活の様子を把握する。 ○いろいろな玩具を用意し、自分であそびを見つけられるように環境設定をする。 ○保育者がやって見せるなど、楽しんで出来るよう配慮する。	
排泄（おむつ交換） 手洗い	9:10	○手の洗い方、着脱など援助する。 ●おむつ交換は、言葉がけとスキンシップをしながら、随時取り替え、心地よさを感じるようにする。排便の回数、便の状態からその子どもの体調を把握する。 ●おむつ交換、授乳、睡眠は一人ひとりに合わせ、随時行う。	※0歳児で午前寝をする場合は睡眠チェックする職員を置く体制を整える。
おやつ	9:15	○楽しい雰囲気の中で食べられるように配慮する。 (少人数制)	※●は0歳児配慮
片づけ 朝の会	9:50	○季節の歌や絵本など、保育者も一緒に楽しむようにする。	
・カリキュラムに沿った活動 (戸外あそび、リズムあそび、お話、製作など)	10:00	○環境や活動の様子、子どもの相互のかかわり方など配慮し、事故のないように見守る。また、保育者も一緒にかかわり、楽しさを伝える。	
・0歳児は年齢に合わせ、1・2歳児と同じ活動に参加したり、		●発達に合った玩具を用意し、子どもの表情を見ながら楽しさを伝える。 ●やさしい語りかけやふれあいあそびを多く取り	

ベビーカーで散歩したり、別活動でふれあいあそびや運動あそびなどの活動をする		入れ、愛着関係を築いていく。 ●発育、発達状態をよく把握し、寝返り、はいはい、お座り、伝い歩き、立つ、歩くなど、一人一人に合った活動を十分に行えるように援助する。	
排泄（おむつ交換）	10:50	○汚れた衣類は取り替える。	
手洗い	11:15	○簡単な着脱は自分できるように言葉がけをする。	
昼食		○楽しい雰囲気、喜んで食べられるように配慮する。	
片付け		○自分から食べようとする意欲や行動を大切に、適切な援助をする。	
午睡	12:00	●個々の状態に合わせて無理なく離乳食を進めるようにする。 ●ゆっくり抱いて、話しかけながら授乳する。	
起床		○個々の子どもに適した接し方をして熟睡できるように配慮する。	
排泄（おむつ交換）手洗い	14:30	○静かに眠れる雰囲気を作るようにする。 ○睡眠中の子どもの顔色、呼吸の状態をきめ細かく観察し記録する。	※子どもが一人でも寝る場合は、うつぶせ寝を返しながら睡眠チェックする職員を置く体制を整える。
おやつ	15:00	○心地よい目覚めが出来るように配慮する。	
お帰りの会	15:20	○個人差に合わせ、便器で排泄出来るよう援助する。	
片付け		○手拭きタオルを片付けられるよう声をかける。	
順次降園	16:00	○今日1日を振り返り、明日への期待が持てるよう言葉がけをし、明るくさようならをする。 ○表情・健康状態を視診する。 ○その日の健康状態・活動・授乳の状態などについて、迎えの時に具体的に連絡する。	※持ち帰りの荷物に間違いがないよう個々の荷物を確認する。
延長保育		○延長保育時は、家庭的な雰囲気の中なかでくつろいで、0歳～2歳児まで一緒に過ごす。	
排泄（おむつ交換）	17:00	○一人一人が好きな遊びができるように配慮する。	※保護者への連絡・子どもの様子は伝達板で確認し、伝えるようにする。
おやつ	18:00	○年齢差の子ども同士で遊ぶような工夫をする。	
閉園	19:00	○水分補給をする。 ●必要に応じて授乳、睡眠がとれるようにする。	

2022年度 研修報告

1.園外研修

別紙 3

日 付	研 修 内 容	場 所	参加者
8月4日	新潟市保育士キャリアアップ研修 マネジメント	新潟市	保育士 桜井
7月26日	一般社団法人保育プラザジャパン 心を通わせ楽しもうふれあい遊び&手作りおもちゃ	新潟市	保育士 桜井
11月15日	一般社団法人保育プラザジャパン 個人を尊重し、つながりを育む保育とは	新潟市	保育士 赤川
11月25日	一般社団法人保育プラザジャパン 0、1歳児が心地よく過ごせる保育	新潟市	保育士 高橋
10月20日 21日	一般財団法人日本防火・防災管理講習 防火管理・防災管理講習	新潟市	保育士 高橋

保育士がバランスよく研修参加できるようにシフト体制を整える。

新潟県、新潟市の研修予定に目を配り希望者には優先して受講させる

『資質向上のための計画』

園内研修…各テーマに基づき、担当者が課題を上げ、職員間の共通理解と意見交換を行う。

月	研修テーマ	担当者
4月	・人権擁護について ・主体性とは	佐々木/高橋
5月	・非認知能力について（あそび・環境）	桜井
6月	・主体保育による保育者の役割	赤川
7月	・自己肯定感を高めるかかわり	高橋
8月	・PDCAサイクルの大切さ	高橋
9月	・主体あそびからの保育ウェブ（4～9月）…主体保育による子どもの変化	各グループ/桜井
10月		
11月		
12月	・主体あそびからの保育ウェブ（10～12月）	各グループ
1月	・主体性保育を通して見えてきたこと	赤川
2月	・保育の見直し・個々の反省・評価	佐々木
3月	・来年度の目標、保育理念に基づいた保育の工夫	佐々木

『その他の計画』

- ・日々の保育ウェブ記録による保育展開を考える（各グループ）
- ・毎月1回、月会議・保育会議
- ・毎週1回、各グループ保育ミーティング
- ・毎月1回、すいか保育園・おむすびこども園との園長会議
- ・年数回、すいか保育園・おむすびこども園との主任会議
- ・団体が主催する研修会などへの参加
- ・新潟市からの研修案内が届き次第、随時参加申し込み予定
- ・研修後、報告書を作成し全職員に回覧・情報交換を行う。

『職員の能力評価』

- ・年2回(6月・10月) 施設長との個人面談の実施を行う。
- ・自己啓発活動表(4月・2月) 作成し、1年通して、自己の課題に取り組む。
- ・研修を通し、人権チェックリスト(4月・2月)を記入する。

『職員への周知方法』

- ・月会議や保育会議・グループミーティングで連絡する。
- ・hugmoアプリを通して、文章の回覧
- ・伝達事項の確認、月案・週案の確認

『その他の計画』

- ・ 毎月1回、月会議・保育会議
- ・ 毎月1回、すいか保育園・おむすびこども園との園長会議
- ・ 不定期で、すいか保育園・おむすびこども園との主任会議
- ・ 団体が主催する研修会などへの参加
- ・ 新潟市からの研修案内が届き次第、随時申し込みを行う。
- ・ 研修後、報告書を作成し全職員に回覧・情報交換を行う。

『職員の能力評価』

- ・ 年2回(6月・10月)施設長との個人面談の実施を行う。
- ・ 自己啓発活動表(4月・2月)を作成し、1年を通して自己の課題に取り組む。
- ・ 研修を通し、人権チェックリスト(5月・2月)を記入する。

『職員への周知方法』

- ・ 月会議や保育会議での共有
- ・ 文書の回覧
- ・ 伝達事項の確認
- ・ hugmo アプリでの情報共有

2022 年度 栗東くじら小規模保育園事業報告書

2023 年 4 月 21 日

栗東くじら小規模保育園の運営

1. 施設の目的

2018 年度 4 月に本格スタートした「子ども子育て支援新制度」に伴い、0～2 歳までの児童を対象に、保護者が働いていたり、病気の状態にあるなどのため、家庭において十分保育することができない児童を、家庭の保護者にかわって保育をすること、また地域の子育て支援機能を維持・確保することを目的とし、通園する児童の心身の健全な発達を図る役割も有するものである。

2. 事業実績

開園を迎え、小規模保育事業制度について、利用者に広く周知され、2022 年度は 0 歳児 3 名・1 歳児 7 名・2 歳児 6 名の計 16 名でのスタートとなった。

栗東市より待機児童が多く、開園年より定員数満員、その後もほぼ定員数を満たす子どもの入園者数を継続している。行事には、新型コロナウイルスの流行にて縮小されているが、例年では地域の民生委員の方に参加していただくこともあり、地域とのかかわりも大切に活動している。

連携施設として栗東くじら保育園(0～5 歳児・2019 年度に開園)を持ち、同じ地域の連携施設として土曜日合同保育や合同行事にて子ども・保育者の連携も行うとともに、本園の卒園児の受け入れ先としても機能している。

3. 2022 年度職員動向

(1) 職員総数 10 名 (2022 年 4 月 1 日現在)

(イ) 常勤職員 : 6 名

非常勤職員 : 4 名

(ロ) パート職員 : 2 名

※嘱託医 2 名は委託契約

(ハ) 異動職員 : 法人内異動者 2 名 入職者 3 名

(2) 職員採用状況

園児数の増加に伴い、配置基準を満たす形で随時採用

通所の円滑化のため、保育需要に応じた職員配置を検討し随時採用

(3) 各種会議

(イ) 職員会議 : 毎月 1 回

(ロ) 給食会議 : 毎月 1 回

(ハ) 苦情会議 : 不定期

(4) 定員及び通園園児数

(イ) 通園定員 : 19名 (20名)

(ロ) 園児数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園児数	16	16	17	17	18	19	19	19	19	19	19	18

(ハ) 保育日数 289日/年

(5) 保育計画

(イ) 保育目標 :
1) ぐっすり眠るこども
2) 楽しく食べるこども
3) みんなで遊ぶこども

(ロ) 保育時間 : (標準) 午前7時00分～午後6時00分
(短時間) 午前8時00分～午後4時00分

(ハ) 延長保育 : (標準) 午後6時00分～午後7時00分
(300円/30分、1500円/月)、(600円/60分、3000円/月)
(短時間) 午後4時00分～午後7時00分
(300円/30分、1500円/月)、(600円/60分、3000円/月)

(ニ) 保育内容 : 各年齢の年間指導計画及び月指導計画に基づいた保育内容

(ホ) 特別保育事業 : 延長保育

(ヘ) 日課 : 別紙1 デイリープログラム参照

(ト) 行事 : 別紙2 行事報告参照

(6) 給食

(イ) 全児童 : 給食(土曜保育のみお弁当)

(7) 健康管理

(イ) 児童

①内科健診 : 年 2回 (嘱託医 ふじさわ小児クリニック)

②歯科健診 : 年 1回 (嘱託医 おざき歯科医院)

③発育測定 : 年 12回 (保育士)

(ロ) 職員

①定期健康診断 : 年 1回

②検便 : 年 12回 (全保育士・調理師)

(8) 非常災害危険防止

(イ) 避難・不審者訓練 : 年 12回

(9) 研修 : 別紙3 研修報告参照

保育デイリープログラム

時間	乳幼児（0. 1. 2歳児）
7:00	早朝保育開始
8:00	随時登園 検温 排泄（オムツ交換）・手洗い
9:30	午前おやつ
10:00	あそび 年齢・月齢に合わせた活動 ※必要に応じて睡眠をとります。
	排泄（オムツ交換）・手洗い 食事準備
11:00	給食
11:30	
12:00	順次、昼寝
12:30	
13:00	
14:30	目覚め 排泄（オムツ交換）・手洗い
15:00	おやつ
16:00	順次降園 水分補給
18:00	おやつ
19:00	最終園児降園

2022年度 年間行事報告

月	事業内容
4	入園式・誕生会
5	誕生会・体操教室
6	保育参観・内科検診・歯科検診・検尿・誕生会・体操教室
7	水遊び・七夕の集い・誕生会・体操教室
8	水遊び・誕生会・体操教室・個人懇談(2歳児)
9	非常食体験・誕生会・体操教室
10	さつまいもほり・ハロウィン・誕生会・体操教室
11	ゲルニカ制作(法人活動:2歳児)・内科検診・誕生日会・体操教室
12	おたのしみ会・誕生会・体操教室
1	保育参観・誕生会・体操教室
2	節分の集い・誕生会・体操教室参観(2歳児)
3	ひな祭り・おわかれ遠足・おわかれイベント・卒園式・誕生会・体操教室

2022 年度 栗東くじら小規模保育園 研修報告

月(予定)	研修内容	講師	受講者
6月	幼児保育課人権・同和問題 職員研修会 全第3回	講師：栗東市同和教育指導員 井之口 清治 吉永 秀哉 金城 ゆみ子	長井 久保 早川
6月	栗東市就学前保育教育内 容研修 (主体的・対話的で深い学びを生 む保育の創造)	講師：滋賀大学教育学部 塩見弘子	青木
6月	滋賀県保育協議会 主任保育者研修会	講師：滋賀県教育・保育指導員 野添 文子 兵庫大学 教授 田邊 哲雄 人権保育研修前委員会 葭川 恭子 兵庫大学 准教授 澤田 真弓	久保
6月	滋賀県保育士等 キャリアアップ研修	滋賀県保育協議会主催	吉田 卯路 青木
7月	滋賀県保育士等 キャリアアップ研修	滋賀県保育協議会主催	早川
6月	法人内研修 重大事故予防	社会福祉法人くじら 主催	早川
8月	法人内研修 こどものことばの発達	社会福祉法人くじら 主催	卯路
9月	法人内研修 発達研修	社会福祉法人くじら 主催	吉田
11月	法人内研修 保健基礎研修	社会福祉法人くじら 主催	青木
12月	法人内研修 困った子どもの対応	社会福祉法人くじら 主催	久保
2023年 2月	法人内研修 ことばの発達と生活上の困り感	社会福祉法人くじら 主催	久保

2022年度事業報告書

1. 施設の理念

◎おもしろいことなんでもくじら級（法人理念）

○こどもの心も体も夢もくじらのように、大きくなるような保育を行います。

- ・ 基本的な生活習慣を家庭と一緒に築いていく。
- ・ 個々の「やりたいこと」を達成できる伴走者となる。
- ・ 地域の人との関わりを大事にし、感謝の心を育てる保育を行う。

◎保護者との手つなぎ子育て（施設理念）

◎自分が好き、みんなが好き（施設理念）

○小規模保育園の良さを生かして、アットホームな雰囲気の中で家庭との細やかな連携を図り、下記に掲げる目標に向かって保育、運営を行う。

- ・ ぐっすり眠るこども
- ・ 楽しく食べるこども
- ・ みんなで遊ぶこども

2. 事業実績

今年度も、コロナ感染対策をしながらの幕開けとなった。しかしながら、2度の休園を余儀なくされた。子どもも、保育士も、順番に感染していく状態が、1月から2月にあった。

新入園児を4名迎え入れ、12名でスタートをした。途中、0歳児が入園するも、転園したりして、長期間とどまらず、落ち着かない期間があった。

2歳児は、4月には、5名在園していたが、幼稚園や保育所に転園し、最終的には、2名の卒園だった。

不適切保育が大きく社会問題となった今年度。保育士たちは、常態化していた普段の言葉遣いやかかわりを省みて、今後の保育の見直しをした。

保護者との連携は、日々の送迎の際の会話等で、親しみやすい対応をし、信頼関係を築いていくよう心掛けている。育児での不安や悩みも受け止め、共感し安心できるように関わっている。

今後も、人格形成をする上で最も大切な0～2歳の時期を本園で過ごす子どもたちにとって、保育園が楽しくて、居心地の良い場となるように努めていきたい。

2022年度職員動向

(1) 職員総数 : 8名(2022年4月1日現在)

①常勤職員 : 5名(事務職1名を含む)

②非常勤職員 : 4名(2022年12月1名採用)

③嘱託医(内科、歯科) : 2名

(2) 職員採用・退職(退職者がある場合、それを補充する形で随時採用)

保育需要に応じた職員配置を検討し随時採用。)

(3) 各種会議

- ① 職員会議：月1回
- ② 給食会議：月1回
- ③ 苦情会議：不定期

(4) 定員及び園児数

- ① 定員:12名
- ② 園児数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
標準時間	11	11	12	11	11	11	12	12	12	10	11	12
短時間	1	1	1	2	2	3	2	1	1	2	2	1
計	12	12	13	13	13	14	14	13	13	12	13	13

(5) 保育

1) 保育の理念

- ◎保護者との手つなぎ子育て
- ◎自分が好き、みんなが好き（施設理念）

2) 保育目標

- ・ぐっすり眠るこども
- ・楽しく食べるこども
- ・みんなで遊ぶこども

3) 保育実践内容

- ・保育理念や保育目標に基づき、情緒が安定した生活ができる様な環境に配慮し、またひとりひとりが探索活動をのびのびとできるよう園外散歩を積極的に取り入れた。
- ・園の周辺への散歩、公園での日光浴を楽しみ、情緒が安定して過ごすことができた。
- ・地域の児童館を積極的に利用し、近隣の保育園との交流を重ねてきた。

①保育時間： 7：00～18：00（短時間保育：8：00～16：00）

②延長保育： 16：00～18：00（短時間保育の園児対象）

③特別保育事業：短時間児延長保育

④行事： *別紙1 行事報告書参照

⑤日課： *別紙2 デイリープログラム参照

短時間延長保育登録児 [延長保育時間：16：00～18：00]

(6) 給食

完全給食：未満児おやつ、給食、おやつの実施

- ① 年齢に合った食事のマナーを知らせるよう声かけをした。
- ② 卵アレルギーの子どもには、医師の指示書により担当者と相談しながら進めた。

③ たくさんの食材を使ったメニューを薄味で食べる大切さを知らせた。

(7) 健康管理

①園児

I 内科健診：(囑託医：米湊わたなベクリニック)

年 2回(6月、11月)

II 歯科検診：(囑託医：三好歯科クリニック)

年 2回(6月、11月)

III 蟯虫検査：なし

IV 尿検査：なし

②職員

I 定期健康診断：年 1回(8月)

II 腸内細菌検査：毎月1回(愛媛臨検) サルモレラ菌・病原性大腸菌(O-157)の検査
6月～9月は、毎月2回実施 ノロウイルスは12月に実施

III インフルエンザ予防接種：希望者

(8) 非常災害危険防止等、防災訓練の実践状況

① 避難訓練毎月1回(12回実施)

月1回避難訓練を行い、火災・地震・津波の災害を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を指導した。

② 非常食体験(9月1日)

防災の日に合わせて非常食を作る、食べる体験を実施。

地震、火災の避難の仕方を伝えた。

非常食として、カレーを冷たいまま、紙皿で食べる体験をした。

③ 防犯訓練(11月25日)

事前に「不審者侵入の訓練」をして実施した。不審者役に玄関から室内を覗いてもらい、子どもたちに気づくように促したが、大泣きをする子どももいた。玄関から離れた場所に保育士に誘導されて観察をした。園長が、対応してその様子も見た。

後で、保育士から、『いかのおすし』『いかない、のらない、大きな声で叫ぶ、すぐに逃げる、すぐに知らせる』の話を聞いた。

- ④ 交通安全指導（11月22日）伊予警察署の警察署職員と「伊予交通安全協会」の方々をお願いをした。

一人で道路を歩かないことや大人と手をつないで歩くことなどの約束をした。

パトカーにも乗せていただいた。

保護者への啓発のためにシールなどをいただいた。

2022年度 研修報告

【自主研修】各テーマに基づき、職員間で意見交換を行う。

毎月の職員会でも必要に応じて情報交換や意見交換を行う。

【園内研修】

月	研修内容	対象
8月	言語研修	職員
10月	困った子どもの対応	職員
1月	乳幼児期の精神発達	職員

*毎月の実施はなかった為、実績のあるもののみ記載。

【くじらリモート研修】

月	研修名	参加者
7月	ブログの書き方について	上田
8月	ブログの書き方につて	木下 石丸
8月	言語研修	玉乃井
9月	発達研修	隅田
12月	発達研修	石丸
2月	言語研修	木下

【園外研修】伊予市子ども子育て連絡協議会

6月	発達障害等気になる子どもの支援
8月	幼少期に自然環境に触れることの重要性
11月	保育で活かせる手話
2月	ヨガの基礎知識

3. 2022年度中に医師の診断を受けた事故報告

件数：0件

2022 年度年間行事報告

月	行 事
4月	・入園の集い
5月	・こどもの日祝い
6月	・五色浜への散歩（まんぼう組・そら組）内科健診・歯科 検診
7月	・プール開き・七夕
8月	・夏祭りごっこ
9月	・防災訓練(非常食体験)
10月	・防犯訓練 ・ハロウィン・芋掘り
11月	・園外保育（松前公園） ・ミニ運動会・交通安全教室(伊予警察署、交通安全協会)
12月	・クリスマス会・年末年始休園・クリスマス会・コロナ休 園(12/27, 28)・年内保育終了
1月	・お餅つきごっこ
2月	・節分（豆まき）・お店屋さんごっこ・コロナ休園(2/6, 7) ・通報・避難訓練(伊予消防署)
3月	・ひな祭り・合同お別れ遠足（砥部動物園） ・お別れ会（卒園式）・保育修了
随 時	毎月（身体計測・避難訓練・誕生日会） 隔週で体操教室

デイリープログラム

時間	乳幼児（0、1、2歳児）
7：00	早朝保育開始
8：00	随時登園 検温 排泄（オムツ交換）・手洗い
9：30	午前おやつ
10：00	あそび 年齢・月齢に合わせた活動 ※必要に応じて睡眠をとります。 離乳食
11：00	排泄（オムツ交換）・手洗い 食事準備
11：20	給食
12：00	順次、午睡
12：30	
14：00	離乳食
14：30	目覚め 排泄（オムツ交換）・検温・手洗い
15：00	おやつ
16：00	順次降園 水分補給
18：00	最終園児降園

※0歳児については、年齢や状態にあった生活リズムが整うようご家庭とご相談しながら進めて参りました。

2022 年度 石山くじら小規模保育園事業報告書

2023 年 4 月 21 日

石山くじら小規模保育園の運営

1. 施設の目的

平成 27 年度 4 月に本格スタートした「子ども子育て支援新制度」に伴い、0～2 歳までの児童を対象に、保護者の就労や、病気の状態にあるなどのため、家庭において十分保育することができない児童を、家庭の保護者にかわって保育をすること、また地域の子育て支援機能を維持・確保することを目的とし、通園する児童の心身の健全な発達を図る役割も有するものである。

2. 保育理念・方針

おもしろい事なんでも“くじら級！”

- ・子どもの心も体も夢も「くじら」のように大きくなるような保育を行います。
- ・基本的な生活習慣を家庭と一緒に築き、個々の「やりたいこと」を達成できるようお手伝いします。
- ・地域の人との関りを大切に、「ありがとう」の心を育てる保育を行います。

3. 事業実績

2022 年度 4 月の入所予定は 0 歳児 1 名・1 歳児 5 名・2 歳児 6 名 計 12 名となっており、0 歳児は少ないが 1・2 歳児が多く、安定した運営が見込まれたが、新型コロナウイルスの影響を受け、0 歳児の入所人数が少なかったが、6 月の時点で 14 名の入所となった。

研修はオンライン・出先研修杜半々だった。不適切保育についても園内研修で確認し合う。

4. 2022 年度職員動向

(1) 職員総数 10 名 (2022 年 4 月 1 日現在)

(イ) 常勤職員 : 5 名 (調理員・園長含む)

(ロ) パート職員 : 5 名
※嘱託医 2 名は委託契約

(ハ) 異動職員 : 0 名

(2) 職員採用状況

定員に対し、職員は充足している。

(3) 各種会議

(イ) 職員会議 : 毎月 1 回

(ロ) 給食会議 : 毎月 1 回

(ハ) 苦情会議 : 不定期

(4) 定員及び通園園児数

- (イ) 通園定員 : 12名
 (ロ) 園児数 : 12名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園児数	12	12	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14

(ハ) 保育日数 290日 /年

(5) 保育計画

- (イ) 保育目標 :
 1) 自分を信じる
 2) 夢に向かって遊ぶ
 3) 地域を愛する

(ロ) 保育時間 : <標準> 午前7時00分～午後6時00分
 <短時間> 午前8時30分～午後4時30分

(ハ) 延長保育 : <標準> 午後6時00分～午後7時00分
 (400円/30分、2000円/月)、(800円/60分、4000円/月)
 <短時間> 午後4時30分～午後7時00分
 (400円/30分、2000円/月)、(800円/60分、4000円/月)
 (1200円/90分、6000円/月)、(1600円/120分、8000円/月)
 (2000円/150分、10000円/月)

(ニ) 保育内容 : 各年齢の年間指導計画及び月指導計画に基づいた保育内容

(ホ) 特別保育事業 : 延長保育

(ヘ) 日課 : 別紙1 デイリープログラム参照

(ト) 行事 : 別紙2 行事報告参照

(6) 給食

(イ) 全児童 : 完全給食 土曜日のみお弁当持参

(7) 健康管理

(イ) 児童

- ①内科健診 : 年 2回 (嘱託医 宮川医院)
 ②歯科健診 : 年 1回 (嘱託医 はなよし歯科)
 ③発育測定 : 年 12回 (保育士)

(ロ) 職員

- ①定期健康診断 : 年 1回
 ②検便 : 年 12回 (全保育士・調理員)

(8) 非常災害危険防止

(イ) 避難・不審者訓練 : 年 12回

(ロ) 散歩安全対策 : 不定期(全保育士)

(9) 研修 : 別紙3 研修報告参照

別紙1

保育デイリープログラム

時間	乳幼児 (0. 1. 2 歳児)
7:00	早朝保育開始
8:00	随時登園 検温 排泄 (オムツ交換)・手洗い
9:30	午前おやつ
10:00	あそび 年齢・月齢に合わせた活動 ※必要に応じて睡眠をとります。
	排泄 (オムツ交換)・手洗い 食事準備
11:00	給食
11:30	
12:00	順次、昼寝
12:30	
13:00	
14:00	目覚め 排泄 (オムツ交換)・手洗い
15:00	おやつ
16:00	順次降園 水分補給
19:00	最終園児降園

※

土曜日は連携園(石山くじら保育園)で合同保育

2022年度 年間行事報告

月	事業内容
4	入園式
5	
6	内科・歯科検診・検尿検査
7	プール遊び・七夕・参加型参観・懇談
8	プール遊び・参加型参観・懇談
9	
10	運動会・遠足・ハロウィンイベント
11	
12	親子クリスマス会
1	初詣・引き渡し訓練
2	節分豆まき・懇談（希望者）
3	卒園式 お別れ遠足

※お誕生日会は園児のお誕生日の日または近い日に実施

※食育：HPでご家庭と情報共有を掲載・いちご/おくら/中トマト/さつまいも

2022年度 研修報告

職員の研修の状況(2022年度)

①研修(内部)の実施状況

実施月	研修会名	参加職種	参加人数	研修日数	研修内容
6月	内部研修	全職員	9名	1日	口の運動発達について
1月	内部研修	全職員	10名	1日	不適切保育について

②研修(外部)の実施状況

実施月	研修	参加職種	参加人数	研修日数	研修内容
5月	従事者研修	保育士	1名	1日	安全な散歩指導研修
5月	従事者研修	調理員	1名	1日	上手に食べる食べさせる
6月	主任者研修	保育士	1名	1日	主任の役割
6月	オンライン研修	保育士	1名	1日	重大事故予防について
7月	保育見学	保育士	1名	1日	他園保育園保育見学
7月	施設長研修	施設長	1名	1日	今求める子育て支援とは
7月	内容別研修	保育士	1名	1日	乳児保育に関する事
7月	保育者研修	保育者	1名	1日	保育内容
8月	保育者研修	保育者	1名	1日	虐待予防・保護者支援
8月	従事者研修	保育士	1名	1日	考えよう、防災・減災
8月	オンライン研修	保育士	1名	1日	乳幼児期の心の発達
9月	従事者研修	保育士	1名	1日	救急法
9月	食に関する研修	調理師	1名	1日	「いただきます」から始めよう
9月	調理担当者研修	調理師	1名	1日	人権・アレルギー給食について
10月	施設長研修	施設長	1名	1日	コーチングのコミュニケーションスキルとは
10月	従事者研修	保育士	1名	1日	保護者支援と理解
10月	従事者研修	保育士	1名	1日	幼児保育について
11月	オンライン研修	保育士	1名	1日	保健基礎研修
12月	オンライン研修	保育士	1名	1日	感染症対策について
12月	オンライン研修	保育士	1名	1日	発達研修
12月	オンライン研修	施設長	1名	3日	初任保育所長研修(厚労省)
1月	オンライン研修	保育士	1名	3日	主任保育士等研修(厚労省)
2月	オンライン研修	保育士	1名	1日	言葉の発達

2022年度 治田くじら小規模保育園 事業報告書

1 保育の姿勢

- ・子どもたちが安心して健やかに保育園生活が送れるよう、家庭との連携を大切に日々の保育をすすめていきます。
- ・子育ての楽しさを社会や地域と共有し、共に成長していく姿勢で日々の保育に取り組みます。
- ・職員一人ひとりが子どもたちとところをつなぎ、保護者の皆様と共に成長を温かく見守っていきます。

2. 事業実績

0歳児3名・1歳児6名・2歳児7名の計16名でスタートしたが、待機児童の受入れにより、5月から0歳児1名が増えて17名、6月に0歳児1名増えて18名、8月に0歳児が1名増え19名となった。また、8月末で2歳児が1名引越しの為に退園したが、9月から2歳児が1名増え、変わらず19名、12月末で1歳児1名が保護者の産休が終わり退園したが、1月に1歳児が1名増え、変わらず19名となり、安定的に運営することができた。

今年度は新型コロナウイルス感染症対策で、運動会では保護者参加を中止し、保育の中で行った。昨年度に引き続き、当日の様子とそれまでの保育の様子を収めた動画をUSBに入れて配布し、できる限り保護者に保育園での子どもの様子を見ていただけるよう工夫をし、好評をいただいた。また、年度末の発表会は新型コロナウイルス感染対策として、3グループに分けて開催した。保護者の方と子ども達の成長を喜び合う良い機会となり、喜んでいただけた。

来年度も、様々な工夫をしながら、今年度以上に保護者の方と共にできる行事を増やしていきたい。どのような形で開催していくかが課題である。

また、外部からT&S体操教室・PEPPY KIDS CLUB英会話の講師を毎月一回ずつ招き、様々な体験ができるようにした。月1度ということもあり、特別感と内容の楽しさから、子ども達にとって英語が身近なものとなり、運動あそびも大すきになり、良い経験となっている。

3. 2022年度職員動向

(1) 職員総数

- (イ) 常勤職員 : 6名 (2022年4月1日)
- 非常勤職員 : 0名
- (ロ) パート職員 : 3名
- ※嘱託医は2名委託契約
- (ハ) 異動職員 : なし

(2) 職員採用状況

2022年4月から、常勤2名入職

(3) 各種会議

- (イ) 職員会議・給食会議 : 毎月1回
(ロ) 苦情会議 : 不定期

(4) 定員及び通園園児数

- (イ) 通園定員 : 19名
(ロ) 園児数 : 19名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園児数	16	17	18	18	19	19	19	19	19	19	19	19

(ハ) 保育日数 293日

(5) 保育計画

- (イ) 保育目標 : 1) ぐっすりねむるこども
2) たのしくたべるこども
3) みんなであそぶこども
- (ロ) 保育時間 : ①標準時間 : 午前7時～午後6時
②短時間 : 午前8時00分～午後4時00分
- (ハ) 延長保育 : (標準) 午後6時～午後7時
(300円/30分、1,500円/月) (600円/60分、3,000円/月)
(短時間) 午前7時～午前8時 / 午後4時～午後7時
(300円/30分) (600円/60分) 月ぎめはなし
- (ニ) 保育内容 : 各年齢の年間指導計画及び月指導計画に基づいた保育内容
- (ホ) 特別保育事業 : 延長保育
- (ヘ) 日課 : 別紙1 ディリープログラム参照
- (ト) 行事 : 別紙2 行事報告参照

(6) 給食

- (イ) 全園児 給食 (土曜保育は弁当持参)

(7) 健康管理

- (イ) 園児
- ①内科検診 : 入園前検診 1回
在園時 年2回 (嘱託医 ふじさわ小児クリニック)
- ②歯科健診 : 在園時 年1回 (嘱託医 中川歯科医院)
- ③発育測定 : 月1回 (保育士)
- (ロ) 職員
- ①定期健康診断 : 年1回
- ②検便検査 : 月1回 (全保育士・調理師)

(8) 非常災害危険防止

- (イ) 避難・不審者訓練 : 年12回

(9) 研修 : 別紙3 研修報告参照

ディリープログラム

時間	乳幼児（0. 1. 2歳児）
7:00	早朝保育開始
8:00	順次登園 検温 自由あそび 排泄（オムツ交換）・手洗い 朝の体操
9:30	朝の会 午前おやつ
10:00	あそび 年齢・月齢に合わせた活動
	排泄（オムツ交換）・手洗い 食事準備
11:00	給食 着替え
12:00	順次昼寝
12:30	
13:00	
14:45	目覚め 検温 排泄（オムツ交換）・手洗い
15:00	おやつ 自由あそび
16:00	順次降園
17:00	水分補給 ※必要に応じて睡眠をとります。
18:00	おやつ
19:00	最終園児降園

2022年度 年間行事報告

月	日 (曜)	行 事	特記事項	
4月	20日 (水)	避難訓練 (避難経路実施確認・お話し)		
	27日 (水)	誕生会		
5月	24日 (火)	避難訓練 (火災)		
	17日 (火)	にんにく収穫体験	ヤンマーシンビオシ ス主催	
	31日 (火)	誕生会		
6月	2日 (木)	歯科検診・検尿		
	3日 (金)	検尿予備日		
	7日 (火)	さつま芋苗付け	地域振興協議会 主催	
	15日 (水)	避難訓練 (火災)		
	29日 (火)	誕生会		
7月	5日 (火)	プール開き		新型コロナ感染拡大防止 の為プール遊び中止 (水 遊びのみ開催)
	7日 (木)	七夕の夏祭り		
	15日 (金)	避難訓練 (地震)	避難食体験 水消火器訓練	
	28日 (木)	誕生会		
8月	24日 (水)	避難訓練 (火災)	消防立ち合い 消防車展示	
	30日 (火)	プール納め		
	31日 (水)	誕生会		
9月	16日 (金)	避難訓練 (火災)	バケツリレー訓練	
	22日 (木)	誕生日会		
	27日 (火)	避難訓練 (水害)		
10月	12日 (水)	避難訓練 (火災)	第二避難場所まで避難	
	19日 (水)	運動会ごっこ	栗東市民体育館	新型コロナ感染拡大防止 のため、保護者の参加を 中止した。
	21日 (金)	さつま芋掘り	地域振興協議会 主催	
	27日 (木)	誕生日会		

11月	8日(火)	避難訓練(不審者)		
	17日(木)	園児健康診断		
	25日(金)	避難訓練(地震)	水消火器訓練	
	29日(火)	誕生日会		
12月	14日(水)	避難訓練(地震→火災)		
	20日(火)	誕生日会		
	23日(金)	クリスマス会		
1月	25日(水)	避難訓練(火災)	無警告	
	30日(月)	誕生日会		
2月	3日(金)	節分		
	10日(金)	避難訓練(地震→火災)	無警告	
	17日(金)	T&S運動発表会	保護者参加 (3グループに分けて)	2階学童保育スペース
	22日(水)	(だいち・あめ)		
	27日(月)	誕生日会		
3月	4日(土)	入園説明会	個別面談に変更	
	8日(水)	T&S運動発表会 (だいち・あめ)	保護者参加 (3グループに分けて)	2階学童保育スペース
	10日(金)	避難訓練(火災)	シナリオレス	水消火器訓練
	15日(水)	2歳児お別れ遠足	焰魔堂公園	園バス
	18日(土)	卒園式		
	23日(木)	誕生日会		

令和4年度 治田くじら小規模保育園 年間研修計画				
目的	1. 保育の実践等に関する理解と学習			
	2. 職員の資質向上			
	研修の目的・内容	研修の形態	参加形態	研修期日
園内研修	園外活動中のヒヤリハット	園内研修会	全職員	5月
	救命講習（心肺蘇生法・AED講習・誤飲・誤嚥）	消防を招いて園内研修会	全職員	6月
	法人の目指す子ども像について共通理解	園内研修会	全職員	8月
	感染予防のための室温・湿度と換気	園内研修会	全職員	10月
園外研修	市内保育士新任研修	栗東市	該当者	6-3月
	保健・言語・発達研修・ブログ	法人内研修	希望者	6-2月
	キャリアアップ研修（eラーニングD日程）	滋賀県保育協議会	該当者	7-8月
	初任保育所長等研修	厚生労働省	施設長	10月
	職員人権・同和問題研修会	栗東市	希望者	9月
	キャリアアップ研修（eラーニングE日程）	滋賀県保育協議会	該当者	10-12月
	滋賀県保育協議会保育者研修	滋賀県保育協議会	希望者	随時

2023年4月21日
千里山くじら小規模保育園

2022年度 事業報告書

1. 施設の理念

◎おもしろいことなんでもくじら級

こどもの心も体もくじらのように大きくなる保育を行います。

基本的な生活習慣を家庭と一緒に築き、個々のやりたいことを達成できるよう伴走者となります。

地域の人との関わりを大事にし、ありがとうの心を育てる保育を行います。

2. 事業実績

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、体調管理・衛生管理に留意し、園児・保護者ともに安心して通える保育を追求し続ける毎日でありました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症第8波の猛威により、3日間の休園に追い込まれ、職員の体調不良による保育者不足により、各家庭での保育協力をお願いせざるを得ない日もありました。ワンフロアの小さい施設であるがゆえの感染の広がりや職員の補充の難しさを痛感いたしました。その中でも、職員による手遊びや曲に合わせたペープサート、絵本の読み聞かせ動画を利用者のみ閲覧可能なYouTube配信を行い、自宅で保育協力を行ってくださる保護者の皆様や園児から喜びの声をいただいたことは職員にとっての励みとなりました。年度が替わる頃には新型コロナウイルス感染症の国内罹患者も減少傾向となり、マスク着用も緩和された中での卒園式は身も軽く、笑顔にあふれたものとなりました。

今年度においては開園後初めて保育内容に関する相談が1件ありました。相談窓口である副主任保育者との話し合いのあと、その後の保育内容を視ていただいた上、保護者様のご理解をいただくことができました。

世間では園児の置き去り、保育現場での虐待行為や不適切な保育が取りざたされ、保育配置数の問題が明らかとなっております。令和5年4月に発足する子ども家庭庁による改革を願うばかりです。

2023年3月に当法人が10周年を迎えることとなり、新たなコーポレートマークが加わり、社会福祉法人くじらとしての願い・思いが明文化されました。当園は、これからも子どもの個性や状況に応じて対応し、家庭や仲間と共に子ども達の健やかな成長を導けるよう、子ども達の可能性を信じ、子ども達にとってより良い環境設定が提供をするために更なる保育の向上を目指して参ります。

3. 職員動向

- (1) 職員総数 13名(2021年4月1日現在)
 常勤職員 7名
 非常勤職員 6名
 嘱託医(委託) 内科医1名・歯科医1名
 異動職員 年度途中入職1名・年度途中退職者1名

(2) 職員採用状況

定員に対し、職員は充足している。

(3) 各種会議

- 職員会議 毎月1回
 給食会議 毎月1回
 苦情会議 不定期

(4) 定員および園児数

定員 19名

月別 園児数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
標準時間	19	19	19	19	19	19	19	17	17	17	16	14
短時間	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	3	4
合計	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	18

単位：人

(5) 保育計画

◎保育目標

- ぐっすり眠るこども
 楽しく食べるこども
 みんなで遊ぶこども

◎保育時間

- 標準時間 午前7時～午後6時
 短時間 午後8時～午後4時

◎延長保育

標準時間 午後6時～午後7時

短時間 午前7時～午前8時・午後4時～午後5時

利用料金 月極利用 2,500円／1日30分 5,000円／1日1時間
時間利用 500円／1回30分毎

◎保育内容 各年齢の年間指導計画および月指導計画に基づいた保育内容

◎特別保育事業 延長保育

◎日課 別紙1 保育デイリープログラム参照

◎行事 別紙2 年間行事報告参照

(6) 給食

全園児給食 (土曜日は千里山くじら保育園で調理したものを運搬)。

不足しがちな鉄分、食物繊維を多く取り入れた献立作成。

アレルギー食材を使わない献立を作成し、全員に同じ給食が提供できるよう配慮。

食育の日を毎月19日とし、郷土料理を提供。

旬の食材を取り入れ、彩りを豊かにし、乳幼児の食べやすい大きさに調理、提供することで食べやすく、完食できる給食を心がける。

(7) 健康管理

◎園児

内科健診(嘱託医 医療法人はたクリニック) 入園前1回 在園児2回／年

歯科健診(嘱託医 そが歯科クリニック) 在園児1回／年

発育測定(園内 保育士による測定) 月1回

◎職員

入職前健診 1回

定期健診 1回／年(常勤職員および週30時間以上勤務の非常勤職員)

検便検査 1回／月

(8) 非常災害危険防止

避難訓練(火災・地震・不審者) 12回／年

(9) 保育内容に関する相談 相談件数：1件

(10) 研修報告

別紙3 内部研修参照

別添4 外部研修参照

保育デイリープログラムについて

時間	乳幼児（0．1．2歳児）
7：00	開園 順次登園 視診 検温 手洗い 自由遊び 排泄（オムツ交換） 手洗い
9：20	朝の会 おやつ 水分補給 年齢に応じた活動や遊び
11：00	排泄（オムツ交換） 手洗い 給食準備 給食（0歳児） 給食（1・2歳児） 着替え 排泄（オムツ交換） 手洗い
12：00	午睡（0・1・2歳児）
15：00	起床 排泄（オムツ交換） 手洗い 検温 おやつ
15：45	降園準備 終わりの会 自由遊び 順次降園
18：00	延長保育 おやつ
19：00	閉園

0歳児は月齢に合わせた生活リズムができるよう家庭と相談しながら進めて参ります。

年間行事報告

日程	行事内容
4月1日	入園式
5月2日	こどもの日の集い
5月27日	内科健診
7月7日	七夕の集い
7月12日～8月26日	水遊び
6月30日	歯科健診
8月18日	夏祭り
9月9日	お月見会
9月5日～10月6日	個人懇談
9月28日	内科健診
10月27日	ハロウィンパーティ
11月1日	風のゲルニカ
12月23日	クリスマス会
1月4日～14日	お正月遊び
1月17日	非常食体験
2月3日	節分
3月3日～3月6日	保育園での様子 限定 WEB 配信
3月3日	ひなまつり
3月7日	お別れ遠足
3月24日	お別れ会
3月25日	卒園式
対象園児の誕生月	お誕生日会

研修報告

内部研修（法人内研修含む）

日程	研修内容	受講者
7月 2日	ブログ研修	施設長
8月 2日	ことばの発達について	施設長
8月10日	遊びこむ環境とは	施設長
8月22日	幼児における身体の自尊感情	施設長
11月 8日	保健 基礎研修	施設長
1月21日～ 1月22日	施設長研修 目指すこども像	施設長
1月24日	保育士採用に生きるブログ記事の作り方	施設長

研修報告

外部研修

日程	研修内容	受講者
5月12日	保育所保育指針と保育の安全	施設長
6月2日	ストレスマネジメントとしてのヨーガ療法	施設長
6月10日	乳幼児期の食物アレルギーについて	施設長
7月22日	子どもと楽しむ音楽遊び	保育士1名
8月6日～ 9月15日	キャリアアップ行政研修 (乳児保育)	保育士1名
10月4日～ 11月21日	大阪府保育士等キャリアアップ研修 (乳児保育)	保育士1名
10月4日～ 12月16日	大阪府保育士等キャリアアップ研修 (保健衛生・安全対策)	事務員1名
10月4日～ 1月24日	大阪府保育士等キャリアアップ研修 (幼児教育)	保育士1名
10月4日～ 1月31日	大阪府保育士等キャリアアップ研修 (障害児保育)	保育士1名
10月4日～ 2月13日	大阪府保育士等キャリアアップ研修 (保護者支援・子育て支援)	保育士1名
12月22日	発達と遊び	保育士1名

2023年4月21日

1.施設の目的

大阪狭山市子ども子育て支援計画を踏まえ小規模保育事業所に適した施設整備を行い、乳児の保育に、より適した環境を整え乳児保育を実施する。

2.事業実績

無事開園を迎え、大阪狭山市では2園目となる小規模保育園としてスタートを切った。立地は西山台という閑静な住宅地の中に位置され乳児でも十分徒歩圏内に遊具を配置した公園もあり、春秋の季節、天気の良い日は近隣の公園に積極的に散歩にでかけ地域の方々ともかかわりもできてきた。開園初年度ということもあり、19名の定員を満たす月はなかったものの今後数年、地域とのかかわりも大切に認知度を上げていき安定した運営を築き上げる第一歩となった。行事は、新型コロナウイルスの流行の影響もまだある中で、縮小されているが、次年度は感染症区分も5類となることから保護者や地域に開放するような行事も検討し増やしていきたい。また、大阪狭山市の連携施設ともかかわりを深めていきたい。

3. 2022 年度職員動向

(1) 職員総数 14 名 (2022 年 4 月 1 日現在)

(イ) 常勤職員 : 5 名

非常勤職員 : 2 名

(ロ) パート職員 : 7 名

※嘱託医2名は委託契約

(ハ) 異動職員 : 退職者(パート)1 名、年度途中退職者 1 名

(2) 職員採用状況

定員に対し、職員は充足している。

(3) 各種会議

(イ) 職員会議 : 毎月1回

(ロ) 給食会議 : 毎月1回

(ハ) パート会議 : 毎月1回

(ニ) 苦情会議 : 随時

(4) 定員及び通園園児数

(イ) 認可定員 : 19名

0歳児 3名、1歳児 8名、 2歳児 8名

(ロ) 園児数 : 200名/年

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園児数	15	16	16	17	17	17	17	17	16	18	17	17

(ハ) 保育日数 291 日 /年

(5) 保育計画

- (イ) 保育目標： 1) 自分の力で生きぬくこども
2) 夢に向かってがんばるこども
3) 地域を愛するこども

(ロ) 保育時間：＜標準＞ 午前7時00分～午後6時00分
＜短時間＞ 午前8時00分～午後4時00分

(ハ) 延長保育：＜標準＞ 午後6時00分～午後7時00分
(200円/1回、3000円/月)
＜短時間＞午前7：00～午前8：00または
午後4時00分～午後5時00分
(200円/1回、3000円/月)

(ニ) 保育内容：各年齢の年間指導計画及び月指導計画に基づいた保育内容

(ホ) 特別保育事業：延長保育
一時預かり保育

(ヘ) 日課：別紙 1 デイリープログラム参照

(ト) 行事：別紙 2 行事報告参照

(6) 給食

(イ) 全児童：完全給食

(7) 健康管理

(イ) 児童

①内科健診：年2回(嘱託医 ふじたこどもクリニック 藤田 真輔医師)

②歯科健診：年1回(嘱託医 まつうら歯科医院 松浦 愛歯科医師)

③発育測定：年12回(保育士)

(ロ) 職員

①定期健康診断：年1回

②検便：年12回(全保育士・調理員・施設長)

(8) 非常災害危険防止

(イ) 避難・不審者訓練：年12回

(ロ) 散歩安全対策：不定期(全保育士)

◎保育理念

- ・こどもの心も体も夢も「くじら」のように大きくなるような保育を行います。
- ・基本的な生活習慣を家庭と一緒に築き、個々の「やりたいこと」を達成できるようにお手伝いします。
- ・地域の人との関りを大切にします。また、「ありがとう」の心を育てる保育を行います。

◎保育方針

こどもたちが安心して健やかに園生活が送れるよう、次のように保育に取り組みます。

- 職員一人ひとりがこども達と心をつなぎ、寄り添います。
- 家庭との連携を大切にしながら、こども達の成長を温かく見守ります。
- 子育ての楽しさを社会や地域の方々と共有します。

◎おもな行事

4月	入園式
5月	子どもの日の集い
6月	内科健診、歯科検診
7月	七夕、水遊び
8月	夏祭り
9月	お月見会
10月	ハロウィンパーティー
11月	内科検診
12月	クリスマス会
1月	お正月あそび
2月	節分
3月	ひなまつり、卒園式、入園説明会
毎月	誕生日会・身体測定・避難訓練

◎保育デイリープログラムについて

時間	乳幼児（0．1．2歳児）
7：00	開園 順次登園 視診 検温 手洗い 自由遊び 排泄（オムツ交換） 手洗い
9：20	朝の会
9：40	おやつ 水分補給 年齢に応じた活動や遊び 排泄（オムツ交換） 手洗い 給食準備
10：45	給食（0歳児） 給食（1・2歳児） 着替え 排泄（オムツ交換） 手洗い
12：00	午睡（0・1・2歳児）
15：00	起床 排泄（オムツ交換） 手洗い おやつ 検温 降園準備
16：00	自由遊び 順次降園
18：00	延長保育 おやつ
19：00	閉園

※0歳児は月齢に応じて授乳、午睡を行います。

◎2022年度研修報告

①研修(オンライン)の実施状況

実施月	研修会名	参加職種	参加人数	研修日数	研修内容
6月	オンライン	保育士	1名	1日	重大事故予防研修
9月	オンライン	保育士	1名	1日	乳幼児の精神発達
12月	オンライン	保育士	1名	1日	対応に悩む子供への保育を考える
2月	オンライン	保育士	1名	1日	ことばの発達と生活上の困り感

②研修(外部)の実施状況

実施月	研修会名	参加職種	参加人数	研修日数	研修内容
9月	大阪府	保育士	1名	1日	発達障がい児支援のための保育士・幼稚園教諭研修①
12月	大阪府	保育士	1名	1日	発達障がい児支援のための保育士・幼稚園教諭研修②

③研修(キャリアアップ)の実施状況

実施月	研修会名	参加職種	参加人数	研修日数	研修内容
6月	キャリアアップ	保育士	1名	1日	乳児保育
11月	キャリアアップ	保育士	1名	1日	乳児保育
11月	キャリアアップ	保育士	1名	2日	乳児保育
12月	キャリアアップ	保育士	1名	1日	保健衛生・安全対策

2022年度 事業報告書

1. 施設の理念

◎おもしろいことなんでもくじら級

- ・こどもの心も体も夢もくじらのように大きくなるような保育を行います。
- ・基本的な生活習慣を家庭と一緒に築き、個々のやりたいことを達成できるようにお手伝いします。
- ・地域の人との関わりを大事にします。また、ありがとうの心を育てる保育を行います。

2. 事業実績

2022年4月、定員19名（0歳児6名・1歳児6名・2歳児7名）として開園する。4月1日より、0歳児4名・1歳児5名・2歳児6名の計15名でスタートした。4月の間で2歳児が1名入園、保護者の勤務場所の都合上0歳児1名退園、5月に1歳児1名入園、7月で転居の為1歳児1名退園、8月で保育料変動により1歳児1名退園、9月にきょうだい児0歳児1名・1歳児1名入園、10月に0歳児1名入園、11月に0歳児1名・1歳児1名入園したことで、定員の19名となり安定した運営することができた。

新型コロナウイルス感染症対策をしながら、保護者参加の全行事（入園式・親子ふれあい会（運動会）・生活発表会・卒園式）を行うことができた。親子ふれあい会（運動会）は、園にて0・1歳児と2歳児の2幕入れ替わり制としていった。

市で保育士の業務負担を軽減する為ICT化を行うシステム導入を推進しており、当園では10月よりシステム（コドモン）を導入していった。保護者へ一斉配信 場合によっては個人や一クラスの保護者への連絡ツール等、利便性やペーパーレス化を発揮出来ている。

保育士による不適切な保育についての報道が多く取り上げられた年となり、職員会議や園内研修等で議題に上げながら様々な場面を例に上げ話し合いをもった。気の緩みが起きないように、また適切な保育が行えているか保育のあり方についても職員間で再確認していく時をもっていった。

3. 職員動向

(1) 職員総数 9名(うち栄養士2名) 2022年4月1日現在

常勤職員 9名

嘱託医(委託) 内科医1名・歯科医1名

異動職員 常勤職員1名6月末で退職(社会福祉法人クレッシェンドへ)

常勤職員 1名7月より入職

パート職員 1名7月より入職

(2) 職員採用状況

園児数に対して、職員は充足している。

(3) 各種会議

職員会議 毎月1回

給食会議 毎月1回

苦情会議 不定期

(4) 定員及び通園園児数

定員 19名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
園児数	15	15	16	16	15	16	17	19	19	19	19	19

保育日数 293日/年

(5) 保育計画

◎保育目標

- ・ぐっすり眠るこども
- ・楽しく食べるこども
- ・みんなで遊ぶこども

◎保育時間

保育必要量区分	標準時間	短時間	
保育時間	7:00~18:00	9:00~17:00	
延長保育時間帯 (平日のみ)	18:00~19:00	7:00~9:00 17:00~18:00	18:00~19:00
対象年齢	満1歳以上	全年齢	満1歳以上
利用料	500円/回	100円/時間	500円/回
月極利用	3,000円/月	なし	なし

- ◎保育内容 各年齢の年間指導計画及び月指導計画に基づいた保育内容
- ◎特別保育事業 延長保育
- ◎日課 別紙1 保育デイリープログラム参照
- ◎行事 別紙2 年間行事報告参照

(6) 給食

全園児給食（自園調理）今年度は職員に栄養士2名在籍
 栄養士によりバランスのとれた献立や保護者に配布する食育だより作成
 食育の日を毎月19日とし、各地域の郷土料理を提供
 アレルギー児は医師の診断書要提出（6か月毎に受診）

(7) 健康管理

◎園児

内科健診（嘱託医：中嶋医院）

入園前 1回

在園児 2回/年

歯科健診（嘱託医：しんかい歯科クリニック）

在園児 1回/年

発育測定 1回/月（保育士による測定）

◎職員

入職前健診 1回（入職予定者）

定期健康診断 1回/年

検便検査 1回/月（全保育士・栄養士）

インフルエンザ予防接種 希望者

(8) 非常災害危険防止

避難訓練（火災・地震・水害）、不審者訓練 12回/年

(9) 研修報告

別紙3 内部研修参照

別紙4 外部研修参照

保育デイリープログラム

時間	乳幼児 (0. 1. 2 歳児)
7:00	開園順次登園 視診 体温 自由遊び
9:00	排泄 (オムツ交換)・手洗い
9:20	おやつ 朝の会 年齢・月齢に応じた活動や遊び 水分補給 排泄 (オムツ交換)・手洗い 給食準備
10:45	給食 (0 歳児)
11:00	給食 (1 歳児)
11:15	給食 (2 歳児)
12:00	着替え・排泄 (オムツ交換)・手洗い 午睡 (順次)
15:00	起床・検温 排泄 (オムツ交換)・手洗い おやつ 降園準備
15:50	帰りの会 順次降園・自由遊び
16:30	排泄 (オムツ交換)・手洗い 水分補給
18:00	延長保育
18:10	おやつ
19:00	閉園

※ 0 歳児は月齢に応じて授乳、午睡を行います。

2022 年度 年間行事報告

月	行事内容
4	入園式(1日)・こどもの日の集い(28日)
5	朝顔、ゴーヤの苗植え(23日)…五条区自治会より苗配布
6	個人面談(6~24日)・野菜苗植え「トマト、きゅうり」(7日)・ 内科健診(9日)・さつま芋苗植え(13日)・歯科健診(23日)
7	水あそび開き(1日)・七夕の集い(7日)
8	夏まつり会(10日)・水あそび納め(31日)
9	
10	内科健診(6日)・親子ふれあい会(21日)
11	芋掘り(2日)・大根の種植え(10日)・秋の遠足(11日)
12	クリスマス会(23日)
1	個人面談(10~27日)・防災訓練(17日)
2	節分会(3日)・生活発表会(10日)
3	ひな祭りの集い(3日)・お別れ遠足(9日)・卒園式(18日)

※ 誕生会～誕生児がいる月は実施

研修報告 … 内部研修

日程	研修内容	受講者
7月12日	法人研修「ブログの書き方について」	施設長
8月2日	法人研修「言語研修」	保育士1名
9月6日	法人研修「発達研修」	保育士1名
10月21日	園内研修「非認知能力を育む保育とは？」	全職員
11月8日	法人研修「保健研修(基礎)」	保育士1名
11月22日	園内研修「仕事が楽しいと人生が変わる、今の仕事を 楽しむ方法とは？」	全職員
12月6日	法人研修「発達研修」	保育士1名
12月19日	園内研修「こどもへの肯定的な言葉かけについて」	全職員
12月19日	園内研修「誤飲について」	全職員
1月24日	園内研修「保育所における栄養管理(減塩について)」	全職員

2月7日	法人研修「言語研修」	保育士1名
2月14日	園内研修「前向き子育てプログラム」	全職員
2月14日	園内研修「園づくりのことば」	全職員
3月14日	園内研修「アレルギーについて」	全職員

別紙4

研修報告 … 外部研修

日程	研修内容	受講者
8月30日～8月31日	キャリアアップ研修 (保護者支援・子育て支援)	保育士1名
9月2日～9月3日	キャリアアップ研修 (障害児保育)	保育士1名
11月10日・11月17日	キャリアアップ研修 (幼児保育)	保育士1名
11月13日・11月24日	キャリアアップ研修 (食育・アレルギー対応)	保育士1名
11月7日・8日・11日・ 15日・16日・17日	子育て支援員等研修	栄養士1名
11月25日・28日・30日 12月1日・7日・8日・ 15日	子育て支援員等研修	栄養士1名

2022年度 児童育成クラブくじら草津事業報告書

2023年4月21日

児童育成クラブくじら草津の運営

1. 施設の目的

共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校のグラウンドや地域の公園、広場などで放課後等に適切な遊び、生活の場を与えて、その健全育成を図ることを目的とした事業である。(小学校6年生までが対象)

2. 事業実績

2022年4月は定員40名に対し24名でのスタートとなる。今年は1年生が4名と例年よりも多い数となっている。今年度は男女の比率も4対6くらいで女の子の方が多いが、去年からくじらに在籍している児童も多くなっているために、子ども達だけで計画する行事なども出来るようになった。

今後についても待機児童の増加や、ニーズの多い長期休暇一時入会を通し、学年や学区外小学校との交流を深め、運営していきたいと考える。

3. 2022年度 職員動向

(1) 職員総数： 5名(2022年4月1日現在)

(イ) 常勤職員： 1名

非常勤： 4名

(ロ) 異動職員： 0名

(2) 職員採用状況

児童数の増加、学校休業日に対応する為、職員需要に応じた配置を検討し、随時採用

(3) 各種会議

(イ) 職員会議： 毎月1回

(ロ) 苦情会議： 不定期

(4) 定員及び通園園児数

(イ) 定員： 40名

(ロ) 児童数： 24名(2022年4月1日現在)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
児童数	24(4)	24	24	24	24(8)	23	24	24	25(1)	25(1)	22	21(2)

()内数字は長期休み一時入会者数

(ハ) 保育日数 265日/年

(5) 保育計画

- (イ) 保育目標 : 1) 自分の力で生きぬくこども
2) 夢に向かって頑張るこども
3) 自分の町を愛するこども
- (ロ) 保育時間 : 午前 8 時 30 分～午後 5 時 30 分
- (ハ) 延長保育 : 午前 8 時 00 分～午前 8 時 30 分
: 午後 5 時 30 分～午後 7 時 00 分
(午前延長/500 円) (午後延長/2,000 円)
(午後延長 1 回/200 円 ※6 回以上は 2,000 円)
- (ニ) 保育内容 : 子ども達のチャレンジする気持ちに寄り添い、放課後をいきいきと楽しい時間に来るようサポートし、遊びの中から「生きる力を」育てる
- (ホ) 特別保育事業 : 長期休暇のみ独自延長保育
(7 時 30 分～8 時 00 分 (1,000)
毎月行っている独自延長保育
(19 時 00 分～19 時 30 分 (500 円/1 回、登録 2,500 円/月)
一時預り事業
- (ヘ) 日課 : 別紙 1 デイリープログラム参照
- (ト) 行事 : 別紙 2 行事報告参照

(6) 健康管理

職員

定期健康診断 : 年 1 回

(7) 非常災害危険防止

避難・不審者訓練 : 不定期

(8) 研修 : 別紙 3 研修報告参照

保育デイリープログラム

時間	活動内容(平日)
15:00	下校後、着替え、宿題・室内遊び
16:00	おやつ
16:15	宿題、室内遊び・戸外遊び
17:30	延長保育開始
19:00	保育終了

時間	活動内容(学校休業日)
7:30	朝延長開始
8:30	通常保育開始
9:30	宿題
10:30	戸外遊び・室内遊び・集団遊び
12:30	昼食
13:00	室内遊び
14:30	戸外遊び・室内遊び・イベント等
16:00	おやつ 戸外遊び・室内遊び
17:30	延長保育開始
19:00	保育終了

2022年度 児童育成クラブくじら草津 年間行事報告

月	事業内容
4	誕生日会、お楽しみ会、お花見
5	誕生日会、避難訓練
6	誕生会、
7	誕生会・夜のお楽しみ会
8	誕生日会・くじら夏祭り・プール遊び
9	誕生日会
10	ハロウィンイベント・誕生日会
11	誕生会、お菓子屋さん
12	クリスマス会・誕生会、大掃除
1	誕生会・初詣・新年ミニ運動会
2	節分・誕生会
3	お楽しみ会・お楽しみ会、合同行事、所外保育（ミシガン）

2022年度 児童育成クラブくじら草津 研修報告

日付	研修内容	参加者
2022/7/10	あそびの論理 つくろう手仕事 室内あそび	3名
2022/9/6	子どものころ	3名
2022/9/9	指導員のチームワーク	3名
2022/9/17	発達から見る学童 保育の子どもの姿	3名
2022/9/23	保育会議の持ち方 クラブ内研修	3名
2022/6/30	学童期のことばがけ	3名
2023/2/8	児童育成クラブくじらでの運動遊びと体の使い方について	3名

2022年度事業報告書(伊予くじら児童クラブ)

1 クラブ方針

基本的な生活習慣を家庭と一緒に築いていく。
 個々のやりたいことを達成できる伴走者となる。
 地域の人・自然との関わりをもち、感謝の心を育てる。
 音楽活動を通して音を楽しんだり楽器に触れたりする。

2 事業実績

クラブ方針に基づき、児童の放課後における生活をサポートし、宿題や遊びを有意義にできるように援助した。それぞれの児童が好きな遊びができるように空間、玩具を確保した。

夏休み期間に児童全員で「夜のにぎやかな森」を制作し、愛媛芸術祭ひめっこアートに応募し、優秀賞をいただいた。授賞式に参加するなど子ども達の励みとなった。

プログラミング教室は講師にご指導いただき、児童は毎回楽しみにしている。ピアノ教室は少しずつではあるが、演奏する楽しさを感じている。

(1) 職員総数：3名（2023年3月31日現在）

- ア 常勤職員・・・2名
- イ アルバイト・・・1名

(2) 定員及び在籍児童数

- ア 定員　　：　　20名
- イ 在籍児童数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	月平均
児童数	20	20	20	21	21	20	20	20	20	19	19	18	238	19.8

(3) 児童クラブ概要

- ア 開所時間　　：　　午前8：00または学校下校後～午後6：00
- イ 延長　　　　：　　午前7：00～午前8：00、午後6：00～午後7：00
- ウ 行事　　　　：　　＊別紙1　2022年度年間行事報告参照

(4) 間食（市販菓子）

ア 食前食後の挨拶をし、感謝をして頂くという気持ちを持たせ皆で食べる楽しさや行儀面の意識を高めた。

イ コロナ感染症対策として、各テーブルにパーテーションを設置し黙食するよう指導した。

(5) 健康管理

職員・・・腸内細菌検査 : 年2回 全員異常なし

健康診断 : 年1回 全員異常なし

(6) 防災訓練、交通安全指導の実践状況

ア 避難訓練：年3回

避難訓練を行い、火災・地震等の災害を想定し、その状況に応じた誘導や避難することの重要性を指導した。また、伊予くじら認定こども園の避難訓練に参加させてもらい、職員、児童の安全な避難ができるように訓練した。

イ 交通安全指導 : 下校時

2学期始めまで支援員が学校へお迎えに行き、交通ルールをその都度指導した。また緊急時には、通学路にある地域事業所等に保護してもらえることを児童に伝え、場所を覚えるように指導した。

(7) 研修

日付	研修内容	場所	参加者
10/18	児童クラブ支援員研修会	松山市	支援員 1名
12/15	放課後児童支援員等資質向上研修会	松山市	支援員 1名

2022年度 伊予くじら児童クラブ年間行事報告

月	行事予定
4	・オリエンテーション(小学校まで歩こう) ・ランチデー
5	・誕生会
6	・誕生会
7	・エコバッグ制作 ・ランチデー ・誕生会
8	・水あそび ・IYO 夢みらい館 ・くじら夏まつり ・花王手洗い教室 ・ランチデー
9	・ランチデー ・フォトフレーム制作 ・ハロウィンリース制作 ・誕生会
10	・ひめっこアート表彰式 ・ハロウィンパーティー ・誕生会
11	・くじらゲルニカ ・誕生会
12	・クリスマス制作 ・クリスマス会 ・ランチデー ・誕生会 ・大掃除
1	・初詣(稲荷神社) ・お正月制作 ・誕生会
2	・誕生会
3	・お別れ遠足(ピザ作り、いちご狩り) ・お別れ会 ・誕生会 ・お買い物体験

○ピアノ教室(個人)/希望者に随時

○プログラミング教室/外部講師により月2~3回

2022 年度 治田くじら学童保育所 事業報告書

2023 年 4 月 21 日

治田くじら学童保育所の運営

1. 施設の目的

共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校のグラウンドや地域の公園、広場などで放課後等に適切な遊び、生活の場を与えて、その健全育成を図ることを目的とした事業である。(小学校 6 年生までが対象)

2. 事業実績

2022 年 4 月は定員 40 名に対し 44 名でのスタートとなる。
小学校や地域との交流を深め、運営していきたいと考える。

3. 2022 年度 職員動向

(1) 職員総数 : 5 名 (2022 年 4 月 1 現在)

(イ) 常勤職員 : 2 名
非常勤 : 3 名
(ロ) 異動職員 : 0 名

(2) 職員採用状況

児童数の増加、学校休業日に対応する為、職員需要に応じた配置を検討し、随時採用。

(3) 各種会議

(イ) 職員会議 : 毎月 1 回
(ロ) 苦情会議 : 不定期

(4) 定員及び通園園児数

(イ) 定員 : 40 名
(ロ) 児童数 : 44 名 (2022 年 4 月 1 日現在)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
児童数	44	44	44	44	43	43	42	42	42	40	36	36

(ハ) 保育日数 : 264 日/年

(5) 保育計画

- (イ) 保育目標 : 1) 自分の力で生きぬくこども
2) 夢に向かって頑張るこども
3) 自分の町を愛するこども
- (ロ) 保育時間 : 08:00 ~ 18:00
- (ハ) 延長保育 : 07:30 ~ 08:00
18:00 ~ 19:30
(午前延長 30 分/200 円) (午後延長 30 分毎/200 円)
- (ニ) 保育内容 : ①保護者とも連携をとりながら、放課後にこども達一人一人が
安心できる居場所を提供する。
②遊びを中心とした様々な体験の場を設定し、個々の成長を
支援する。
- (ホ) 特別保育事業 : 毎月行っている独自延長保育
18:00 ~ 19:30 (月登録 30 分毎/1,500 円)
- (ヘ) 日課 : 別紙 1 デイリープログラム参照
- (ト) 行事 : 別紙 2 行事報告参照

(6) 健康管理

職員定期健康診断 : 年 1 回

(7) 非常災害危険防止

避難・不審者訓練 : 不定期

(8) 研修

別紙 3 研修報告参照

保育デイリープログラム

時間	活動内容(平日)
15:00	宿題・室内遊び
15:45	おやつ
16:00	室内遊び・戸外遊び
18:00	延長保育開始
19:30	保育終了

時間	活動内容(学校休業日)
7:30	朝延長保育開始
8:00	順次登所・室内遊び
9:00	学習
10:00	戸外遊び・室内遊び・集団遊び・イベント等
12:00	昼食
13:00	DVD鑑賞
14:00	戸外遊び・室内遊び・イベント等
15:30	おやつ・帰りの会
16:00	室内遊び
18:00	延長保育開始
19:30	保育終了

2022年度 治田くじら学童保育所 年間行事報告

月	事業内容
4	カレンダー作り・入所式・バルーンアート・季節のおやつ・クリアボックス製作・5月壁面作り・誕生日会
5	避難訓練・季節のおやつ・6月壁面作り・誕生日会
6	手作りおやつ・7月壁面作り・Tシャツ製作・英語教室
7	Tシャツ作り・プログラミング体験・季節のおやつ・ランチ提供・英語教室・水鉄砲大会・夏休み工作(扇子)・8月壁面作り・誕生日会
8	水風船大会・夏休み工作(グラスデコ・空気砲)・手作りおやつ・防災訓練と防災おやつ・夏祭り・9月壁面製作・誕生日会
9	季節のおやつ・10月壁面作り・誕生日会
10	ハロウィンバッグ作り・ハロウィンイベント・芋ほり・手作りおやつ・11月壁面作り 誕生日会
11	ゲルニカ制作・手作りおやつ・英語教室・クリスマス製作・12月壁面作り・誕生日会
12	クリスマス会・クリスマス製作・ランチ提供・手作りおやつ・かるたづくり・大掃除・1月壁面作り
1	かるた大会・初詣・アイロンビーズ・鏡開き・季節のおやつ・絵馬製作・2月壁面作り・誕生日会
2	節分イベント・季節のおやつ・お面製作・3月壁面作り・誕生日会
3	季節のおやつ・お楽しみ会・卒所式・ランチ提供・くじら学童合同イベント・4月壁面作り・誕生日会

2022 年度 治田くじら学童保育所 研修報告

日 付	研修内容	参加者
7月6日	けが・体調不良時の対応について	4名
7月10日	滋賀県放課後児童支援員等資質向上研修事業研修会	1名
7月11日	栗東市学童保育指導員連絡協議会基礎研修	3名
8月8日	滋賀県小児アレルギー疾患対策地域関係者研修会	1名
9月6日	滋賀県放課後児童支援員等資質向上研修事業研修会	1名
9月7日	滋賀県放課後児童支援員等資質向上研修事業研修会	1名
9月17日	滋賀県放課後児童支援員等資質向上研修事業研修会	1名
9月23日	滋賀県放課後児童支援員等資質向上研修事業研修会	1名
11月8日	法人研修『保健』基礎研修	4名
11月16日	滋賀県放課後児童クラブ事故防止研修	4名
12月10日	滋賀県放課後児童支援員認定資格研修	1名
1月9日	滋賀県放課後児童支援員認定資格研修	1名
1月14日	滋賀県放課後児童支援員認定資格研修	1名
2月4日	滋賀県放課後児童支援員認定資格研修	1名

2022 年度 治田東くじら学童保育所事業報告書

2023 年 4 月 21 日

治田東くじら学童保育所の運営

1. 施設の目的

共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、学校のグラウンドや地域の公園、広場などで放課後等に適切な遊び、生活の場を与えて、その健全育成を図ることを目的とした事業である。(小学校 6 年生までが対象)

2. 事業実績

2022 年 4 月は定員 40 名に対し 39 名でのスタートとなる。1 年生から 6 年生までの児童が在籍し、5 月には入所児童が 1 名増え、定員の 40 名となった。

独自延長保育の午後 7:30 までの利用児童も多く、保護者の延長預かりのニーズの受け皿となることができた。

今後についても、栗東市に新たに 1 か所増え、草津市と合わせた 6 か所のくじら学童との交流を定期的に行うなど、地域を超えた子どもたちの関係性を深めることができるような運営をしていきたいと考える。

3. 2022 年度 職員動向

(1) 職員総数 : 5 名 (2022 年 4 月 1 現在)

(イ) 常勤職員 : 2 名

非常勤 : 3 名

(ロ) 異動職員 : 0 名

(2) 職員採用状況

児童数の増加、学校休業日に対応する為、職員需要に応じた配置を検討し、随時採用

(3) 各種会議

(イ) 職員会議 : 毎月 1 回

(ロ) 苦情会議 : 不定期

(4) 定員及び通園園児数

(イ) 定員 : 40 名

(ロ) 児童数 : 39 名 (2022 年 4 月 1 日現在)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
児童数	39	40	39	39	37	34	33	32	32	31	31	31

(ハ) 保育日数 264 日/年

5) 保育計画

- (イ) 保育目標 : 1) 自分の力で生きぬくこども
2) 夢に向かって頑張るこども
3) 自分の町を愛するこども
- (ロ) 保育時間 : 午前 8 時 00 分～午後 6 時 00 分
- (ハ) 延長保育 : 午前 7 時 30 分～午前 8 時 00 分
: 午後 6 時 00 分～午後 7 時 30 分
(延長保育料…1500 円 30 分単位/月登録)
(単発の場合…200 円 30 分単位/回)
- (ニ) 保育内容 : 子ども達のチャレンジする気持ちに寄り添い、放課後をいきいきと楽しい時間に来れるようサポートし、遊びの中から「生きる力を」育てる
- (ホ) 特別保育事業 : 独自延長保育
(19 時 00 分～19 時 30 分 月登録 1500 円/月、単発 200 円/回)
- (ヘ) 日課 : 別紙 1 デイリープログラム参照
- (ト) 行事 : 別紙 2 行事報告参照

(6) 健康管理

職員

定期健康診断 : 年 1 回

(7) 非常災害危険防止

避難・不審者訓練 : 年 2 回

(8) 研修 : 別紙 3 研修報告参照

保育デイリープログラム

時間	活動内容(平日)
15:00	下校後、宿題・室内遊び
15:30	おやつ
16:00	読書・室内遊び・戸外遊び・製作活動
18:00	延長保育開始
19:30	保育終了

時間	活動内容(学校休業日)
7:30	朝延長開始
8:00	順次来所
9:00	朝の会
9:30	宿題・自由学習
10:30	戸外遊び・室内遊び・集団遊び・設定遊び
12:00	昼食
13:00	読書・戸外遊び・室内遊び・集団遊び・設定遊び
15:00	おやつ・帰りの会
16:00	掃除
16:30	室内遊び
18:00	延長保育開始
19:30	保育終了

2022年度 治田東くじら学童保育所 年間行事報告

月	事業内容
4	新入生歓迎会、誕生日会
5	避難訓練・誕生日会
6	誕生日会
7	お楽しみランチ・ティッシュケース製作・出前授業(明治)・誕生日会
8	下敷き製作・Tシャツ製作・スーパーボールすくい・お楽しみ会
9	誕生日会(8・9月合同)
10	避難訓練・ハロウィンパーティー・誕生日会
11	誕生日会
12	お楽しみランチ・クリスマス会・誕生日会・大掃除
1	アイロンビーズ製作・誕生日会
2	節分イベント・バレンタインおやつ・毛糸製作(12月~2月)・誕生日会
3	ひな祭りイベント・くじら学童合同行事・お別れ会・誕生日会

2022年度 治田東くじら学童保育所 研修報告

日付	研修内容	参加者
7月6日(水)	栗東市社会福祉協議会主催 救急法研修	1名
10月5日(水)	令和4年度(2022) 滋賀県放課後児童クラブにおける施設長研修事業 第1回	1名
10月14日 (金)	令和4年度(2022) 滋賀県放課後児童クラブにおける施設長研修事業 第2回	1名
12月10日 (土)	令和4年度(2022) 滋賀県放課後児童支援員認定資格研修 第1回	1名
1月9日 (月・祝)	令和4年度(2022) 滋賀県放課後児童支援員認定資格研修 第2回	1名
1月14日(土)	令和4年度(2022) 滋賀県放課後児童支援員認定資格研修 第3回	1名
2月4日(土)	令和4年度(2022) 滋賀県放課後児童支援員認定資格研修 第4回	1名

2022年度 葉山くじら学童保育所事業報告書

2023年4月21日

葉山くじら学童保育所の運営

1. 施設の目的

共働き家庭や一人親家庭など留守家庭の小学校に就学している児童を対象に、学校課業日の放課後や土曜日、春・夏・冬休み等の休業日に放課後児童支援員を配置し、適切な遊びや生活の場を与えて児童の健全な育成を図り、保護者の就労と子育ての両立を支援する事業である。

2. 事業実績

2022年4月は定員40名に対し11名でのスタートとなる。開所2年目だったが新規入所児童は新1年生のみで昨年度に続き少人数でのスタートとなった。通常保育時は平均8~9名の利用が多かった。但し、施設の所在地が小学校から離れているので送迎車で小学校まで児童の送迎を行う。

今後については利用児童の増加を目指し、地域の関係機関と連携を図り、各小学校区の学童保育所と交流しながら運営していきたいと考える。

3. 2021年度 職員動向

(1) 職員総数： 4名(2022年4月1日現在)

(イ) 常勤職員： 1名

非常勤： 2名

送迎員： 1名

(ロ) 異動職員： 0名

(2) 職員採用状況

児童数の増加、学校休業日に対応する為、職員需要に応じた配置を検討し、随時採用

(3) 各種会議

(イ) 職員会議： 毎月1回

(ロ) 苦情会議： 不定期

(4) 定員及び入所児童数

(イ) 定員： 40名

(ロ) 児童数： 11名(2022年4月1日現在)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
児童数	11	11	11	11	11	11	11	13	13	13	13	11

(ハ) 保育日数 252日/年

(5) 保育計画

- (イ) 保育目標 : 1) 自分の力で生きぬくこども
2) 夢に向かって頑張るこども
3) 自分の町を愛するこども
- (ロ) 保育時間 : 午前 8 時 00 分～午後 6 時 00 分
- (ハ) 延長保育 : 午前 7 時 30 分～午前 8 時 00 分
: 午後 6 時 00 分～午後 7 時 30 分
【午前月延長/1.500 円】【午後月延長(30 分)/1.500 円】
【単発延長(30 分)/200 円】
- (ニ) 保育内容 : 子ども達のチャレンジする気持ちに寄り添い、放課後をいきいきと楽しい時間に来れるようサポートし、遊びの中から「生きる力を」育てる
- (ホ) 土曜日保育 : 午前 8 時 00 分～午後 6 時 00 分
【1 回/300 円】【月登録/1.000 円】
- (ヘ) 日課 : 別紙 1 デイリープログラム参照
- (ト) 行事 : 別紙 2 行事報告参照

(6) 健康管理

職員

定期健康診断 : 年 1 回

(7) 非常災害危険防止

避難・不審者訓練 : 不定期

(8) 研修 : 別紙 3 研修報告参照

保育デイリープログラム

時間	活動内容(平日)
15 : 00	下校後、宿題・室内遊び
15 : 45	おやつ
16 : 00	宿題・室内遊び・外遊び
18 : 00	延長保育開始
19 : 30	保育終了

時間	活動内容(学校休業日)
7 : 30	朝延長時間開始
8 : 00	通常利用時間開始
9 : 00	朝の会・学習
10 : 30	外遊び(外気温により時間の変更あり)
12 : 00	昼食
12 : 30	読書
13 : 00	室内遊び
14 : 00	設定保育(集団遊び・工作等)
15 : 00	おやつ・掃除・帰りの会
16 : 00	室内遊び・外遊び
18 : 00	通常利用時間終了・夕延長利用時間開始
19 : 30	夕延長利用時間終了

2022年度 葉山くじら学童保育所 年間行事報告

月	事業内容
4	学童保育所紹介・遊び場探検・工作(こいのぼり)・集団遊び・誕生会
5	母の日工作
6	七夕工作(飾り・短冊作り)
7	七夕おやつ・誕生会
8	野外活動(上桐生川遊び)・工作・集団遊び・外部団体イベント・避難訓練・ お楽しみ会・誕生会
9	さつまいもの手作りおやつ・誕生会
10	ハロウィンイベント・誕生会
11	誕生会
12	クリスマス工作(スノードーム)・避難訓練・クリスマス会・大掃除 誕生会
1	初詣・昔遊び体験(メンコ)・工作(新年の誓い)
2	節分おやつ・バレンタインおやつ・誕生会
3	ひなまつりおやつ・昼食提供・お楽しみ会・次年度準備(大掃除)

2022年度 葉山くじら学童保育所 研修報告

日付	研修内容	参加者
7月6日	救急法研修	1名
7月10日	滋賀県放課後児童支援員資質向上研修①(全5回)	1名
9月6日	滋賀県放課後児童支援員資質向上研修②(全5回)	1名
9月7日	滋賀県放課後児童支援員資質向上研修③(全5回)	1名
9月17日	滋賀県放課後児童支援員資質向上研修④(全5回)	1名
9月23日	滋賀県放課後児童支援員資質向上研修⑤(全5回)	1名
12月10日	令和4年度放課後支援員認定資格研修①(全4回)	1名
1月9日	令和4年度放課後支援員認定資格研修②(全4回)	1名
1月14日	令和4年度放課後支援員認定資格研修③(全4回)	1名
2月4日	令和4年度放課後支援員認定資格研修④(全4回)	1名

2022年度 葉山東くじら学童保育所 事業報告書

2023年4月21日

葉山東くじら学童保育所の運営について

1) 施設の目的

共働き世帯が増加傾向の現状を踏まえ、放課後の子ども達の『居場所』として、安心・安全で楽しい環境を確保する。また、異年齢の児童が交流できる充実した遊びや活動の場を提供する。

2) 事業実績

2021年4月1日開所当時、定員40名に対し小学1年生～3年生計11名でスタート。(2022年度は12名でスタート)新規開設の民営学童保育所として徐々に児童数を増やすことを目的に、今後も小学校や近隣保育園及び幼稚園と密に連携し、よりよい保育環境の構築に力を入れて運営していく。(地域との連携事業や各種地域団体との交流も視野に入れていく。)

3) 2022年度 学童保育運営動向

① 職員総数:4名(2022年4月1日現在)

内訳…常勤職員(1名)

非常勤職員(2名)

送迎員(1名)

② 各種会議:職員会議:定期開催(基本毎月1日～5日の間で開催)

随時開催(長期保育時、必要に応じて開催)

③ 通所児童数(年間の推移状況)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
児童数	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	11

④ 保育日数:260日/年

⑤ 保育計画及び内容

■保育目標(年間)◇学童生活を通じて、基本的な生活習慣に取り組むことができる子ども

◇何事にも意欲をもち、自ら進んで行動する子ども

◇自分の思いや考えを伝え、仲間と共に成長し合える子ども

■開所時間(通年)◇小学校の授業日…放課後～午後6時00分

◇小学校の休業日…午前8時00分～午後6時00分

◇休所(閉所)日…日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

【延長保育】午前7時30分～午前8時00分

午後6時00分～午後7時30分

■保育内容:子ども達のチャレンジする気持ちに寄り添い、放課後をいきいきと楽しい時間に出来るようサポートし、遊びの中から「生きる力を」育てる。

■日課: <<別紙1>>参照

■行事: <<別紙2>>参照

■非常災害危険防止の訓練: 年2回(地震・火災・不審者等を想定した訓練)

⑥ 職員健康管理: 定期健康診断(年1回)

⑦ 職員研修 : <<別紙3>>参照

保育デイリープログラム

時間	活動内容（平日）
15:00	下校後、宿題及び自由学習(室内遊び含む)
15:45	おやつ
16:15	室内遊び・屋外遊び ※季節のイベント開催の場合有り
18:00	通常保育終了 ※延長保育開始
19:30	延長保育終了

※学年別にて時差下校となる日については、おやつ時間や宿題の時間等は適宜変更して行う。

※登所時には、子ども達の体調(健康)チェックを行うこと。気になることがあれば、随時、小学校の先生や保護者と連携し、安心な保育環境を維持できるように心がける。

※送迎バスの乗車方法については、子ども達にルールを教え(シートベルトの正しい着用方法)、付き添いの職員については、乗降時の人数確認及び段差に気をつけて誘導する。

時間	活動内容（学校休業日・土曜日）
7:30	朝延長開始
8:00	通常保育開始
9:00	自由学習(室内遊び含む)
10:00	自由遊び・創作活動 他
10:30	戸外遊び・室内遊び・集団遊び
12:00	昼食
13:00	室内遊び・屋外遊び ※季節の遊び(集団活動)
15:00	おやつ
16:00	自由遊び・創作活動 他
18:00	通常保育終了 ※延長保育開始
19:30	延長保育終了

※土曜保育については、葉山くじら学童保育所との合同保育。

(偶数月:葉山、奇数月:葉山東)

2022年度 葉山東くじら学童保育所 年間行事報告

月	行 業 内 容 (※年間を通じて、コロナ禍に配慮しての開催)
4	入所児童を迎える会
5	季節の工作(こいのぼり・母の日のカーネーション)・避難訓練・誕生日会
6	季節の工作(あじさい飾り)・季節の体験イベント(寄せ植え体験)・誕生日会
7	季節の工作(七夕制作)・夏休み屋外活動(守山市びわこ地球環境の森にてアスレチック体験及び木工体験)・誕生日会
8	季節の体験イベント(くじらオリジナルバッグ制作・冷たいお菓子&クッキー作り)・夏休み屋外活動(甲賀市陶珍館へ陶芸体験)・夏休みお楽しみ会(バルーンアート教室)・プログラミング教室・誕生日会
9	季節の工作(どんぐり工作)・誕生日会
10	季節の体験イベント(ハロウィンお菓子&ハロウィン向け粘土工作)・誕生日会
11	季節の工作(ペットボトルビーズ)・季節の体験イベント(キッズヨガ教室・くじら繋がり/リモート体験)・2023年度入所申請書類交付
12	季節の体験イベント(クリスマス&新年向けガーデニング教室)・クリスマス会:ダンス発表etc.)・避難訓練・誕生日会
1	初詣・季節の工作(干支飾り制作)
2	季節の体験イベント(節分・バレンタインスイーツ)・誕生日会
3	春休みお楽しみ会(特技発表会)・誕生日会 ※注1)2023年度入所児童及び保護者面談実施(新規児童及び希望者対象)

※ 注1)次年度も継続して実施予定。

《別紙3》

2022年度 職員研修報告

開催期間	研修内容	参加者
6月～9月(全4回)	2022年度滋賀県放課後児童支援員等資質向上研修事業研修会	1名

2023年4月21日

2022年度 郡中放課後児童クラブA・B・C事業報告書

1 施設の目的

共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、放課後等に適切な遊び、生活の場を与えて、その健全育成を図ることを目的とした事業。(小学校6年生までが対象)

2 事業実績

2022年4月は各定員40名(A:40名、B:42名、C:40名)

3 2022年度 職員動向等

(1) 職員総数：13名(A:5名、B:4名、C:4名)

(イ) 常勤職員：0名

(ロ) 非常勤：13名

(ハ) 異動職員：0名

(2) 職員採用状況

児童数の増加、学校休業日に対応する為、職員需要に応じた配置を検討し、随時採用

(3) 各種会議

(イ) 責任者会議：毎月1回

(ロ) 職員会議：毎月1回

(ハ) 苦情会議：不定期

(4) 利用児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A	43	43	43	43	43	41	40	39	39	38	38	38
B	43	43	43	43	43	40	40	42	40	40	40	40
C	43	43	43	43	43	41	40	40	40	40	39	39

4 児童クラブの方針

基本的な生活習慣を家庭と一緒に築いていく。

個々のやりたいことを達成できる伴走者となる。

地域の人・自然との関わりをもち、感謝の心を育てる。

5 事業所について

(1) 開所日

原則として月曜日から土曜日。開所日数は1年につき250日以上

(2) 開所時間

小学校の授業がある日：下校時(概ね午後1時30分)から午後6時まで

小学校の授業の休業日：午前 8 時から午後 6 時まで

※参考：早朝（長期休暇中又は土曜日のみ）7～8 時、夕方 18～19 時

(3) 閉所日

日曜日・国民の祝日・お盆・12月29日から翌年の1月3日

(4) 保護者負担金

通常利用者は月額 3,000 円／1 人と月額 5,000 円／1 人（7・8 月分）

長期休暇期間のみ利用者は夏休み期間中（2 ヶ月分）10,000 円／1 人、春・冬休み期間中はそれぞれ 4,000 円／1 人

6 その他

(1) 健康管理

職員定期健康診断：年 1 回（12 月実施）

保菌検査：年 2 回

(2) 非常災害危険防止

避難・不審者訓練：毎月実施

(3) プログラミング

職員研修：1 回

児童向け研修

プログラム

時間	活動内容(平日)
下校時間	下校後、着替え、宿題・室内遊び
16:00	おやつ
16:15	宿題、室内遊び・戸外遊び
18:00	延長保育開始
19:00	保育終了

時間	活動内容(学校休業日)
7:00	朝延長開始
8:30	順次来所
9:30	宿題
10:30	戸外遊び・室内遊び・集団遊び
12:30	昼食
13:00	室内遊び
14:30	戸外遊び・室内遊び・イベント等
16:00	おやつ 戸外遊び・室内遊び
18:00	延長保育開始
19:00	保育終了

2022年度 年間行事報告

月 日	行 事 名	人 数
4月8日	ランチデー	児童クラブ
7月20日	ランチデー	児童クラブ
7月25日	県警避難訓練	児童クラブ
7月27日	ランチデー	児童クラブ
8月1日	ランチデー	児童クラブ
8月2日	水遊び (B)	児童クラブ
8月3日	水遊び (C)	児童クラブ
8月4日	水遊び (A)	児童クラブ
8月8日	DVD鑑賞会	児童クラブ
8月9日	DVD鑑賞会	児童クラブ
8月10日	DVD鑑賞会	児童クラブ
8月10日	バレエ鑑賞会	IYO夢みらい館
8月19日	ランチデー	児童クラブ
8月24日	夏祭り・ランチデー	児童クラブ
8月29日	ランチデー	児童クラブ
9月1日	ランチデー	児童クラブ
10月26日	ハロウィンパーティー	児童クラブ
11月1日	ゲルニカワークショップ	児童クラブ
12月23日	お楽しみ会・ランチデー (警報発令で中止)	児童クラブ
1月10日	ランチデー	児童クラブ
2月22日	お買い物ごっこ	児童クラブ
3月23日	ランチデー	児童クラブ
3月24日	お茶会	児童クラブ

2022年度 研修報告

日 付	研修内容	参加者
10月25日	令和5年度 放課後児童支援員認定資格研修	1名

2023年4月21日

2022年度 南伊予児童クラブA・B事業報告書

1 施設の目的

共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、放課後等に適切な遊び、生活の場を与えて、その健全育成を図ることを目的とした事業。(小学校6年生までが対象)

2 事業実績

2022年4月は各定員 A:38名、B:33名

3 2022年度 職員動向等

(1) 職員総数: 13名(A:5人、B:5人)

(イ) 常勤職員: 0名

(ロ) 非常勤: 10名

(ハ) 異動職員: 0名

(2) 職員採用状況

児童数の増加、学校休業日に対応する為、職員需要に応じた配置を検討し、随時採用

(3) 各種会議

(イ) 責任者会議: 毎月1回

(ロ) 職員会議: 毎月1回

(ハ) 苦情会議: 不定期

(4) 利用児童数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
A	36	36	40	36	32	36	36	36	35	35	35	35
B	35	37	37	34	33	31	31	31	30	30	29	29

4 児童クラブの方針

基本的な生活習慣を家庭と一緒に築いていく。

個々のやりたいことを達成できる伴走者となる。

地域の人・自然との関わりをもち、感謝の心を育てる。

5 事業所について

(1) 開所日

原則として月曜日から土曜日。開所日数は1年につき250日以上

(2) 開所時間

小学校の授業がある日: 下校時(概ね午後1時30分)から午後6時まで

小学校の授業の休業日: 午前8時から午後6時まで

※参考：早朝（長期休暇中又は土曜日のみ）7～8 時、夕方 18～19 時

(3) 閉所日

日曜日・国民の祝日・お盆・12月29日から翌年の1月3日

(4) 保護者負担金

通常利用者は月額 3,000 円／1 人と月額 5,000 円／1 人（7・8 月分）

長期休暇期間のみ利用者は夏休み期間中（2 ヶ月分）10,000 円／1 人、春・冬休み期間中はそれぞれ 4,000 円／1 人

6 その他

(1) 健康管理

職員定期健康診断：年 1 回（12 月実施）

保菌検査：年 2 回

(2) 非常災害危険防止

避難・不審者訓練：毎月実施

(3) プログラミング

職員研修：1 回

児童向け研修

プログラム

時間	活動内容(平日)
下校時間	下校後、着替え、宿題・室内遊び
16:00	おやつ
16:15	宿題、室内遊び・戸外遊び
18:00	延長保育開始
19:00	保育終了

時間	活動内容(学校休業日)
7:00	朝延長開始
8:30	順次来所
9:30	宿題
10:30	戸外遊び・室内遊び・集団遊び
12:30	昼食
13:00	室内遊び
14:30	戸外遊び・室内遊び・イベント等
16:00	おやつ 戸外遊び・室内遊び
18:00	延長保育開始
19:00	保育終了

2022年度 年間行事報告

月 日	行 事 名	人数
4月 6日	絵本読み聞かせ	46人
4月 11日	1年生お弁当パーティー	20人
4月 18日	絵本読み聞かせ (1年生)	20人
4月 19日	絵本読み聞かせ (1年生)	19人
4月 21日	絵本読み聞かせ (1年生)	18人
4月 25日	絵本読み聞かせ (1年生)	17人
5月 12日	1年生を迎える会	65人
5月 25日	公民館花苗植えB	10人
7月 20日	お楽しみ会	74人
7月 20日	お楽しみランチ (お弁当)	74人
7月 21日	プログラミングA	39人
7月 26日	プログラミングB	24人
7月 26日	ウォーターガンバトルA	36人
7月 27日	絵本の会A	36人
7月 28日	お楽しみランチ (お弁当)	66人
7月 28日	プログラミングB	31人
8月 2日	プログラミングA	32人
8月 2日	ウォーターガンバトルB	30人
8月 4日	プログラミングA	33人
8月 4日	お楽しみランチ (ハンバーガー)	63人
8月 9日	プログラミングB	19人
8月 10日	駄菓子屋さん	58人
8月 12日	プログラミングB	16人
8月 18日	お楽しみランチ (おにぎり)	49人
8月 18日	プログラミングA	29人
8月 23日	プログラミングA	22人
8月 25日	プログラミングB	19人
8月 25日	お楽しみランチ (サンドイッチ)	39人
8月 29日	プログラミングA	23人
8月 30日	プログラミングB	26人
9月 1日	お楽しみランチ (お弁当)	56人
10月 12日	お芋堀り (Bクラス1年生)	B 5人
10月 25日	おやつバイキング	64人
11月17・29日	クリスマスリース作り	66人
12月 2日	ふかし芋おやつ	43人
12月 23日	ランチ	12人
12月26・27日	お正月飾り作り	61人
1月 10日	お弁当ランチ	59人

1月 10日	マジックショー	59人
1月 10日	駄菓子屋さん	59人
1月 10日	お店屋さんごっこ	59人
2月 15日	公民館花苗植えB	12人
3月 23日	お楽しみランチ	63人
3月 24日	お楽しみ会	60人
3月 24日	お弁当ランチ	61人
3月 27日	レクリエーション	48人
3月 28日	お楽しみランチ	52人

2022年度 研修報告

日付	研修内容	参加者
10月25日	令和5年度 放課後児童支援員認定資格研修	1名

2023年4月21日

2022年度 南山崎児童クラブ事業報告書

1 施設の目的

共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、放課後等に適切な遊び、生活の場を与えて、その健全育成を図ることを目的とした事業。(小学校6年生までが対象)

2 事業実績

2022年4月は各定員 26名

3 2022年度 職員動向等

(1) 職員総数： 4名

- (イ) 常勤職員： 0名
- (ロ) 非常勤： 4名
- (ハ) 異動職員： 0名

(2) 職員採用状況

児童数の増加、学校休業日に対応する為、職員需要に応じた配置を検討し、随時採用

(3) 各種会議

- (イ) 責任者会議： 毎月1回
- (ロ) 職員会議： 毎月1回
- (ハ) 苦情会議： 不定期

(4) 利用児童数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
25	25	26	25	26	23	23	23	23	14	14	14

4 児童クラブの方針

- 基本的な生活習慣を家庭と一緒に築いていく。
- 個々のやりたいことを達成できる伴走者となる。
- 地域の人・自然との関わりをもち、感謝の心を育てる。

5 事業所について

(1) 開所日

原則として月曜日から土曜日。開所日数は1年につき250日以上

(2) 開所時間

小学校の授業がある日：下校時(概ね午後1時30分)から午後6時まで

小学校の授業の休業日：午前8時から午後6時まで

※参考：早朝(長期休暇中又は土曜日のみ)7~8時、夕方18~19時

(3) 閉所日

日曜日・国民の祝日・お盆・12月29日から翌年の1月3日

(4) 保護者負担金

通常利用者は月額 3,000 円／1 人と月額 5,000 円／1 人 (7・8 月分)

長期休暇期間のみ利用者は夏休み期間中 (2 ヶ月分) 10,000 円／1 人、春・冬休み期間中はそれぞれ 4,000 円／1 人

6 その他

(1) 健康管理

職員定期健康診断：年 1 回 (12 月実施)

保菌検査：年 2 回

(2) 非常災害危険防止

避難・不審者訓練：毎月実施

(3) プログラミング

職員研修：1 回

児童向け研修

プログラム

時間	活動内容(平日)
下校時間	下校後、着替え、宿題・室内遊び
16:00	おやつ
16:15	宿題、室内遊び・戸外遊び
18:00	延長保育開始
19:00	保育終了

時間	活動内容(学校休業日)
7:00	朝延長開始
8:30	順次来所
9:30	宿題
10:30	戸外遊び・室内遊び・集団遊び
12:30	昼食
13:00	室内遊び
14:30	戸外遊び・室内遊び・イベント等
16:00	おやつ 戸外遊び・室内遊び
18:00	延長保育開始
19:00	保育終了

2022年度 年間行事報告

月 日	行 事 名	人 数
4月4日	小学校探検	南山崎小学校
4月12日	一年生を迎える会	児童クラブ
4月27日	誕生日会	児童クラブ
5月18日	お楽しみ会	児童クラブ
6月15日	お楽しみ会	児童クラブ
7月13日	誕生日会	児童クラブ
7月20日	ランチ会	児童クラブ
7月27日	お話会 (8月24日、30日も)	児童クラブ
7月28日	体育遊び	小学校体育館
8月1日	体育遊び	小学校体育館
3日～5日	ミニ夏祭り	児童クラブ
8月8日	映画鑑賞会 (17日、29日も)	児童クラブ
8月10日	ランチ会	児童クラブ
8月12日	体育遊び (18日も)	小学校体育館
8月19日	移動みんくる製作遊び	児童クラブ
8月25日	マジックショー	児童クラブ
9月14日	誕生日会	児童クラブ
10月12日	蒸し芋パーティ	児童クラブ
10月31日	ハロウィン	児童クラブ
11月16日	誕生日会	児童クラブ
12月3日	ニュースポーツ参加	小学校体育館
12月26日	お楽しみ会	児童クラブ
1月10日	ランチ会	児童クラブ
2月15日	お楽しみ会	児童クラブ
2月22日	お菓子屋さんごっこ	児童クラブ
3月17日	お茶会	児童クラブ
3月24日	ランチ会	児童クラブ
3月27日	遠足	しおさい公園
3月29日	お楽しみ会	児童クラブ

2022年度 研修報告

日 付	研修内容	参加者

※コロナウイルス対策の為、今年度の外部研修はなし

2023年4月21日

2022年度 北山崎児童クラブ事業報告書

1 施設の目的

共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、放課後等に適切な遊び、生活の場を与えて、その健全育成を図ることを目的とした事業。(小学校6年生までが対象)

2 事業実績

2022年4月は各定員 39名

3 2021年度 職員動向等

(1) 職員総数：7名

- (イ) 常勤職員：0名
- (ロ) 非常勤：7名
- (ハ) 異動職員：0名

(2) 職員採用状況

児童数の増加、学校休業日に対応する為、職員需要に応じた配置を検討し、随時採用

(3) 各種会議

- (イ) 責任者会議：毎月1回
- (ロ) 職員会議：毎月1回
- (ハ) 苦情会議：不定期

(4) 利用児童数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
39	39	38	37	37	36	36	32	34	33	32	30

4 児童クラブの方針

- 基本的な生活習慣を家庭と一緒に築いていく。
- 個々のやりたいことを達成できる伴走者となる。
- 地域の人・自然との関わりをもち、感謝の心を育てる。

5 事業所について

(1) 開所日

原則として月曜日から土曜日。開所日数は1年につき250日以上

(2) 開所時間

小学校の授業がある日：下校時(概ね午後1時30分)から午後6時まで

小学校の授業の休業日：午前8時から午後6時まで

※参考：早朝(長期休暇中又は土曜日のみ)7~8時、夕方18~19時

(3) 閉所日

日曜日・国民の祝日・お盆・12月29日から翌年の1月3日

(4) 保護者負担金

通常利用者は月額 3,000 円／1 人と月額 5,000 円／1 人 (7・8 月分)

長期休暇期間のみ利用者は夏休み期間中 (2 ヶ月分) 10,000 円／1 人、春・冬休み期間中はそれぞれ 4,000 円／1 人

6 その他

(1) 健康管理

職員定期健康診断：年 1 回 (12 月実施)

保菌検査：年 2 回

(2) 非常災害危険防止

避難・不審者訓練：毎月実施

(3) プログラミング

職員研修：1 回

児童向け研修

プログラム

時間	活動内容(平日)
下校時間	下校後、着替え、宿題・室内遊び
16:00	おやつ
16:15	宿題、室内遊び・戸外遊び
18:00	延長保育開始
19:00	保育終了

時間	活動内容(学校休業日)
7:00	朝延長開始
8:30	順次来所
9:30	宿題
10:30	戸外遊び・室内遊び・集団遊び
12:30	昼食
13:00	室内遊び
14:30	戸外遊び・室内遊び・イベント等
16:00	おやつ 戸外遊び・室内遊び
18:00	延長保育開始
19:00	保育終了

2022年度 年間行事報告

月 日	行 事 名	人数
4月18日	入学・進級おめでとう会	児童クラブ
5月2日	子どもの日のお祝い会	児童クラブ
7月7日	七夕祭り会	児童クラブ
7月22日	お楽しみ会	児童クラブ
8月1日	工作（プラ板作り）	児童クラブ
8月2日	夏祭りごっこ・肝だめし・ランチデー	児童クラブ
8月4日	工作（レインボーシート）	児童クラブ
8月5日	おやつ作り（チョコバナナ）	児童クラブ
8月8日	スイカ割りごっこ	児童クラブ
8月10日	ランチデー	児童クラブ
8月17日	工作（プラ板作り）	児童クラブ
8月19日	工作（ミニ扇子作り）・ランチデー	児童クラブ
8月25日	お楽しみ会・ランチデー	児童クラブ
8月31日	大掃除	児童クラブ
9月9日	お月見会	児童クラブ
10月27日	ハロウィンパーティー	児童クラブ
12月13日	工作（クリスマスグッズ作り）	児童クラブ
12月23日	お楽しみ会・ランチデー	児童クラブ
12月28日	年末大掃除	児童クラブ
1月4日	工作（絵馬作り）	児童クラブ
1月10日	新年会・ランチデー	児童クラブ
2月3日	節分お楽しみ会	児童クラブ
2月20日	駄菓子屋さんごっこ・ランチデー	児童クラブ
3月3日	ひな祭り会	児童クラブ
3月24日	ランチデー	児童クラブ
3月27日	お別れ遠足・ランチデー	しおさい公園
3月29日	ランチデー	児童クラブ

2022年度 研修報告

日 付	研修内容	参加者

※コロナウイルス対策の為、今年度の外部研修はなし

2023年4月21日

2022年度 なかやま学童広場事業報告書

1 施設の目的

共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、放課後等に適切な遊び、生活の場を与えて、その健全育成を図ることを目的とした事業。(小学校6年生までが対象)

2 事業実績

2022年4月は各定員 35名

3 2022年度 職員動向等

(1) 職員総数：4名

- (イ) 常勤職員：0名
- (ロ) 非常勤：4名
- (ハ) 異動職員：0名

(2) 職員採用状況

児童数の増加、学校休業日に対応する為、職員需要に応じた配置を検討し、随時採用

(3) 各種会議

- (イ) 責任者会議：毎月1回
- (ロ) 職員会議：毎月1回
- (ハ) 苦情会議：不定期

(4) 利用児童数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
14	14	16	16	16	16	16	16	16	15	15	15

4 児童クラブの方針

- 基本的な生活習慣を家庭と一緒に築いていく。
- 個々のやりたいことを達成できる伴走者となる。
- 地域の人・自然との関わりをもち、感謝の心を育てる。

5 事業所について

(1) 開所日

原則として月曜日から土曜日。開所日数は1年につき250日以上

(2) 開所時間

小学校の授業がある日：下校時(概ね午後1時30分)から午後6時まで

小学校の授業の休業日：午前8時から午後6時まで

※参考：早朝(長期休暇中又は土曜日のみ)7~8時、夕方18~19時

(3) 閉所日

日曜日・国民の祝日・お盆・12月29日から翌年の1月3日

(4) 保護者負担金

通常利用者は月額 3,000 円／1 人と月額 5,000 円／1 人 (7・8 月分)

長期休暇期間のみ利用者は夏休み期間中 (2 ヶ月分) 10,000 円／1 人、春・冬休み期間中はそれぞれ 4,000 円／1 人

6 その他

(1) 健康管理

職員定期健康診断：年 1 回 (12 月実施)

保菌検査：年 2 回

(2) 非常災害危険防止

避難・不審者訓練：毎月実施

(3) プログラミング

職員研修：1 回

児童向け研修

プログラム

時間	活動内容(平日)
下校時間	下校後、着替え、宿題・室内遊び
16:00	おやつ
16:15	宿題、室内遊び・戸外遊び
18:00	延長保育開始
19:00	保育終了

時間	活動内容(学校休業日)
7:00	朝延長開始
8:30	順次来所
9:30	宿題
10:30	戸外遊び・室内遊び・集団遊び
12:30	昼食
13:00	室内遊び
14:30	戸外遊び・室内遊び・イベント等
16:00	おやつ 戸外遊び・室内遊び
18:00	延長保育開始
19:00	保育終了

2022年度 年間行事報告

月 日	行 事 名	人数
4月1日	仲間づくり（自己紹介）	学童広場
4月20日	一年生を迎える会・お楽しみ会	学童広場
5月18日	お楽しみ会	学童広場
6月6～8日	立体ペーパークラフト作り	学童広場
6月15日	お楽しみ会	学童広場
7月4日	七夕を楽しもう	学童広場
7月12日	お楽しみ会・ミニフェスティバル（1～4年）	学童広場
7月14日	ミニフェスティバル（5.6年）	学童広場
7月20日	ランチデー（非常食を食べよう）	学童広場
8月4日	ランチデー・シーグラスアート・ゲーム大会	大ホール
8月10日	ミニ夏祭り part1・ランチデー	学童広場
8月25日	ミニ夏祭り part2・お楽しみ会	学童広場
9月1日	ランチデー（パンランチ）	学童広場
9月14日	お楽しみ会	学童広場
10月21日	お楽しみ会	学童広場
10月29日	交流遠足	市外
10月31日	ハロウィンパーティを楽しもう	学童広場
11月1日	くじらゲルニカ	学童広場
11月15日	お楽しみ会	学童広場
12月19日	お楽しみ会	学童広場
12月27日	年忘れお楽しみ会	学童広場
12月27日	年末大そうじ	学童広場
1月4日～12日	絵馬作り	学童広場
1月25日	お楽しみ会	学童広場
2月3日	節分行事	学童広場
2月15日	お楽しみ会	学童広場
3月3日	おひなまつり会	学童広場

2022年度 研修報告

日 付	研修内容	参加者

※コロナウイルス対策の為、今年度の外部研修はなし

2023年4月21日

2022年度 されだに学童クラブ事業報告書

1 施設の目的

共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、放課後等に適切な遊び、生活の場を与えて、その健全育成を図ることを目的とした事業。(小学校6年生までが対象)

2 事業実績

2022年4月は各定員 38名

3 2022年度 職員動向等

(1) 職員総数：5名

- (イ) 常勤職員：0名
- (ロ) 非常勤：5名
- (ハ) 異動職員：0名

(2) 職員採用状況

児童数の増加、学校休業日に対応する為、職員需要に応じた配置を検討し、随時採用

(3) 各種会議

- (イ) 責任者会議：毎月1回
- (ロ) 職員会議：毎月1回
- (ハ) 苦情会議：不定期

(4) 利用児童数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16

4 児童クラブの方針

- 基本的な生活習慣を家庭と一緒に築いていく。
- 個々のやりたいことを達成できる伴走者となる。
- 地域の人・自然との関わりをもち、感謝の心を育てる。

5 事業所について

(1) 開所日

原則として月曜日から土曜日。開所日数は1年につき250日以上

(2) 開所時間

小学校の授業がある日：下校時(概ね午後1時30分)から午後6時まで

小学校の授業の休業日：午前8時から午後6時まで

※参考：早朝(長期休暇中又は土曜日のみ)7~8時、夕方18~19時

(3) 閉所日

日曜日・国民の祝日・お盆・12月29日から翌年の1月3日

(4) 保護者負担金

通常利用者は月額 3,000 円／1 人と月額 5,000 円／1 人 (7・8 月分)

長期休暇期間のみ利用者は夏休み期間中 (2 ヶ月分) 10,000 円／1 人、春・冬休み期間中はそれぞれ 4,000 円／1 人

6 その他

(1) 健康管理

職員定期健康診断：年 1 回 (12 月実施)

保菌検査：年 2 回

(2) 非常災害危険防止

避難・不審者訓練：毎月実施

(3) プログラミング

職員研修：1 回

児童向け研修

プログラム

時間	活動内容(平日)
下校時間	下校後、着替え、宿題・室内遊び
16:00	おやつ
16:15	宿題、室内遊び・戸外遊び
18:00	延長保育開始
19:00	保育終了

時間	活動内容(学校休業日)
7:00	朝延長開始
8:30	順次来所
9:30	宿題
10:30	戸外遊び・室内遊び・集団遊び
12:30	昼食
13:00	室内遊び
14:30	戸外遊び・室内遊び・イベント等
16:00	おやつ 戸外遊び・室内遊び
18:00	延長保育開始
19:00	保育終了

2022年度 年間行事報告

月 日	行 事 名	人数
4月13日	1年生を迎える会	9
4月27日	されだに学童クラブ運営委員会	13
5月11日	子供の日お楽しみ会	9
6月8日	プレゼントを作ろう	9
7月20日	ランチを楽しもう	10
8月5日	夏休みを楽しく過ごそう	5
9月1日	誕生会	3
10月13日	一足早いハッピーハロウィン	7
10月15日	郊外活動「空の日フェスタ 2022」	7
10月29日	交流遠足 今治・新居浜	6
11月1日	風のゲルニカ	6
11月29日	クリスマスリースを作ろう	中止
12月23日	誕生会	10
1月10日	みんなで会食 お正月	8
1月26日	誕生会	8
2月11日	誕生会	8
3月11日	映画鑑賞・楽しいことをしよう。	8

2022年度 研修報告

日 付	研修内容	参加者
1月30日	2022年度 児童館・児童クラブ関連機関職員研修会	2名

2023年4月21日

2022年度 上灘学童クラブ事業報告書

1 施設の目的

共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、放課後等に適切な遊び、生活の場を与えて、その健全育成を図ることを目的とした事業。(小学校6年生までが対象)

2 事業実績

2022年4月は各定員 33名

3 2022年度 職員動向等

(1) 職員総数：4名

- (イ) 常勤職員：0名
- (ロ) 非常勤：4名
- (ハ) 異動職員：0名

(2) 職員採用状況

児童数の増加、学校休業日に対応する為、職員需要に応じた配置を検討し、随時採用

(3) 各種会議

- (イ) 責任者会議：毎月1回
- (ロ) 職員会議：毎月1回
- (ハ) 苦情会議：不定期

(4) 利用児童数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
10	10	13	9	14	13	13	13	13	12	13	14

4 児童クラブの方針

- 基本的な生活習慣を家庭と一緒に築いていく。
- 個々のやりたいことを達成できる伴走者となる。
- 地域の人・自然との関わりをもち、感謝の心を育てる。

5 事業所について

(1) 開所日

原則として月曜日から土曜日。開所日数は1年につき250日以上

(2) 開所時間

小学校の授業がある日：下校時(概ね午後1時30分)から午後6時まで

小学校の授業の休業日：午前8時から午後6時まで

※参考：早朝(長期休暇中又は土曜日のみ)7~8時、夕方18~19時

(3) 閉所日

日曜日・国民の祝日・お盆・12月29日から翌年の1月3日

(4) 保護者負担金

通常利用者は月額 3,000 円／1 人と月額 5,000 円／1 人 (7・8 月分)

長期休暇期間のみ利用者は夏休み期間中 (2 ヶ月分) 10,000 円／1 人、春・冬休み期間中はそれぞれ 4,000 円／1 人

6 その他

(1) 健康管理

職員定期健康診断：年 1 回 (12 月実施)

保菌検査：年 2 回

(2) 非常災害危険防止

避難・不審者訓練：毎月実施

(3) プログラミング

職員研修：1 回

児童向け研修

プログラム

時間	活動内容(平日)
下校時間	下校後、着替え、宿題・室内遊び
16:00	おやつ
16:15	宿題、室内遊び・戸外遊び
18:00	延長保育開始
19:00	保育終了

時間	活動内容(学校休業日)
7:00	朝延長開始
8:30	順次来所
9:30	宿題
10:30	戸外遊び・室内遊び・集団遊び
12:30	昼食
13:00	室内遊び
14:30	戸外遊び・室内遊び・イベント等
16:00	おやつ 戸外遊び・室内遊び
18:00	延長保育開始
19:00	保育終了

2022年度 年間行事報告

月 日	行 事 名	人 数
4月1日	一年生歓迎会・避難訓練	学童クラブ
4月20日	すごろく広場	学童クラブ
5月6日	トランプまつり	学童クラブ
5月18日	魚釣り大会	学童クラブ
6月1日	パズルにチャレンジ	学童クラブ
7月6日	七夕まつり	学童クラブ
7月20日	誕生日会	学童クラブ
8月25日	サマーフェスティバル	学童クラブ
8月31日	スーパーウエズデー	学童クラブ
9月22日	お誕生日会	学童クラブ
10月26日	ハロウィンパーティー	学童クラブ
11月1日	くじらゲルニカ	学童クラブ
11月22日	お誕生日会	学童クラブ
12月21日	クリスマス会	学童クラブ
1月18日	お誕生日会	学童クラブ
1月26日	魚釣り大会	学童クラブ
2月2日	節分豆まき	学童クラブ
3月2日	お誕生日会	学童クラブ
3月23日	春の遠足	翠地区方面
3月30日	お菓子狩り	学童クラブ

2022年度 研修報告

日 付	研修内容	参加者

※コロナウイルス対策の為、今年度の外部研修はなし

2023年4月21日

2022年度 下灘学童クラブ事業報告書

1 施設の目的

共働き家庭など留守家庭の小学校に就学している児童に対して、放課後等に適切な遊び、生活の場を与えて、その健全育成を図ることを目的とした事業。(小学校6年生までが対象)

2 事業実績

2022年4月は各定員 33名

3 2022年度 職員動向等

(1) 職員総数： 4名

- (イ) 常勤職員： 0名
- (ロ) 非常勤： 4名
- (ハ) 異動職員： 0名

(2) 職員採用状況

児童数の増加、学校休業日に対応する為、職員需要に応じた配置を検討し、随時採用

(3) 各種会議

- (イ) 責任者会議： 毎月1回
- (ロ) 職員会議： 毎月1回
- (ハ) 苦情会議： 不定期

(4) 利用児童数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	12

4 児童クラブの方針

- 基本的な生活習慣を家庭と一緒に築いていく。
- 個々のやりたいことを達成できる伴走者となる。
- 地域の人・自然との関わりをもち、感謝の心を育てる。

5 事業所について

(1) 開所日

原則として月曜日から土曜日。開所日数は1年につき250日以上

(2) 開所時間

小学校の授業がある日：下校時(概ね午後1時30分)から午後6時まで

小学校の授業の休業日：午前8時から午後6時まで

※参考：早朝(長期休暇中又は土曜日のみ)7~8時、夕方18~19時

(3) 閉所日

日曜日・国民の祝日・お盆・12月29日から翌年の1月3日

(4) 保護者負担金

通常利用者は月額 3,000 円／1 人と月額 5,000 円／1 人 (7・8 月分)

長期休暇期間のみ利用者は夏休み期間中 (2 ヶ月分) 10,000 円／1 人、春・冬休み期間中はそれぞれ 4,000 円／1 人

6 その他

(1) 健康管理

職員定期健康診断：年 1 回 (12 月実施)

保菌検査：年 2 回

(2) 非常災害危険防止

避難・不審者訓練：毎月実施

(3) プログラミング

職員研修：1 回

児童向け研修

プログラム

時間	活動内容(平日)
下校時間	下校後、着替え、宿題・室内遊び
16:00	おやつ
16:15	宿題、室内遊び・戸外遊び
18:00	延長保育開始
19:00	保育終了

時間	活動内容(学校休業日)
7:00	朝延長開始
8:30	順次来所
9:30	宿題
10:30	戸外遊び・室内遊び・集団遊び
12:30	昼食
13:00	室内遊び
14:30	戸外遊び・室内遊び・イベント等
16:00	おやつ 戸外遊び・室内遊び
18:00	延長保育開始
19:00	保育終了

2022年度 年間行事報告

月 日	行 事 名	人数
4月22日	ようこそ1年生おやつ	学童室
5月18日	リクエストおやつ	学童室
6月1日	リクエストおやつ	学童室
6月6日	シーサー作り NO 弁当 DAY	小会議室・学童室
6月29日	リクエストおやつ	学童室
7月4日	避難訓練	学童室～ 小学校
7月20日	NO 弁当 DAY	学童室
7月26日	NO 弁当 DAY・リクエストおやつ	学童室
8月	風鈴絵付け	学童室
8月2日	海水浴・NO 弁当 DAY	青石海岸・学童室
8月9日	夏祭り・NO 弁当 DAY	児童室・学童室
8月18日	NO 弁当 DAY	学童室
8月23日	みんなくるがやって来る！・NO 弁当 DAY	学童室
8月31日	NO 弁当 DAY	学童室
9月14日	リクエストおやつ	学童室
9月27日	遠足	えひめこどもの城
10月12日	リクエストおやつ	学童室
10月31日	ハロウィンパーティー	学童室
11月1日	くじらゲルニカ (風車作り)	学童室
11月16日	リクエストおやつ	学童室
11月30日	リクエストおやつ	学童室
12月	クリスマスリース作り	学童室
12月14日	リクエストおやつ	学童室
12月21日	リクエストおやつ	学童室
1月	絵馬作り	学童室
1月6日	お楽しみ会・NO 弁当 DAY	学童室
2月3日	節分おやつ	学童室

2022年度 研修報告

日 付	研修内容	参加者

※コロナウイルス対策の為、今年度の外部研修はなし

2022年度 放課後等デイサービスくじら事業報告書

2023年4月21日

【放課後等デイサービスくじらの運営】

1 施設の目的

「あきらめないでチャレンジする子ども」、「自分、仲間を大切にする子ども」の育成を目指し、保護者、地域との連携を図りながら、個々の特性に応じた支援を探り、心身共に健康な成長をサポートすること、また、障がいの特性上生活経験が乏しい子ども達に対して、事業所内外で仲間と協力しながら様々な活動を行う中で社会性を育てていくこと、子育てに対する不安の多い保護者が安心して子育てできる環境を作ることを目標とした。

2 事業実績

今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症対策を取りながら過ごす1年となった。感染者数の増加に伴い、事業所の利用者や職員の感染者も増え、通常通りの運営が困難になり閉所せざる終えない時もあったが、保護者、関係機関との連絡調整を行い、信頼関係を維持する事ができた。

今年度は、事業所外での活動についても、感染状況に応じた方法で、可能な限り実施した。2年ぶりに保護者参加の夏祭りも実施し、保護者にも子ども達の用意したゲームで楽しんでいただく事ができた。買い物学習や公園遊びも実施機会を増やした。

利用者については学校での問題行動のため特別な配慮が必要になった事例や不登校などへの新たな対応が必要になった。

保護者との懇談については、感染対策を取りながら実施した。デイと家庭、学校での様子を伝え合い、活動への理解を図った。特に配慮の必要な利用者については保護者だけでなく、相談員、学校との連絡の機会を密にした。

職員に対しては、資格取得のための研修会への参加、YouTube 動画による法人研修及び外部機関の研修の機会を提供する事ができた。

3 2022年度職員動向

(1) 職員総数 7名

常勤職員：3名

非常勤職員：3名 + 1名（長期休業期間のみの勤務）

(2) 職員採用状況

新たな採用はなかった。

(3) 各種会議

職員会議：月1回

ミーティング：適宜

伊予市相談支援等事業者定例会：隔月1回

愛媛県発達支援通園事業連絡協議会：動画による研修、会議へ参加

(4) 職員研修（別表1「2022年度 研修報告」参照）

(5) 職員健康管理

定期健康診断：年1回（個別又集団検診）

検便：年2回

4 契約者状況

(1) 契約者動向 (2022年4月1日～2023年3月31日)

学年		月											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小学生	1年	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	2年	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	3年	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	4年	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	5年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	6年	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
中学生	1年	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	2年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
高校生	1年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2年	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	3年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		26名	27名	26名	26名	26名	26名	26名	26名	26名	26名	26名	26名

(2) 利用者数状況 開所日数 288日/ (2022年4月1日～2023年3月31日)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日	25	23	26	25	22	22	26	24	24	23	22	26	288
利用者数 授業日	137	168	195	113	0	170	176	179	111	150	174	165	1738
利用者数 休業日	91	37	40	104	203	43	56	39	65	65	33	81	857
計	228	205	235	217	203	213	232	218	176	215	207	246	2595
送迎	308	298	324	288	247	329	345	339	263	338	335	370	3784

5 活動状況

(1) サービス内容

① 目標

- ・あきらめないでチャレンジすることも
- ・自分、仲間を大切にすることも

② 活動内容 (別表2「2022年度 年間行事報告」、別表3「デイリープログラム」参照)

- ・学習、工作等の個別活動、ゲーム等集団活動を事業所内で提供した。園庭でのゲーム活動も積極的に取り入れた。事業所外活動は新型コロナ感染状況に注意しながら、買い物学習、

公園遊びを行った。

- ・ 個別支援計画に基づき、個々に応じた支援をし、成長をサポートした。
- ・ 保護者との懇談、連絡ファイル等を利用し、情報共有を行い、連携を図った。特別な配慮が必要な利用者についてはケース会議への参加、相談員、保護者との話し合いの機会を持った。

あ) 個別活動

<宿題・課題学習>

- ・ 見やすい、取り掛かりやすい教材を用意し、学習習慣をつけるサポートを行った。時刻を決め、取り組み、目標内容を終える事ができた。
- ・ 言語発達の遅れが顕著な子どもが増え言語獲得をサポートする課題、ゲーム活動を取り入れた。文字への興味、発語意欲を育てる事ができた。
- ・ 不登校のため学習に遅れが出ている子どもへのサポートも必要になった。学習への意欲が見られるようになった。

<工作>

- ・ 季節に応じた作品や遊びの道具作りなど様々なテーマで行った。興味を持ち参加し、自分の作りたい物を指導員と話し合いながら創作活動を楽しめた。
- ・ 安全な道具の使い方を指導した。
- ・ 触覚過敏な子ども達に配慮した材料を提供し、改善を図った。
- ・ 手先の訓練等にも配慮した課題設定を行い、向上を図った。

い) 集団活動

<事業所内活動>

- ・ ゲーム活動では、みんなで楽しく参加できる内容を用意し、指示を聞き、ルールに従って行動する練習を行った。疑問や不安は質問し解決する事、タイミングを考え発言する事についても練習した。
- ・ 言語獲得の遅れから言葉で気持ちを伝える事が苦手な子どもが増えた。場面ごとに言葉の使い方を指導し、友達と仲良く過ごす練習を続けた。
- ・ 夏祭りやクリスマス会などの行事では個々の役割を果たす事や友達と話し合いながら協力する練習を行った。仲良く活動する姿が見られた。

<事業所外活動>

- ・ 感染防止のためのルールを指導しながら公園遊びを行った。ルールを守り行動できた。安全な遊具の使い方を考え、他の利用者への配慮もしながら楽しく活動できた。
- ・ 感染防止のためのルールを指導しながら買い物学習を行った。施設でのルールを守り行動できた。目的の品物を購入、支払うお金の使い方の練習ができた。

<園庭遊び>

- ・ 学校がお休みの日には、体を思い切り動かすことができる運動遊びを行い、子ども達が楽しみにする時間となった。縄跳びやドンジャン、鬼ごっこなどを行い、ルールを守り活動する事を大切にした。

う) 個別支援計画

- ・ 保護者との懇談、指導員の意見等に基づきモニタリング、アセスメントを行い、計画書の作成に努めた。
- ・ 相談支援専門員との情報共有にも努めた。

え) 保護者との連携

- ・ 事業所の感染防止対策や感染状況を知らせ、安心して利用を継続していただける

事業所を目指した。

- ・ 感染対策を取りながら、懇談の機会をもった。事業所、家庭、学校の様子を確認し合い、よりよい支援を検討する事ができた。

(2) サービス提供時間

平日（学校授業日）：下校時刻～18時30分まで

土曜日、長期休業等（学校休業日）：9時～17時まで 延長支援体制を整えた。

(3) 非常災害危険防止等、防災訓練の実施状況

火災訓練：7/22

12/9 グループホームと合同で夜間実施 デイは職員のみ参加した。

1/12 消火器の使い方の確認をした。

地震訓練：1/28 非常時体験も合わせて実施。 非常用トイレについて学習した。

おやつにはカンパンを試食した。

不審者訓練：3/31

訓練に対して緊張感がなかったり、状況に気づけなかったりする子どももいたが、全体では、指導員の指示に従い、落ち着いて集団行動がとれた。

指導員は各自の役割を確認できた。

(4) 実地指導

1月20日、愛媛県地域福祉課による指導を受けた。

2022 年度 研修報告

日付	研修内容	参加者
10/9	特別支援教育理解フォーラム	権名津
10/14	第 3 回伊予市障害福祉サービス等事業者研修会	権名津
11/16	第 4 回伊予市障害福祉サービス等事業者研修会	向井
11/23	第 1 回愛媛発達支援通園事業連絡協議会	山下
12/6	法人研修「困った子どもの対応」	猪石
12/16	愛媛県障害者虐待防止研修	野本
12/22・23	愛媛県サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者実線研修	門田
1/12	虐待防止研修（事業所内） ・虐待についての理解の確認	全職員
2/4	愛媛発達支援通園事業連絡協議会 職員研修	山下
3/30	第 3 回発達障がい支援者研修会	門田

2022 年度 年間活動報告

月	事業内容
4	工作（馬のおもちゃ、イースターエッグ、メモスタンド、ピタゴラスイッチ）ゲーム（ドンジャン、風船遊び、言葉探し、縄跳び、だるまさんがころんだ）
	事業所外活動：買い物学習（パン）、公園遊び
5	工作（こいのぼり、風車）ゲーム（転がしドッジ、風船遊び、言葉探し、縄跳び）
	事業所外活動：公園遊び2回
6	工作（あじさいとかたつむり、てるてる坊主とかさ、鳥かご、洗濯もの）ゲーム（風船遊び、言葉探し、ミニサーキット、縄跳び等）
	事業所外活動：買い物学習（パン、おやつ）
7	工作（七夕飾り、朝顔、シーサー、セミ、夏まつり準備）ゲーム（風船遊び、言葉探し、ミニサーキット、縄跳び等）

	夏祭り : 保護者参加。2日に分け実施 (お店屋さんごっこ)
	事業所外活動: 公園遊び
	避難訓練 : 火災
8	工作 (水族館、シャボン玉遊び、ジオラマ、ステンドグラス、トンボ、紅葉、水鉄砲) ゲーム (風船遊び、色々鬼ごっこ等)
	映画鑑賞 : 事業所内に変え実施。
9	工作 (月見うさぎ、いがぐり、さんまの塩焼き、かかし) ゲーム (ジャンボ風船遊び、ぐねぐねドンジャン、ミニサーキット、色々鬼ごっこ等)
	事業所外活動: 買い物学習 (パン、おやつ)
10	工作 (ハロウィン飾り、蜘蛛の巣) ゲーム (ぐねぐねドンジャン、ミニサーキット、ミニサーキット、色々鬼ごっこ等)
	ハロウィンパーティー : 仮装衣装作りと発表会、クイズ、プレゼント
	事業所外活動: 公園遊び2回
11	工作 (はりねずみ、みのむし、きのこハウス、ゲルニカ) ゲーム (ぐねぐねドンジャン、新聞遊び、ミニサーキット、色々鬼ごっこ等)
	事業所外活動: 公園遊び
12	工作 (クリスマスリース、スノーマンライト、ブーツ、干支) ゲーム (新聞遊び、ミニサーキット、色々鬼ごっこ等)
	クリスマス会: 保護者参加なし。2日に分け実施
	事業所外活動: 公園遊び
	避難訓練 : 火災 夜間にグループホームと合同で実施
1	工作 (干支飾り、鎌倉とペンギン、だるま、カップケーキ) ゲーム (新聞遊び、ミニサーキット、色々鬼ごっこ等)
	お正月遊び : 人間すごろく、紙相撲、ぶんぶんゴマ
	事業所外活動: 買い物学習 (おやつ)
	避難訓練 : 消火器訓練 地震 非常時体験
2	工作 (鬼風船、お菓子の家、梅とうぐいす) ゲーム (新聞遊び、ミニサーキット、色々鬼ごっこ等)
	節分遊び : 鬼の的当て
	事業所外活動: 買い物学習 (パン)
3	工作 (雛飾り、四つ葉のクローバー、カラフルイモムシ、アルバム) ゲーム (ロープ遊び、ミニサーキット、色々鬼ごっこ等)
	事業所外活動: お花見遠足、買い物学習 (おやつ)
	避難訓練 : 不審者

デイリープログラム

平日（学校授業日）

時間	活動内容（平日）
11:00	開所
下校時刻～	登所 おやつ 個別指導（宿題のサポート・課題学習） 自由遊び 工作活動 集団活動（ゲーム）
18:00	降所（送迎開始）
20:00	閉所

土曜日、長期休業等（学校休業日）

時間	活動内容（土曜日、長期休業等）
9:00	開所 送迎開始（9時以前の時間に利用が必要な家庭に対して延長支援） 連れて来られる方の受入 個別指導（宿題のサポート・課題学習）
12:00	昼食 工作活動 おやつ 集団活動（ゲーム）または公園等事業所外活動
17:00	降所（送迎開始）
18:00	閉所（18時以降の利用が必要な家庭に対して延長支援）

2022 年度 福岡児童心理治療施設 事業報告

2023 年 4 月 21 日作成

1. 施設の目的

児童福祉法（第 43 条の 2）による児童心理治療施設として、「家庭環境、学校における交友関係その他の環境上の理由により社会生活への適応が困難となった児童を短期間、入所させ、又は保護者の下から通わせて、社会生活に適応するために必要な心理に関する治療及び生活指導を主として行い、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うこと」を目的とする。

2. 2022 年度 事業実績

2021 年度中に施設の組織再編成を行い、児童相談所（以下：児相）との連携も見直すために **working team** を立ち上げ、業務の改善及び組織の見直しに着手した。

2022 年度は、治療構造の構築と児相との共同運用の改善に取り組んでいる。

治療構造の構築は、子ども達の治療のベースとなる「安心・安全」を軸に、小規模ユニットにおける治療構造の構築を行った。とりわけ、子どもの過ごし方や基本的なルールの見直し、子ども同士のバウンダリーの明確化などに重きをおき、施設全体のガイドライン（子どものルール）を作成している。

児相との連携については、**workingteam** を合同 **meeting** と名前を変え、児相・施設双方からメンバーを選出し共同運用の見直しを行っている。施設の治療の理解を深めるために、合同の研修会を開き、1 回は係長以上向けに、個別治療事例を基にした治療経過研修会、もう 1 回は双方のアセスメント技能向上を目的とした事例検討会を実施した。また、運営においては双方係長級以上が全員参加の連絡会の実施、現場レベルにおいては全入所児童に対しては、年 2 回の担当者会議を実施した。対象児童が明確化できたこともあり、入所児童が年度末には 15 名、通所児童 16 名となり、施設不適応による措置解除・変更もなく終えている。ようやく治療空間として安定し、治療成果も見られるようになっている。

行事・研修については、コロナのため大幅な変更を余儀なくされたが、研修自体は概ね充実した形ができたと考えている。また、研修受け入れについては、保育園の SV、福岡市内 SSW 及び児童養護施設へのコンサルテーション等を行った。

一方で一時保護ユニットを小学生低ユニットとして運営したため、一時保護委託を受けられない状況が生じた。今後は通常運用が行える状況を作る事が必要である。

3. 業務運営に関する特記事項

職員定数（2022年4月1日）

	施設長	副施設長	医師	セラピスト	看護師	指導員・保育士	家庭支援専門相談員	被虐待児個別対応職員	学習指導員	栄養士	調理員等	事務員	合計
定員	1	0	1	5	1	*21	1	1	1	1	4	1	38
現員	1	0	*2	6	1	22	1	1	1	1	4	1	43

・指導員5名は管理宿直（非常勤可）・医師2名は非常勤勤務

（2025年3月31日）・主任指導員兼務

	施設長	副施設長	医師	セラピスト	看護師	指導員・保育士	家庭支援専門相談員	被虐待児個別対応職員	学習指導員	栄養士	調理員等	事務員	合計
定員	1	0	1	5	1	*21	1	1	1	1	4	1	38
現員	1	0	*2	6	1	22	1	1	1	1	4	1	43

4. 入所定員及び措置報告

措置・委託定員：入所 20 名・通所 15 名・一時保護委託 5 名

イ) 入所措置報告

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
各月初日 在籍児童数	10	10	10	12	12	12	13	13	15	15	15	16	12.75
各月 入所児童数	1	0	1	1	0	1	0	2	0	0	1	1	合計 8
各月 退所児童数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	合計 3

ロ) 通所措置報告

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
各月初日 在籍児童数	12	12	12	12	12	13	14	14	14	14	15	15	13.25
各月 開始児童数	1	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1	0	合計 6
各月 解除児童数	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	合計 2

ハ) 年齢構成（入所児童のみ）（2023年3月31日現在）

	幼児	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2
人数(名)		2	3			3	1	2	1
	中3	高1	高2	高3	16歳	17歳	18歳	19歳	合計
人数(名)	3								15

ニ) 一時保護委託報告

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
委託件数	3	2	2	2	1	1	0	1	1	1	1	1	1.3
委託日数	15	54	48	4	25	6	0	9	6	6	28	21	18.5

※委託日数は延べ日数

5. 学校教育状況

令和3年度、院内学級扱い（当仁中学校・南当仁小学校）として、中学校教員1名、補助員1名、小学校教員1名、補助員1名が公教育の保証を行った。

年度の後半、小学生児童の入所が多くなり8名を超える状態になったため、学級が成り立たず、子どもの登校を制限せざるを得ない状況が生じた。教育保証が行えない状態であり、対策が急務である。

中学生は3名の卒業生があり、高校進学等いままで施設が体験していないことが生じており、児相とも進学の共有が難しい側面が露呈した。今後は担当者会議と連動して進路選択が行えるような工夫が必要である。

6. 運営に関する業務

1) 生活指導

- ・児童のトラウマや生活リズム確立のための治療的日課構造での生活治療を実施した。
- ・対人関係修復のためのコミュニケーションに関わる治療を実施した。
- ・各児童の治療課題や負因に伴う、行動面への治療的対応及び生活指導を実施した。

2) 心理面接治療

イ) 入所児童：児童1名に対し、週1回（1セッション50分）を実施した。

プレイセラピー・言語面接・箱庭療法等を実施した

ロ) 通所児童：児童1名に対し、週1回～2回（1セッション60分）を実施した。

・在宅児童：毎週1回（60分）

A：言語面接及び作業療法を児童に行った。

B：家族から家庭の生活状況を聞きとり調整した。

C：学校との調整を行った。

D：緊急時の電話対応及び家庭訪問を実施した。

・2重措置児童：毎週（2週）1回（1セッション60分）

A：言語面接及び作業療法を児童に行った。

B：施設職員から生活状況を聞きとり調整した。

C：施設内のSVを行った。（環境調整）

D：学校への指導を行った。

3) 医師診察

- ・隔週で児童の診察実施。児童1名、月1～2回実施した。
- ・他医療機関と連携し、薬物療法を実施した。

4) 親子関係再構築支援（家庭環境調整含む）

- ・入所児童に対し、家庭訪問の実施、外泊・外出に伴う調整を行った。
- ・母親の家庭状況と児童への関わり方における調整を行った。

5) 食事の提供

入所児童への3食の提供、一時保護所への食事提供を行った。

6) クラブ活動

- 絵画療法クラブ… 児童1名に対し、定期的に実施した。
- 音楽療法クラブ… 児童2名に対し、週1回実施した。
- 農園芸くらぶ … 児童3名に対し、定期的に実施した。

7. 行事報告

今年度より、小規模ユニットにおける治療構造の構築を行った為、行事もユニット単位で実施している。

月	活動（内容・対象・参加人数）
4	
5	キャンプ活動（3人）
6	野球観戦（12人）
7	野球観戦（12人）
8	
9	キャンプ活動（3人）・野球観戦（12人）
10	キャンプ活動（3人）
11	
12	クリスマス会（15人）
1	
2	園外活動（15人）
3	

以上

2023年4月21日

グループホーム伊予くじら

2022年度事業報告書

1 施設の運営方針

入居者が、地域において共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入居者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じ、共同生活において入浴、排せつ、食事、その他日常生活上の支援や相談を適切かつ効果的に行うことを目的とした。

2 事業実績

コロナの影響で、なかなか対外活動もできない1年でしたが、新しい利用者の方も入り、一人一人が自立できるように生活の支援を行うことを心がけることができました。また、問い合わせや、体験利用なども少しずつ増えてきております。新しく入った方にも、それぞれの対応ができ、日々様々な問題が起きますが、対処して前向きに成長できるよう、支援ができていっていると思われます。

コロナウイルスなどの感染予防にも努め、健康管理にも配慮することができました。

日々元気で健康でいる為にも、食べることの大切さを職員一同、心にとめ、美味しい食事の提供と日々の健康管理、薬等の管理、またホーム内の衛生管理等に十分配慮して活動ができています。

3 2022年度職員の設置状況

職種	員数	常勤		非常勤		常勤 換算
		専従	兼務	専従	兼務	
管理者	1	0	1	0	0	1
サービス管理責任者	1	0		0	0	1
世話人	4	0	0	3	1	0.9
生活支援員	1	0	0	0	1	0.4
宿直専門員	1	0	0	2	0	—

4 定員及び入居者数

共同生活援助：定員（10名）

2022年4月1日～2023年3月31日までの開所日数及び利用延べ人数															平均 実利用者数
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計		
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365		
障害 支援 区分	1以下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	60	62	60	62	32	30	31	30	51	62	56	62	598	
	3	30	31	30	31	31	30	31	30	31	58	56	62	451	
	4	30	31	30	31	31	30	31	30	2	0	0	0	246	
計	120	124	120	124	94	90	93	90	84	120	112	124	1,295	4	

短期入所:定員（1名）

2022年4月1日～2023年3月31日までの開所日数及び利用延べ人数															平均 実利用者数
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計		
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365		
人数	2	2	4	6	6	6	2	4	0	2	4	2	40	0.1	

体験利用

2022年4月1日～2023年3月31日までの開所日数及び利用延べ人数															平均 実利用者数
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計		
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365		
利用日数	0	0	0	0	0	0	10	10	10	0	0	0	30	0.1	
人数	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	4	0.1	

5 支援内容

(1) 利用者に対するアセスメント・個別支援計画

個別支援計画を作成する前提とし、入居者の状況、ニーズなどを的確に把握するためアセスメントを行い、共同生活援助住居においての相談などを密にできるように努め、また家族等とも連絡をとりあい、生活の質の向上に努めました。

(2) 家事等の日常生活上の支援

入居者の家事等は、将来を見据え、なるべく自活できるよう、相談、助言を行いました。また、日常生活上の問題点等を解決できるよう、職員間でのミーティングを毎月定期的に行いました。

(3) 心身の状況等の把握、健康管理

入居者の心身の状況、その置かれている環境、他の保険医療サービス又は福祉サービスの利用状況の把握に努めました。また毎日の体調や気分不良等を確認し、不調などへの対応、申し送り、連絡を行い、職員間での共同問題、問題解決に努めました。

(4) 金銭管理、買物支援

小遣い、買い物等に係るお金の出し入れは、常に間違いのないよう、立会人の下、預り金の出し入れを行い、確認、記帳を行いました。管理責任者が通帳と印鑑を管理し、会計責任者に金銭の出し入れ管理をする。日常の軽微な金銭管理は、鍵付ロッカーと金庫で施錠管理を徹底した。また、買物等利用者の要望に沿った支援を行いました。

(5) 食事の提供

利用者の好みや要望も取り入れながら、栄養バランスのとれた食事となるよう世話人が献立を作り提供した。入居者の体調や血圧、血糖値が正常に保たれるよう食事の量や栄養価などにも考慮して、さらに味も美味しくできるよう努め、利用者の意見も聞きながら、とても満足のいく食事提供ができた。

(6) 入居者の人権とプライバシーの保護

入居者の生活のすべての面で、個人情報保護法に基づいた権利を確保し、人権が尊重されるような体制をとった。また、新しく入った職員にもその人権とプライバシーの保護の重要性を伝えて、実施することができた。

(7) 地域との連携や交流

地域との連携の為、地域での奉仕活動や、行事等への参加を積極的に行い、地域との交流をより深め、事業への理解と関心を持って頂くことができるよう努めました。

(8) 余暇活動支援

入居者の意見を取り入れ、誕生日会等を行った。コロナの影響で行事やイベントへの参加が少なかった。今後もそれぞれの希望を聞きながら、入居者が楽しめる支援を提供できるよう努めていくこととしました。

(9) 苦情解決・情報の保護

入居者及びその家族等から苦情問題が発生した場合には、迅速かつ適切に対応を行うよう努めました。本年度の苦情件数は0件。

(10) 緊急時及び防災時及び管理体制強化

緊急時体制表を作成し、いざとなったときに慌てず落ち着いた対応ができるように体制構築に努め、職員間でも日頃より連携を深めるよう、毎日の連絡をこまめにし、日頃よりコミュニケーションをとるよう心掛けている。

(11) サービスの向上

定期的に関係者と連絡をとりあい、職員間の申し送りやケース検討を行い、ミーティングを毎月行い、職員の質向上とコミュニケーションを図り、問題が起きても早急に解決できるように努めた。また、障がいを持たれている方の特性を理解した支援ができる

ように話し合いや勉強会を行った。

(12) 併設施設等との連携

併設された、放課後デイサービスや隣の保育園とも普段より、あいさつやコミュニケーションを丁寧にして、問題等あればすぐに相談をして、問題解決に努めた。

2022年度 児童発達支援センター伊予くじら事業報告書

児童発達支援センター（児童発達支援事業・保育所等訪問支援事業・障害児相談支援）の運営

1、施設の目的

児童発達支援センター伊予くじらでは、「一人ひとりを大切に」を合言葉に、子どもへの支援、家庭への支援を行います。育ちや発達に不安やゆっくりさのある子ども達の「育てにくさ」を家庭と共有し、保護者に寄り添う支援を行うことにより、育児不安を解消し、親子関係が良好になり、安心して生活ができる基盤を作ること为目标にしています。

また、発達障害のある子ども達は、幼少期より失敗を繰り返すことが多く、自己肯定感が低くなる場合があります、早期療育によって一人ひとりのニーズに合った支援を行い、成功体験を積むことで将来に渡って豊かな心で生活する力を育む支援に取り組んでいます。今年度も、日常生活の細かな事柄を丁寧に支援し、子どもと保護者にかかわることを心掛けて運営を行いました。

(1) 所在地 愛媛県伊予市上吾川甲 1038-3

(2) 定員等

①児童発達支援事業 定員30名（3月31日時点予定児童数は下記のとおり）

区分	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
毎日通園	0	10	10	1	21
並行通園	0	6	4	4	14
親子通園	2	1	0	0	3
合計	2	17	14	5	38

②保育所等訪問支援予定件数 8件/月

③障害児相談支援予定件数 30件/月

(3) 職員定数

管理者（常勤）	1名（保育所等訪問支援・障害児相談支援兼任）
児童発達支援管理責任者（常勤）	1名（保育所等訪問支援兼任）
保育士（常勤）	5名
保育士（非常勤）	4名（うち1名保育所等訪問支援兼任）
児童指導員（常勤）	1名
児童指導員（非常勤）	1名
看護師（常勤）	1名
言語聴覚士（常勤）	1名
心理判定員（非常勤）	1名
作業療法士（非常勤）	1名
調理員（常勤）	1名
運転手兼児童指導員（非常勤）	2名
計	20名
相談支援専門員（常勤）	2名（障害児相談支援）
合計	22名

(4) 事業開始年月日 2020年11月1日

2 療育計画

(1) 療育方針：1人ひとりの特性やニーズに合わせた個別的な支援を行います。

- ①集団の中で活動し、成功する楽しさや「できる」満足感を味わい、生きる力を育てます。
- ②生活の中で言葉と動作を結びつける活動を通して、コミュニケーションの力を育てます。
- ③遊びや運動を通して子どもの発達を育みながら、親子のかかわりを支援し、心の安定を図ります。

(保育所等訪問支援)

- ・保育所や幼稚園と連携をし、地域の療育の力の向上に努めます。

(親子通園)

- ・早期療育により、地域の幼稚園、保育園への就園を支援します。今年度の親子通園利用児のうち、就園年齢の5名は全員、毎日通園、並行通園につながりました。

(障害児相談支援)

- ・地域の障がい児により良い福祉を提供するための計画相談を行います。

(移行支援について)

- ・地域の幼稚園、保育園、こども園と連携しながら、利用児が地域で豊かに育つための支援を行います。
- ・保育所等訪問支援を活用し、園での支援内容を確認しながら、園、家庭、センターとの一貫したよりきめ細やかな支援の提案を行います。
- ・毎日通園する利用児の成長を支援し、各年齢、発達段階を見極めたうえで、一人ひとりの子どもが本来持っている力を丁寧に育てます。その中で、段階に応じて、保護者と相談しながら、地域の幼稚園、保育園、こども園への移行を進めます。

(保護者支援)

- ・就学児対象の勉強会を伊予市教育委員会の巡回相談員2名を招いて開催しました。
- ・関係機関への同行を行い、情報の共有とよりよい支援に努めています。
- ・子どもへのかかわり、生活の上での困りごとの相談を受け、家庭生活の支援を行いました。
- ・今後、ペアレントトレーニングの勉強会を開催する予定。

(2) 行事予定 (毎月：誕生会 ※新型コロナ対応のため、実施時期等変更の場合あり)

4月：入園式 6月：参観日 7月：七夕 8月：夏祭りごっこ、くじらゲルニカ、里帰り保育、わくわくじらサマー (年長児対象)

10月：秋の遠足、運動会、クッキング 11月：創立記念日、12月：クリスマス会

2月：節分、お店屋さんごっこ 3月：ひな祭り会、お別れ会、春の遠足、卒園式

(3) 給食に対する取組

自園調理・アレルギー対応食・手作りおやつ・離乳食・食育活動

- ・開園当初より、夏野菜などを育て、側への関心を育てています。
- ・発達の特性 (過敏さやこだわり) により、食べられないものが多い子どもへの食事の

支援、家庭への助言を行っています。

- ・定期的に保護者からのリクエストに応じて、調理員が給食だよりを発行しています。
- ・「くじらランチ」として、ブログに写真を公開しています。

(4) 健康管理

身体計測・内科検診・歯科検診

(5) 安全管理

避難訓練・防災訓練・防犯訓練

3 営業日・時間等

(1) 営業日 月曜日～金曜日

(2) 営業時間 午前8時00分～午後5時00分まで

(3) サービス提供時間 午前10時00分～午後3時00分まで

4 職員名簿(22名)

職名	福祉関係	資格
管理者	14年	有(児発管・保育士)
児童発達支援管理責任者	28年	有(児発管・保育士)
相談支援専門員	8年	有(相談支援専門員・保育士)
保育士	11年	有(保育士)
保育士	11年	有(保育士)
保育士	8年	有(保育士)
保育士	3年	有(保育士)
児童指導員(非常勤)	24年	有(児発管・社会福祉士)
保育士(非常勤)	11年	有(保育士)
児童指導員(非常勤)	1年	有(児童指導員)
保育士(非常勤)	24年	有(保育士)
保育士(非常勤)	9年	有(保育士)
保育士(非常勤)	11年	有(保育士・調理師)
言語聴覚士	6年	有(言語聴覚士)
作業療法士(非常勤)	39年	有(作業療法士)
心理判定員(非常勤)	11年	有(認定心理士)
看護師	6年	有(看護師)
調理員	15年	無
運転手兼児童指導員(非常勤)	2年	有(幼稚園教諭)
運転手兼児童指導員(非常勤)	39年	有(児童指導員)
相談支援専門員	24年	有(相談支援専門員)
事務員	0年	無

職員動向

(1) 途中退職者1名(事務) 中途採用者 保育士2名、事務1名

(2) 職員研修

- ① 正規職員が集まる終礼で事例検討を行い、短時間勤務の職員と共有している。
- ② 法人研修に参加した職員が伝達講習を行う。

- ③ 月に 1 回、松山市の畑寺児童館で行われるムーブメントの実践研修への職員参加を行い、現場での取り組みに活かしている。
- ・実績として、 相談支援専門員の資格取得者 1 名、児童発達支援管理責任者実践研修修了者 1 名、児童発達支援管理責任者初任者研修修了者 1 名

4 資金計画

別添収支予算書のとおり。

児童発達支援センター運営のための通常経費は、国・県・市町からの運営費収入。

5 その他

○トイレの改修

○遊具の整備

センターを開設し、受託運営 5 年目の年が終了した。昨年に引き続いての新型コロナ禍ではあったが、感染予防をしながら、各事業を実施し、地域の方々に包括の周知を行いつつ、認知症になっても安心して暮らせる伊予市にするための活動を展開した。

1. 介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 介護予防ケアマネジメント

要介護認定において、要支援 1・2 と認定された方及び事業対象者に対し、介護予防サービスが適切に確保されるように、具体的に介護予防・生活支援サービス事業などの利用について検討し、ケアプランの作成、関係機関との連絡、調整を行った。

一部については、継続的な支援の確保を目的として、居宅介護支援事業所へ業務委託を行っている。

介護予防ケアプラン数 6,122 件

介護予防支援 3,891 件(内委託件数 1,197 件)

介護予防ケアマネジメント 2,231 件(内委託件数 699 件)

(2) 一般介護予防事業

65 歳以上の全ての高齢者を対象に、現在の健康状態を維持し、介護を必要としない状態を保つように介護予防に関する事業を実施した。

24 回実施 延べ 319 人参加

<保健師等が実施した介護予防教室>

月日	実施グループ	内容	参加人数
4 月 20 日	三島町延寿クラブ	認知症講話・レク	13
5 月 16 日	いきいきサロン本郷	免疫について・笑いヨガ	7
5 月 17 日	ふれあい本郷	健口体操と栄養	10
5 月 18 日	米湊港寿会	認知症講話・レク	26
5 月 20 日	サロンまつもと	健口体操と栄養	10
5 月 25 日	リバーサイドサロン	免疫について・笑いヨガ	10
6 月 6 日	いきいきサロン本郷	フレイル・笑いヨガ	8
6 月 8 日	リバーサイドサロン	フレイル・笑いヨガ	10
6 月 13 日	ふれあいサロン幸寿会	健口体操と栄養	7
6 月 24 日	稲荷ナンクルナイさいいきいきサロン	認知症講話・認知症予防 DVD デモ	8
7 月 20 日	三島町延寿クラブ	認知症ケアパス・レク・コグニサイズ	16

7月25日	西野スマイルクラブ	健口体操と栄養	10
9月27日	新屋敷いきいきサロン	健口体操・栄養講話・認知症予防レク	8
10月20日	伊曾能いきいきサロン	お口の健康について・笑いヨガ	17
10月21日	平成寿学級	認知症講話・笑いヨガ	58
10月25日	伊予地区精神保健ボランティアグループ「しおさい」	伊予市地域包括支援センターについて	17
10月29日	サロンてまり	介護保険について	8
11月10日	サロンまつもと	高血圧・ヒートショック・脳トレ	9
1月13日	野中支館高齢者教室(野中老人クラブ)	高血圧・心不全・脳トレ体操	14
1月26日	上野体操クラブ	体操(脳トレ・みかん丸体操)	11
1月27日	上吾川老人クラブ	冬を元気に過ごそう・脳トレ	15
2月9日	上野体操クラブ	体操(脳トレ・みかん丸体操)	7
3月23日	永木老人会役員会	健診・生活習慣病予防・健康寿命の延伸	11
3月28日	新屋敷いきいきサロン	健診・生活習慣病予防・健康寿命の延伸	9
合計			319

2. 包括的支援事業及び任意事業

(1) 総合相談支援事業

介護相談をはじめ権利擁護・虐待などの早期対応を図るため相談・支援事業を実施した。

<相談延件数実績>

相談内容	相談件数(件)
介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	1976
権利擁護(成年後見制度等)に関すること	129
高齢者虐待に関すること	24
合計	2,129

ア ブランチ連絡会 4回/年開催

(6月15日、9月21日、12月21日、3月15日)

伊予市地域包括支援センターとブランチを設置しているなかやま幸梅園と双海

夕なぎ荘が連絡会を開催し、情報交換や新しい事業等の周知・理解を深める場とした。また、合同で実施する認知症カフェの開催・実施・方向性の検討も行った。

イ 地域ケア会議

・伊予市主催の自立支援に資する個別ケア会議に出席・参加した。

4月21日 市役所2階第1会議室
5月19日 市役所2階第1会議室
6月16日 市役所4階大会議室
7月21日 オンライン
8月18日 オンライン
9月15日 オンライン
10月20日 市役所4階大会議室
11月17日 市役所4階大会議室
12月15日 市役所4階大会議室
1月19日 市役所4階大会議室
2月16日 市役所2階第1会議室
3月17日 市役所2階第1会議室

・包括主催で困難ケースの個別地域ケア会議を開催した。

10月14日 郡中公民館

ウ 包括だよりの発行

地域包括支援センターの周知のために8月に発行し、関係機関・利用者に配布した。2022年度の新たな取り組みとして、市内の銀行や郵便局にチラシをおいてもらった。

エ ホームページ

地域包括支援センターの周知の為、情報発信を行った。

オ 認知症カフェ「カフェいーよ」の実施

地域の方・介護者・認知症本人に気軽に立ち寄ってもらい、お茶を飲みながら、地域のことや介護や認知症のことなどよもやま話ができる地域のお茶の間を目指し、なかやま幸梅園、双海夕なぎ荘と協働で運営した。

コロナの感染拡大に注意しながら、町家の多目的ルームにて実施した。

12回実施（4月20日、5月18日、6月15日、7月20日、
8月17日、9月21日、10月19日、11月16日、
12月21日、1月18日、2月15日、3月15日）

延参加者125名（平均10名/月、昨年より延べ92名増）

カ 出張相談窓口

・包括まで相談に来るのが難しい方、買い物ついでに相談したい方に対して毎月第4火曜の10時から12時にフジ伊予店2階にて窓口を開設した。

伊予市社会福祉協議会、児童発達支援センター伊予くじら、伊予市福祉課の職員にも来ていただき、高齢者・困窮・障がい者の相談をひろく受けつけた。

〈定例12回開催〉 4月26日、5月24日、6月28日、7月26日、
8月23日、9月27日、10月25日、11月22日、
12月27日、1月24日、2月28日、3月28日

〈フジ周年イベント〉 8月28日

延相談者数25名

- ・ 社会福祉協議会主催の出張相談会にも出席し、地域の方からの相談を広く受け付けた。延相談者数 14名。

〈佐礼谷生活改善センター〉

5月26日、7月28日、9月22日、11月24日、1月26日、
3月23日

〈中山地域事務所〉

6月23日、8月25日、10月27日、12月22日、2月24日

〈ほっこりカフェおたふく〉

5月19日、7月21日、9月15日、11月17日、1月19日、
3月16日

〈下灘コミュニティセンター〉

6月16日、8月18日、10月20日、12月15日、2月16日

〈正園寺〉

1月28日、2月4日

キ 民生委員役員会

毎月1回の定例会に時間をとっていただき、情報交換を行った。

ク ほっとねっと伊予市

伊予市内の福祉関係者が集まり、各種制度の狭間にある方へのサポートを考え、地域の課題解決へ取り組む会に参加して活動を行った。

- ・ 毎月1回の定例会に参加
- ・ ちいさなしあわせがみつかるカフェの開催 10月30日 双海ふれあいの館
- ・ 秋のまちなか講座「まちの防災について考えよう」11月12日 さざなみ館

(2) 権利擁護事業

- ・ 虐待事例を伊予市長寿介護課と連絡をとりながら対応した。
- ・ 成年後見制度の相談対応・関係機関へのつなぎを実施した。
- ・ 消費者支援に関しては、消費者支援講座を2回実施した。

日程	テーマ	講師	実施場所	参加者数 (人)
5月31日	成年後見制度を学びましょ う	愛媛権利擁護 センター新居浜 山本豪先生	保健センター 第1・2会議室	28
6月27日	悪質商法の手口とその対策	愛媛県金融広報 アドバイザー 松本千晴先生	保健センター 第1・2会議室	14
			合計	42

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

・介護支援専門員連絡会

連絡会を4回実施した。加えてケアマネ情報誌を3回発行し、市内外の介護支援専門員と情報共有に努めた。

日程	テーマ	講師	実施場所	参加者数 (人)
5月24日	防災研修 ～災害時の活動内容と地域の防災への取り組みを知ろう～ 「愛媛県災害時要配慮者支援チームの活動について」 「地域住民が取り組んでいる防災について」	伊予ヶ丘PT 荒谷英彦氏 主任介護支援 専門員	市役所4階 大会議室	50
8月22日	「事例を通して高齢者支援の方法を学ぶ 権利擁護と生活困窮者自立支援について」	伊予市社会福祉協議会 長田氏 石丸氏	オンライン 開催	43
11月21日	「地域資源を知ろう！」 ワールドカフェ方式による 地域資源情報の確認・意見交換	主任介護支援 専門員	市役所4階 大会議室	46
2月20日	「民生委員の活動を知り、 地域にいるケアマネジャーを知ってもらおう」	民生委員 水本説男会長 主任介護支援 専門員	市役所4階 大会議室	51 (民生委員19人 含)
			合計	190

(4) 在宅医療・介護連携推進事業

- ・伊予市保健福祉医療連絡会 書面開催

(5) 生活支援体制整備事業

- ・第2層の生活支援コーディネーターを2名配置(兼務)した。
- ・伊予市6協議体の第2層のセミナーを運営した。
- ・第1層協議体の会議に参加した。

(6) 認知症施策事業

- ①サロン等から依頼があったとき出前講師として認知症予防の啓発や脳トレ等を取り入れて実施している。
- ②認知症サポーター養成講座を実施した。

月日	対象	実施場所	参加者数 (人)
4月22日	鳥ノ木団地(1-4)	とりのき団地集会所	9
6月21日	上野老人クラブ	上野公民館	28
7月22日	米湊B	郡中公民館	13
9月7日	伊予小読み聞かせ ボランティア	伊予小	15
9月30日	灘町A	つたや旅館	14
10月12日	伊予商工会議所 女性会	伊予商工会議所	11
2月10日	双海上灘	双海生きがい活動センター	25
2月15日	双海下灘	下灘コミュニティセンター	25
3月29日	中山	中山コミュニティセンター	23
		合計	163

③認知症サポーターステップアップ講座を実施

12月12日 市役所4階大会議室 参加者 27名

12月19日 市役所4階大会議室 参加者 28名

④チームオレンジ活動に参加

・定例会

5月23日、6月20日、8月29日、9月26日、

10月24日、11月28日、12月19日、1月23日、

2月22日、3月22日

・庁外研修 7月6日 愛とこころ愛媛 VR研修

・認知症サポーター養成講座 11月14日 市役所4階大会議室

・オレンジカフェおいで～や

11月25日、1月27日、3月24日

グループホーム伊予くじら食堂にて開催

⑤本人ミーティングを実施

5月17日 グループホーム伊予くじら食堂 参加者 2名

6月20日 グループホーム伊予くじら食堂 参加者 6名

⑥中予地域認知症疾患保健医福祉連携協議会 書面開催

(7)任意事業

介護予防事業や家族を支援する事業として次の事業を実施した。

① 家族介護支援事業

・家族介護教室の開催

高齢者を介護している家族やボランティア等を対象として、新型コロナウイルス感染対策期以外の毎月第4木曜日に開催した。月のテーマを決めて、講義とカフェ形式の座談会を合わせて行った。

〈開催実績〉

じゅらく生きがい活動センター 毎月第4水曜日実施 12回開催

延べ164名参加

日程	テーマ	講師	参加者数 (人)
4月27日	おむつ相談してみませんか？ 便利な最新式の介護用品も紹介！	ユニ・チャーム高智氏 フロンティア 中矢氏・東氏	15
5月25日	成年後見制度について	社会福祉士	14
6月22日	WHILLでサポートする自立の形！	ネッツトヨタ瀬戸内 武田氏・佐々木氏	15
7月27日	介護保険のサービスを 上手に使おう！～福祉用具編～	四国医療サービス 岡田氏・木下氏・ 山下氏	7
8月24日	怒りのコントロール ～アンガーマネジメント～	保健師	12
9月28日	身近にひそんでいる！ ～心不全のお話～	保健師	15
10月26日	認知症について	保健師	17
11月30日	高齢者の食事～介護食って？～	保健師	16
12月21日	歌体操・元気に年越ししよう！ ～頭の柔軟体操～	保健師	14
1月25日	冬はご注意！ヒートショック	保健師	11
2月22日	もしかしてケアラー？ ～介護や世話で疲れていませんか～	保健師	17
3月22日	足元の健康は介護予防のもと！ ～フットケアの必要性とケアの ポイント～	保健師	11
		合計	164

3. 職員動向

1. 職員総数 14名(2023年3月31日現在)

- あ) 社会福祉士 2名
- い) 主任介護支援専門員 2名
- う) 保健師および準ずる者 3名
- え) 介護支援専門員 6名
- お) 事務 1名
- か) 異動 ・ 介護支援専門員 2名 3/31付退職

2. 各種会議

- あ) 月会議: 毎月1回
- い) 3職種会議: 毎朝1回

3. 事業所内研修

別紙 1 参照

4. 事業所外研修
各職員、適宜必要に応じて研修に参加。

以上

2022 年度事業所内研修

別紙 1

日時	研修名	講師
4/8	遺言書について	坂田
4/22	事例検討会(ちさケース)	
5/6	アンガーマネジメント	大南
6/10	東洋医学について知ろう	浦部
7/8	デイサービスの情報提供と入居施設の概要	柳之内
8/5	認知症の第一人者が認知症になった	稲森
10/7	支援困難事例を深める	戒能
11/4	高齢者虐待とその対応について	神山
12/2	ストレス社会との共生について	横田
1/6	心理テスト・・・みたいなこと	青木
1/13	ネーザルハイフローについて	帝人ヘルスケア(株) 矢野氏
2/3	顔の老化を防ぐには	ちさ
3/3	これからの認知症ケア	坂田